

平成 21 年度文化庁日本語教育研究委託

「生活者としての外国人」の日本語能力の
測定・評価に関する調査研究報告書

平成 22 年 3 月

国立大学法人東京外国語大学

はじめに

国立大学法人東京外国語大学は、文化庁「生活者としての外国人」の日本語能力の測定・評価に関する調査研究を受託しました。

現在日本に在住し就労する成人の外国人、今後受入れが増加すると予測される成人の外国人を考えると、彼らに対して、日本社会で円滑に他者と日本語でコミュニケーションを図るために必要な日本語指導や日本語学習の内容・方法と体制、日本語力の測定と評価及び体制の充実が必要となります。日本語教育の充実を図るためには、様々な場面での日本人の日本語の使用実態と外国人の日本語の使用実態に関する情報、及び日本社会における日本語によるコミュニケーションのあるべき姿についての構想といった二つの基盤が重要です。

国立大学法人東京外国語大学は、地球社会化時代の未来を拓く教育研究の拠点大学を目指し、「諸外国・諸地域の言語とそれを基底とする文化一般につき、理論と実際にわたり研究教授し、国際的な活動をするために必要な高い教養を与え、言語を通して外国に関する理解を深めること」を目的としています。この目的を達成するための一つとして、言語研究においては IT の活用による言語コーパスの構築、臨地調査など多様な手法を組み合わせ、社会貢献においては、多言語・多文化化が進む日本社会において顕在化しつつある諸問題に対応するため、地域や自治体や企業と連携して国内在住外国人のための学習支援などを行っています。また研究活動面においては、官公庁、研究機関、民間企業などと連携した共同研究や受託研究や事業を進めています。

本学の日本語教育研究の世界的な拠点としての充実を図るために、平成 21 年度に設置した国際日本研究センターを中心に文化庁委託事業を受託し、本報告書を刊行することになりました。半年間という短期間の活動で、このような成果を挙げられたのは、学内の教職員、独立行政法人国語研究所の研究員をはじめ、様々な大学機関の教員、日本語学校の教員、地域日本語教育関係者の御支援や御協力による共同プロジェクトであること、並びに関係者がその必要性や重要性を十分に認識して活動したことにあると思います。関係者の皆さんに厚く御礼申し上げます。

文化庁委託事業の遂行のため作成された日本語教育のための基盤となる日本語データは、データベースとして広く一般に提供されます。本報告書及び日本語データが、外国人が社会集団の構成員として豊かに暮らすため、日本社会で円滑に日本語によるコミュニケーションを身に付けるための一助となれば幸いです。

平成 22 年 3 月

国立大学法人東京外国語大学
国際日本研究センター
センター長 野本 京子

目次

はじめに	1
事業概要	5
文字化資料に関する書式上の注意	10
1. 生活日本語コミュニケーション能力の測定と・評価ということについて	11
1. 1. 生活日本語とは何か	12
1. 2. 本事業での「生活」	21
2. 他者との円滑なコミュニケーションとは	22
3. コミュニケーション能力とは	29
4. 実際のやり取りとコミュニケーション能力	34
5. コミュニケーションと解釈・誤解	63
6. 測定ツールとテスト	68
7. コミュニケーション能力の測定	77
8. コミュニケーション能力の評価の枠組み	79
おわりに	85
文字化資料（抜粋）	87
資料	261

事業概要

(1) 委託期間

平成 21 年 9 月 17 日～平成 22 年 3 月 31 日

(2) 事業の目的・要求要旨

近年、日本社会の中に定住し、長期にわたって生活する外国人が増加している。こうした人々が、日本の地域社会において円滑なコミュニケーションを行う能力を獲得していくためのインセンティブとなるよう、新たに「生活日本語コミュニケーション・テスト」を実施することを目指し、「生活日本語コミュニケーション能力」の測定と評価に関する開発研究を行う。

(3) 事業内容・事業計画

外国人対象の日本語試験としては、日本語能力試験、日本留学試験、JETRO ビジネス日本語能力テストなどがあり、そのほかにも日本人を対象とする各種の日本語検定試験が実施されている。しかし、これらの試験は、「現代の日本社会で現実に生きていくために必要な能力」の測定に特化したものではなく、「生活目的のために日本語を学ぶ人々」に対し、学習の指針・目標を示すものとはなっていない。定住外国人の日本語学習を一層促進するためには、従来なかった新しい種類の日本語テストを開発・実施する必要がある。初年度はその基盤となる調査研究を行う。

ア 日本人・外国人間の接触場面における発話データベースの作成・分析

日本人と外国人とが日本語を用いて接触する場面（具体的には交渉、問題解決、意見調整などを行う場面）において、双方がどのような日本語運用を行っているのかを明らかにするため、こうした場面における日本語発話のデータベースを作成する。その際、当該場面における発話や言語行動が、日本人・外国人双方によってどのように評価されるかについての情報も含める。あわせて、このデータベースを用いて、接触場面における目的達成のためにどのような日本語能力が必要とされているかの考察や、現実の言語行動のあり方と評価との関係についての分析等を行う。

イ 日本語テストへの応用をめざしたデータ収集

日本語テストにおいては、受験者に適合したテスト項目のみを効率的に出題し、受験者の能力をより短時間で正確に推定することが可能となることが重要である。このため、TOEFL や TOEIC などの英語のテストで取り入れられている受験者の能力、テスト項目の難易度を確率論的に推定する手法を「生活日本語コミュニケーション・テスト」においても応用できるように、必要なデータの収集とその分析を行い、テスト開発の基盤を形成する。

(4) ア、イの具体的な内容

ア OPI を活用した外国人の会話データの収集と整理、分析、検討、報告

独立行政法人国立国語研究所の平成 21 年度上半期までのデータベース構築の延長と位置づけて、外国語の会話力を客観的に測る OPI(Oral Proficiency Interview)を使い、外国人の日本語会話データの収集と文字化、諸情報の付加、評価の観点からの分析を行い、データを Web 上で公開する。

イ 表現意図に関する日本語母語話者の解釈情報の収集と整理、分析、検討、報告
漫画表現を抽出し、日本人の意図の解釈の範囲と認知処理の観点からの分析、検討を行い、漫画表現データは漫画表現意図解釈情報検索データベースとして Web 上で公開する。また、実際に Web 上で将来の日本語自動判定ツールの開発に向けて、実験的に練習ツール（独立行政法人国語研究所開発の「にほんご学びネット」の進化版）を試行し、外国人の音声データ収集と合わせて自動判定のための資料を収集する。

（５）事務局

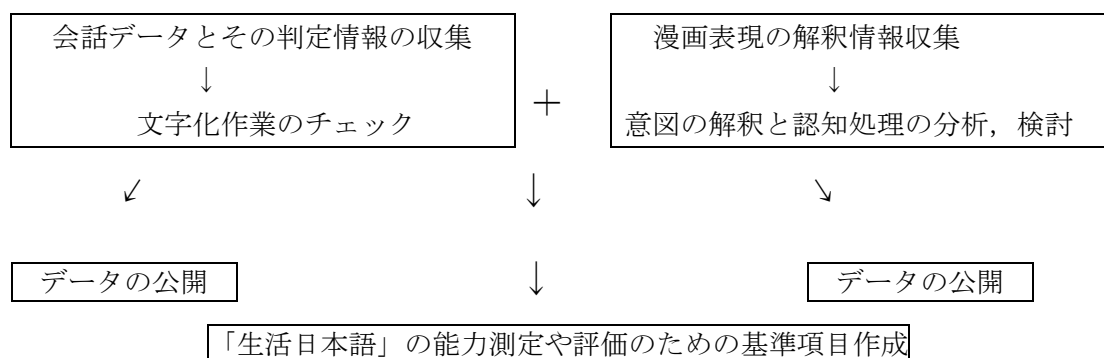
国立大学法人東京外国語大学国際日本研究センター

（６）事務取扱い

国立大学法人東京外国語大学研究協力課

（７）組織・活動概略

本事業の一連の流れを以下に示す。



日本に在住する外国人が生活に必要な日本語能力（以下「生活日本語」）を客観的に測定するための評価基準及び評価方法の策定に向け、学習者の到達目標となる日本語を用いたコミュニケーション力の測定・評価に関わる実証的なデータを収集し、「生活日本語」の能力に関する調査検討を行った。具体的な内容は次の二点に集約される。

1) 「生活日本語」の能力の捉え方に関して従来の構造主義的な言語形式の捉え方のみならず、話し手による意図の表出の方法、聞き手側の理解のしかたと話し手に対する評価のあり方を実際のコミュニケーションに近い題材から抽出することにより、「生活日本語」の能力の内容を明らかにした。

2) 上記 1) の調査研究をもとに、言語表現形式やその他の様々な要素を軸に、様々なコミュニケーションがどのようなレベルで分けられるのか、また当事者をどのようなレベルで分けられるか、これらをふまえて、「生活日本語」の能力の測定や評価のための基準項目を作成した。

業務実施日程は以下の通りである。

業 務 項 目	実 施 日 程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1) 『生活者としての外国人』が日本で生活していくために必要な日本語能力の捉え方に関する調査研究						←						→
・インタビューによる会話データとその判定情報収集							←					→
・会話データの文字化作業のチェック							←					→
・コミュニケーションに必要な予備知識に関する情報収集							←					→
・言語表現形式に対する聞き手の理解度に関する情報収集							←					→
2) 『生活者としての外国人』が日本で生活していくために必要な日本語能力の測定・評価方法に関する調査研究						←						→
・全体会合開催 (3/12, 13)											←	→
・基準項目の作成											←	→

(8) 運営

国立大学法人東京外国語大学の規定等に準拠して活動する。

(9) 調査研究関係者一覧

① 統括スタッフ

野本京子 (国立大学法人東京外国語大学国際日本研究センター長)

坂本恵 (国立大学法人東京外国語大学国際日本研究副センター長)

伊東祐郎 (国立大学法人東京外国語大学国際日本研究センター連携研究員・留学生日本語教育センター教授)

谷口龍子 (国立大学法人東京外国語大学国際日本研究センター准教授) ※

柳澤好昭 (特任研究員・明海大学外国語学部教授) ※

小柳昇 (コーディネーター・国立大学法人東京外国語大学博士後期課程) ※

△事業概要 (3) のアの調査研究グループ

○調査コアスタッフ

柳澤好昭 (前述)

嶋田和子 (学校法人イーストウエスト日本語学校副校長・東北大学文学部文学研

究科非常勤講師) *

野山広 (大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所上級研究員) *

鎌田修 (南山大学教授) *

○OPI 判定情報付発話データ収集協力者

・ 関東地区 西川幸人 (学校法人イーストウエスト日本語学校講師) * 地区
統括

岡葉子 (学校法人イーストウエスト日本語学校非常勤講師)

奥山由紀子 (学校法人イーストウエスト日本語学校講師)

栗原明美 (学校法人イーストウエスト日本語学校非常勤講師)

澤田直美 (学校法人イーストウエスト日本語学校講師)

高見彩子 (学校法人イーストウエスト日本語学校講師)

富永さよみ (学校法人イーストウエスト日本語学校非常勤講師)

永田晶子 (学校法人イーストウエスト日本語学校講師)

林英子 (学校法人イーストウエスト日本語学校非常勤講師)

森節子 (学校法人イーストウエスト日本語学校講師)

・ 中部地区 安井朱美 (南山短期大学非常勤講師) * 地区統括

稲熊美保 (愛知文教大学国際文化学部准教授)

佐藤有希子 (愛知文教大学国際文化学部非常勤講師)

伊藤かんな (財団法人岐阜市国際交流協会日本語講座担当)

伊藤典子 (愛知産業大学短期大学通信教育部非常勤講師)

了戒直江 (財団法人服部公益財団 YAMASA 言語文化研究所非
常勤講師)

・ 関西地区 白鳥文子 (大阪大学外国語学部・日本語日本文化教育センター・
大阪産業大学教養部・京都大学国際交流センター・京都外国語
大学非常勤講師) * 地区統括

和泉元千春 (国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員)

後藤多恵 (大阪大学日本文化日本語教育センター非常勤講師)

中村伊都子 (京都アメリカ大学コンソーシアム講師)

野畑理佳 (国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員)

橋本昌子 (スタンフォード日本センター・松下電器海外研修所
非常勤講師、奈良日本語塾主宰)

・ 九州地区 花田敦子 (久留米大学国際交流センター非常勤講師・財団法人
北九州産業学術推進機構謝金講師) * 地区統括

安高紀子 (九州国際大学日本語研修別科非常勤講師)

池田隆介 (北九州市立大学基盤教育センターひびきの分室准教
授)

占部匡美 (筑紫女学園大学・九州女子大学・福岡国際大学・九
州造形短期大学・北九州小倉看護専門学校国語科非講師)

小畑美奈恵 (明日香美容文化専門学校日本語科教務主任)

権藤早千葉 (久留米大学国際交流センター講師)

△事業概要（３）のイの調査研究グループ

○調査コアスタッフ

柳澤好昭（前述）

小柳昇（前述）

②事務スタッフ

近藤晴彦（国立大学法人東京外国語大学研究協力課）

澤井雅子（国立大学法人東京外国語大学研究協力課）

以下の方から、生活日本語コミュニケーション研究会等で御指導、御助言を頂戴しました。

（五十音順）

宇佐美洋（大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所准教授）

才田いずみ（国立大学法人東北大学大学院文学研究科教授）

佐藤恵美子（財団法人中国帰国者援護基金中国帰国者定着促進センター教務主任）

杉戸清樹（元独立行政法人国語研究所所長）

松岡洋子（岩手大学国際交流センター准教授）

＜文字化資料に関する書式上の注意＞

音声データを文字化する際に、下記の項目に従って書き起こした。文字化の書式は最小限の枠組みで行った。独立行政法人国語研究所の作成した OPI 判定情報付き会話データベース¹との関係を考えたこと、研究資料として活用する方のためにはテキスト化するとき、作成者が手を加えずに利用者が自由に加工できるように音声データとテキストを提供する考えたことによる。なお、OPI 判定情報付き発話データ以外のものの文字化は別の書式による。これは調査目的が異なるためである。

【文字化での遵守事項】

1. 話者の表記が「インフォーマントは I, インタビューアーは T」とする。
T:
I:
2. 改行が話者交替で改行する（話者とは、発話の主導権を持つ者のこと）。
3. 発話の文に句点「。」を使わない
4. 発話の重なりを示さない。
5. 発話の割り込みを示さない。
6. 聞きとり不能箇所は「*」で示す。
7. 聞きとり不能箇所の「*」の数は音節数とおおよそで合致している。
8. ポーズ・間を「,」で示す。ただし、長さは考慮しない。
9. あいづちは〈 〉内に示す。
10. 平仮名表記が一般的な長音以外の長音は「ー」で示す。ただし、長さは考慮しない。
11. イントネーションは表記しない。
12. 発話に関係しそうな非言語行動は{ }で示す。
13. 人の発話を引用した箇所は「 」で示す。
14. 発話された書籍等のタイトルは『 』で示す。
15. 外来語・外国語が聞こえたようにカタカナで表記する。
16. 個人の特定に結びつく情報（氏名、住所）は示さない。
17. 複数の読み方がある漢字が平仮名で示されていること
18. 【★5★】などの時間表示をする。
19. 個人の特定に結びつく情報はアルファベットに置き換える。
20. 言い間違いや言いよどみなど、発音どおりに表記すると意味がわかりづらい場合等は、
[] で当該の語を補足する。

¹ <http://dbms.ninjal.ac.jp/nknet/>

1. 生活日本語コミュニケーション能力の測定・評価ということについて

ここでは、「生活日本語コミュニケーション能力の測定と評価に関する調査研究」という委嘱事業の受託に際し、

- ◆ 生活日本語とは何か。
- ◆ コミュニケーションとは何か。
- ◆ コミュニケーション能力とは何か。
- ◆ 能力の測定とは何か。
- ◆ 能力の評価とは何か。

ということについて、本事業でのとらえ方について述べる。

1. 1. 生活日本語とは何か

「生活日本語」を文化庁 Web サイトで見ると、「日本国内の定住外国人が増加しており、これらの人々が地域社会の中で孤立することなく生活していくために必要な日本語能力」と記されている。インターネットの検索エンジンで、「生活日本語」をキーワードとして検索抽出すると、以下の説明が表示される。

- ◆ 日常生活に必要な初歩の会話
- ◆ 何かを依頼するなど日常生活での様々な会話
- ◆ 日常生活の中でよく使われる日本語のこと
- ◆ ひらがな、カタカナから日常会話まで
- ◆ 友だちとの会話から敬語を使った会話まで
- ◆ 自律的に日本語学習ができるように基礎的な日本語
- ◆ 日本の文化や生活を理解し適応できる基本的な知識
- ◆ 教室外での人的ネットワークを広げる日本語
- ◆ 日本で生活をする上で必要な日本語
- ◆ 地域で暮らす外国人のための日本語

これらは、日本語教室の概要を示す説明の中に出てくるため、詳細なことが明示されているわけではない。各日本語教室で使用する教材や教室活動の内容などを見ることで、生活日本語に対する考えがうかがえる。教材からは、依頼、感謝、謝罪、希望などの会話に必要な日本語の表現文型、ゴミ捨て、買い物、挨拶、マナーなどの知識、これらに関連する日本語の語彙・表記などを、主たる学習項目として取り上げていることが分かる。

文化庁平成 21 年度日本語教育大会（於：昭和女子大学）のパネリストの一人である古川智樹氏（とよた日本語学習支援システム・プログラム・コーディネータ）は、「交流の開始、会話の開始部分は大体同じだが、その後、何を話題に会話が広がっていくか、何に興味があって何を聞くか／話したいかという連鎖は人それぞれである。教材にある定型的な語彙・文法・表現は、実際に学習者が必要としている日本語ではないのではないか。地域・職場・学校などで必要な言葉がそれぞれ違う。出身国、所属集団、居住地、年齢などの違いで必要な言葉がそれぞれ違う。つまり、個人が属するコミュニティで必要とする日本語によるコミュニケーションがある。生活日本語とは、個人に必要とされるものである。個人は様々なパーソナリティをもつ存在である。」といったことを述べている。

日本語教育において生活日本語について、体系的に整理したものが『中国帰国者のための生活日本語』という教材である。詳細は、「中国帰国者用日本語教育指導の手引」（文化庁、1988）に記載されている。この教材と手引は、国立国語研究所の「初心者用日本語教材の開発に関する実際的研究」の成果（中国帰国孤児定着促進センター退所者追跡調査資料等を活用）をもとに、日常生活の場面抽出、録音調査、スクリプト、語彙・文型抽出を行い、中国からの帰国者が帰国後、比較的短期間に遭遇する日常の生活場面を選定している。当

時、生活場面として抽出したのは、公共的場所、日常的場所、緊急、対人関係、交通手段、電話である。

それぞれの細目は以下のとおりである。

- ♦ 公共的場所：役所・役場，福祉事務所，保健所，郵便局，電話局，職業安定所，入国管理事務所，税務署，民生委員
- ♦ 日常的場所：銀行，理容店・美容院，銭湯・コインランドリー，デパート，スーパーマーケット，市場，商店（青果店・精肉店・魚屋・パン屋・弁当屋・煙草屋・酒屋・クリーニング店・米屋・薬局・化粧品店・靴屋・洋装店・時計店・宝石店・文房具店・電気店・食器店・家具店・書店・レコード店・食堂・喫茶店・ファーストフード店・立食いそば屋・飲み屋），ボーリング場，レストラン，博物館，映画館，動物園，遊園地，公園，寺社，結構式場，葬祭場，旅行代理店，旅館・ホテル，ガス会社，電力会社，水道局
- ♦ 緊急：警察，消防署，町医者，歯医者，病院
- ♦ 対人関係：子どもの学校関係，町内会・町会長，廃品回収業者，新聞勧誘員，セールスマン，集金人，近隣者，子どもの友人の家族，親戚，友人・知人，生活指導員
- ♦ 交通手段：タクシー，バス，路面電車，鉄道（私鉄，JR，地下鉄），飛行機，路上
- ♦ 電話：日常的場所への電話

これらの場面で使用する語彙，表現形式と機能，表記，行動の流れ，及び生活情報を盛り込んだものである。

その後，中国帰国者定着促進センター（当時は中国帰国孤児定着促進センター）が 1990 年代に学習者タイプ別の目標構造表を作成した。これは中国帰国者定着促進センターの Web サイト² からダウンロードできる。この目標構造表は，中国帰国者に対する日本語教育すべてを覆うようなモデルではないことはもちろん，1 次センター全体の規範・基準としてのモデルでもない。同センターで実際に計画され実施されるカリキュラムを編成する際に目安となるものという意味でのモデルである。

中国帰国者に対する日本語教育において，日本語教育，日本事情教育，異文化トレーニング，職業訓練を分けて教育を考えることは難しい。また，中国帰国者の定着には，教育目標を①長期的な視点からその教育の目的や方向性を示す目標（aim），②到達点を示す目標（goal），③短期的な視点から授業で直接目指される個別目標（objective）と分ける必要がある。

そこで，この目標構造表の作成となった。②にあたるものとして，成人コース（大人コース）では，中目標 1「身近な生活行動場面の基礎知識・基礎技能」，中目標 2「将来の生活に有用な基礎知識・基礎技能」，中目標 3「身近な生活や将来の生活の基礎となるコミュニ

² <http://www.kikokusha-center.or.jp/resource/ronbun/curri/tokorozawa/tokocurri-top.htm>

ケーションの力」の三つに分け、それぞれ小目標と達成目標を示している。達成目標に、読み・書き・話し・聴きの4技能が絡む。詳細は、前ページ脚注の URL から入手できる。

中目標1「身近な生活行動場面の基礎知識・基礎技能」では、

- | | |
|------|--|
| 小目標 | 1) 交通：交通機関を利用して目的地に行くことができる |
| 達成目標 | ① 徒歩や自転車での通行に関する交通ルールや注意事項を守って通行できる。 |
| | ② よく知られている場所を指定されれば、通行人に道を尋ねて目的地の駅に行ける |
| | ③ 前もって行き方を尋ねて、目的の駅まで電車を利用して行ける |
| | ④ 前もって行き方を尋ねて、目的の停留所までバスを利用して行ける |
| | ⑤ 道に迷ったときや事故に遭遇したときの対応ができる |

と構造化される。ほかの小目標として、

- 2) 消費生活：消費生活についての知識を身に付け、日常必要な物が買え、サービスが利用できる。
- 3) センター：センターでの学習生活に必要な知識を身に付け、必要な行動ができる。
- 4) 住居・近隣対応：居住環境についての知識を身に付け、近隣の人や援助してくれる人と良好な関係を保つことができる。
- 5) 職場・学校：求職の方法や職場の習慣についての知識を身に付け、簡単な面接試験に対応できる。
- 6) 健康：日本の医療事情についての知識を身に付け、医療機関が利用できる。
- 7) 通信：郵便や電話についての知識を身に付け、利用できる。
- 8) 社会福祉・手続き：帰国者が受けられる公的援助と必要な手続きについて知る。
- 9) 子どもの教育：日本の教育事情を知り、保護者の役割を果たせる。

中目標2「将来の生活に有用な基礎知識・基礎技能」の小目標には、

- 1) 一般教養：帰国者に必要な一般教養を身に付ける。
- 2) 異文化：異文化社会での適応に伴う問題、及び日本での人間関係において生ずる問題を知り、自分の問題として対処法を考えてみる。
- 3) 日本語自学自習：日本語の自学自習能力の基礎を身に付ける。

が挙げられている。

中期目標3「身近な生活や将来の生活の基礎となるコミュニケーションの力」の小目標は、

- 1) 話題：日本人と接することを通して、コミュニケーションに対する柔軟な姿勢を築くとともに、身近な話題でコミュニケーションできる。
- 2) 日本語の知識：日本語の基礎的な知識を身に付ける。

この目標構造表では、生活日本語として、身近な生活行動場面と将来遭遇する生活場面への対応に必要な知識、態度、言語技能を掲げている。場面の対象範囲が狭いのは、4か月という学習期間、50代以上の学習者の学習適性などから絞られたためである。これは、日

本語教育における **Can-Do-Statement** の先駆けともいえるものであるが、この目標構造表の根底にあるのは、「社会集団への帰属」と「対人関係」に対する意識と配慮である。

対人関係という点からは、松岡洋子・宮本律子（2003）の「生活日本語コミュニケーション能力の構成要素—映像教材調査分析からの一考察—」³ も、その重要性を述べ、教室を生活日本語コミュニケーション能力の習得支援の場としてとらえると、時間をかけて文型を積み上げ、正確さを求める初級、中級、上級と進めていく学習方法だけの対応では問題が多い、としている。

松岡洋子・宮本律子（2003）は、国立国語研究所が作成した日本語教育映像教材に現れる様々な要素のうち、何を学習すべきだと考えるかについて調査を行っている。秋田、山形、新潟県内在住の日本語教室のボランティア指導者延べ 69 名、地域在住外国人（日本語コミュニケーションが可能な者）延べ 61 名を対象とした結果から、下記の分類を示し、

- a. 言語形式に関わる記述
 - a.1 「語彙」：ストーリーに出現する語彙
 - a.2 「文型」：ストーリーに出現する文型、文法的要素
 - a.3 「文字・発音」：表記、発音に関する要素
- b. 定型表現に関わる記述
 - b.1 「社交表現」：挨拶表現
 - b.2 「機能表現」：依頼、謝罪などの機能を実現するための表現形
 - b.3 「会話戦略」：会話の開始、話題転換など会話を進行させるための表現形
- c. 文化・習慣に関わる記述
 - c.1 「知識」：日本社会、文化についての知識
 - c.2 「行動」：コミュニケーションに必要な行動
- d. 社会言語的要素に関わる記述
 - d.1 「調整」：性別、親疎、公私等話し手と聞き手との関係、場面による言語調整行動
 - d.2 「態度」：遠慮、婉曲、謙遜などコミュニケーション上の言語的態度

b. 定型表現は、a. 言語形式に関わる記述の一要素と解釈し、表現を構造より場面と密接に結びつけてとらえられていること、文化・習慣に関する記述が多いこと、を示した。

『中国帰国者のための生活日本語』の時代は、場面の定義、抽出、整理の仕方において、対人関係という場面は設定されていたが、学習者の年齢、学習期間、学習適性等から、単発的な場面で最低限の情報を入手する、他者の力を借りる、最低限の知識で乗り越えるという視点が根底にあったと言える。

ヨーロッパ共通参照枠(CEFR)では、言語能力、社会言語能力、言語運用能力の 3 種類の能力・知識・技能の体系から、下記のように、社会文化的な制約の中での言語使用、丁寧さの選択、世代、性、慣習についての知識などを示している。

³ 秋田大学教育文化学部研究紀要人文科学・社会科学部門 58, pp.17-22, 2003

II 社会言語能力

1. 社会関係を示す言語標識：社会関係を示す言語標識は、相手との立場の違い、相手との関係の近さ、話す言葉の使用域などにより、適切な表現を選択できる能力に関わる。
 - A. 挨拶の選択 a. 到着, b. 初対面, c. 別れ
 - B. 呼びかけの敬称 a. 固定化, b. 形式ばる, c. くだけた, d. 親しさ, e. 横柄, f. 決まり文句の侮蔑
 - C. 発話の順番をめぐる黙契
 - D. 間投詞使用の可否
2. 礼儀上の慣習：状況により適切な礼儀的表現を使用する能力に関わる。※文字通り解釈されると誤解や問題を生じることもある。
 - A. 積極的な形の礼儀 a. 相手の心配, b. 自分の体験や心配事, c. 尊敬, 敬意, 感謝, d. 贈り物, 約束, 歓待
 - B. 回避的・消極的な礼儀 a. 相手の面子を潰す行為の回避, b. 面子を潰す行為の後悔と謝罪, c. 曖昧な言い方
 - C. 「どうぞ」「すみません」などの使い分け, 使い切り
 - D. 礼儀の習慣を故意に無視 a. 無遠慮な物言い, b. 軽蔑, 嫌悪の表現, c. 怒り, 不機嫌, d. 高慢, 自慢
3. 慣用表現：理解する知識は、言語の社会文化的能力に大きく関わる。
 - A. ことわざ
 - B. 慣用句
 - C. 引用句
 - D. その他 a. 迷信, 言い伝え, b. 態度, c. 価値感
4. 言語使用域の違い：状況に応じて使い分けられる言葉遣いの規則。
 - A. 固定化された言葉遣い, 決まり文句
 - B. 公式の言葉遣い
 - C. 中立的な言葉遣い
 - D. くだけた言葉遣い
 - E. 親しい言葉遣い
5. 方言：社会的階級, 出身地域, 出身国, 民族, 職業の種類による言語の独自性を認識することは話し相手を理解する能力に関連する。
 - A. 語彙
 - B. 文法
 - C. 音韻
 - D. 声の特徴(リズム, 大きさなど)
 - E. プロソディ
 - F. ボディランゲージ

目標構造表や松岡洋子・宮本律子（2003）やヨーロッパ共通参照枠(CEFR)では、社会集団への帰属、帰属集団での相互作用を重視して言葉をとらえている。これは、現在の社会状況から当然のことである。それ故に、「生活に必要な日本語」というと、生活する主体が帰

属する／しようとする社会集団とその成員，本人のパーソナリティによって，「必要性」の内容が異なる。すべての生活する主体に共通する「必要性」は，先の「中国帰国者用日本語教育指導の手引」にある場面のように，場所を中心に限られた場面とならざるを得ない。

下記は，2010年1月に文化審議会国語分科会日本語教育小委員会で示された「生活上の行為」の分類一覧」という資料である。これは，社会集団への帰属，帰属集団での相互作用を重視し，かつ「生活に必要」の共通性を生活上の行為から見たものである。

【大分類】	【中分類】※小分類は凡例であり，ここでは省略する。
01 健康・安全に暮らす	01 健康を保つ
	02 安全を守る
02 住居を確保・維持する	03 住居を確保する
	04 住環境を整える
03 消費活動を行う	05 物品購入・サービスを利用する
	06 お金を管理する
04 目的地に移動する	07 公共交通機関を利用する
	08 自力で移動する
05 子育て・教育を行う	09 家庭及び地域で子育てをする
	10 子供に教育を受けさせる
06 働く	11 仕事を探す
	12 仕事をする
	13 仕事に役立つ能力を高める
07 人とかかわる	14 他者との関係を円滑にする
08 社会の一員となる	15 地域・社会のルール・マナーを守る
	16 地域社会に参加する
	17 社会制度を利用する
09 自身を豊かにする	18 人生設計をする
	19 学習する
	20 余暇を楽しむ
10 情報を収集・発信する	21 通信する
	22 マスメディアを利用するマスメディア等を利用する

しかし，行為一覧を生活日本語の柱としても，生活する者各人にとって異なる「必要性」の部分解消することはできない。生活する者すべてに共通する部分となると，下記のケンブリッジ大学英語口頭能力の判定基準例のように，抽象化せざるを得ない。

- ① 呼ばれたら返事をし，相手の顔を見る。
- ② 何かよく分からなくても，とりあえず関心を示す。
- ③ 相手の顔の表情が意味する「感情」を知る。
- ④ 相手の顔の表情やしぐさなどを見て，何をしているのか分かる。
- ⑤ 自分がしたことに対する相手の反応を見て，○なのか×なのか見分ける。

- ⑥ 他者が困っているときに、自分のとるべき行動が分かる。
- ⑦ その場の雰囲気、暗黙のルールが分かる。
- ⑧ 自分の発した言動を相手がどのように受け取るか想像できる。
- ⑨ 自分の考えを上手に相手に伝えることができる。
- ⑩ 声の大きさとしゃべり方を、場所や状況によって調節する。
- ⑪ 自分が話し始めるタイミングをつかむ。
- ⑫ 相手の態度から、自分が話し終える必要を感じ取る。
- ⑬ 自分を通して良い場面と、自分を抑えなければいけない場面を区別する。

生活する主体すべてに共通する生活に必要性となると、出現頻度や後の学習を考慮し、基本的な単語（＝基礎語彙の意味と基本語彙の両方）や文型の集合体になるか、日本語を離れてマナー集的なものにならざるを得ない。当時の浸透度は不明だが、移民都市である江戸においても、生活する者すべてに共通する部分を、言語と文化と社会の面から抽象化したものがある。評価は、「粋」と「野暮」の二つの視点から、他者評価と自己評価で行われる。昨今、庶民の默契とされていた口伝えを江戸仕草としてまとめられているが、一例に次のような項目がある。

- ① 忙しい、忙しい、と言うな（忙は心を亡くすこと、決して自慢できないこと）
- ② そんなに偉い方とは知らず、と言うな（偉くない人には無礼をしてもよいのか）
- ③ 知ったかぶりをするな、見て分かることを聞くな
- ④ 人の話を真剣に聞くときにメモをとるな（聞く人の真剣味が減る）
- ⑤ 自分と違う意見をないがしろにするな（意見が違うから参考になる）
- ⑥ はい、はいと二度返事をするな（一度目は了解、二度目は迷惑）
- ⑦ 感情を逆なでする言葉を使うな（聞く人の気分を害する）
- ⑧ 人の意見を無視する言葉を使うな（話している人は真剣）
- ⑨ 人に行き先をむやみに聞くな（プライバシーを尊重せよ）
- ⑩ 相手を卑下するな、威張るな（そんなに自分が偉いのか）
- ⑪ 初対面の人に年齢、職業、地位を聞くな（聞いて付き合い方を変えるのか）
- ⑫ 人と会っているときに足組み、腕組みをするな（自分を誇示する印象を与える）
- ⑬ 紹介者を飛び越えて親密になるな（紹介に感謝）
- ⑭ 打てば響く心意気を持て（説明しなければわからない者とは付き合うな）
- ⑮ 何をしてもうわの空の人とは付き合うな
- ⑯ 口先でなく目で人を判断しろ（本質を見よ）
- ⑰ 三つ心、六つ躰、九つ言葉、十二文、十五理で未決まる（三歳までに人の心を、六歳までに躰を、九歳までに人前でお世辞の一つも言える挨拶を、十二歳には一家の主の代書を、十五歳で森羅万象が実感として理解できるようにする）
- ⑱ 突然の訪問、遅刻で人の時泥棒をするな（相手の時間も大事）
- ⑲ うかつあやまりをしろ（ぼんやりしている側にも責任がある）
- ⑳ 傘かしげ（雨のしずくがかからないように、傘をかしげあって気配りして往来）、肩引き（狭い道ですれ違うとき、肩を引き合って胸と胸を合わせてすれ違い）、こぶし腰浮かせ（乗合い船でこぶしをついて腰を浮かせて一人分の幅空け）

また、生活日本語の「生活」を広範囲にとらえれば、就労者にとっては職場場面も生活場面となり得る。2007年の浜松市の企業調査⁴で得られた作業上必要な日本語の語彙を見ると、以下のとおりである。なお、＜＞は、両方の表記もしくは発話があることを示す。

アース、アセスメント、アップ、アルミ、イオナイザー、インストール、インバータ＜ー＞、エア＜ー＞、エイジング、エラー、エリア、オーダー、オート、オートコリ、オフ、オプション、カート、ガイド、カバー、カメラ、ガラス、ガレキ、カレンダー、クリーニング、クリーン、グリス、グループ、クリーム、クレーン、ケーブル、ケット、コート、コード、コール、コップ、コネクタ、コピー、ゴミ、コメント、コンセント、コンテナ＜ー＞、コンデンサ、コントローラ＜ー＞、コントロール、コンプライアンス、コンベア、サーモ、サイクル、サイト、サブ、サプライ、シート、シール、シマーシャル、シャフト、シャワー、シュレッダー、ジョイント、ショート、ショップ、スイッチ、スキル、スタンダード、スチロール、ステーション、ストッパー、スパーク、スピード、スペック、セミナー、セルフ、ゼロ、センサー、センター、ソフト＜ウェア＞、ターミナル、タイマー、タイム、ダクト、ダスト、チェック、チップ、チャイム、チューブ、ツール、ディスプレイ、データ、テーブル、テンプレート、トイレ、ドライバー、トラバーサ、トラブル、トレイ、ノズル、バーコード、バージョン、パーツ、ハーネス、パイロット、パック、パネ、パレット、パワー、パワーリフター、ハンガー、ハンド、ハンドラー、ピストン、ビニール、ビン、ファン、フィーダー、フタ、フック、プラスチック、ブレーカー、プレート、ブローア、ベース、ペール、ヘッド、ベルト、ペン、ポイント、ボード、ボックス、ボリュウム、ホルダー、ボルト、マーキング、マーク、マウンター、マウント、マガジン、マシン、マスタ、マット、マルチ、ミーティング、ミス、メイン、メカ、メンタル、モーター、モード、モニター、ユニット、ライト、ライン、ラック、ラベル、ランプ、リーダー、リード、リール、リサイクル、リスク、リスト、リファレンス、リフト、ルーム、レイアウト、レール、レギュレーター、レッスン、＜六角＞レンチ、ロー、ローズ、ワイヤー、赤ペン、黄ペン、白ペン、黒ペン、空＜き＞、安全、以外、移管、行先、異常、板、位置、一連、一括、一般、一品（いっぴん）、移動、意味、依頼、印刷、印字、飲料、後ろ、裏、運転、運搬、応援、応接、大型、置き場、お客様、奥、音（おと）、表（おもて）、温度、会議、外形、会社、回収、解除、改善、階層、階段、該当、開放、下記、家具、確認、格納、加工、箇所、角（かど）、金具、過熱、可燃、可能、紙、仮、缶、干渉、完成、管理、完了、機械、着替え、機器、危険、機種、基準、傷、起動、記入、基板、基盤、吸音、休暇、休憩、給茶、吸着、給湯、給料、供給、許可、記録、禁止、金属、区分、区別、組合、警告、掲示、形式、経費、怪我、月間、決裁、欠品、原因、厳禁、検査、検証、現品、原料、交換、工具、工事、向上、工場、工数、構造、高速、交通、工程、項目、心得、個人、固定、雑芥、混入、梱包、再、最後、在庫、再生、再発、作業、削減、削除、三角、残業、残件、時間、支給、軸、事項、仕事、指示、磁石、仕損、実施、実装、指導、自動、自販機、締まり、締め、社員、習慣、従業員

⁴ <http://www.hi-hice.jp/report.html#houkokusho>

員, 修正, 充電, 収納, 修理, 終了, 受注, 出荷, 出検, 出庫, 手動, 順守, 準備, 仕様, 使用, 消化, 状況, 承認, 情報, 照明, 上面, 職長, 食堂, 職場, 食券, 署名, 処理, 書類, 新規, 新人, 新聞, 推移, 水準, 数値, 数量, 制御, 清潔, 生産, 清掃, 製造, 精度, 整頓, 性能, 製品, 整理, 接触, 接続, 設定, 洗浄, 洗濯, 専用, 操作, 掃除, 早退, その他, 第一, 対応, 待機, 対策, 台車, 対象, 打コン, 脱着, 棚, 端子, 短縮, 単体, 治具, 遅刻, 地図, 茶器, 着手, 注意, 中型, 中止, 中断, 調子, 調整, 朝礼, 通電, 通路, 爪, 提案, 提言, 停止, 提出, 定食, 出口, 出しろ, 手順, 電気, 点検, 電源, 電子, 電池, 転倒, 電話, 同梱, 動作, 搭載, 特注, 土足, 途中, 内容, 中身, 斜め, 名前, 入力, 認証, 抜き打ち, 願い, 納入, 納付, 配管, 廃棄, 排出, 排除, 配線, 箔, 派遣, 箱, 鋏 (ハサミ), はじめ, 破損, 発生, 発注, 早出 (はやで)・早出町 (そうでちょう), 貼り紙, 番号, 搬入, 反対, 判定, 搬入, 備考, 非常, 必要, 表示, 標準, 昼休み, 品質, 頻度, 品番, 品証, 不可, 不具合, 複合, 部署, 不燃, 部品, 不良, 古い, 分別, 平面, 返却, 変更, 弁当, 方向, 報告, 帽子, 防止, 方法, 保護, 補充, 本日, 毎週, 前, まとめ, 無理, 明細, 名称, 目標, 戻し, 洩れ, 問題, 夜勤, 役割, 休み, 有休<有給>, 優先, 輸送, 容器, 要求, 用紙, 容量, 予定, 落下, 立案, 理由, 流出, 量, 両面, 連絡, 打ち上げる, 起きる, 降ろす, 貸し出す, 貸す, 傾く, 必ず, ください, 組み立てる, 組み付ける, 声を出す, 締める, 調べる, 捨てる, 使い終わる, つなぐ, 出る, 届ける, 飛ばす, 止める, 取り付ける, 取り外す, 願います, 抜く, 残す, 外す, 貼り間違える, 引き出す, 引き継ぐ, 防ぐ, 間違える, 持ち出す, 持ち運ぶ, 呼ぶ, 読み込む, 悪い, 忘れる, 割れる, ~回, ~階, ~級, ~系, ~件, ~号館, ~様 (さま), ~残 (ざん), ~順, ~書, ~済 (すみ), ~値 (ち), ~度, ~等 (とう), ~票, ~表 (ひょう), ~品 (ひん), ~用

これらの語彙を見ると、次のことが言える。

- ◆ 動詞系の語彙は、いずれも高頻度で、日常でもよく使われる「辞書形」、「テ形」、「タ形」が頻繁に使用される。しかし、語彙全体でみれば、NTTの「語彙データ特性」の親密度と照合して大部分が中位以下ということから、日常性があるとは言えない。
- ◆ <>で示すように、人によって表記や発話（発音）が異なるものがある。
- ◆ 語彙の中には、辞書の意味ではなく、職場独特の意味や省略して使われるものがある。
- ◆ 漢字のみで構成される語彙は、掲示や文書等で読み、理解する必要があるものだが、それ以外は、読み、話し、聞くことが必要とされる。
- ◆ 漢字の読みは、音読みが大多数を占める。
- ◆ 約400の漢字を月刊雑誌70誌200万字分を対象とした国立国語研究所「現代雑誌200万字言語調査」の語彙頻度情報表データと照合すると、高頻度（度数1000以上）の漢字は全体の約2割である。 ※読み（音訓）の区別はしていない。
- ◆ これらの語彙は、職種や職位を越えて共通するものと、職種や職位の別で不要なものに分けられる。

1. 2. 本事業での「生活」

結局、生活日本語というとき、「生活」をどのようにとらえるか、ということが肝要となる。この「生活」のとらえ方の一つに、専業主婦、就労者、研修生、留学生、児童生徒などの生活する主体別のとらえ方がある。もう一つは、職場、学校、商店街などの場面でコミュニケーションする目的や文脈からである。文化審議会国語分科会日本語教育小委員会の行為一覧例や中国帰国者のものはここに含まれる。

このほかに、言語に焦点を当ててとらえることができる。一つは、各国で作成されているその国の言語の学習辞書や教材に掲載されている内容の共通部分を抽出するものである。もう一つは、基礎語彙や基本語彙（この定義についてはここでは触れない。）、あるいは母語話者の使用実態データ（外国人の到達目標の設定と関連する。）をもとに抽出する方法、さらには外国人の使用実態と比較して抽出する方法である。

これら四つのすべてから生活を検討することが望ましいことではある。しかし、限られた委託期間の本事業では、日本語を母語としない幼児、児童・生徒、留学生、就労者、配偶者、宣教師、研究者、技術研修生、技能実習生、外交官など、日本社会で日本語使用の如何に関わらず、日本社会で生活する主体すべてを対象に、その共通性を考えることは難しい。また、話し言葉と書き言葉の両面からアプローチすることも困難である。

そこで、本事業では、重要な言語基盤情報の構築の観点から使用実態データを集積することも含め、自身の意思により日本に定住を考えている成人の話し言葉でのコミュニケーションと対人関係を焦点に、コミュニケーションという視点から評価をとらえることとした。

2. 他者との円滑なコミュニケーションとは

他者と円滑にコミュニケーションをする行うということには、二つの焦点がある。一つは、自分の帰属集団以外での一過性の接触場面でのコミュニケーションである。これには、道を見失った、商品の置き場を聞く、銀行口座の開設の仕方を教えてもらうなどがある。もう一つは、自分の帰属集団内での接触場面に見られるものである。商品の置き場を聞く場合でも、例えば近所の顔見知りの商店で尋ねることと、見知らぬ土地の商店で尋ねることでは、コミュニケーションの目的、内容、方法、配慮などに差異がある。

後者の焦点が、今回の調査研究の主たる対象である。後者で用いられるコミュニケーション言語を「社交言語行動」と呼ぶ。これは、社交的交流（phatic communion）としての言語行動のことである。このコミュニケーションは、インフォメーション・ギャップの解消を含む情報の伝達を目的のすべてとはしないものである。人間関係の築きや保ちを目的とする言語行動である。

「社交言語行動」には、「いい天気ですね」などをはじめ、日常の慣用的な挨拶のように決まった形を持つものと持たないものがある。持たないものの代表例として、相手の関心のある（相手からプラス評価される）話題の提示、あるいは相手からの話題の提示に対する積極的な応対がある。これらは、ときには（特にビジネスの世界では）、特定の文脈において繰り返し使われる。元来の意味が希薄化され、コードあるいは定型的なものとなる。

この代表的例として、応対初期での挨拶場面がある。社交的な面を持つ表現は、表現の実質的な意味から解放され、社交的機能だけの表面的な表現（形式的な発話）となる。日本語教育は、これまでこの対人関係維持を主たる目的とした「社交言語行動」に焦点を当ててこなかった。換言すれば、コミュニケーションをインフォメーション・ギャップの解消を含む情報の伝達を中心にとらえてきた。多くの教材に取り上げられる道聞きは、その典型例である。教材に対人関係維持を主たる目的とした「社交言語行動」を学習項目に取り上げる場合、その大部分は待遇表現という取り上げ方であった。

言語心理学や社会心理学的な観点から、コミュニケーションを集団帰属の一助としてとらえることは、これまでの日本語教育ではほとんど見られなかった。これは、スカラー的な発想である。スカラー的な発想とは、一点（発話者）から一点（聴者）に流れるものを考えるものである。しかし、ある社会集団の中で、他者と円滑にコミュニケーションを行い、心豊かな生活を送るということからコミュニケーションをとらえるとき、ベクトル的なとらえ方が必要である。これは音楽界では常に重要視されている。音楽は、作成者の意図や感情、曲・詞、聴衆へのメッセージ送信、聴衆の受け止め方、音楽業界での位置付け、社会へのムーブメントの起こしなどで構成される。ベクトル的な発想とは、各一点（発話者、聴者）だけでなく、流れるものの内容と、その方向性を重視するものである。

以下は、日本語非母語話者が数人働く東京都大田区の二次下請け製造工場での録音調査の音声データを文字化したものである。近年の浜松市の製造工場、職業訓練校での言語調査でも同様のものが得られた。

＜午前 7 : 30, 工場作業場内での日本人の主任による, 作業員 12 名に対する朝礼＞

うーんとね きょーはーいーちよー うちのほうの仕事の関係はね ぜんぶいまんとこありません えー 今日は一応向こう あの一 あんきのほう 応援ということで（おはようっす） あの一 いち一台だけ こんしゅの 18 んちに納める になってる アー間に合うように あ みんなほら残業してがんばってもらってますけども 残業はあもう ケガしないように やって欲しいです あ でーそのあとに 18 んちに 1 台でてそのあとに一 にじゅう一 にんちですか にじゅうさんちはほら うち休みだからあ うちが休みでも一相手の会社はやってますんで だからいちおうにじゅうにんちに おわすよてえで あとの 1 台 あーま今週いっぱだけはもうしょうがないっすから むこうでおおいにでて まこんしゅったってもうきょうとあしたしかありませんけどなるべくあの一＜飛行機の騒音＞なんて一の間に合うような状態でね だらりだらりやられちゃうと あの一 相手だっってほら一緒にやってる人だっっていらいらしてくるから だから その一人の足ひっ

ばるよなことしないように よろしく あもう応援してやってください あー 僕の方も今日と明日といちおうそっち応援しますが ま来週あたりからあと一うちの方もなんとかね 日立関係の方もかっこがついてくるとおもんですよ だから一來週から 日立のほうに取りかかるよな状態にはなると思いますから まその時にはまたね みんなして日立のほうばたばたあおってしてその後に あの一 さんわシャッターのやつが森永さんから入ってくる予定であります だからーらいしゅあたりからなんとかうちの方にも仕事は あの一流れの方はね あのと続くとありますが その次にはまた応援して あもう協力してやって欲しいと思います きょー うちの方はそうゆうことで えー あとは別に連絡ありません＜飛行機の騒音＞じゃあそうゆうことでね あの一 今日もうケガしないように けケガだけはー ほらされちゃうと 自分が痛い思いするだけですからね あの一 ケガだけはしないようにね 今日もう一日よろしくお願いします<礼>

コミュニケーションには、達成目標とインフォメーション・ギャップ（当事者間の情報格差）がある。目標を達成するためにこのギャップを埋めようとする。朝礼での達成目標は、注意喚起と情報伝達である。話者と聴者の間には、達成目標とインフォメーション・ギャップが存在する。しかし、この話者にコミュニケーションを図り、目標を達成する意識はないことがフォローアップ・インタビューで分かっている。

朝礼での話を聞く中国帰国者 T（男性、40 代、中国帰国者定着促進センターで日本語学習 4 か月、就労 6 か月目）からは、次のことが聴取できた。なお、同様のことを日本人の作

業員からも聴取できた。「前日もだいたい同じだったと思う。だから、安全に注意、他のところを手伝うということは分かる。それ以外は、あとで主任が回ってきたときに尋ねる。尋ねないかもしれない。何か作業に問題があれば、そのとき主任が言う。それを待つ。」

次は、コミュニケーションは当事者間で、表現形式を媒体に様々な情報が相互に行き来する例である。前ページの朝礼の前の会話である。中国帰国者 T は、終業後の付き合いはしない。終業後すぐに自宅（都営アパート）に帰る。日本人の友人はいない。職場内では挨拶などに心がける。平日の昼は仕事ということもあり近隣者への対応や近所付き合いはまったくない。

<午前 7:30 前、朝礼の直前>

{中国帰国者 T が工場内に入ってきた日本人の先輩に近づいて行く。}

中国帰国者 T：おはようござます {日本人の同僚は気が付かない}

中国帰国者 T：{相手の視界に入り} おはようござます

日本人の先輩：おはようす

中国帰国者 T：どお もだいじょぶ↑

日本人の先輩：うん大丈夫 すんませんね 心配かけて

中国帰国者 T：うん

{朝礼のところに二人で黙って行く。}

中国帰国者 T へのフィードバック・インタビューで、

- ◆ 挨拶は職場では大事、しなければならないと思う
- ◆ 顔を合わせて挨拶することは大事である
- ◆ 先日先輩が怪我をしたと聞いていた。
- ◆ 心配もあって挨拶の後に言った
- ◆ お礼を言われたが、何と答えていいか分からなかったと答えている。

この短いやり取りにも、様々なコミュニケーションの要素が含まれている。一つは、「挨拶行動」が関わる。挨拶行動には、タイミング、表現形式、目線等の非言語行動、集団内慣例と礼儀がある。二つ目は、「対人関係度」である。対人関係には待遇意識（ここでは職場の先輩後輩）、相手への評価、表現形式（ここでは「おはようござます」と「おはようす」）が関わる。三つ目は、「会話の促進行動」である。促進行動には、表情等の非言語行動、新たな話題の選定、提示と表現形式（ここでは「どお もだいじょぶ」）が関わる。話題の選定には、作業中の怪我についての職場内の価値観や評価、当事者の評価が関わる。このやり取りに第三者がいた場合、心配してのことと言え、怪我の話題を出すことの適切さが問われる。提示と表現形式には、情報の共有（インフォメーション・ギャップの無さ）が関わる。また、出された話題に対する相手の応答行動も会話の促進行動に関わる。応答行動

には相手からの表現形式と表情等の非言語行動、当事者の評価、自身の表現形式と表情等の非言語行動が関わる。最後は、「相手の行動に対する応答行動」である。これにも相手からの表現形式と表情等の非言語行動、当事者の評価、自身の表現形式と表情等の非言語行動が関わる。

「先日、作業で怪我をしたみたいだけど、もう怪我は大丈夫ですか？」が「どおもだいじょぶ」で理解し合える当事者間の情報の共有（インフォメーション・ギャップの無さ）は、帰属集団内コミュニケーションでは重要である。また、先輩からのお礼は理解できたが、「うん」という対応であった。この「うん」も対人関係に影響する。「うん」を日本人の先輩がどう理解し評価するのか。中国帰国者 T がどう自己評価するのか。当事者同士の評価のし合いは非常に重要なものである。日本人同士は、これらを所謂「察しのコミュニケーション」として行っている。このやり取りの後の当事者たちの人間関係はどうなっているであろうか。コミュニケーション研究には、継続的な調査が欠かせないことは確かである。

次の会話例は、コミュニケーションは当事者間で築くものであることを示す例である。

＜京王新線新宿駅改札口で電車内での忘れ物について尋ねる 20 代の外国人男性、英語母語話者、日本語学習歴 2 年（日本語学校）、フランス語・スペイン語・ドイツ語学習、家族あり（配偶者が日本人）、会社員＞

F: すいません けけさ 私の学校の教科書 電車の中 忘れ・・・忘れた

J: どこ行きの電車ですかね。

F: そ 新宿線の そ い 市ヶ谷 乗りまして 新宿方面 そ 新宿・・・降りました

J: 笹塚行き↑ 多摩センター行き↑

F: む・・・

J: シルバートレイン↑

F: そう

J: シルバー

F: はい そう それから 10 時頃 それから そのうたぶん silver 電車 けど あか・・・
なな・・・あか・・・

J: 赤い線入ってる

F: あかい・・・赤い線入ってる そう あか線入ってる それから・・・

J: ホワイトカラーに赤ライン↑

F: はい そう 10 時 10 時頃・・・

J: 10 時頃

F: どうすればいいでしょうか

J: じゃあ・・・

F: 教科書・・・はい

J: <聴取不可能>

F: あすみません
J: <J2 に>センターって何時だ↑
J2: 10 時頃
F: 10 時頃 新宿↑ おお 降りました そう
J2: で赤い線の入った電車↑
F: そう それだけあ.....おぼえてる あー 終点わかりません
J: 調布 今の時間 見てもらえますかねえ↑
J2: あー 見てくれるよ
J: 見てくれます↑
J2: あい
J: 前から何両目ですかねえ
F: すみません↑
J: 前から何両目↑(F: はい↑) 前 こう 電車がこう.....あるでしょ こう 1 2 3 4.....
F: あーあーそう この この方
J: そう そうですね.....この階段の近く
J2: そっちの↑ (F: はい) こここっちじゃなくてそっちね↑
F: そそ それは電車の前 前 前の方 けど・・
J: 前から4両目ぐらいかなあ.....
F: そ 市ヶ谷 乗りました たぶん.....みつ目 よつ目.....
J: 階段のすぐ前↑
<以下, 省略>

F と J・J2 双方の日本語の力の差があるため、遺失物探しということで質問応答形式が多いが、車両の特定化をはじめ、F と J・J2 双方がコミュニケーションの成立を目指していることは分かる。駅員は、「どこ行きの電車ですかね。」という車両を特定するための発話に対する相手の反応から相手の日本語の力、記憶、知識などを判断し、「笹塚行き↑ 多摩センター行き↑」「シルバートレイン↑」と続け、相手から「そう」という言葉とともに情報を引き出している。ここでは、乗客としてもつ外国人の情報、駅員が職務や職責からもつ情報それぞれにインフォメーション・ギャップがあり、それを埋めるための行動を相互にそれぞれの立場で行っている。これは、当事者間に共通言語があっても同様のことが行われる。コミュニケーションは、当事者間の相互作用と相互協力による目標達成活動である。

また、電車内での忘れ物に対する遺失物処理は、行き先、車庫か折り返し運転、その車両の進行状況によって異なる。そのため、対処の最適な判断のためには、車両の特定が必要であり、特定のためには、行き先、車体の特徴、乗降の駅と時間の情報が必要である。したがって、当事者間が情報を共有していれば、「どこ行きの電車ですかね。」「そ 新宿線のそ い 市ヶ谷 乗りました 新宿方面 そ 新宿.....降りました」, 「笹塚行き↑ 多摩センター行き↑」という取り方は不要となる。コミュニケーションの目標達成には、予備知識とその活用（予測）、解消するインフォメーション・ギャップの差の少なさも重要である。

次は、日常よく見受ける雑談である。

＜E が運転する自家用車内で、職場の同僚 3 人，M：23 歳，女性，社会人，K：25 歳，男性，歯科医，E：27 歳，女性＞

M：JR のさー とちゅうのところがいいなあー

E：JR の途中のところ↑

M：あのさー ×××の とおりのさー

E：あーはいはいはい

K：なんで駅じゃないの↑

M：△△△△に行きたいっていつてるじゃん

K：△△△△ってなに↑

M：ひやけサロン

K：ひやけサロン どこにあんの↑

M：■□のねー とこにあんの しかも△△△△ってすごくねー きれいなものー 設備がちょーきれいなんだあー

K：○○○ 行かないの↑ ○○○の・・・

M：○○○の□□□□↑ たかあーいうえにねー すごいねー きたないじゃん

K：□□□□□っていうんだあ フフフ・・・□□・・・

M：でも すごーい広くて個室が で お風呂とかもすごくきれいな

K：へー いま ひとりで行くの↑

M：うん そう

「JR のさー とちゅうのところがいいなあー」という要望に、相手が要望を受け入れる前提で「JR の途中のところ」と尋ねたところ、それには直接対応せず、「あのさー ×××の とおりのさー」という追加情報で対応し、相手も共通知識から理解している。「なんで駅じゃないの」と尋ねられて、「△△△△に行きたいっていつてるじゃん」と対応している。この会話の前に 2 人の女性が会話していたからである。K は、話題に関心がないか、ほかのことを考えていたか、参加しない方がいいと思っていたかは不明だが、聞いていなかった。しかし、M は聞いていると思っているため、少し強めの言い方で「△△△△に行きたいっていつてるじゃん」と言っている。にもかかわらず、K の「いま ひとりで行くの」に対しては、「うん そう」と機嫌よく対応している。その前に、△△△△の説明をして、気分が、高揚しているからである。

ポジティブな態度（好意）を伝える際の非言語的行動で影響力があるのは、「対人距離」，「視線交差」，「体の傾き」，「体の向き」である。対人距離が小さいほど，視線交差は多いほど，体は前へ傾くほど，体の向きが相手に直面しているほど，よりポジティブな態度を伝えていると A. メラビアンは言う。「なんで駅じゃないの」ということに，相手は心的身体的な距離感を感じてネガティブな態度をとったとも考えられる。アーガイル. M の言う

ように、顔面表情、声の調子、姿勢などで伝達される対人態度に相手はネガティブな態度をとり、後者は聴者の聴く態度でネガティブな態度が解消されたと考えられなくもない。

コミュニケーションとは、

- ◆ 到達目標がある
- ◆ 当事者間にインフォメーション・ギャップがある
- ◆ インフォメーション・ギャップを埋める作業を共同で行う
- ◆ 当事者間の相互作用で作り上げる
- ◆ 広義の非言語行動がコミュニケーション達成の重要な要素である
- ◆ 対人的な関心の度合いを示すという情意的機能がある
- ◆ 対人関係を築く、保つ、絶つものである
- ◆ 顔面表情（目線を含む）、態度、姿勢、服装、髪型、化粧、手足の仕草、対人距離などが大きくコミュニケーションの成否にかかわるものである

※これらは、前述の複数の事例でも重要視されている。

3. コミュニケーション能力とは

コミュニケーション能力とは総合的にとらえなければならないものとする。なぜなら、前項でコミュニケーションには、言語、非言語すべてが大きく関与すると考えるからである。従来の日本語教育では、一般的な音声、語彙、文法などの力を範囲とし、発話力（発信）と理解力（受信）に注視してきた。例えば、前述の学習者タイプ別目標構造表や松岡洋子・宮本律子（2003）も発話力（発信）と理解力（受信）に重きが置かれている。

しかし、生活ということをキーにする限り、対応力（相手の発話意図を正確に理解し、それに対して適切な対応をする力。認知力、判断力、推理力、洞察力などが大きく関わる。）が必要となる。

コミュニケーションの目標達成の成否には、到達目標、インフォメーション・ギャップ、対人関係に関わる情意的機能をもつ非言語行動、当事者間の目標達成のための相互作用が大きな影響を及ぼすことは前項で述べた。コミュニケーションには様々な要素がプラス、マイナスの方向（当事者間の理解や評価の方向）に絡むことで様々なケースが生じる。これに臨機応変に対応するためには、先行知識の質量（ときとして先入観を招く）と、これを促進する、

- ✧ 収集能力：他人から提供されるのを待つのではなく、必要となる異質な素材を自力で感知して探し出して収集することのできる力
- ✧ 編成能力：収集された種々な異質素材の間の関係を推論して結合し、それらを全体としてまとまりのあるものに編成（推論、接続、総合化、体系化など）する力
- ✧ 反復・改善能力：素材の収集と編成の過程を経て作られたものを評価し、その結果に基づき必要な修正を行い、よりよいものに改善するという過程を反復して行う力の三つが必要である。

先行知識がない場面に遭遇することも当然ある。この点も含め、上記の三つの力を駆使する支えとして以下の力や態度が考えられる。これらは異文化適応にも大きく関わる。

- ◆ 解釈：記憶している情報を説明する力
- ◆ 確認：事象や情報の部分に対して、ある観点から追認する力
- ◆ 分類比較：ある観点から対象事象の類似や差違を判別する力
- ◆ 一般化：個々の特定事例から一般的な結論をひき出す力
- ◆ 推論：検討した情報から結論に到達するために適切な一般的な原則を用いる力
- ◆ 分析：対象の要素を分析し、その関係を明確にし、構成原理に注目する力
- ◆ 総合：部分を意味のある全体にまとめ、新しい規則や原理を見出す力
- ◆ 仮説設定：広く受容される規則をさらに追究する手段をまとめる力
- ◆ 予測：規則や原理を手がかりに、今後生起する事象を想定する力
- ◆ 評価：観点を明示し、対象の価値を判断する力
- ◆ 模倣：模範に従い、複製する力
- ◆ 様式化：自力である技能を駆使する力

- ♦ 習得：ある特定の場面で，正確かつ適当な速さで，ある技能を駆使する力
- ♦ 適用：いろいろな場面で，正確かつ適当な速さで，ある技能を駆使する力
- ♦ 適正化：習得した技能を，修正，適応させて用いる力
- ・ 反応：与えられた指示への態度
- ・ 同意：指示どおり実行する態度
- ・ 受容：関連した活動を行うことで，行動や考えに価値の発見を示す態度
- ・ 選択：選んだ理由を明示することで行動や考えに価値の発見を示す態度
- ・ 人格化：ある価値観に基づいた行動様式を示す態度

上記の項目を踏まえて，次のコミュニケーションを見てみる。

スポーツ用品店で店員 J に会員制について尋ねる 40 代の女性 F, ブラジル国籍・ポルトガル語母語話者, 日本語学習歴 2 年 (日本語学校), フランス語・スペイン語・英語学習経験あり, 家族あり (配偶者が日本人), 会社員

同種のデータは, 独立行政法人国語研究所の日本語教育ネットワークから入手可能。

<http://dbms.kokken.go.jp/nknet/ndata/>

※文字化書式は, 他のデータと異なる。

- 1 F: すいません こちらが あのー しん あの 新宿の 【スポーツ用品店名 A】
(J: そうです) の 受付なんですか↑
- 2 J: 《聴取不能》 お待ちくださいませ
- 3 F: いえ あの ちょっと おたずねしたいことあるんです
- 4 J: はい (F: けれども) どうぞおかけください《間》《J は他の応対。店員は 1 人しかいない》
- 5 J: はい
- 6 F: あっ すいません あの 夫が【会社名 B】に勤めてるんですね↑ それで あの
よく話がわからないんですが 【会社名 B】はこちらと 何か こう
- 7 J: 法人会員になっちゃるんですか↑
- 8 F: はい↑
- 9 J: 法人会員に なっちゃるんですか↑
- 10 F: えっ ちょっと 意味が わからないんですが
- 11 J: えーと 会員になってるっていうことですか
- 12 F: よく たぶん 会社が こちらに 何か こう 関係があると思うんですよね
こ
こちらを (J: ええ) 利用できるとか と ま わから
- 13 J: ちょっと 待ってて ください
- 14 F: はい すいません
- 15 J: 【会社名 B】様
- 16 F: はい そうです 《間》 【都市名 C】なんです 《間》

17 J : えーと 【会社名 B】 様はこちらに入って 《聴取不能》 ないんです
 18 F : えーと よく わかって 【会社名 B】 《間》 たぶん【会社名 B】 だと思う
 んですよね あたしも
 19 J : 《聴取不能》
 20 F : えーと 【都市名 C】 えっと 【会社名 D】に かん ブランチになる 会社
 なんですけども《間》《J は調べてる際中にまた他の人との応対》
 21 J : えーと 【会社名 D の一部】 (F : 【会社名 D の一部】) 【会社名 D の一部】
 と《聴取不能》 では入ってますね (F : はい) えっ 【会社名 E】と関係
 がありますか
 22 F : あると思うんですけど
 23 J : 【会社名 E の一部】 《聴取不能》 様でしたら会員になってますので (F :
 はい) あの そこの 担当の方に この券をもらいまして 来て いただくと
 (F : はい) 7000 円の代わりに 1800 円で 《聴取不能》
 24 F : えーと これ 《見本券を指差し》
 25 J : それは 枚数が 決まってるんですよ
 26 F : これは 1 回でせん 1700
 27 J : で 1 枚 1800 円
 28 F : 1800 円で
 29 J : 《聴取不能》
 30 F : ああ そうですか ふーん それで これは 何枚か買うんですか もとめるの
 31 J : いえ あの 何枚下さるかは (F : はい) 会社で (F : はい) 《聴取不
 能》 いると思いますので (F : はい) あの 今日 いきなり 《聴取不能》
 です これを お持ちいただくと (F : はい) 1800 円か 1500 円で 《聴取
 不能》
 32 F : これは えーと 何時間 とか 時間制限
 33 J : え あの 4 時前に入場すれば 値段が安くなるだけで (F : はい) 夜 9 時半
 までやってますから (F : はい) 《聴取不能》 になれます (F : はあ)
 で あの 9 時半に終わりますので 8 時頃までに お入りいただいて 日曜
 祭日は (F : はい) えー 6 時半までに 入られて 運動ができるんです
 34 F : えっと 何時です↑
 35 J : 6 時半までです
 36 F : ああ 6 時半ですか

この外国人が情報を収集する機能を具現化している表現形式は様々である。

8 F : はい↑

10 F : えっ ちょっと 意味が わからないんですが

1 F : すいません こちらが あのー しん あの 新宿の 【スポーツ用品店名 A】
 (J : そうです) の 受付なんですか↑

3 F : いえ あの ちょっと おたずねしたいことあるんです

- 6 F: あっ すいません あの 夫が【会社名 B】に勤めてるんですね↑ それで あの
よく話がわからないんですが 【会社名 B】はこちらと 何か こう
- 12 F: よく たぶん 会社が こちらに 何か こう 関係があると思うんですよね こ
こちらを (J: ええ) 利用できるとか と ま わから
- 18 F: えーと よく わかって 【会社名 B】 《間》 たぶん【会社名 B】だと思っ
たんですよね あたしも
- 20 F: えーと 【都市名 C】 えっと 【会社名 D】に かん ブランチになる 会社な
んですけども《間》《Jは調べてる際中にまた他の人との応対》
- 22 F: あると思うんですけど
- 26 F: これは 1回でせん 1700
- 30 F: ああ そうですか ふーん それで これは 何枚か買うんですか もとめる
- 32 F: これは えーと 何時間 とか 時間制限
- 34 F: えっと 何時です↑

これで得られた情報の理解，理解した部分を先行知識と合わせての編集，必要なら再度の
情報収集，表現形式選択時の反復・改善や次回の場合のときの反復・改善などが繰り返さ
れ，かつ新たな知識や日本語の獲得で対応力がより形成されていく。したがって，まずは
情報収集と収集した情報の理解をより充実させることがコミュニケーションを円滑にする。

4. 実際のやり取りとコミュニケーション能力

「ア 日本人・外国人間の接触場面における発話データベースの作成・分析」で収集した OPI 判定情報付きの発話データ（220 件）を見てみる。OPI は、規定の判定尺度によるインタビューで口頭運用力を見るものである。本来なら判定した時点でインタビューが終了となるが、ここでは第一義が判定そのものではなく、判定情報が付いた発話データの収集であるため、全員に約 30 分のインタビューを行い、録音し、文字化をした。T は日本人面談者、I は外国人である。

下記に示すのは、冒頭の 2 分間のものである。発話データのすべては、テキストと音声両方を Web サイトで公開する準備を進めている。公開の準備が整い次第、文化庁などの Web サイトや様々なメーリングリストでお知らせする。

なお、文字化資料をもとに、動詞、形容詞、副詞の出現頻度、発話交替回数、文字数、及びこれらと個人属性情報との関連を進めているところであるが、委託期間内には間に合わないため、発話データを公開するときに合わせて提供する。

また、以下の情報については、調査時点での合意を踏まえて、発話データを公開するときに合わせて提供する。ただし、個人が特定できるものは一切公開しない。なお、以下の情報は、予見をもたないように、やり取りを見るときは分析担当者には情報としてインプットされていない。

○インタビュー実施日・月・時分、実施場所

○インタビュー実施者氏名、被インタビュー者氏名、連絡先、インタビュー実施前のレベル、生年（西暦）、性別、住所・連絡先（電話等）、第一言語（母語）、習得第二言語名、日本語学習年・月数（日本の教室形態）、日本語学習年・月数（日本以外の教室形態）、日本居住合計年・月数、家族の有無と構成、親しい日本人の知人の有無と人数、現職、過去の職歴（日本）、過去の居住地（日本）

○1st Rate 実施者氏名と判定結果、2nd Rate 実施者氏名と判定結果、3rd Rate 実施者氏名と判定結果

< 参考 >

OPI の判定尺度の概観を次ページに示す。

詳細は、<http://www.actfl.org/i4a/pages/index.cfm?pageid=3348>, あるいは牧野成一他（2001）『ACTFL-OPI 入門』アルク、を参照されたい。

1. 概略

超級：裏付けのある意見が述べられる。仮説が立てられる。言語的に不慣れな状況に対応できる。フォーマル／インフォーマルな状況で、抽象的な話題、専門的な話題を幅広くこなせる。

上級：詳しい説明・叙述ができる。予期していない複雑な状況に対応できる。インフォーマルな状況で具体的な話題がこなせる。フォーマルな状況で話せることもある。

中級：意味のある陳述・質問内容を、模倣ではなく想像できる。サバイバルのタスクを遂行できるが、会話の主導権を取ることはできない。日常的な場面で身近な日常的な話題が話せる。

初級：機能的な能力がない。暗記した語句を使って、最低の伝達などの極めて限られた内容が話せる。非常に身近な場面において挨拶を行う。

2. 正確さ

超級：基本構文に間違いがまずない。低頻度構文には間違いがあるが伝達には支障がない語彙が豊富。特に漢語系の抽象語彙が駆使できる。誰が聞いても分かる。母語の痕跡がほとんどない。くだけた表現もかしこまった表現もできる。ターン・テイキング、重要な情報のハイライトの仕方、間の取り方、相槌が巧みにできる。会話全体が滑らか。

上級：談話文法を使って統括された段落が作れる。漢語系の抽象語彙の部分的コントロールができる。外国人の発音に慣れていない人にも分かるが、母語の影響が残っている。主なスピーチ・レベルが使える。敬語は部分的コントロールだけ。相槌、言い換えができる。ときどきつかえることはあるが、一人でどんどん話せる。

中級：高頻度構文がかなりコントロールされている。具体的で身近な基礎語彙が使える。外国人の日本語に慣れている人には分かる。常体か敬体のどちらかが駆使できる。相槌、言い換えなどに成功するのは稀である。つかえることが多く、一人で話しつつけることは難しい。

初級：語・句のレベルのため文法構造は事実上見られない。丸暗記した基礎語彙や挨拶言葉が少し使える。母語の影響が強く、外国人の日本語に慣れている人にも分かりにくい。暗記した待遇表現はできる。語用論的能力はない。流暢さはない。

OPI 判定（初級一下）

中国語母語話者，男性，20 代，日本語学習歴 3 年 3 か月（高校，大学），在日 3 か月，
家族なし，日本人の友人なし，学生

T：こんにちは，【姓A】です

I：こんにちは

T：っとーお名前は

I：わたしは【姓名B】です

T：じゃあ【姓B】さんとお呼びしていいですか，【姓B】さんとお呼びしますね

I：どういう

T：＊，あつ，わたしが【姓B】さ，【姓B】さんですね

I：はい

T：はい，じゃあ，えーと，【姓B】さん自己紹介を，お願いできますか

I：あー，わたしは，【姓名B】です〈うーん〉，あー，うーん，二十歳，二十歳さいです〈うーん〉，うーん，わたしは，えー，中国，中国から〈うん〉，から，です，あー，あーわたしは，家族は〈はい〉，家族は，4 人です〈うーん〉，父，母，と弟〈はい〉，わたしです〈うーん〉，うーん，でじあつ{息を吸う音}，山西省

T：あつ，中国の山西省

I：あー，山西省です

T：あー，へー

I：えー，以上です

T：以上です〈{笑}〉，そうですか，中国の山西省から，来ましたね〈はい〉，来たんですね〈はい〉，中国の山西省は中国のどこにありますか

I：うん，うんじょう

T：うんじょう

I：あ

T：うんじょうというのは，北，南，東西の中国のどこ，どの辺りですか

I：南

T：南のほうですか

I：{息を吸う音}

T：中国の北，南っていうと南のほう

I：は，は

T：ですか，あーそうですか，じゃあ暖かいですか

I：はあ

T：うーん，今ここは結構雪が降ってますけど，そのうんじょうは雪，降りますか

I：はあ

T：あつ，うんじょうでも雪が降りますか

I：うん

T：その山西省

I: 山西省はい
T: 雪降りますか
I: えー, ゆうみゅう {息を吸う音}
T: 雪
I: はい, えー, めい
T: めい 〈うん〉, めいは何ですか
I: めいたのめい
T: あー, 中国語全然分からないんです 〈えー〉, 日本語で言えますか
I: えー, 日本 〈うん〉, ジェンタフー
T: その山西省は, 雪, 雪分かりますか, 雪, 冬に
I: 冬, 雪
T: 降りますね 〈うん〉, 白い雪
I: はい, はい
T: うん, 雪, 山西省も雪が, ありますか, 降りますか
I: あります
T: あります
I: はい
T: ほー, どれぐらいありますか 〈ん〉, たくさんですか, 少しですか
I: たくさん
T: たくさん, あっ, じゃあ結構寒いですね
I: はい
T: あっ, じゃあ, えっ, 中国の北のほうですか, 山西省, 中国の北, 南, 東西でいうと, 北のほうなんですかね
I: 北

OPI 判定（初級－中）

レソト語母語話者，女性，30 代，日本語学習 4 か月，英語学習経験，在日 4 か月，家族なし，日本の友人なし，外交官

T: は、はい、{笑}じゃあ、始めましょうか、はい、よろしくお願いします、えっと、わたしは【姓A】と申します

I: 【姓A】と

T: はい、【姓A】です、はい、<【姓A】です、はい>、はい、おな、はい、お名前は、なんですか、お名前は

I: 【姓B】です

T: 【姓B】さん

I: 【姓B】です、はい、<はい>

T: え、お国はどちらですか

I: レソットから来ました

T: レソット

I: はい

T: あーそうですか、はい、えーと、レソットは、遠いですね{笑}

I: 遠い、ずーっと遠いです{笑}、はい{息を吸う}

T: ずーっと遠いですね{笑}、あーそうですね、えー、今、日本に来て、どのぐらい、ですか

I: あー、よー、よかげつー、<あー>、はい、<四カ月>、はい、よカ月、ぐらいです{笑}

T: あー、四カ月、ぐらいです、あーはい、<はいはい>、もう、慣れましたか

I: はい、も、なれー、もー、{舌打ち}、なる[慣れ]ました

T: 慣れました、<{笑}>、はいそうですか、はいそうですか{笑}、あー、えと、今、日本は、ちょっと、寒いですがー、<はい>、えー、レソトは、どうですか

I: いまー、<はい>、うん、レソトはー、<はい>、夏、夏です

T: あーそうですか、今夏です、<はい>、あー、一番ー、暑いーのは、いつですか

I: えー、レソトーは、季節ー、<はい>、がー、<はい>、四つあります

T: あー、そうですか、四つ、<はいはいはい>、あー、日本と同じですね

I: はい、<あー>、はい、同じです、<あー>、はい

T: えーとじゃあ、夏はー、えー、いつですか、今ー、ですね

I: いまー、うーん、<はい>、夏、<はい>、はいはい

T: 何月からー、何月ですか

I: あーん、いー、十一じ、十一じー、<はい>、がつー、<はい>、がらー、<はい>、じゅうー、うん、うーん、三月まで、<あー>、はい、はい

OPI 判定（初級－中）

中国語母語話者，女性，30 代，日本語学習歴 1 年 1 か月（日本語学校，独学），在日 7 か月，家族あり，日本の友人なし，主婦（元会社員）

T：はい，じゃあ，えーこんにちはー

I：あー，こんにちはー

T：はい，あのわたしの名前は，【姓A】です

I：【姓A】です，はい

T：はい，よろしくお願ひしまーす

I：あー {笑} 〈えー，た〉，わたしの名前は 〈えー〉，ほー，うー，【姓B】です

T：あ，すみません，*****

I：うーん，ちゅすちゅす，【姓B】で

T：【姓B】さんですね

I：はい【姓B】さんです，よろしくお願ひします

T：じゃあ，よろしくお願ひしまーす，えー【姓B】さーんでいいですか，【姓B】さん 〈あーい〉，【姓B】さん，どっち

I：はい，ですか

T：【姓B】さん

I：はい【姓B】さん

T：はいはい，あ，【姓B】さんは，あの一今，どこに住んでいますか

I：ん，どこに一，【地名C】

T：あーそうですか 〈はいー〉，じゃあここ【施設名D】に，えーつと，毎週いらっしゃいますか

I：【施設名D】〈うん〉，らい，何

T：毎週，毎週

I：んー {笑}

T：あー，じゃあきょう，きょうはー 〈はい〉，【地名C】からここまでー 〈えー〉，あの，どうやって，来ましたか

I：来ます，んー，じゅう，じゅうじー [10 時] からー 〈はい〉，あー，じゅういにちまで 〈うん〉，あ 〈と*****〉，勉強 〈勉強します〉，勉強します

T：あ，そうですかー 〈はいー〉，あー，え，それで何曜日ですか，勉強し，するのは

I：なんい，なんよう，び

T：うん，月曜日

I：月曜日

T：火曜日，水曜日

I：あー，ちゅ月曜日

T：月曜日 〈はいー〉，あ，月曜日の 10 時から勉強し，するんですね

I：はいー

T：あー，そうですか楽しいですか

I：はなしい

T: 楽しいですか, 勉強は楽しいですか

I: めん {笑}

T: {笑} あーそうですか, はい, じゃあ, あの一, 月曜日にここにいらっしゃって〈あー〉,
あの, クラス, クラスの, 学生さんは何人ぐらい居ますか 〈ん, んー {笑}〉, 学生は何人
居ますか 〈何を***〉, 一人二人三人

I: {息を吸う音} あー二人ともだちー [友達]

OPI 判定（初－上 UR）

中国語母語話者，男性，20 代，日本語学習歴 1 年（日本語学校，専門学校），英語学習経験，在日 8 か月，家族なし，日本の友人なし，日本でテックンドー指導員

T：こんにちは

I：うん，こんにちは

T：えー【姓A】です，よろしくお願いします

I：【姓名B】です，よろしくお願いします

T：はいよろしくお願いします，【姓B】さんですね

I：はい

T：【姓B】さんお国はどちらですか

I：中国です

T：中国ですか

I：はい

T：は一中国ってすごく広いですけど〈{笑}〉，中国のどこですか

I：中国の，洛陽です

T：洛陽

I：はい

T：へー，わたし洛陽行ったことがないんですけど〈うんうん〉，ちょっとどんな所が教えていただけますか

I：うーん，あー，きれいの道ですね〈はい〉，うーん，花の道

T：花の道

I：はい

T：へー，それ教えてください

I：あー，中国の，あー，一番の，うん，ボタン[ボタン]{机をたたく音}，花

T：ボタンの花

I：はい

T：ふーん

I：の道

T：の町

I：はい，あっはい

T：へーそうですか，洛陽，うーん{机をたたく音}，じゃあ，今度，そうですね，冬休み，わたしその洛陽に旅行に行きたいんですけど，どんなところを見たらいいですか

I：あー，洛陽のボタンの公園です

T：ボタンの公園

I：はい〈へー〉，とても，お，大きい，あ，いろいろな観光客は来てる，えー来ます

T：へーそうですか

I：はい

T：大きい公園

I：はい

T: なんていう公園ですか

I: あー, ボタン公園

T: ボタン公園

I: はい

T: へー, 大きくて, もうちょっと詳しく教えてください

I: あ, あー, 大きい公園, うん, うー, いろいろなボタン, を, 作るの所ですね, 〈へー〉, うん, ボタンの, おー, 色は, あ, たくさんあるので 〈はい〉, えーちよくで, 中国で一番の花です

T: へー, ほー

I: はい

T: ボタンの花がいっぱいある公園なんですね

I: はい

T: へー, じゃきれいでしょね {机をたたく音}

I: はい

T: ふーん, 洛陽に行ったら, じゃあ, 何かどんな料理を食べたらいいでしょうか

I: {机をたたく音} 洛陽の料理は, 名前は, 洛陽料理, {笑} です, う, それは

T: ラーメン, へー, どんなラーメンですか

I: ラ, ラーメンじゃない

T: はい

I: 洛陽の料理は, 水料理

OPI 判定（中級一下）

中国語母語話者，女性，20 代，日本語学習歴 1 年 5 か月（大学），英語学習経験，在日 9 か月，家族なし，日本の友人なし，学生

T: はい，宜しくお願いします

I: 宜しくお願い致します

T: はい，え，私は【姓A】です，お名前をお願いします

I: わた一，くし，は，【姓B】，と思います，宜しくお願いします

T: はい，【姓A】さん

I: はい

T: えーと，{息を吸う音}【姓A】さんは，どちらの出身ですか

I: あの，江蘇省の，たいしゅう，です

T: たいしゅう

I: はい

T: たいしゅう，というのは，どこにあるんですか

I: あの一，中国の，中部，たぶん，中部です

T: 中部ですか

I: うん，はい

T: 中部ということは，あんまり寒くないですか

I: あん，寒くない

T: あー，そうですか，何度ぐらいまで下がりますか，冬は

I: あーん，うん，いっちど，りど[二度]，ぐらい，<うーん>

T: あ，うーん，そうですか，じゃ，雪はあんまり降りませんか

I: うーん，ちょっと，い，一年，いねん，一年は一，一かーい，ぐらいー

T: うーん，<たぶん>，そうですか，<はい>，うん，あの一，私，たいしゅうって，<はい>，あの一，どこに，行ったことがないので，よく分からないんですけど，<はい>，もし，あの一，<はい>，いま，愛知県にいますけれども，ここから<の一>，国に帰るとき，<な，なごよ [名古屋]，帰るとき，なごよ [名古屋]，みたい>，名古屋みたい，ですか，<あーそうです，うん>，うーん，帰るときは，その，どうやって，帰りますか

I: うーん，<ここから>，ひこきー[飛行機]

T: うんうん，<飛行機>，あの，ちょっとここ，学校を出てから，どうやって行けばいいか，詳しく教えてください

I: あの一，ここで，学校のバスー，うん，ことし，来た，あとで，JR，うーん，あの一，名古屋ー，きって，あの一，中部こ，くうこうこう，空港，<うんうん>，で，飛行機ー，うー，で，あの一，上海，ま，でー，の一，くるまー，<上海までくるま>

I: ち，うーん，な，な {笑}，名古屋，ひっでき，飛行機，上海来た，あとで，<うん>，くるまー，でー，うん，たいしゅう来た

OPI 判定 (中級-中)

中国語母語話者, 男性, 20 代, 日本語学習歴 3 年 (別科・大学, 専門学校), 在日 2 年 6 か月, 学生, 職歴なし, 家族なし, 日本の友人なし,

T: はい, では今から始めます, こんにちは

I: あーこんにちは [こんにちは]

T: はいわたしは【姓A】といいます

I: あ, あ, わたしは, あ, 【姓B】, と申します

T: えー【姓B】, さんですか

I: はいそうです (はい, えっと), よろしくお願ひします

T: よろしくお願ひします, えっ, 【姓Bの一部】えっと, みんななんて呼んでますか

I: あ, 友達は【名C】, って (はい, はい) 呼んで, います

T: あそうですか (はい), 【名C】さんがいいですかじゃ

I: はい, いいです

T: はい, じゃ【名C】さんは, どこから来たんですか

I: あー, 中国の, 内モンゴル, から, 来ました

T: はー内モンゴルですかー (はい), 遠いんでしょうね

I: あー, んまあ, 遠いけど (うん), いちんちー [一日] ぐらい福岡, 空港から出発して (うん), いちんちー [一日], かからない, くらい (あ), 到着

T: あーそうですか (はい), へー, あの一その, 一日っていうのは, あの一, 丸 24 時間って意味ですか

I: あーいえ, んー, 昼のあいだ, んーひこきー [飛行機] の時間は, ふ, し, 4 時間 5 時間ぐらい, かかります, はい

T: あ, そうですかー, 4 時間 5 時間, じゃーもうちょっと具体的に, 聞いてもいいですか (はい), もしじゃここから, わたしがー【名C】さんのふるさとに行くとしたら (はい), どういうふうに行ったらいいですか

I: あー, 簡単です (うん), まずー, ふく, 北京に着いて (うん), で北京の空港から, 直接, 地元の, んー航空便, があります (うん, うんうん), あー, で, 乗り換え, 北京で乗り換えて (うん), 地元が (うん), うん, 着けます

T: あそうですか {笑} (はい), 地元はなんていうところなんですか

I: あ, シリンホト (うん), という所です

T: あ, そこは北京から直接, もう飛行機で行ける所なんですか

I: あーはいそうです

T: シリン

I: シリンホト

T: シリンホト (はい, そうです), へー, どれぐらいですか, 北京から

I: あー北京から, ひこうきーだったら, 1 時間, かかりません, 1 時間

T: あー近いんですねーわりと

I: はいそうです, はい

T: あーはーはー, えーどんな所ですか

I: あー，地元だからー，美しいの所，美しい所と思います〈うん〉，あー，草原が，広いしー〈うん〉，あの一，いろいろ，食べ物が，おいしいし〈うんうん〉，そして，えー，人間の関係が〈うん〉，なんか優しい〈うーん〉，みたいな〈あーそう〉，みんなが熱心，と思います

T: あーそうですかー〈はい〉，わたしはぜんぜーん [全然] 知らない所なので，ちょっと想像がつかないんですけれども〈はい〉，その飛行場もある，大きい街ですよー

I: あー，普通ぐらいすね〈えー〉，人口が {息を吸う音}，えー20，25万ぐらいです

T: 25万

I: はい

T: あーは一は一，えー，じゃこーの街と同じぐらいですかねー

I: はい，【都市名D】市より，もっと，小さいですね

T: あーそうですかー〈はい〉，ふーん，えーで草原，っていうことでしたけどー，すぐ草原が広がってるんですか

I: あー，うん，街の周りは〈うん〉草原ですね

T: 全部

I: はいそうです〈ふーん〉，街から出てきて〈うん〉，が，草原が，見えます

T: あーそうですかー〈はい〉，えーそうしますとー，まちー [街] はどんなふうになってますかね街の中にはどんな物があるんですか

I: まちー [街] の中は，ひろーばー [広場]，が，うーん，小さい街だけど〈うん〉，ふたーつ [二つ]，みつー [三つ] の広場，があります〈うんうん〉，そしてあとは一，おてらー [お寺]，が一つがあります〈うんうん〉，あとは，で，ばい，てん [売店] とか〈うんうん〉いろいろ

T: 売店，ですか，へー

I: しょうがい〈ん〉，しょうがい〈うん〉，販売がいとか〈ふーん〉，はい

OPI 判定（中級－上）

中国語母語話者，男性，20 代，日本語学習歴 10 か月（日本語学校，大学），在日 9 か月，学生，職歴なし，家族あり，日本の友人あり

T：はい

I：ちょっと緊張します{笑}

T：こんにちは

I：こんにちは

T：あ，はい，えーと，じゃあ今日は，よろしくお願い致します

I：よろしくお願い致します

T：はい，じゃあ簡単にですね，自己紹介をしてください

I：はい，あー，はじめ，ます{笑}，はい，あーん，私は【氏名 A】です<はい>，あー，ちゅうご [中国] から，うーん，ちゅう，中国から来たーりゅがくせい [留学生] です，あの一{息を吸う音}，うーん，今年は一，23 歳です<はい>，うん，うーん，今は日本語を勉強しています，はい，とー{笑}，あー，大学では，私の，あー，私は，うーん，会計学と<会計学>，うん，あー，会計学と，うーん，法律学，を<うーん>，専攻しています<うーん>，うん，今は四年生ですから<はい>，はい，あー，きかくー，あん，きか，うん，帰国したあとは，あーん，すぐ，卒業します<うーん>，そして，うん，あの一，{舌打ち} うーん，しゅうが，うん，就職，就職して，あー，いい仕事を探したいです

T：あー<はい>，はい，わかりました，はい<はい>，えーとじゃあ，【氏名 A】さんは<うん>，中国のどこの出身ですか

I：うん，中国一の，かほくしょう [河北省]

T：河北省，の一<はい>，なん，というところですか

I：{息を吸う音} うーん，せーかーしょう<せいかしょう>せかしょう，し

T：あ，せいかしょうし，<はい>あー，そうですか，せいかしょうしっていうのは，中国の，どのあたりにあるんですか

I：{息を吸う音} 中国一，うーん，うーん，か，河北省の一しょうかい [省会]

T：しょうか<あ>，あー<しょうか>，えーとごめんなさい，河北省というのは，中国の<うん>，どのあたりに，なりますか

I：うーん，{息を吸う音} うーん，中国のの，北のほう<北のほうですか>，はい，そして，うん，北京は，き，うーん，河北省の，中でい，あります

OPI 判定（上級ー下）

英語母語話者，男性，40 代，日本語学習歴 13 年（日本語学校・大学・独学），在日 15 年，家族あり，日本人の友人あり，英語教師

T：はい，では，よろしくお願いします

I：はい，よろしくお願いします

T：はい，お久しぶりです

I：お久しぶりですね

T：はい，えー，【姓A】と申します〈あー〉どうぞよろしく，お名前は

I：あー，【姓B】と申します，どうぞ，よろしくお願いします

T：はい，こちらこそ，えっと，【姓B】さんと呼ばばいいですかね

I：はい {笑}

T：いいですか

I：はい {笑}

T：ええっと，えー，じゃあ，【姓B】さんのお国はどちらですか

I：あー，アメリカ〈アメリカ〉，です，はい

アメリカのどちらですか

I：あ，ニューヨーク州

T：あーそうですか

I：あー，米国のニューヨーク州です

T：あー {笑} そうですね，はい，大きな町ですよ

I：あーあー，はい，でも，私の〈うーん〉，ん，地元は，ちょっと田舎のほう

T：あーそうなんですか〈うん〉，あ，ニューヨークでも，町の部分と田舎があるんですか

I：あ，は，ある，あります，ニューヨーク州は〈あー〉，かなり，んー，大きいから

T：あーそう

I：あー，うん，とーかい [都会] のようなところもあるし〈うん，うん，うん〉，田舎のところもある

T：あーそうですか

I：うん

T：へえー，私は町だけかと思ってました〈あー〉，一度，行かなくてはいけないですね

I：あー，よく言われてます，その，すー，皆そう思ってるらしい

T：はい，なんかそういうイメージが〈うーん〉あるんですね〈あるね〉，でもそれはイメージだけです〈うん〉，なるほど，で，えっと，【姓B】さんはいつ日本に，来られましたか

I：あー，いつー，あー，恥ずかしことなんですけど〈いえいえ〉，最初に，きった [来た] のは，あー，留学生の時〈ふーん〉，でしたから，あ，じゅう {笑}，もう，もうすぐ 20 年前

T：あ，あー，もうすぐ 20 年ですか〈そう〉，へえー，そうですか，留学は，どこに留学していたんですか

I：あの，京都の，まあ，んー，まあ京都の小さいな [小さい]，大学で〈あーそうですか〉，

留学してた〈へえー〉、うん

T:その時は、ん、何年ぐらい留学、されてたんですか

I:んー、4カ月半 {笑}

T:あ、そーですか、ふーん、そのー

I:ただ1学期だけ

OPI 判定（上一下）

中国語母語話者，男性，40 代，日本語学習歴 3 年 10 か月（大学，独学），英語学習経験，在日 10 か月，日本で会社員経験，日本人の友人あり，家族あり

T：えーっと，こんばんは

I：こんばんは

T：えーとー，えー，お名前をお願いします

I：わたしは，【姓A】と，申します

T：Aさんですね，〈はい〉，わたしは，【姓B】と申します

I：はい

T：えーとー，Aさんは，えーと，どちらの，かたですか，お国はどちらですか

I：あ，わたしは，台湾からです

T：台湾ですか

I：はい

T：えーとー，台湾の，どちらですか

I：台湾の，【地名C】市，C，の，出身，です

T：C

I：Cですがー，〈はい〉，あの，【地名D】に，5 年，のあいだ，〈はは〉，は，うん，すこしって，いた[過ごしていた]

T：あ，そうですか，〈はい〉，C，か，えーっと，Dは，よく知って，聞きますけど，〈はい〉，あの一，C，は，あまり，知らないですし，Dは，ちょっと行ったことあるけど，Cはないですねー，〈あー〉，Cってどうですか，大きな町なんですか

I：Cは，小さい，そんなに大きくないんですがー，〈あー，は一，は一〉，あの一，歴史が一，うーん，一番長い，〈うーん〉，の一，一番長いの一，都市です

T：あーそうなんですか，〈はい〉，ちょっとその一，じゃあ，Cのことを，すこし，紹介して，もらえますか，〈あー〉，Cは，どんな町なんですか{息を吸う}，〈はい〉

I：Cは一，〈うん〉，あの一，一番有名なのは，〈うん〉，あの食べものです，〈食べもの〉，はい，の一，Cの，ひとは一，たべ，もの一，あの一，しっ，食べものが，ことわり[こだわり]，ます，〈うん〉，うん，そして，Cは一，交通一，について，〈うん〉，あの一，地下鉄一，〈うん〉，ん一，なん，などは，ないんですが，〈あーは一は一〉，みんな，バイクで，〈バイクで〉，はい，〈うーん〉，だから一，Cの人は，みんな，バイク[に乗ること]ができます，〈あーは一は一〉，はい，そして一，歴史が，長いから一，〈うん〉，あの一{息を吸う}，あの一，お寺とか，〈うんうんうん〉，あの一，古い，建物が〈うん〉有名です，うん，そして，Cは，あの一，あの，日本一に一，の一す，

OPI 判定（上級－上）

英語母語話者，男性，20 代，日本語学習 6 年（高校，大学），中国語・ドイツ語学習経験，在日 5 か月，家族なし，日本人の友人なし，学生

T：はい，ではインタビューを始めます，よろしくお願いします

I：よろしくお願いします

T：えーとなかなか，あの，たくさんお話しする機会が〈{笑}〉，あの一なかったのが今日
はとてもうれしいです

I：そうですね，はい

T：はい，えーと

I：はじめまして

T：{笑}はじめましてって感じですね，〈{笑}〉【姓A】です

I：はい，えージェイムスと申します

T：はい，えーとー，ジェイムスさんは，えーとー，どちらからいらしたんですか，お
国は

I：あの一，ぼくはイギリス人です

T：あ，そう〈はい〉ですか〈はい〉えーと，イギリスのどちらですか

I：あの一，あーん，ロンドンの，みなみ，の，のほう，あの，あーん，かいがんと，ロン
ドンのあいら，サリーという，〈へー〉とこ，ところ〈ああ〉つ，つまらない小さな小さな
〈そうなんですか〉{笑}はい

T：へーそうですかー，んー，えーと，毎日，センターで働きますか

I：あ，あーん，いえ，あーの，週 2 回，あん基本，あ，あー，火曜日と，木曜日〈あ〉だ
け

T：そうですか〈はい〉じゃ今日は，たまたま

I：そうです〈ですねー〉，そうです，うん{笑}〈はい〉たまたま，金曜日〈うーん{笑}〉，
しゅっきん[出勤]

T：毎日忙しいですか

I：毎日，まあ，あーん，忙しい{笑}というか，あーん，最近，忙しいです〈うん〉あの一，
くセンターの仕事は，あの一，ちょっと，す忙しくなってきました〈うーん〉あーん，今
うめら[梅田]，に住んで一ますから〈んん，あつ〉，ちょっと，とーく[遠く]から〈そうで
すね〉，んー，来てるから，あーん，はい，あーん，でも今，今，冬休み，で，あん今週は，
あん珍しく，いす，忙しいですか〈へー〉，あのふつに[普通に]，あんまり，ま，そ，こん
な感じ

T：まあまあな{笑}

I：はいまあまあ，まあまあ，はい

T：{息を吸う音}じゃたとえば〈はい〉，休みの日

I：あ休みね

T：土曜日と日曜日がお休みなんですか

I：はい，〈うーん〉そうです，あーん，そう，あの一，あ普通に，あーん，あー，月曜日，
水曜日，金曜日あー，あの一，違う学校で，あの一教師の仕事を〈あーそうなんですか〉

あーしてますが、あの一、あん出勤、時間は、そんなに、あん長くないで、あん一、あの一、しゅ、あー、すーそ、そんなに忙しくないが〈ん一〉、はい、あの一休みの日、あーん、土曜日と、あー日曜日、あーん、まー、あーサッカーチーム、サッカー試合し、したり、〈うーん、そうなんですかー〉あーん、買い物したり{笑}

OPI 判定（超級）

韓国語母語話者，男性，30 代，日本語学習 14 年（大学），英語学習経験，在日 10 年，
家族あり，日本人の友人あり，大学講師

T：あのこんにちは

I：こんにちはー

T：えーと，私【姓A】と申します，今日は〈はい〉，どうもありがとうございましたー，
忙しいときに

I：【姓B】と申します〈はい〉，よろしくお願いします

T：えーと，【姓B】さんは**大学でー，教えてらっしゃるんですね

I：はい，そうです〈はい〉

T：あの一，もしよろしかったらちょっと，自己紹介を〈あ一〉，いつごろ日本にいらして
一，あのどうゆうふうで，今〈え一〉，至られたとか

I：えーと一，私は 1999 年，だいが，あの韓国で，えー大学を卒業して，えー日本に来て
〈はい〉，まず 1 年間研究生をやって，その後，ちょっと事情があつ，つ，てま熊本に行っ
たんですけど，ま熊本で，く，熊本の，熊本で熊本の大学で，えー，修士課程をして，で
一，またふっきゅう，福岡に来て，きゅうし，九州大学で修士からから博士まで，えー，
もう 1 度やりました，あ，ええ，今は，えーと一，満期退学一，をして，博士論文を，書
いてる，ま，途中です〈はいん〉，で一，まその間に，けっ，あの一，日本人と結婚をして，
えー，子供が 2 人います

T：はい，そうですかー〈はい〉，あの一，じゃ，熊本に最初いらして，それからまた，こ
う新たにまたマスタを，いどーう，されたということ

I：そうですね

T：で，なにか専門が違うものをなさったとか，そういうことでしょうか

I：ええと一，専門一，ま熊本で，歴史一，ま一，日韓関係史をやったんですけど，で一，
九州大学で，まあ，教授法，というか，ま韓国語の教授法をやろうと思いましたが〈うー
ん〉，えー，なぜかこう，同じ歴史を，こう，続けてやることに〈うん〉なりました〈はい〉，
修士からやったのは一，ま，えー，歴史になるとやっぱ，古文書を読まないといけないの
で〈えーえーえーえー〉，その基礎一，をも 1 回，やり直すっていうことで，ま修士からや
ったのかな

T：あ一，なるほど，じゃ，あの九州大学のご専門というのは，やっぱり歴史でー

I：はい〈はい〉，で，時代がちょっと一，変わります〈あ一〉，熊本大学

T：じゃ，ちょっとその辺詳しく〈ええ〉，ええ，教えていただけますかー

I：熊本大学ではま，中世一，の日韓関係史一，をやったんですけど，まあ，九州大学では，
ま近世，江戸時代ですね，江戸時代の，ま日韓関係史〈うん〉，をやっています〈うーん，
ふんふんふん〉

OPI 判定（初級－上・中・下），（中級－上・中・下），（上級－上・中・下），（超級）情報が付いた発話データの中から任意の文字化を一例として挙げた。冒頭 2 分を抽出したこれらの例では，インタビューの当事者の違いや話題の違いもあるが，話者交替数と 1 回の発話量により，分量に差異が生じていることは興味深いポイントである。

冒頭 2 分のやり取り，220 件のうちの一例であり，音声がなく文字だけであり，一概に比較はできない。しかし，日本語学習（機関，指導形態，期間），日本在住期間，日本の友人の有無，家族内の日本人の有無の要素と，やり取りの様態に何らかの関係があるのではないかということは予想してよいのではないか。どのような観点から分類して，その関係を明示するかは，後の判定尺度を考えるときの資料となると確信する。

また，レベル間での差異を見ていく場合，印象や情感ということも重要な要素である。作文の評価では，評者の全体に対する印象を評価項目に上げる場合がある。スピーチ・コンテストでは印象や情感に関する評価が行われる。会話の場合も，当事者間に互いの印象や情感というものはある。したがって，上記に示した文字資料だけでの追究は限界があり，音声データ，当事者間の情意的な情報の収集は必要である。

しかし，文字化資料からも抽出できるポイントがある。会話では話者交替が頻繁に行われる。この交替の頻度（スムーズさという情意的なものは除く），1 回のやり取りにおける情報量，送受信情報の密度の濃さなどは，文字化資料から検討できる。これらは対人関係を踏まえた他者と円滑に日本語によるコミュニケーションにおいて重要な要素である。

以下の具体的なポイントを明示する必要がある。これは測定方法の検討につながる。

- ◆ コミュニケーションの到達目標，インフォメーション・ギャップ（先行知識の質量を含む。），先行知識の活用，対人関係・待遇意識，情意的機能をもつ非言語行動，当事者間の目標達成のための相互作用，全体的な印象を具体的にどのようにとらえるか。
- ◆ コミュニケーションにおける対応力（相手の発話意図を正確に理解し，それに対して適切な処理をする力。認知力，判断力，推理力，洞察力などが大きく関わる。）を具体的にどのようにとらえるか。
- ◆ 当事者間の理解と評価のプラス・マイナスの方向の決定要因を具体的にどのようにとらえるか。
- ◆ コミュニケーション成立の成否に関わり，対人的な関心の度合いを示す情意的機能（目線を含む顔面表情，態度，姿勢，服装，髪型，化粧，手足の仕草，対人距離など）と，関連する非言語行動や話題を具体的にどのようにとらえるか。
- ◆ 帰属する／しようとする集団への認識，集団内規範や慣習に対する当事者の認識を具体的にどのような枠組みでとらえるか。
- ◆ 必要となる適切な日本語表現形式や会話を促進する刺激要素を具体的にどのようにとらえるか。

以下に、一般的に示されている企業の業務遂行能力の指標を示す。その理由は、生活遂行能力の指標を考えるための一助とするためである。

レベル 1	大部分が繰り返しの、予測可能な業務を遂行する能力があればできる職務。
レベル 2	多様な状況下で、様々な業務に、既得の知識及びスキルを応用する能力があればできる職務。一部の業務は、複雑であり、繰り返しではなく、ある程度
	の個人的責任と自立性が求められる。グループやチーム内で他者と協調し、業務を遂行することがしばしば要求される。
レベル 3	複雑で、繰り返しではない種々の業務に、既得の知識及びスキルを応用する
	能力があればできる職務。相応の責任と自立性が求められ、他者を管理し、指導することがしばしば要求される。
レベル 4	多様な状況下で、複雑かつ技術的、専門的な業務に、既得の知識及びスキル
	を応用する能力があればできる職務。相当程度の個人的責任と自立性が求められ、他者の業務及びリソースの配分に対して責任を負うことがしばしば

浜松の製造業の会社の工場では、外国人従業員（派遣型）に対する日本語の理解度の判定を行っている。会社にとって作業の質と有能な人員の確保は必須である。そのため、作業のレベルと、それに必要な日本語力の枠組みを用意し、最初の面談や採用後の面談、及び周囲の人（日本人上司や同国人）の意見から総合的に評価している。

次に、会社側の日本語評価（90%・70%・50%・30%）と、当人の実際のやり取り（作業中と終業後の面談、※一部のみ作業中を記載）を具体的に示す。なお、会社は、当該外国人の職務に対する姿勢や希望、やる気も合わせて見ている。

受注生産型の精密機械工業，派遣社員，2003 年 12 月就労，在日 11 年，日系ブラジル人，男性，40 代，会社側の I の日本語の評価は 70%レベル

I：おはようございまーす おはようございまーす

J5：これちょっと，ここ見てもらえます

I：んーん，どーゆう？

J5：これこれ，ここね，何て言うか，これやるの忘れちゃって，最初はこれやったんですけど，これこれちょっとこっちゃり過ぎちゃったんですよ，これを前に

I：前に

J1：これをはずして，Y さん，んー，またこれを確認するの忘れちゃったんだ，これね

I：んー

J1：今これこっきちゃってるけど，これをこれ別に特にこれ目測でいいもんで，中心の方がいいにはいいじゃんね

J5：そ，いつもそうじゃんね

J1：中心中心って言われて，他もそうだけど，全部そうだけど，うんうん

J5：あー，これ真ん中の方がいいっすか↑

I：そう真ん中だよ，中心に・・・，あとは

J1：これこれ引っ張ってるだけだもんで，だもんでスプリングでしみ込んでこれを引っ張ってるだけだもんで，強いて言えば中心の方が，逆にこれで間違えじゃないけど，基本は中心だね，そう真ん中だね，全部全部こういう風に

I：あー

J5：あー

J1：じゃー，あば出し，あば出し，うん，これもう一回ゼロ，これだいたい心にして，これも一回フリーにしちゃおう

I：あー

J5：あー

I：はい，どうぞ

J1：Y さん，ちょっと見てください音，ちょっとチェック

I：はい，チェック

J1：どう音はそんな変わらん？グッド↑

I：グッドよ，

J1：ちょっと重いね，分からん，ここ閉めてえ

I：ここ↑

J1：これゆるめてあるけど，違うだよね，本当はない状態で，音鳴れば，慣れてくればいいけどちょっと気になる↑

I：ここだね，ここだけちょっと

J1：あー，

I：このね，この戻るとき，無い方がいいかな，両方・・・

J1：両方がいい？

I: こうして, こここうして
J1: こっちは, 上は・・・で, 下は, ああーはあー
I: もっと下は・・・, ・・・
J1: 直った?
I: この音はね
J1: ゴリゴリゴリという音ね
I: ****
J5: 下にね, 下に一部入ってる
I: 資料あったっけ↑
J5: それはね, それは俺のだな
I: あははっ, ・・・
J1: ちょっと確認↑
I: そう, ちょっと確認してから
J1: *****こうやって今やってるの, 今やってるの何やってるか分かる? こうや
ってYやったの↑
J5: 上とかを↑
I: この音ね
J1: これこれ, こうゆう風に力加えてやった場合と, こうゆう風に力入れてやった場合
と, こうやってえ, で, もし直るだったら締めた方がいいじゃんね↑
I: うん, ・・・
J5: うーん, こうならば上に入れるって事?
J1: それも目安になるしね
J5: うーん
I: うん, その場合は逆, 下はこうやってやって
J1: うーん《J1 と J5 2人で話す》
I: んー, 無茶苦茶。あははっ
J1: ははっ
I: こっちが出てるかな, あんまり変わらんなあ
J6: こっちはいい↑
J1: こっちはどう↑
I: こっちはいいよ, OKです
J1: そうは言っても, あんまりいいのじゃない
J6: それはKDCとコードなってるじゃんね
I: そう, KDCと一緒に
J6: KDCの・・・, KDCのほうそうあったじゃんね
I: 違うよあれは, KGK・KGMだけ, KDCはいつもあなた・・・
<以下, 省略>

終業後、I に対する 30 分の事後面談を行った。その一部は以下のとおりである。

J: これ覚えてますか↑

I: あははっ、はい

J1: はい、声を取らせてもらいました、色んな声を録音して、Y さんのしゃべってる日本語だけ、全部文字に打ってやりました

I: はははっ

J: ただ、ちょっとだけ分からなかった所があるので教えて下さい、教えてくださいね

I: あー

J: 難しくない、難しくないです、あっ、日本語は読めますか↑平仮名↑

I: ちょっと読める

J: 漢字はちょっと難しい↑

I: 漢字は、日本語も、あははっ

J1: 大丈夫大丈夫、まず、日本語って勉強しました↑

I: ちょっとね、ホント自分、辞書使って・・・、病院行ったとき・・・

J: あーあー、そうなんだー

I: ホントはね、学校行きたかった、行ったことないね、今ね、初めてよ、【機関名】の【会社名】の

J: あっ、【会社名】のクラスには出たことありますか↑日本語のクラス？

I: そう、あれが初めてね、【会社名】、ホントはいつも自分で日本語の勉強、だから、ちょっと下手、あっはっは、

J: いえいえいえ

I: だから、直したい私、私の話で悪い所、どこが違ってる↑話したい私、だから、言葉少ないね、私

J1: あっ、そっか【会社名】のクラスが初めて↑

I: そう

J1: その時まで日本語はゼロ

I: そう、ゼロ

J1: ホント↑

I: ホント、すごい難しい

J1: すごいしゃべれてる

I: 【会社名】の前の会社で 6 年仕事働いてるけど、ブラジル人だけで、日本語なんてしゃべらない、全部ポルトガル語、【会社名】で初めて日本人と一緒に、【会社名】も最初はあんまり

J1: あー、【会社名】ね、なるほどね

I: 私、【会社名】であんまり覚えてないし

J1: そっかそっか、日本に来て何年↑6 年↑

I: 違う、11 年かあ

J1: じゃあ、結構長い

I: でも、あんまり日本語覚えてない

J1: ホント?でもすごい日本語しゃべれてる

I: 最初, ブラジルから日本に来て, 私と奥さんと, 2年って決まってたのね, 2年働いて, またブラジル帰る, でも, ずっと, 子ども日本で生まれたから

J1: じゃあ, 1回こっちに来て帰って, また戻って来たってわけか↑

I: そう, 2000年だけ1回ブラジルに帰って, また戻ってきた

J1: じゃあ, 日本結構長い

I: うん, 長い, もっと頑張れば, もっとペラペラだった, 最初に来たときに, 日本にずっといるって決まれば, もっと日本語覚えた方がいい, 漢字とか, だいたいみんな, 2年とか4年とか働いて, ブラジル帰るから, 大体日本語覚えとけばいい, だから, 【会社名】も日本語できる人は正社員・・・, 正社員じゃなくて派遣会社だけで大丈夫, 正社員なんて考えてないの, ずっと住んでないし, すぐブラジル帰っちゃうもん, 日本語覚えない, だから, 今もうブラジル人家も買うし, ..., 日本ずっと住んでたいし

J1: うんうん, 日本で働いてブラジルに遊びに行く↑

I: うん, そう, 子ども生まれて, ブラジルの学校あまりよくないね, とりあえず, 日本で大きくして, その後, ブラジル帰ってもいいし, とりあえず, 日本にいて大きくしたい

J1: 家族はYさんと奥さんと子ども↑

I: 子ども2人

J1: 4人, あー, じゃあ結構いいですね, あとですね, 聞きたいことがありますて, 日本語教室には何回位参加した事がありますか↑

I: 日本語↑

J1: 【会社名】の日本語教室, ありません↑A先生とか。B先生とか

I: B先生, 上ね

J1: あっ, 中級, うん, 沢山↑10回↑

I: 何回だったかなあ↑

J1: 大体大体, あっ, 忘れちゃった↑大丈夫大丈夫

I: 5回くらいは

J1: また【会社名】の教室やってるので

I: でも, 時間ないね, 会社の残業もあるし, 子どもと遊びたいのもあるし, だから, 自分ちょっと頑張らないといけないね, 家でも勉強するとか

J1: あー

I: ...

J1: あー, なるほどね, じゃあ, かなり日本語の勉強はしたい気持ちでやってますね

I: ...

J1: あっ, 書いて勉強ね↑

I: そう, やってない, 読むだけ

J1: 読むだけ

I: ..., 書き順とかね

J1: なるほどね

I: 最初に覚えとかなないと難しいな、後で直すのは難しい、最初にしっかり覚えた方がいい、

J1: 日本語でも、勉強してるんですね、それはえらいと思います、仕事しながら勉強するのはなかなか大変ですよ↑

I: そうそう、仕事して勉強するのも、ちょっと疲れてる、土曜日・日曜日にした方がいいかな、仕事終わってからは疲れてる

J1: 元気な時はいいけど、仕事で疲れてるときはね、なかなかね、そおね、言葉をパソコンで文章にした中で、リーダーとか、リーダーさんがいるの、リーダーさんの名前とか分かりますか↑

I: 私のリーダー↑

J1: うん、

I: リーダーもういないね

J1: いない↑

I: この前リーダーで、もう職長になった

J1: あっ、この前は

I: C・・・さん

J1: C↑

I: 難しいね

J1: Cさん、Cさん↑はい、他にYさんがよく、工作中に困った事とか、お話しする人とか、頼む人とかいますか↑

I: 組み立ての時は問題出てるし、その日本語難しい話は、日本人に、毎日のように一緒に仕事して、私のこと分かる人に、例えば、言葉足りなくて分からないときは難しい

J1: あー、言葉を入れ替えたり、なるほどね、主にどんな人と話しますか↑名前は分らない↑

I: 主に、D・・・

J1: D↑

I: D・・・

J1: Eさん↑

I: そう、例えば部品の問題あったら電話で言うのは難しい

J1: あー、電話はありますか↑

I: 電話↑そう、電話ある、みんな持ってるね、どこにいる、分からなかったら連絡するね、いる人に、物を見るから分かる、説明するできる、だから、電話から話難しい

J1: あっ、なるほどねえ

I: いる人に・・・

J1: 分かった分かった、そこにいる人ね

I: いる人に話してできるけど、難しいなって、電話するも難しい

J1: もしその人に日本語通じなかったら、他の人↑がんばって伝える↑

I: ふっふっふ

<以下、省略>

次は、会社側の日本語の評価は 30%レベルの I の終業後の面談の文字化である。職場の文字化は、会話がほとんどないセクションのため、ここには記載しない。

受注生産型の精密機械工業，派遣社員，200 年 3 月就労，在日 10 年，日系 3 世ブラジル人，男性，20 代，会社側の日本語の評価は 30%レベル

J：日本語勉強しました↑

I：ブラジルで

J：あっ，ブラジル↑

I：ええ

J：いま，【会社名】で仕事の日本語はどうですか↑困ることない↑問題ない↑

I：うーん

J：あの，よく使う日本語ってなんですか，【会社名】で↑

I：疲れた

J：疲れた↑

I：うん

J：残業↑

I：うん↑

J：あの，一緒に仕事の日本人は誰ですか↑

I：L さん

J：L さん↑

I：うん

J：その人と日本語で話しをしますか↑

I：ちょっとだけ

J：いつ日本語で話しをしますか↑困ったとき↑大変だったとき↑

I：・・・

J：発注って言葉知ってます↑発注↑発注って言ってるんですけど，発注って言葉使います↑もう一度，日本人の人名前なんでしたっけ↑

I：L さん

J：あの耳があ

I：そうそう

J：あともう 1 人

I：B さん

J：B さん，全然，C さんじゃないじゃん 2 人↑

I：あと，D さん

J：あー，D さん，95〇00E って書いてある，部品↑

I：・・・

J：休みはないの↑休みはありますか↑

I: 今日
＜ポルトガル語で書かれた資料を見ながら＞
J: これはなんて書いてありますか↑
I: お母さん, お父さん, 友達
J: 友達↑
I: うん, 友達
J: あー, 食べたり, 休みの日は遊びに行ったりしますか↑土曜日・日曜日 こっちの
友達は行かない?
I: あー, うーん
J: これは日本語でどういう意味↑
I: スポーツ
J: お姉さんとはポルトガル語で話しますか↑
I: うふっふ
J: 日本語は話さない↑
I: うーん
J: お姉さん日本語できますか↑
I: できる
J: お父さん, お母さんは↑
I: できる
J: 今, 仕事で覚えている日本語はありますか↑日本語で今覚えている, 仕事で使う言
葉ありますか↑例えば, 不良とか欠品とか, 覚えている言葉ありますか↑
I: 不良, 欠品
J: 他にはありますか?
I: ***
J: コネクターは↑ボルトは分かるね↑
I: ボルト 分かる
J: 接続不良↑
I: あははっ
J: 黄ペン↑
I: 黄ペン
J: NG↑
I: NG 分かる
J: 欠品はわかるじゃんね, 調整↑不締まり↑
I: 不締まり 分かる
J: ホワイトボード↑
I: 分かる
J: あとは, ヘッド↑
I: ヘッド↑頭↑

作業中は、具体物を目の前にしてのやり取り、問題解決のためのやり取りが多い。その中で、指示詞、意見表明、語句レベルの発話の多さが顕著にみられる。事後面談でも、できるだけ眼前に資料や写真等を置いて行っているが、指示詞は作業中より少なく、応答、語句レベルの発話が多い。これは、課題解決等の方向性を当事者が持たないためである。このようなことは日常生活（買い物や雑談など）の会話でも見られることである。

コミュニケーションを図る力を見るために、実際のコミュニケーションに近づけようとするならば、測定対象者に何らかの方向性を持たせる必要がある。企業の採用試験でも見られるグループ・ワークやプロジェクト・ワークなどにも見られることである。

実際のコミュニケーションでは、

- ◆ 応答力が重要である。ただし、応答力とは必ずしもすべて理解することを意味しない。
- ◆ 情報収集を含め、何らかの課題解決のために行うものである
- ◆ 適切な話題の提示をする積極的な態度が会話を促進する
- ◆ 指示詞が多用されるので、その解釈力が求められる
- ◆ 互いの助け合い、協力の中でやり取りが進められていく
- ◆ どこまで相手に依存できるかの判断は重要である

これらを筆記試験で見ることが難しい。面談等の方法と測定項目の検討が必要である。

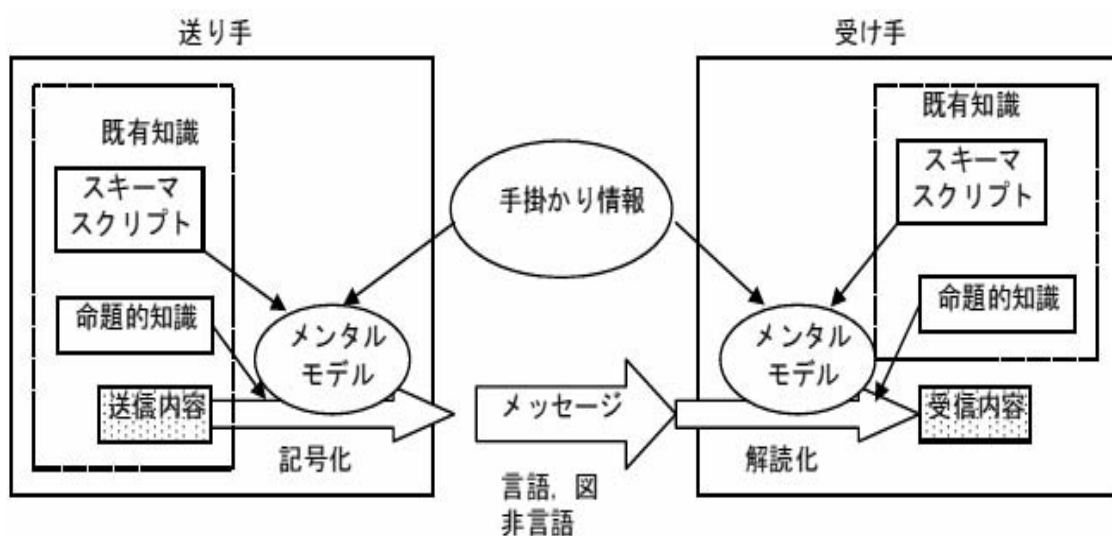
5. コミュニケーションと解釈・誤解

「イ 表現意図に関する日本語母語話者の解釈情報の収集と整理，分析，検討，報告」では，二つのことを試みている。一つは，疑似話し言葉である漫画表現を素材に，母語話者が漫画表現をどのように解釈するのか，その揺れ，差異はどうかということを探るものである。なぜ意思疎通で誤解（非好意的な解釈を含む。）が生じるのか。そのメカニズムを探る一つのアプローチとして，人は相手の言葉をどのようにとらえるのか。

日本語母語話者の中で，個人が揺れるもの，複数の人で差異が生じるものとして，どのような表現があるか。他者との円滑なコミュニケーションを行う力には，相手の表現意図を理解する力は必須である。発信された情報（発話）を受信する過程を構成する要素として，スキーマ，スクリプト，命題的知識，メンタルモデル（理解するために暫定的に形成される枠組み），手掛かり情報（視覚，聴覚，言語による情報），既有知識，記号化（言語形式の選択），解読化（言語形式の解読），送信内容・受信内容（意図，意味）を考える。

相手が言っていることが分からないということを，命題的知識，手掛かり情報が共有できていないと考える。考え方が違うということを，スキーマが異なると考える。自分の言っていることが分かってもらえないということを，メンタルモデルが形成できていないと考える。理解にもっとも関わるのが，命題的知識と手掛かり情報の共有，スキーマである。

映画やTVドラマと異なり，漫画は発信情報が少なく，読み手の受信情報処理過程（スキーマ，スクリプト，命題的知識，解読化）に依存する率が高い。実際の会話データでは表現意図の解釈に関する情報収集は難しいことから，漫画を素材として選択した。



以下は、日本語母語話者 52 名（大学生，主婦，日本語教師）の「すみません」の解釈判定事例である。解釈にある「／」は，異なる判定結果を示す。これらの漫画表現データは，すべて検索データベースとして公開する。URL 等の詳細は，現時点では未定である。

発話者	セリフ	場所	解釈
伯父	昨日 実家から荷物が届いていたんだよ。タベ 帰りが遅かったから渡せなくて。	店の寮の前	謝罪
見習い料理人	お手をかけてすみません。		
斉藤康彦	遅くなってすみませんでした!!	料理店厨房	謝罪
見習い料理人	はい。安いチョコですみませんけど お世話になっ ているお礼です。おじいさん!	中華料理店 厨房	弁明／謝罪
女性社長	グリーンピース!?結構よ ノーサンキュー。忙しいん だから 用が済んだら出てっちょうだい!	社長室	謝罪
見習い料理人	は はい。すみませんでした・・・!!		
料理人	すみませんでした!?	料理屋店内	謝罪
大将	ワシに謝られてもしゃーない……		
料理人	あの・・・すみません。ご予約いただいた『さば寿 司』 じつは売り切れて……	料理屋店内	謝罪
同年代常連客	すみませんでした・・・ウエッ。	料理屋店内	謝罪
料理人	そ そんな 泣かなくても……		
小売業者	ちょっと待ってて……	レストラン内	謝罪
料理人	あ ボクはこれで・・・つい長居してすみませんでし た。		
星野彩佳	あ すみません。ちょっとトイレ行ってきます。	卸売市場内	前置き
石平	星野さん! そろそろ行くぞ!! 仕度できてる!?	部屋の中	謝罪
星野彩佳	はい すみません! すぐ行きます!!		
診療所医師	だから お母さんといっしょに 向こうの部屋で待つ てて。	手術室前	感謝／謝罪
石原ゆかこ	すみません 先生。		
診療所医師	すいません どなたか・・・星野さんを見かけません でしたか?	漁業組合室	呼掛け
藤田小雪	あ ママお茶いれてくれる? あ 北野さん コーヒ ーのほうがいいですか?	藤田家玄関	前置き／感 謝・礼／謝罪
北野優二	すいません お茶を。		

木下哲郎	<u>すいません</u> 滝さんと呼んでいただけますか。	会社受付	前置き／呼掛け／謝罪
北野優二	<u>すいません!!</u> ライテックスの北野です! 遅くなりました!!	デパート事務所内	呼掛け／謝罪

これと同種の追究を行っているのが、2008年の社会言語科学会第22回大会ワークショップ「同一データの複眼的分析からわかること：岡崎敬語調査3場面の再分析」で朝日祥之（当時、独立行政法人国立国語研究所）が発表した「「スミマセン／スイマセン」の「ゆれ」について」である。この発表は、独立行政法人国語研究所の岡崎敬語調査データ⁵から「スミマセン／スイマセン」のコミュニケーション機能について論じたものである。詳細⁶は、脚注のURLを参照のこと。

「店でお釣りが足りない」状況、「しばらく荷物を預かってもらう」状況、「医者にかかる」状況で、日本人の20年代、30年代、50年代の人が「スミマセン／スイマセン」をどのように使い分けて発話しているかについてのものである。分析は、「「スミマセン／スイマセン」には複数のコミュニケーション機能がある」を前提に、「はたらきかけの地域差」（熊谷智子・篠崎晃一著、国立国語研究所編『言語行動における「配慮」の諸相』くろしお出版、2006）で示された枠組みを援用して行われている。

朝日が結論としているのが、以下である。

- ・話を切り出す場合には「スイマセン」を多く使用する傾向がある。
- ・恐縮を表明するには「スミマセン」を多く使用する傾向がある。
- ・回答者の年齢差も認められる
- ・調査場面の性質（話し手にとって利益となるか不利益となるか）で、使う傾向に差異が認められる

「話し手に利益となる依頼かどうか」、「場面の緊急性が高いか低い」、「年齢に伴う社会経験は多いか少ないか」など様々な要素が絡み、「スミマセン／スイマセン」が有する「切り出し・呼びかけ」と「対人配慮・恐れ」の機能のいずれが優先されて適当な表現として使用される傾向があるということである。

⁵ <http://www.kokken.go.jp/okazaki/>

⁶ <http://www.kokken.go.jp/okazaki/kenkyu/seika-happyo/seika20080930.html>

次は、同じ日本語母語話者 52 名の「当たり前」の解釈判定事例である。「当たり前」は、ほとんどの話者の判定が揺れず、「親しみや愛情がある言い方」と、「叱られている言い方」を区別している。音声情報を伴わない漫画のセリフ「当たり前」という情報が入力され、読み手は他の入力情報とともにメンタルモデルを作り、情報処理過程で既有知識の音声情報などを参照し、解釈をしたわけである。

発話者	セリフ	場所	解釈
ゆり	<u>当たり前</u> よ！	藤子の家	叱られている
	ほんとに死んじゃうとこよ!!		
五代	…… ……努力はしてます。	公園	叱られている
三鷹瞬	当たり前だバカ者。だいたいなー、きみがもう少ししっかりしてれば、こんなふうに会いに来なくてすんだんだ。		
五代	…… ……努力はしてます。	公園	親しみや愛情がある
三鷹瞬	<u>当たり前</u> だバカ者。		
常務	ど…どーしたんだ。きさま確か、健太様の秘書のハズじゃなかったのか？	会社の前の庭	親しみや愛情がある
北野優二	あれっ、知ってらっしゃるんですか？		
常務	う！い…いや…あ、 <u>当たり前</u> だろ。ワシは常務だぞ。		
チビ太	えっ。それじゃ、俺たちもそれまでは我慢ですか、陳料理長!?	店の裏	叱られている
料理長	<u>当たり前</u> だ！修行中に結婚なんてもってのほかだ!!		
	料理の修業と恋愛を両立できる人間なんて万人に一人だ!!		
北野優二	水着？それがさー、「課」でそれを作りたいって言ったら、みんなに怒られてさ——	屋外	叱られている
稲葉	<u>当たり前</u> だ——！		
月島藤の母	それよりお盆！ちゃんと島根に帰ってきなさいよ あんた	家	叱られている
月島藤	帰らなきゃダメ？		
月島藤の母	<u>当たり前</u> でしょ 何言っちゃーの 本家の長男がっ！		

外国人は、このような発話に伴い音声の様々な要素（音調、抑揚、アクセント、強弱、口の開き方、口に伴う表情など）についての理解がない場合、適切な表現の用法辞典もない現在、対訳辞書の意味で解釈するしかない。

外国人は、他者との円滑な日本語コミュニケーションのために、母語話者も解釈に揺れがある場面と表現形式について、どの程度のレベルが求められるのであろうか。3. で後述するコミュニケーションにおけるラポート・トークとレポート・トークについて、外国人は、ラポート・トークまで必要なものであろうか、という検討はすべての前提となる。また、コミュニケーションが当事者の相互作用、協働活動による目標達成活動であるならば、相手である日本人の対応も外国人のコミュニケーション力を評価する上で重要なポイントである。

他者との円滑な日本語コミュニケーションのために、外国人は何を求められるのか。

- ◆ 母語話者も解釈が揺れるものは含めないのか
- ◆ ラポート・トークなのか、レポート・トークなのか

そのとき、相手となる日本人には何が求められるのか。

これは、国語教育、日本語教育に関わることである。

6. 測定ツールとテスト

「イ 表現意図に関する日本語母語話者の解釈情報の収集と整理，分析，検討，報告」のもう一つの作業に，今後の Web テストによる自動診断の先行実験がある。これは，独立行政法人国語研究所で試作版として開発した「にほんご学びネット」というシステムの改良と実験稼働を行い，自動診断に必要な判定辞書のための日本語発話データの収集も合わせて行うものである。

英語では Web 上での自動診断ツール（ATR CALL⁷など）が稼働している。いずれも，発音，イントネーション等の音声練習の延長線上（矯正情報が提示される。）に位置付けられるものである。しかし，測定に必要な日本語データが十分な蓄積がないため，当面は練習ツールとして運用し，データ収集を行っているところである。

にほんご学びネット改良版⁸で目指すのは，前述の解釈の例も踏まえ，コミュニケーションの目標達成度から日本語での発信，受信の力量を測定しようとするものである。

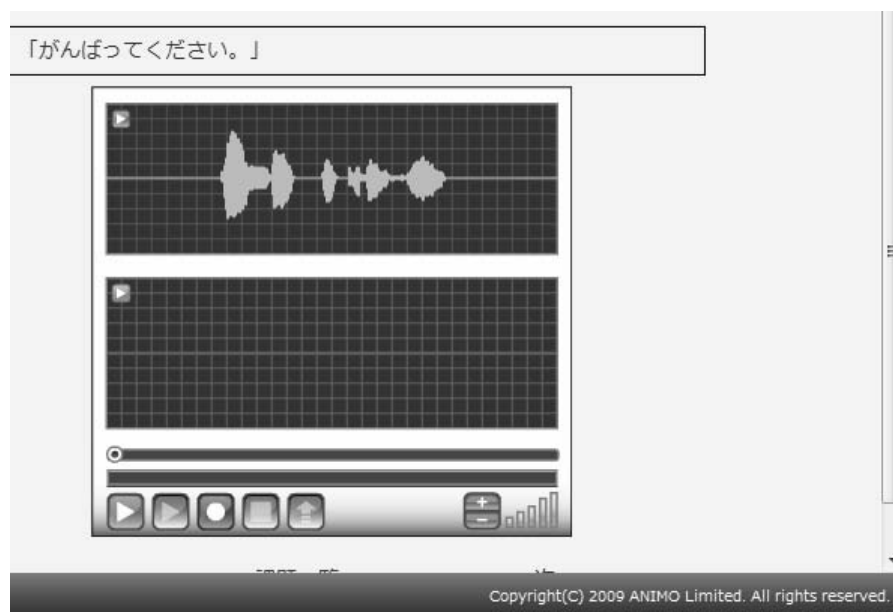
具体的には，次ページのように，ある動画や静止画を見ながら，マイクに向かって口頭で他者に分かりやすく説明をする，というものである。その説明について，様々な観点から測定をするが，特に重要なポイントは，聴き手が理解しやすいかである。言いよどみ，言い換え，訂正等はときとして高評価となることはあっても，常にマイナス評価になることはない，という方向から活動を進めている。

⁷ <http://www.atr-lt.jp/products/brix/index.html>

⁸ <http://www.manabi-net.jp/ptop> ※アクセスには事前登録が必要。
詳細は，yoshi131@nifty.com まで。



以下のように、一文レベルの発話の測定もあるが、これを測定の中心とは考えていない。



また、次のような課題に基づくインタビューで、順序を立てて話せるか、どれぐらい人に説明する力があるかといったことから日本語コミュニケーション力を調べられるかどうかの試行も、日系ブラジル人 20 名を対象に行った。これは、口頭面接、インフォメーションギャップを柱にしている。試行の結果、10 分以内で日本語の力を見分けることは可能ということが言える。

【課題：朝の様子】

朝起きてから学校や会社へ行くまでにすることについて話をさせる。

【質問】

- ① それぞれを指し示して、「何をしますか。」

- ② あなたが朝起きてすることはどれですか。しないことはどれですか。
- ③ あなたが朝起きるところから、家を出るまでの様子を話してください。

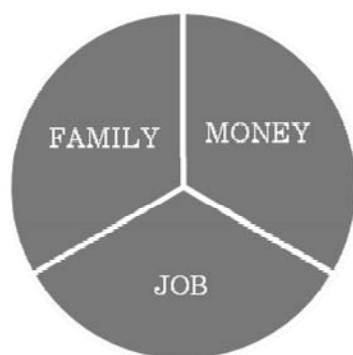


【課題：自分を語る】

あなたは頭の中でいつもどのようなことを考えていますか？ポルトガル語か日本語で書いてください。そして、日本語で説明してください。

Agora, viveu em Japão. Agora, de algum tipo da coisa é pensado na cabeça? Escreva por favor com Portuguese ou o japonês. Eu moro agora no Japão. É português ou é japonês e por favor escreva isto agora que tipo de coisa que você pensa em uma cabeça.

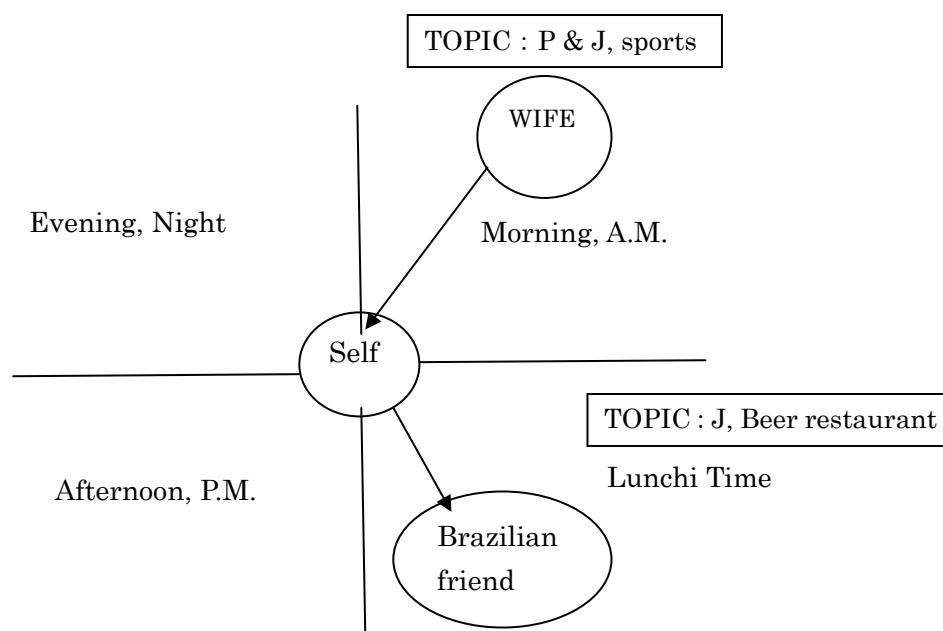
<例>



あなたのコミュニケーション関係を教えてください。ポルトガル語か日本語で書いてください。そして、日本語で教えてください。

Eu moro agora no Japão. Por favor ensine suas relações de comunicação presentes. Por favor escreva em português ou japonês. Notificação) Por favor escreva diariamente antes de dormir. (Uma semana)

<例>



いずれも試行も、Web 上での測定ツールも、方法としての可能性はうかがえるが、問題は、レベル判定であり、そのための基準、その根拠となる日本語発達段階情報が必要であることが分かった。

測定する方法、つまりテストを作成するためには言語理論が必要である。テストは、理論を具体化したものといえることができる。コンピュータ適応型テスト (computer adaptive testing) が TOEFL などで行われるようになり、項目応答理論 (Item Response Theory) が常識になりつつある。FACETS などのソフトウェアを用いて主観テストや能力テストなどの採点にも使われている。テストの波及効果(washback effects)の研究も行われている。

テストで何をどのように測定するのかを明示した設計書が仕様書 (test specifications) である。これをもとに、テストを作成し、その妥当性 (対象とした言語能力を測定しているかどうか) を検証する。テスト・シラバス (細目) は、仕様書 (=テストの内容と方法を詳述したもの) をもとに作成する。どのテストも、仕様書は原則非公開であるが、テスト・シラバスは受験者にテスト内容を示すものであり、外部に公表される。

仕様書の詳述項目として、以下のようなものがある。

- ◆ テストの目的は何か
 - プレースメントテスト
受験者の能力を査定し、各人に最も相応しいレベルのクラスに割り当てるためのテストである。テスト内容は、受験者がこれまでに受けてきたカリキュラムに基づく場合と、これから受ける授業のカリキュラムに基づく場合がある。
 - 進捗テスト
あるカリキュラムにおいて受験者が教えた内容をどれくらい学んだかを、いくつかの段階に区切ってチェックするためのテストである。
 - 到達度テスト
進捗テストと同様の目的だが、主に指導の最終段階に行われるテストである。
 - 熟達度テスト
特定の学習カリキュラムを前提とせず、受験者がどのレベルかを見るためのテストである。また、特定の領域や分野において求められる言語運用能力を持っているかどうかを確認するためのテストもある。テストの内容は、ニーズ調査・分析の結果に基づく。
 - 診断テスト
学習者に欠けている能力を特定するためのテストである。受験者が特定の言語技能について追加の学習の必要性を確認するためのテストも含まれる。
- ◆ 対象受験者は誰か
 - 年齢、性別、学習レベル、母語、文化的背景、出生国、学年、教育内容、受験の目的、興味、背景知識、など。
- ◆ 問題数、長さ、問題の区分をどうするか
- ◆ 測定対象言語能力の使用想定場面を使うかどうか
- ◆ テキストの種類は記述言語か音声言語か

- ♦ トピック，真正性，内容の難易度，言語構造の複雑さ，言語の機能，長さなどはどうするのか。
- ♦ 独立した言語技能をテストするのか，すべてを統合した言語能力をテストするのか，実際の言語使用をシミュレートさせるのか
- ♦ 言語技能の下位技能として，主題発見，スキミング，スキヤニング，要点の理解，主題文と陳述の識別，事実と意見の識別，陳述と例示の識別，文章の背後にある意味や情報の推測，未知の単語の意味を文脈から推測，文内部の語同士の関係の理解，文同士やパラグラフ同士の関係の理解，文やパラグラフの伝達情報の理解などの特定化はされているか。
- ♦ 言語要素として，文法項目をテストするのか。語彙については頻度や難易度などに関して特別の配慮をするのか，概念，機能，発話行為など語用論的要素はどうするのか。
- ♦ 客観的に採点できるようなテストにするのか。
- ♦ 問題数と得点配分はどうするのか。
- ♦ 回答は，多肢選択，空欄補充，組み合わせ，書き換え，短文解答，描画などのどれをどのように用いるのか。
- ♦ 採点基準等は公開するのか。

理論は構成概念，あるいは心理的概念，主要なる構成要素と構成要素どうしの関係により成り立つ。例えば，読みの理論はスキミング，スキヤニングなど読解にかかわる様々な構成概念を言い表したものである。妥当性は，テストが構成概念を正しく測定しているかどうかを示す。妥当性を検証するには，テストを作成するにあたって基盤とした理論，すなわち構成概念同士の関係，目的，言語理論，これらを明示したテスト細目が必要となる。

Bachman⁹のモデルはテストを分析するために考案されたものだが，言語理論に関する枠組みの一つでもある。この枠組みは言語コミュニケーション能力とテスト方法の二種類に大きく分類される。この枠組みを概略すると，次の通りとなる。ほかに，The Council of Europe の Common European Framework Conference¹⁰など，大規模なものも開発されている。

言語コミュニケーション能力

- 1 組織化能力
文法能力，テキスト構成能力
- 2 語用論的能力
発話内能力，社会言語能力

テスト方法

- 1 テスト環境
- 2 受験上の注意

⁹ Bachman, L.F. (1990) Fundamental considerations in language testing. Oxford: Oxford University Press.

¹⁰ http://www.coe.int/t/dg4/linguistic/CADRE_EN.asp

- 3 入力
 - 形式，言語の特徴
- 4 期待される応答
 - 形式，言語の特徴
- 5 人力と応答の関係
 - 相互的，非相互的，適応的

前述の測定ツールの問題点は，主観的採点と採点尺度である。主観的採点は，主に作文や記述テストや口述テストに用いられる。受験者が与えられた課題をどれだけこなすことができたかを判断しなければならないので，採点者にはより複雑な判断が求められることになる。この方法では採点尺度が必要となる。尺度は，受験者の能力を数値や文字で表され，それぞれが何を意味するのかを示す記述子の付加が必要となる。

採点尺度は二種類に大別できる。一つは受験者の応答を全体的に見て判断する包括的尺度である。前述の測定ツールではこの方法を用いた。二つ目は，受験者の応答を，談話構成，文法，語彙などに分割して項目別の分析尺度で判断することである。測定ツールの試行は，このための基礎言語情報の収集も意図し，応答内容はすべて記録，保存した。

言語教育において，言語観，言語能力観，効果的な指導方法，言語学習方法などは常に変化する。以前，形式的なシステムとしての言語であったものが，意味，文同士の繋がり，文脈との関係，言語変異など，様々な観点からとらえられはじめた。さらに，コミュニケーションの社会言語的機能という観点からの言語能力のとらえ直し，文法能力からテキスト能力，発話内行為能力，社会言語的能力なども含まれてきている。指導と学習の目的も，言語構造や語彙や表記の習得だけではなく，言語の機能や概念，コミュニケーション・ストラテジーなども対象となってきた。

言語テストもこのような社会的な流れから切り離されて存在するものではない。部分的なテストから，問題解決タスクに重点を置いた全般的な総合的テスト，パフォーマンス・テスト等の実際の場面で言語を使用させて評価する方向に向かっている。客観テストは主観テストにとってかわられる傾向がある。これらの流れが止まることはないと考えられる。

実際のコミュニケーションでは，当事者双方による協働作業であることは，前の二種類の文字化資料（OPI と企業調査の文字化資料）を見れば歴然である。生活者としての日本語コミュニケーション能力の判断に，上記の項目別の分析尺度による判断は適切であろうか。一方の当事者の判断が最大の評価尺度ではないか。この当事者の判断を記述し，その上で言語と言語能力を記述することが重要であり，本事業で収集した言語データは意義がある。

カリキュラムや教科書が変われば，測定テストは妥当性を確保するために変わらざるをえない。到達目標をどのように考え設定するかによって，測定テストは測定のために変わらざるをえない。これらのことを考えるためには，スタンダード（国際交流基金のスタンダードとは意味が異なる。）という枠組みが必要である。

スタンダードに何を求めるべきか。これを考えるに際して、以下のポイントが重要となる。

- ♦ スタンダードを作る必要性は何か。他のスタンダードやその改変では不十分か。
- ♦ スタンダードはどの範囲の遂行能力を包括しなければならないか。
- ♦ スタンダードは、誰を対象にしたものか。
- ♦ スタンダードにどの程度の強制力、規範力を持たせるか。

なお、日本語能力試験のほか、一般に以下のような検定試験が実施されており、増加傾向の様相である。

- ・ 日本実戦話力検定（日本実戦話力検定協会）
- ・ 日本語運用能力検定（才能開発教育研究財団，日本語運用能力検定協会）
- ・ 日本語文章能力検定（日本語文章能力検定協会）
- ・ 日本語検定（日本語検定委員会）
- ・ 話しことば検定（日本話しことば協会）
- ・ **BJT** ビジネス日本語能力テスト（日本漢字能力検定協会）
- ・ コミュニケーション検定（サートファイ 日本語コミュニケーション能力認定委員会）
- ・ ケア・コミュニケーション検定（サートファイ 日本語コミュニケーション能力認定委員会）
- ・ ケア・コミュニケーションアセスメント試験（サートファイ 日本語コミュニケーション能力認定委員会）
- ・ 国語力検定（国語力研究所／Z 会）
- ・ **J-TEST** 実用日本語検定（日本語検定協会）

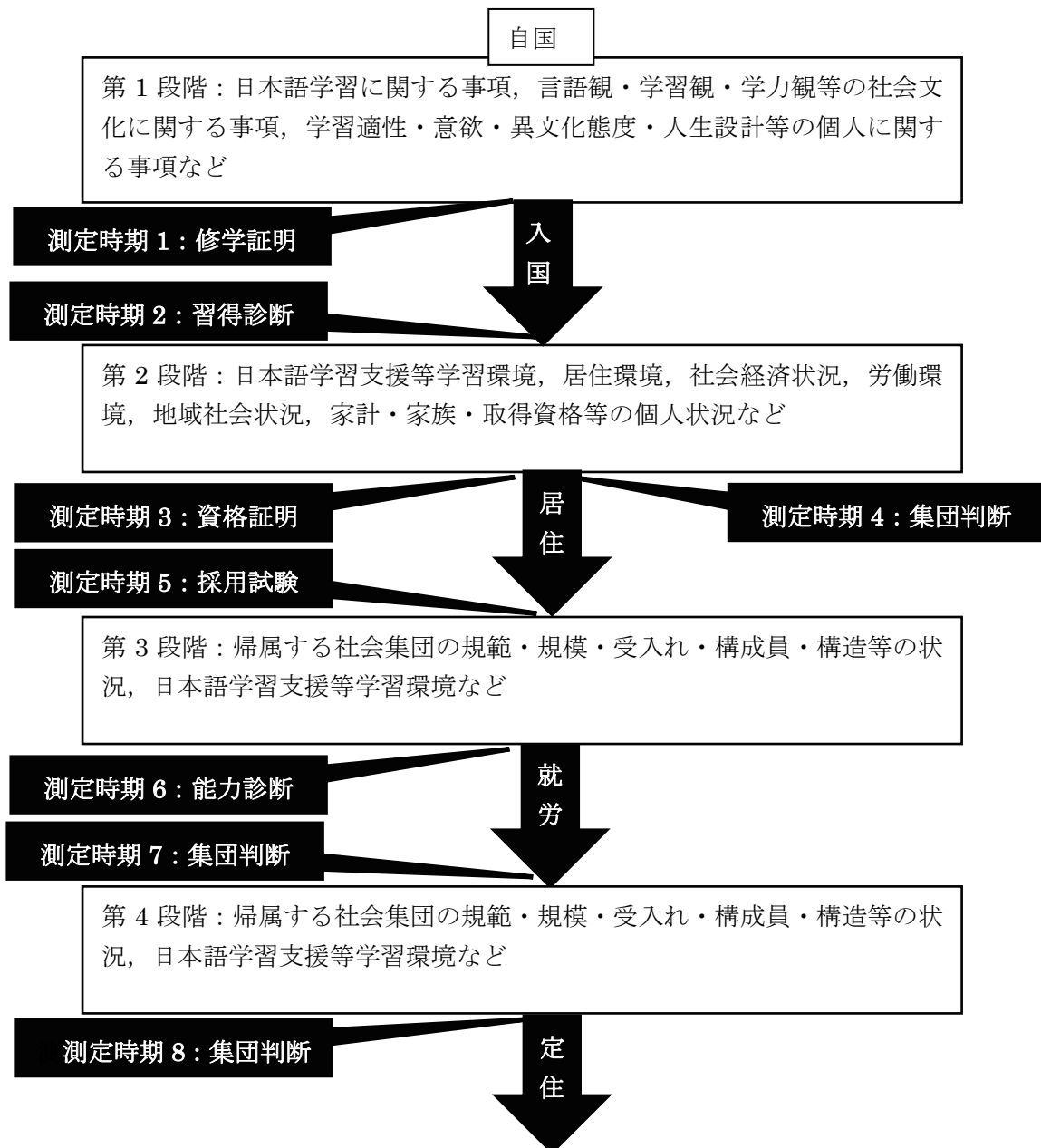
これらの検定試験を生活者としての日本語コミュニケーション能力の測定ツールに使えないかという意見がある。では、上記の検定試験に容易に合格する人は、前述の OPI の文字化資料の超級、上級相当以上の資料を提供してくれることは容易に予測できる。

しかし、OPI の文字化資料及び企業調査の文字化資料において、コミュニケーション上に障壁がないわけではないレベルの人たちも見た。彼らが上記の検定試験の何らかのレベルに合格することを想定することは難しい。なぜならこれらの試験は、部分的なテストだからである。生活する上で必要な他者とのコミュニケーションで行われる様々な問題解決タスクに重点を置いた全般的な総合的テスト、パフォーマンス・テストではなく、実際の場面で言語を使用させて評価するものではない。したがって、新たな仕様書の策定、それに基づく新たなテストの開発が必要となる。

ただし、生活の不安もなく日本語学習ができる環境にあれば、OPI の文字化資料及び企業調査の文字化資料において、コミュニケーション上に障壁がないわけではないレベルの人たちも上記の試験のある程度のレベルに合格することは想定できる。測定と評価を考えるとき、教育と学習、目標を切り離して考えることはできない。このことは、次に述べる。

7. コミュニケーション能力の測定

一般外国人成人の就労を前提に、人の動きから日本語コミュニケーション能力の測定について考えてみる。以下は、人の動きを簡略化したものである。この流れのどこで、どのような測定をし、どのような評価尺度を使うかということは、評価を行う根幹となる。



第1段階は、相手国側での問題であり、測定1を行うためには、その国の日本語教育支援、国内の日本語事情と連携したスタンダードの明確化が必要となる。測定2は、①測定時期1のものを信頼する、②測定時期1のものを踏まえて行う、③測定時期2を独自で行う、の三つがある。スタンダードが明確化されているのであれば、①、②で十分である。スタ

ンダードが存在しないのであれば、明確化までの間は③を行わざるを得なく、どのような測定を行うかについては、前述の「生活」の共通部分で行うか、個別に申請を受け、該当する「生活」部分で行うのいずれかである。後者については、日本は留学生受入れでは経験しているものである。中国帰国者、インドシナ難民でも経験している。

「生活」の共通部分としては、どのようなことが考えられるか。測定としては診断テストの性格をもつものとなるため、診断できるための段階別習熟尺度が必要となる。これをもとに、諸外国では、氏名や年齢や家族構成等の個人情報、受入国の事情に関すること、基本文字の読み書きなどから診断し、入国後、一定の学修（学習して修了認定を受けること）が義務付けられる。そのためには、段階的な学習目標が確立していなければならない。

第2段階は、生きていくために自国で取得している資格が活用できるかどうか、就職できるかどうか、住居を賃貸できるかどうか、生活に必要な作業（口座開設、公的手続など）といった社会的な面からの測定が行われる。

ここで測定時期3, 4, 5以外に測定を行う場合、第2段階で行われる日本語学習支援の学習内容と関連付けがなければならない。測定は、到達度テストの性格をもつ必要がある。一方で学修の証明が、この到達度テストの到達目標と関連付けられて、社会的に明確にされている必要もある。つまり、学習内容が前述の段階別習熟尺度と社会判断や集団判断を踏まえたものでなければならない。これは、この日本語レベルでは、日本ではこのようなことができる可能性があるということを示すとともに、第三者に諸場面での Can-Do を示すこととなる。前述の文化審議会国語分科会日本語教育小委員会の行為一覧や中国帰国者の項目などは、このことに貢献する。

OPIの文字化資料を見ると、学習環境が整えば、日本語力は育成され、意思疎通が可能になると日本の友人もでき、さらに日本語力が強化されることが分かる。企業調査の文字化資料からは、個人の意欲やパーソナリティである程度の日本語力は身に付くが、それ以上の力を身に付けるには、本人の上昇意欲と支える環境が必要であることが分かる。したがって、第2段階では、測定、評価と学習支援は同時に考えなければならないものと言える。

第3段階、第4段階は、日本語コミュニケーションに関する評価は、社会全体、帰属している／しようとする集団が行う。したがって、日本語コミュニケーションに関する評価を考えることより、社会全体、帰属集団が行う判断の妥当性や整合性など、日本社会の社会行動の確認、及び学習や資格取得の支援をはじめとする社会システムの改善が必要である。

これらを踏まえると、生活者としての日本語コミュニケーション能力を考えるには、第1段階の測定2を中心に考えるのではなく、第3段階、第4段階の帰属している／しようとする集団の判断を中心に考える必要があり、そこから、第1段階の充実を図ることが不可欠である。次に、第3段階、第4段階の社会集団の判断、診断などのもととなる評価の枠組みについて考える。

8. コミュニケーション能力の評価の枠組み

これまでの日本語教育では、日本語力の評価は、流暢さ、適切さ、理解しやすさを柱とした、下記のような段階別指標を用意して行うことが多かった。この中には、コミュニケーション量、コミュニケーションの質、コミュニケーションしようとする努力などからの尺度が入ることはなかった。

	正確さ	流暢さ	分かり易さ
6 段階	発音は母語の影響を ごくわずかに受けて いるだけ。2・3の 些細な文法・語彙に 関する間違いがあ る。	たいした苦労もなく 幅広い表現形式を用 いて話す。ときどき 必要な言葉を探すと きもあるが、不自然 なポーズはない。	聞き手が話し手の発 話意図や意味を理解 することは易しい。 話を中断したり、意 味を確認する必要が ない。
5 段階	発音は母語の影響を 少し受けている。文 法・語彙に関する些 細な間違いが少しあ るが、大抵の発音は 正しい	ときどき努力して言 葉を探さなくてはな らないが、全体とし てスムーズな発話 で、不自然なポーズ は少ない。	発話意図や全体の意 味はかなり明確で、 聞き手が話し手の意 味の確認のために発 話を中断することが 少しある。
1 段階	話されていることの ほとんどが理解不能 である。聞き手が大 変な努力をしても、 話し手は発言しよう としたことを明確に することができな い。	長く不自然なポーズ だらけである。途切 れたコマ切れの発話 である。ときどき発 話努力を諦める。表 現形式が限られてい る	発音上の深刻な間違 いや、文法や語彙に 関する基本的な間違 いがある。コースで 練習したどの分野も 習得した形跡が見当 たらない。

この言語中心の指標ではなく、職務遂行を意識した指標を目指したものが次のものである。過去の中国帰国者に関する調査、コミュニケーション・ストラテジーに関する調査、(財)浜松国際交流協会が受託した平成 19 年度文化庁委託事業「外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発」で行った言語調査のデータをベースに、企業が職務遂行能力のレベル分けと日本語理解度レベル分けを参考に、作成した日本語のレベル分けである。¹¹

¹¹ <http://www.hi-hice.jp/>

レベルA	発話能力はネイティブと同等であり、日本人の言語表現文化も完全に理解している。柔軟性と直観力を持ち、語彙、慣用表現、話し言葉特有の表現を使い切る／使い分けることができ、文化的知識を幅広く理解できる。日本語の発音、発声、抑揚、アクセントもネイティブと同等である。
レベルB	発話能力は、ネイティブと同等である。語彙、慣用表現、話し言葉特有の表現が理解でき、使い分けて日本語を話すことができる。日本語の発音、発声、抑揚、アクセントもネイティブと同等である。日本語を使用して行う業務でも支障なくこなせる。しかし、文化的知識はネイティブレベルではなく、語彙、慣用表現、話し言葉特有の表現の使い切りは十分ではない。
レベルC	業務上必要とされる日本語を流暢に使って目的を達成できる。会話を円滑に構築することができ、仕事上で日本語が支障となることはないが、ネイティブと間違えられることはない。経験のある範囲内であれば、詳細に話をするすることができる。予期せぬ場面でも通訳の役割を果たすことができる。自分の専門に直接関係しない業務まで日本語で対応できる。語彙、慣用表現、話し言葉特有の表現を使い切ることは十分ではない。
レベルD	業務上は問題がない。構文の正確さや語彙力は十分ある。実用的、社交的、専門的な会話に対応でき、会話にはまとまりがあり、会話を始めることができる。明らかに不完全と認められる箇所があるが、ネイティブの理解を妨げるものではない。構文や語彙を組み合わせ、言いたいことを伝えることができる。外国人と分かる発音がある。単音や単語は正確に発音できるが、アクセントの位置や抑揚に不自然さがある。
レベルE	業務上必要なやり取りがほとんど問題なくできる。関心のある事柄や専門分野に関する話題であれば、効果的に意思の疎通を図ることができる。しかし、それ以外では、緊張したりプレッシャーがかかったりすると、発話が躊躇する。言葉の選び方や自分の考えの表し方がぎこちなく、時と場所、人に関する表現については、必ずしも完全な誤りではないが、しばしば不適切となる。
レベルF	一定の範囲内であれば、業務上のルーティーンワークに関連したやりとりができるが、複雑で高度な業務では、ネイティブとの会話に支障がでる。よく話される話題（社会問題、仕事、家族や自分の生き立ちなど）であれば、円滑ではないが、自信を持って対応できる。発話は、最低限ではあるが、まとまりがある。文の構成はあまり複雑でない。使用頻度の高い言葉は正しく使うことができるが、それ以外は、不適切な使い方や不正確さがある。

レベルG	予測可能な範囲の話題であれば、対面式の会話を自分から始めたり、継続したりすることができる。社会生活上の自分のニーズも満たせる。言語知識が不足しているため、話が滞る。使いこなす力は低く、話せる範囲は狭い。話は短く、細切れの表現をつなぎ合わせたものであることが多い。
レベルH	日常の挨拶ができ、対面であれば、馴染みのある話題については簡単な会話を維持できる。日本語の運用能力はあるが、範囲は限られている。誤解したり、されたりするが、対面であれば、ネイティブの発言内容を確認したり、質問することで解消できる。継続的に自分の考えを言葉で伝達することはできない。ネイティブは、状況判断や話者の発話背景などを推測しながら内容を理解しなければならない。
レベルI	練習しておけば、当面のニーズは満たせる。覚えた語彙、表現や決まり文句を使って質問したり、発言したりすることはできる。自分の考えを表現する、柔軟に即応して会話をすることができず、自分の言葉では話すことはままならない。
レベルJ	話し言葉として成り立たない。単発的に単語を発する程度で、会話は断片的である。

上記には、コミュニケーションに関わる以下の要素は含まれていない。

- ① 顔面表情、声の調子、姿勢などで伝達される好き・嫌い、優れた・劣ったという対人態度の伝達
- ② 怒り、意気消沈、不安、喜び、驚き、恐怖、軽蔑などの感情の表出
- ③ 視線、顔面表情、うなずき、姿勢などで、相手の発言を続けさせたり、急がせたり、発言交替を要求したり、相手の発言に同意したり、拒否したりする会話の流れの統制
- ④ 典型的に冠婚葬祭にみられるように、人格や態度、さらには社会的地位などが象徴的に示される、一連の標準化された行為連鎖からなる儀式
- ⑤ 話し方、身振り、視線、服装などが提供する職業、所属集団、人格、地位などの自己顕示的な情報

「中国帰国者用日本語教育指導の手引」では、「感情の表出」が含まれる表現機能一覧を次のように示している。これをもとに指導を行い、実際のコミュニケーションにおいて、言語行動、非言語行動がこの機能を果たしているかどうかということ、コミュニケーションの目標を達成しているかどうかということから見ようとしている。

相手に求める機能

1. 行為求め
2. 情報求め
3. 共通理解の確認求め

- 4. 許可・了解求め
- 5. 求めの前置き
- 6. 受信内容の確かめ

相手に対する一方的告げの機能

- 7. 用件告げ
- 8. 行為の勧め
- 9. 行為の提案
- 10. アドバイス
- 11. 一方的情報の告げ
- 12. 一方的周辺情報の告げ

相手の発話に対する受け等の機能

- 13. 用件を受け入れられないことの示し
- 14. 要請の受容拒否の示し
- 15. 相手の働きかけの受信示し
- 16. 相手の発話内容の理解不能の示し
- 17. 行為の確認求めへの肯否の示し
- 18. 内的条件の確認求めへの回答
- 19. 決断示し
- 20. 判定示し
- 21. 情報示し
- 22. 共通理解の確認求め成立示し
- 23. 示しの前置き

コミュニケーションの運びに関する機能

- 24. コミュニケーション求め
- 25. コミュニケーションの意志示し
- 26. コミュニケーション内容展開のマーカー
- 27. 対人関係保持を含む／含まないコミュニケーションの切り上げ
- 28. 対応を考えるための言いさし
- 29. 相手への遠慮による語調の和らげ
- 30. 自己の行為・状況の知らせ
- 31. 共通認識の確定
- 32. 相手への気遣い示し
- 33. 対人関係を円滑にするコミュニケーション

感情の表出

前述したケンブリッジ大学英語口頭能力判定基準（例）でも、これらのことを指導することが前提となっている。その習得度を見る際に、共通（必須）項目の選定、各分野による Yes-No、や 5 段階や 7 段階の評定尺度の選択、ある項目での Yes-No、や 5 段階や 7 段階の評定尺度の選択を行うことで、それぞれの評価の枠組みとしている。

- ① 呼ばれたら返事をし、相手の顔を見る。

- ② 何かよく分からなくても、とりあえず関心を示す。
- ③ 相手の顔の表情が意味する「感情」を知る。
- ④ 相手の顔の表情やしぐさなどを見て、何をしているのか分かる。
- ⑤ 自分がしたことに対する相手の反応を見て、○なのか×なのか見分ける。
- ⑥ 他者が困っているときに、自分のとるべき行動が分かる。
- ⑦ その場の雰囲気、暗黙のルールが分かる。
- ⑧ 自分の発した言動を相手がどのように受け取るか想像できる。
- ⑨ 自分の考えを上手に相手に伝えることができる。
- ⑩ 声の大きさとしゃべり方を、場所や状況によって調節する。
- ⑪ 自分が話し始めるタイミングをつかむ。
- ⑫ 相手の態度から、自分が話し終える必要を感じ取る。
- ⑬ 自分を通して良い場面と、自分を抑えなければいけない場面を区別する。

評価は、何らかの特定の枠組みで行う場合、指導の内容・方法と密接につながっている。しかし、日常のコミュニケーションは、指導の内容・方法とは直接には関わらない。1.と2.で述べた様々な要素がコミュニケーションの当事者双方に関わり、当事者間で変容性のある評価が行われている。

例えば、外国人の採用する会社では、会社という集団の性格上、採用時点での職務遂行能力に関わる日本語コミュニケーション力の明示を望む。日常生活での行動では、居住地区等に関わる帰属集団内の当事者同士の要素が評価に大きく関わり、日本語コミュニケーション力の一元的な評価は難しく、判定の枠組みを作ると、マナー、エチケット的なものとなる。子どもの学校関係や子どもの友人の保護者による学校集団は、両者の要素を含んでいる。

コミュニケーション能力には、個人の人格、思想、人生設計等の個人の属性が強く影響するため、差異が生じる。その個人が属する会社、地域社会、学校社会等の集団間で、求めるものに共通性と差異がある。そのため、コミュニケーション能力の評価を枠組みとして考えようとする、個人的な側面から、かつ各集団が求めるもので共通部分を取り上げざるを得ないを考える。ただし、前述したように、教育、指導の内容・方法と密接に関係した上でという前提のもとである。

個人を重要視し、必要なら母語を使い、各個人に啓発していく中で、日本語習得をとらえなければ、サバイバル・コミュニケーション的な発想から、外国人も日本人も心的距離の遠さやお客様扱いなどから脱却できない。当然、社会集団の構成員として豊かな心で暮らすことも難しい。

個人を重要視するならば、各人が様々な人生において直面する精神的な課題にも対応する力を身に付けることと、日本語コミュニケーション力を合わせて考えることが必要である。以下の(1)～(5)は、評価対象者の学習や行動の内発的動機付けに大きく関わる。

- (1) 親子関係、文化、宗教、健康、消費、教育と訓練、仕事、コミュニティなどで、責任ある生産的な成功した人生を送ろうとすること
- (2) 複雑な問題に対して複雑ではないものに単純化すること、一つの解決策を急いで求めないこと
- (3) 革新的で、創造的で、自己主導的で、自らの意思決定や行動に責任がもつこと
- (4) 態度や動機付け、価値観といった他の人的物的リソースの作成と活用をすること
- (5) 経験の整理、批判的な思考、思慮深い実践の発達を自ら促すこと

コミュニケーションは自己発達と密接に関係する。コミュニケーションを、自己発達や自己開発の観点からとらえる。まず、自己発達、自己開発に必要な力には以下のものがある。

1. 他者とうまく関わる力
2. 協力する力
3. 対立を処理し解決する力
4. 大きな志の中で活動する力
5. 人生計画と個人的なプロジェクトを設計し、実行する力
6. 自らの権利、利益、限界、ニーズを守り、主張する力
7. 言語、非言語、シンボル、テキストを相互作用的に活用する力（リテラシー）
8. 知識、情報を相互作用的に活用する力（情報リテラシー）
9. 技術術を相互作用的に活用する力（コンピュータ・リテラシー）

上記のことは自己発達や自己開発のためである。これらを身に付けるために他者とのコミュニケーションが必要となる。このコミュニケーションを円滑に行う力を伸ばすために、評価がある（波及効果 **washback effort**）。評価は、評価前の教育・指導、評価後の元気付けを含めて考えなければならない。したがって、1～9と日本語コミュニケーション力を組み合わせた評価の枠組みを考えなければならない。

本事業では、評価の枠組みの最終案までは到達できなかった。しかし、①生活者としての日本語コミュニケーションを他者との円滑な日本語コミュニケーション力と考えること、②そのためには言語以外のものの評価の重要性、③社会集団成員とコミュニケーションという視点からの評価、④コミュニケーションは協働作業であること、⑤誰が誰のために何のために何を評価するのかという根本の明確化の必要性があること、を示した。今後の展開の一助となれば幸いである。

おわりに

日本語を習得するには、語彙、文型の学習を優先する日本語教師は多い。しかし、国内在住の日本語学習者の多くが言語機能、場面に即した表現のまとまりとして言語を学習することの重要性を体感していることは、松岡洋子・宮本律子（2003）で示されている。

- 日常で、会社で、学校で適切かつ適当なコミュニケーション能力評価が行われるためには、
- ① 日本人同士（母語話者同士）の場合、ラポール・トーク（情意中心、察し合い重視、以心伝心の従来の日本式コミュニケーション様式）でコミュニケーションの目的を達成できる。できない場合でも、インフォメーション・ギャップ（当事者間の情報格差）を埋める努力で乗り越えられる。
 - ② 日本人と外国人（非母語話者、日本語学習者）の場合、レポート・トーク（主語の明確化、5W1H、単語文の不使用、具体的な質問と返答などの情報伝達重視のコミュニケーション様式）でコミュニケーションの目的を達成できる。「誰にでも理解しやすい日本語」ということである。ラポール・トークが可能な外国人には、ラポール・トークを使う。つまり、日本人は、相手によって日本語コミュニケーションを使い分ける力量が求められる。これは、外国人のためでもあるが、日本人の言語技術、外国語学習とのとき、国際社会での対人交渉のときに役に立つものである。また、日本人に日本語、日本文化を知り、継承することを気付かせることにもなる。
 - ③ 外国人同士（非母語話者、日本語学習者）の場合、レポート・トーク、ラポール・トーク、いずれを使うかは当事者間の判断による。
- ということをも日本人、外国人全員が理解することにある。

補足

日本人と外国人双方がレポート・トークとラポール・トークを共通認識するためには、

- 学習者に当面、レポート・トークを求め、将来的にラポール・トークを求める
- 日本人にレポート・トークを求める（ラポール・トークへの気付きともなる）
- このための教育・指導をオール・ジャパンで行う

ことが最優先事項である。

文字化資料（抜粋）

ここでは、個人属性情報は割愛し、文字化の部分だけ、一部を参考資料として提供する。
なお、OPI 発話データベースとして提供する際は、文字化の書式、表記等を修正すること
がある。

（1）OPI インタビュー（25 分）

T：はい、はじめまして、こんにちは

I：うーん、こんにちは

T：はい、えーと、お名前を聞いてもいいですか

I：はい、私は【姓A】です

T：うん、【姓A】さんですね〈はい〉、えっと【姓A】さんと呼ばばいいですか

I：ユベ

T：【姓B】さん、【姓B】さんのほうがいいですか

I：あつ、【姓A】さん

T：【姓A】さん、はい、じゃあ【姓A】さん〈はい〉えーと、【姓A】さんはお国はど
ちらですか

I：うーん、韓国です

T：あつ、韓国です〈はい〉韓国のどこですか

I：韓国のスワンです

T：スワン〈えー〉えー、スワンというのは韓国のどこにありますか

I：うーん、ソウル、の上

T：あーそうですか〈はい〉えーじゃあ、スワンは〈はい〉あの一、寒いですか

I：今、うん、寒いです

T：あー今寒いですか〈はい〉えーと、スワンは大きい町ですか、どんな町ですか

I：スワンは、うーん、さいじ [サイズ] は {息を吸う音} そんなに〈はい〉大きい、じ
ゃ、おおく [大きく] ないですが〈はい〉、人は多いです

T：あー、人が多いですか〈はい〉、スワンに何人ぐらい人が住んでいますか

I：{息を吸う音} あつ、分かりません

T：分かりませんか {笑} 〈はい〉えーと、スワンは、あの一、〈{咳払い}〉どんな産業が
ありますか

I：じゃんぎょう [産業]

T：うん、えーと、例えば、工場が多いですか、店が多いですか〈あー〉、どんな町ですか

I：そうだ、うーん、人はたくさん住んでいます〈はい〉うーん {息を吸う音}、みいー、
スワンは〈うん〉、か、有名、会議がサムソン、が〈サムソン〉スワンに〈はい〉うん、あ
りますから〈はい〉、うん、人が多いです

T：あー、人が多い町なんですね〈はい {笑}〉あー、はい分かりました、えーと、【姓A】
さんはいつ日本へ来ましたか

I：私は、きゅうが、10、にゅじゅうろ、ろっけち [10月26日]、えっ、来ました

T：あーそうですか、そうすると何カ月くらい今日本にいるんですか

I : うーん, 何かげちゅー [何カ月], 3かげちゅ [3カ月]
T : あーそうですか 〈うん〉, 3カ月ですか 〈はい〉 えーと, 日本の生活はどうですか
I : うーん {息を吸う音}, 今, うーん, 面白い 〈あー〉, です
T : 面白いですか 〈うん〉 えー, どんなことが面白いですか
I : どんなこと, 授業, 日本語も面白い 〈はい〉 し, うーん, あたらし友達 〈あー〉 も面白い 〈あー〉 です
T : そうですね 〈はい〉 えーと, 今1番仲がいい友達は誰ですか
I : 1番, うーん, ま, Aクラスの韓国人 〈はー〉 じぇんぶ [全部]
T : あーそうですか 〈はい〉 えー, そのAクラスの韓国の人たちと 〈えー〉, えーどこかへ行きますか
I : どこか, あー, まだ, どこかいき
T : うん, 行きますか
I : あー, どこか, むふふふふ 〈{笑}〉 おー, お, 大洲
T : あー, 大洲ですか, えーえー
I : いき, いきたい [行きたい]
T : いき, 行きましたか
I : あっいえ, まだ
T : まだ, 大洲へ行っていないですか 〈まだ〉 じゃあAクラスの, あの一, 韓国の人たちとどんな話をしますか
I : うーん, せいかちゅ [生活] の 〈はい〉, の, 話します 〈あー〉, 日本のせいかちゅ [生活] 〈あー〉 を話します
T : あーそうですか, えー, 例えば, 今日, 今日も話しましたか
I : 今日, はい, 今日
T : うん, 今日はどんな話をしましたか, 日本の生活のことで
I : 今日は, この間テストを 〈はい〉, テスト, に, {息を吸う音} テストに話します {大きな嘆息} * * * * *
T : {笑} テストの話を 〈うん〉 しましたか 〈うん〉 あーそうですか, えーと, いつテストをしましたか
I : いちゅ [いつ], うーん, せんしゅうきんよび [先週金曜日] 〈はい〉 の, テスト
T : あーそうですか 〈はい〉 えー, 〈話します〉 うん, えー金曜日のテストはどうでしたか
I : {息を吸う音} うーん, うーん, よ, 良かったです
T : あー良かったですか 〈はい {笑}〉 {笑} えー, テストの前にたくさん勉強しましたか
I : はい, テスト, 前に 〈はい〉, うーん, いっち日 〈はい〉 に, 1日に 〈はい〉, よん時間 [4時間], 5時間ぐらい勉強しました
T : あー, そうですね 〈はい〉 で, えー, じゃあ, テストが良かったんですね 〈はい {笑}〉 じゃあ, それは金曜日だったんですね 〈はい〉, うん, じゃあ, 土曜日とか日曜日はいつも何をしていますか
I : とようび [土曜日] と日曜日に, うーん, 今一緒に住んで, あのルームメイト 〈はい〉 と, 友達と 〈はい〉, あー, 遊びます, 遊んでいます
T : あー 〈遊んでいます〉 そうですね 〈はい〉, えー, どんなところで, どんな遊びをする

んですか

I : あー, ちゅり [釣り] と, お酒を飲み {笑}, 飲みます

T : あーそうですか 〈はい〉, えーと, 釣りが好きなんですか

I : 私は 〈はい〉 ちゅり [釣り] が嫌いです 〈{笑} はい〉 が, うーん, ルームメイトがちゅり [釣り] が大好きです

T : あーそうなんですか 〈はい〉 はい, えーと, ルームメイトとは 〈えー〉 日本に来てからの友達ですか

I : あー, はー {息を吐く音}, ルームメイトは 〈はい〉 今日本の, 日本に, あっ日本で 〈はい〉 働きます

T : あーそうでなんですか

I : あっ, うん 〈はい〉, ぐ, 会社 〈はい〉 会社, 私の, おー, は, 父 〈はい〉, 父の, {笑}, あー, これちょ

T : あっあっ, ううん辞書は今使わないで 〈うーん〉 あっ, そうなんですか, お父さんの会社の関係の 〈あーあー関係〉 あー分かりました, えーとそのじゃあ, ルームメイトの人の 〈えー〉 顔とか, 体とかをちょっと説明してみてください

I : ルームメイトは 〈はい〉, 今 34 歳です 〈はい〉, うーん, 体は 〈はい〉 ふとうと 〈ふと〉, ふと, {笑}, ふと, 眼鏡を 〈はい〉, 眼鏡を, かけます 〈はい〉, うーん, あー, 料理を, 料理を, とってもじょうじゅ [上手] です 〈あー, そうですか〉 はい

T : いいですね, 〈{微笑}〉 えーと, ルームメイトが 〈はい〉 いつも料理, 料理はルームメイトが作ってくれますか

I : はい, ルームメイトはろろうり [料理] をちゅくります [作ります], 私は 〈はい〉, うーん, 掃除します

T : あっそうですか 〈はい〉, えーと, 昨日の夜もルームメイトが, 晩御飯を作ってくれましたか

I : はい, 昨日の晩御飯は

T : うん, 昨日の晩御飯は何でしたか

I : ビビンパ 〈ビビンバ〉 ビビンパをちゅく, ちゅくり [作り] ました

T : あーそうですか 〈はい〉, えーと, 私はあんまり韓国の料理は知らないんですが, ビビンパというのは, えーと, どういう料理ですか

I : ビビンパは 〈はい〉 こわん [ご飯] と 〈はい〉 いろいろ野菜 〈はい〉, 野菜と入れて 〈はい〉 韓国のソース 〈はい〉 コチュジャン 〈はい〉 と入れてミックス 〈はい〉 ミックス, うん, ミックス 〈はい〉 っ तरीより [料理] {笑}

T : はーそうですか, はい, ありがとうございます, えーと, 日本の料理で好きな料理はありますか

I : はい, うーん, 寿司と 〈はい〉, あっ, すき焼き 〈あーそうですか〉 好きです

T : えーと, すき焼きは自分, じゃあルームメイトとすき焼きを作りますか

I : はい, ひとつちゅ, うん, うん, ルームメイトすき焼きをちゅく, ちゅくれ [作れます]

T : あー, ルームメイトはすき焼きが作れる 〈はい〉 えーと, 【姓A】さんはじゃあ, 一緒に住んでいて, 【姓A】さんは何をする人ですか

I：何をする，私は{笑}，洗濯〈はい〉したり〈はい〉，{笑}部屋を掃除〈あーはい〉します

T：あーそうなんですか〈はい〉，えーと，【姓A】さんの部屋はこの部屋と比べてどうですか，この部屋より広いですか

I：私の部屋は，うーん{息を吸う音}，小さいです〈あー，そうですか〉はい，まだまだ{笑}

T：【姓A】さんのじゃあ，部屋の中に何がありますか，ちょっと教えてください

I：あー，私の部屋に，あー，TV，が，ひとつ[一つ]あります〈はい〉えーと，TVの，右に〈はい〉，うーんパソコンがあります〈はい〉，うん，あー

T：あー，そうですか{笑}〈簡単簡単〉机やベッドはありませんか

I：はい，ベッドはあります

T：あー，ベッドはありますか〈はい〉はい

I：ベッドはありません，ふと[布団]だけ

T：あー，布団ですか〈はい〉あーそうなんですか，はいえーと，話は変わりますが，じゃ【姓A】さんの趣味は何ですか

I：私趣味は，ゲーム[ゲーム]，コンピュータゲーム[コンピュータゲーム]〈あー〉です

T：コンピュータゲームですか〈はい〉えー1番好きなゲームは何ですか

I：{息を吸う音}今1番好きなゲーム[ゲーム]は〈はい〉韓国のインターネットゲーム[ゲーム]

T：あーそうですか〈はい〉毎日しますか

I：今，今{息を吸う音}，1週間，うーん，3回〈はい〉くらい，3回くらい〈はい〉しています

T：あーそうですか〈はい〉ゲームはどういうところが面白いのですか

I：{息を吐く音}あー，ゲーム[ゲーム]は，うーん，ちょっと分かん，う，しゅかん[習慣]，しゅかん[習慣]です

T：習慣なんですか〈はい〉はい{笑}

I：うん{笑}，そうじとり，あっ，うちへ一人〈はい〉行って〈はい〉ほんとゲーム[ゲーム]します

T：あーそうなんですか〈はい〉えー1日に何時間ぐらいするんですか

I：1にちー，2時間，3時間くらい

T：あーそうなんですか〈はい〉はい分かりました〈{笑}〉えーと，また話が変わりますが〈はい〉，明日から冬休みですが〈はい〉，えー冬休みは，何か予定がありますか

I：いまー，あー，明日から〈はい〉，うーん，日本語勉強〈はい〉，勉強を，する〈はい〉ちゅもり[つもり]です〈あーそうですか，はい〉，大学，試験〈はい〉の準備〈はい〉{笑}準備を〈はい〉し，しよー思っています

T：あーそうなんですか，えーと，大学で何を勉強したいと思っていますか

I：大学で，うーん，機械〈はい〉機械を，機械を勉強，したいです

T：あーそうなんですか〈はい〉，えーと，機械には，子どものころから，機械が好きでしたか

I : はい、私の父の仕事が〈はい〉機械屋、うん、機械に、{ため息}、機械、機械で〈はい〉、働きです

T : あーそうなんですか〈はい〉、お父さんの仕事が、じゃあ、将来、【姓A】さんはお父さんの仕事を、お父さんと一緒に仕事をしますか

I : はい

T : あーそうなんですか〈はい〉 はい、あの、【姓A】さんのお父さんはどんな方ですか、〈どんな方〉 どんな人ですか

I : 私のお父さんは〈はい〉、しー {息を吸う音}、うーん、あっ、かじょ、かじょ [家族] に〈はい〉、はじめます〈はい〉、あー、はじめます、はじめます {笑}、うーん、まじめ〈まじめ〉まじめます〈まじめますか〉 はい、まじめます {息を吐く音}

T : まじめ、始めます、まじめます

I : まじめな、まじめ〈あー〉で〈はい〉、しんせちゅ [親切] です

T : あー、まじめで親切〈はい〉、はい、お父さんは今日本にいらっしゃいますか

I : いえ、今じゅん韓国にいます

T : あーそうですか〈はい〉 えーと【姓A】さんはじゃあ、休みは韓国へ帰りませんか

I : うーん、春、春休み〈うん〉で韓国へ帰ります

T : あーそうなんですか、じゃあ、冬休みは日本にいますね〈はい〉 はい、えーと日本に来て3カ月ぐらいですが、えーどこか遊びに行ったり、旅行したりしたことはありますか

I : うーん {息を吐く音}、私 {息を吸う音}、ときょ [東京] へ、いたいです、あっ、行きたいです

T : あーそうですか、まだ行ったことはありませんか〈はい〉 あーそうですか、えー東京で何をしたいですか

I : あっ、東京でディズニーランドへ〈はい〉、で遊んで〈はい〉遊んでたいです、遊んだい、遊びだい [遊びたい] です

T : あーそうですか〈はい〉、えーディズニーランドはじゃあ、行ったことはありませんか〈はい〉 あーそうですか、ディズニーランドへ行くとき、何で行きますか

I : うーん、乗り物〈うん〉乗り物と友達〈はい〉一緒に〈はい〉、うーん、遊びたいです

T : あーそうですか〈はい〉、はいじゃあそれは春休みぐらいですか

I : 春休み

T : うん、あーはい、春休みに、東京へいつ行きたいですか

I : とうきょいちゅー [いつ]、あー {息を吸う音}、うん、来年 {笑} 〈はい〉大学試験が終わって〈あー〉行きたいです

T : あーそうか {笑}、じゃあ試験までは遊ぶことができないんですね〈はい〉 はい、分かりました、はいえーとじゃあ、えーとロールプレイをしようと思います、【姓A】さんは今、家はどこですか

I : 家

T : うん、どこに住んでいますか、名古屋の

I : 名古屋の港区

T : あっ、港区なんですか〈はい〉、あーじゃあちょうどいい、えーと、ちょっとこれを読んでください

I : 友達があなたの家に行きます〈はい〉どうやっていくが〔行くか〕教えてあげてください

T : はい、いいですか〈{咳払い}〉、えーと、もし分からなかったら裏を見てもいいです〈はい〉、大丈夫、じゃあ私が〈{大きな溜息}〉今友達になります、ええ私が【姓C】ですから、【姓C】さんで、で、えー【姓A】さんのうちに遊びに行きますね、えー、じゃあ【姓A】さん、えー、明日遊びに行くのはいいよね

I : はい

T : うん、えーと【姓A】さんの家、私分からないんだけどどうやって行くか教えてくれない

I : うーん、名古屋〈はい〉駅に、〈はい〉に、あおなみ線〈あーあおなみ線、はい〉をのんで〔乗って〕〈はい〉あらこわこえん

T : うん、何公園ですか

I : あらこわこうえん、荒子川公園、〈荒子川公園、はい〉で、うーん、乗ってください〈あつ〉、あつ、おって、おり、おって〔降りて〕ください

T : はい、分かり、荒子川公園ですね〈はい〉それからどうすればいいですか

I : あらこえ、公園、公園で〈はい〉、うーん、まち、まちを〈はい〉じっと〔ずっと〕歩いて〈はい〉、歩いてー、しんご〔信号〕、〈はい〉を、渡って〈はい〉、交差点があります

T : あーはい、それで信号を渡ってから交差点がありますか

I : いえいえ、あつ信号渡って〈はい〉、あー{息を吸う音}、50 みーとー〔メートル〕ぐらい行って〈あーはい〉、交差点があります

T : あつ、交差点があります、はい

I : 交差点、に〈はい〉、交差点に〈はい〉、右〈あっはい、右ですね〉右、あー{咳払い}、あ、右です、うーん、じゅっとじゅっと〔ずっとずっと〕歩いて〈はい〉、ずっとずっと歩いて、はい、きゅー、くにしょくじ〈くにしょくじ〉、あー

T : くにしょくじゅは何ですか

I : あつ、にゅくにゅくにゅく〔肉肉肉〕

T : あつ、肉

I : あつ、食事が〈はい〉あります

T : あー、肉の店ですか

I : はい〈はい〉はい、うん、肉の、店で〈はい〉、あー、店でえーと、前、店で、えと、前〈はい〉、で、店で前、歩いて〈はい〉{笑}歩いて、私のうちが〈はい〉あります

T : あーそうですか、えーと【姓A】さんのうちは何階建てですか

I : 私のうちは3階です

T : あーそうですか〈はい〉、建物の色は何ですか

I : うーん、建物、私のうちー、まわ、まわ、周り〈はい〉、周りに〈はい〉じえんぶ〔全部〕家です

T : あー、全部家なんですか〈はい〉、はい、えーと、マンションですか、3階建ての

I : あー

T:【姓A】さんの家はマンションですか〈はい〉あーそうですか、マンションの色は何色ですか

I: いろ

T: 白いマンション〈あー〉ですか、黒いマンションですか

I: うーん、ちょっと黒いです

T: あー、ちょっと黒いマンションなんですね〈はい〉、分かりました、えーと、荒子川公園から、【姓A】さんの家まで何分ぐらいかかりますか

I: 歩いて、うーん、15 ぶん [分], 20 分ぐらいかかります

T: はい、分かりました、えーとじゃあ、今の通りに行こうと思いますが、もし分からなかったら電話してもいいですか〈はい〉じゃあよろしくお願いします {笑}

I: はい

T: はい、ありがとうございます〈はー {溜息}〉えー、どうですか

I: むじゅかしい [難しい]

T: 友達が遊びに来たことはありますか

I: うーん、いえまだです

T: あーそうですか、友達のうちに遊びに行ったことはありますか

I: はい、1 回あります

T: あ、そうですか、そのときはすぐに分かりましたか

I: あっ、友達と一緒にいきます

T: あーそれが一番いいですね〈はい〉 {笑} えー、一人で行くのは大変ですよ、はい、分かりました、はい、えーとじゃあ、明後日はクリスマスですが〈はい〉、クリスマスは、クリスマスも勉強しますか

I: あーはい {笑}

T: {笑} そうですか、はいえー、じゃあ、あの一、大学受験まで頑張ってください〈はい〉、はい、今日はじゃあここで終わろうと思います。ありがとうございました

I: ありがとうございます

(2) OPI インタビュー (29 分)

T : はい, じゃ始めましょう (はい), はい, えーと【姓A】ですーよろしくをお願いします

I : 【姓B】と申しますよろしくをお願いします

T : お願いします, 【姓B】さん (はい), はい, 【姓B】さんはお国はどちらですか

I : かんこくー [韓国] です

T : はい, 韓国のどちらから, いらっしゃいましたか

I : ソウルから, あー, ことしー7月に, 参りました

T : あーそうですか (はい), はい, えーとじゃ簡単に, 自己紹介をお願いしていいですか

I : はい, わたしーはかんこくーじん [韓国人] で, 韓国では 25 歳なんですけど, 日本に来て 24 歳になり, なって, うれしいです (あーそう {笑}), はい, 韓国で免税店で働いたーことが, け, きっかけでー, 日本語の勉強のために, 日本に来ました

T : うんうん, あーそうですか (はい), はいーありがとうございます, 免税店で働いていた (はい), はい, えーとー日本人の観光客が多かったんですか

I : はい (あーそうですか), そんなときー [時] わたしがー, たいがく [大学] でちょっと勉強したの (はい), 日本語で, 説明する, のがーちょっと難しいですからー (あー, えー) ちゃんと勉強した, 思っ, 日本留学, を, しました

T : あーそうですか, はい, えっと 7 月からというと半年ぐらい (はい) もうたちましたけどー (はい), はい, 日本の生活はどうですか

I : あ, 初めてーはちょっと, 厳しい, でした, **

T : うん, 厳しい, はい

I : ほかのものは全部だいじょぶでしたがー (うん), わたしが, んーにほんー [日本] の留学のために集めたお金 (うーん), を, 日本, 円に換わるときー [時] (うん), ちょっと今えんごう [円高] ですから (あー), ちょっと, 厳しい, だった

T : あーそういう厳しいですね (そう, はいはいー {笑}), あーあー, なるほど

I : こう, このいかい [以外] はー, じえんぶ [全部] 面白いしー (うん), んー, 韓国より, ふけい [風景] もいいだと思っしー (あーそうですか), わたしが住んでいる所, では, 木が多いですから (うーん), しじゅかー [静か], しじゅかーなし [静かだし], いいですよ

T : あ, そうですね (はい), 今はどこに住んでるんですか

I : 杉並くー [区] に (うん) 住んでいます

T : あ, そこは木が多い

I : はいはい (あーそうですか), うーん, どこかで見ましたが (はい), 杉並区, なまえー [名前] が, 木が多いの意味があるって (うーん), 聞いて, {息を吸う音} それを, きった [聞いた] 後で見ると, ほんとに木が多いんだと思った {笑}

T : あーそうですか (はい {せき払い}), えーとじゃあ【姓B】さんの, その, アパートの周り, えーとーちょっとどんな様子か教えてもらってもいいですか, 何がありますか

I : んー, 普通の, 日本のうちー (うん), だと思いますが (はい), うちーたっけ [建って] いますからー (はい), 小さいな公園もあるしー (うーん), 近くには図書館もあります (あ, そうですねー), はい, んとー, ちょっと, 5 分ぐらい歩いたら, 大きな, マックッ [マーケット] がありますから (うーん), んー, すんむー [住む] 所ではいいだと思

います

T：あーそうですか〈はい、****〉、駅からも近いんですか

I：駅からは歩いてじゅうふん〔10 分〕ぐらいですがー〈うん〉、んー、ちょっと高い所もないしー、へんち〔平地〕〈あー、平地ですか〉、ですか、はい平地ですからー、歩きやすい、です

T：うーん、あーそうですか〈はい〉、じゃ静かなんですねー

I：はいほんとにしじゅか〔静か〕です

T：あーそうですかー、ほー、じゃ、あの一、お休みの日とか時間があるときは、その公園に行ったりするんですか

I：あ、初めー、来た時はなちゅ〔夏〕でしたからー〈うーん〉行きませんでしたー〈はいはい〉、今冬でして〔笑〕〈{笑}〉、ちょっと寒くてー〈えー〉行かないいで、ではしたが一〈はい〉、図書館には一、時々行きます〈あーそうですか〉、うん、本はじえんぶー〔全部〕難しいですからー〈うーん〉、あのちゃっし〔雑誌〕とか〈うーん〉、子供の用の本を見て〈あー〉、見たりします

T：あーそうですかー〈はい〉、は一、図書館は一韓国にもーありますか、ソウルにも

I：はい、かんこくー〔韓国〕の図書館は一大体、勉強する所が〈うーん〉、みんなあります〈うん〉、図書館があれば、勉強する所がありますがー、お、わたしの近くにいる、図書館はちょっとせ、小さい、からかもしれないがー、勉強する所がない、んです〈あーそうですか〉、はい、これはちょっと残念です〔笑〕

T：残念です〈はい〉、あーそうですか、じゃ本の貸し出しーと〈あ、本は〉、閲覧だけなんです

I：したことがないです〈あ、そうですか〉、見るだけー

T：あーそうですかー〈はい〉、勉強するような部屋はないってこと〈はいはいはい〉、あーそうなんですかー、じゃちょっと小さいってことですね〈はいはい〉、あー

I：でも、なんか、にほ、もつとにほんー〔日本〕の〈うん〉ほうみたいで、なんか日本の、考えると、小さくてーしじゅかー〔静か〕、だってかわいいな〔かわいい〕イメージが〈うーん〉ありますからー〈えー〉、ちょうどいいだと〔笑〕

T：ちょうどいい〈はい〉、あーそうですかー、あー、じゃあ日本のその図書館も気に入ってるんですね〈はい〔笑〕〉、あーそうですか、韓国でもよく図書館利用されたんですか

I：かんこくー〔韓国〕の時はー〈はい〉、ほんとに本を貸したりー、勉強するためにだけ行きました、たがー〈うーん〉、日本でー、は一〔日本では〕ちょっと、暇な時とか〈うんうん〉、気分が、〔息を吸う音〕悪い〈うん〉、とか、気分がいいーになるために〈うん〉行きます、さんぽー〔散歩〕用に

T：あーそうですかー〈はい〉、あーあーなるほどねー〈はい〉、はい、その一、ソウルと比べて空気もいいって言ってましたけどもー〈はい〉、うん、ソウルは今、空気あんまり良くないんですか

I：あー、わたしが考えると、今住んでいる所はー、ちょっと、んー、くるまー〔車〕の、ちょっとす、少ないだと思います〈うーん〉、韓国はー、あの日本より小さー、いんです、でもソウルは、いまー〔今〕人口が多いですから〈うんうんうんうーん〉、たぶん日本よりは空気が悪いだと思う

T : あーそうですか 〈はい〉, うーんなるほどね, うん, 【姓B】さんはなんか趣味ありますか

I : 趣味, あ, えいがー [映画] 〈うん〉を観ることが趣味なんですけど 〈うん〉, 音楽を聴くのも好きなんですけど 〈うん〉, 今ここでは, できない

T : あ, できない 〈はい〉, 日本に来てからは映画は観てないですか

I : はいはい 〈あーそうですかー〉, 観る, みーたい [観たい] ですがー, まだ下手なんですからー

T : あ, 何がですか

I : 日本語が下手ですからー 〈あー〉, にほんー [日本] のえいがー [映画] を観るのはちょっと無理だと思いました

T : あーそうですかー 〈はい〉, テレビなんかはよく見ますかじゃ

I : はいはい 〈うーん〉, 見まじったが, たぶん, 半, 50 パーセントぐらいだけ 〈うんうん〉, 分からないから 〈あーそうですか〉, はいはい, この時, ルームメイトと一緒に住んでいます 〈はい〉, それで, ルームメイト顔見るとー 〈はい〉, ルームメイトが説明したりーします {笑}

T : あ, そうですかー 〈はい〉, あーなるほどね, えーとー韓国に居た時に一何かこう日本の映画とか観たことある, ありますか

I : あー, できるだけたくさんみーました [観ました] 〈あーそうですか〉, ドラマとかー 〈あドラマも〉, はいはい

T : あーあーあー, えーとー, なんかこう印象に残ってる, のは, な, 何がありますかねー

I : あー, 一番はー 〈はい〉, せんだち, 『千と千尋』 [千と千尋の神隠し] のー 〈うーん〉, エ, エニメ [アニメ] 〈はいはい〉, ですー 〈あーそうですかー〉, はい, これは, {息を吸う音}, わたしは, ビデオで観ましたがー 〈うん〉, ちょっと, 映画で観たら, もっと良かったとー, い, 考えています 〈あー〉, これー 〈あー〉 初めて見, る [見る] 時はー 〈はい〉, あーただ, あ面白いーだと, と, この, 小さい女の子がー強いしー 〈うん〉, 元気だねーだけ考えましたがー, たぶん 10 回以上見ました

T : あ, そんなに見たんですか 〈はい, はい {笑}〉, すごいですねー

I : あの初めはちょっと 〈うん〉, 日本語の勉強のためにー 〈はいはい〉, これ, 韓国語がなし 〈うん〉, わたしが, できるだけ 〈うーん〉 見るようにしましたがー 〈えー〉, 見ると, つい韓国語を見ました {笑} 〈あー〉, でも, 見る, 見る, と見ればー 〈うん〉, {せき払い} この, 女の子とー, 川, の, 愛が 〈うん〉, 感じてー 〈はー〉, うん, ***

T : いや, 実は一わたしーその映画観てないんですけど

I : あー, ほんとですか

T : はい, すみませんどんな話が教えてもらっていいですか 〈はい {せき払い}〉, うん

I : んー, この, ちゅうひん [中心], この女のこー [女の子] が 〈うん〉, {せき払い} 中心に 〈はいはい〉 なった話ですがー 〈はい〉, たぶん小学せーい [小学生], 3 年生ぐらいだと思います 〈うーん, うん〉, でも, 何か理由があってー 〈うん〉, 見学のために田舎に 〈はーはーはー〉, 行きます 〈うん〉, この所で一父が, なんか, 面白いみたいーな, あ, あ, 違う {笑}, 父が, なんか, 新しい街で行きます 〈父〉, 車で 〈あーあーはいはいはい〉,

運転するくる、これで、んー、なんか建築[建物]がありますがー〈うん〉、たぶんこれは、のりものー[乗り物]とかー〈うん〉のために一昔に建ってたと思ってー、なんか〈うん〉、ただの見るだけ〈うん〉歩いて、んー、歩いていきますが〈うん〉、ここで、なんかたべものー[食べ物]のにおい〈うん〉、が、あってー〈うん〉、この両親が、食べ物を食べます〈うんうん〉、でも食べ物を食べるとー、ブタになる〈あー〉、うん、この場所は一、なんか、い、今の世界じゃなくてー〈はい〉、んんー、かみさまー[神様]が、し、ちゅかれた[疲れた]ときー[時]、温泉するところー

T：神様が疲れた時

I：うん〈うん〉、温泉をーをするとー、なんか気持ちよ、良くなるからー〈はい〉、この所でしたからー〈へー〉、これで、一人で一千がー、あーういつ、千尋がー残ってー

T：あ、千尋っていうのがその女の子ですか〈はいはいはいはい〉、はいはい

I：このちひろー[千尋]は〈うん〉、ここで働かないとー、同じように一な、なるからー{せき払い}

T：あ、おとうさん[お父さん]とお母さんはもうブタなんですね

I：はいはいはいはい〈あーあーはい〉、ここで〈はい〉、あ、名前忘れました、でも〈うん〉、この、かわー[川]の名前ですがー〈うん〉、この一人と一会ってー、この人のおかげで、仕事を、するようになります

T：え、川、川の人

I：川、うん、か、ここでは人にな、い、かか、かいていますがー〈はー〉、この人はー、川なんです、うん

T：あ、人が川〈はい〉、はー

I：それでー、なんかはじめーて[初めて]見るとー〈うん〉、ん、ただ人だと思いましたがー〈うん〉、よく見るとこれ自然と人間の一、話だと思えます〈はー〉、これで、この小さい子が、よくがんばーれ、して〈頑張って〉、えっと、心が、ほんとに、温かいなー、人なんですからー〈うん〉、最後には、みんな、ハッピーなー{笑}、になりますがー〈うんうん〉、このーえいがー[映画]は、んー、なんか、自分が一人だ、と、思ったときーとか〈うん、はい〉、昔のことがなちゅ、かしい[懐かしい]とか〈はいはい〉、に観るとー〈はい〉、よく、この気分が〈うん〉、あおだと思えます、この、小さい子のーが〈はい〉、わたしが〈はい〉、小さい子になってー〈うん〉、あ、わたしがこの、子がありましたねー〈うん〉とか、あ、わたしも、もっと頑張れなきゃー[頑張らなきゃ]とか〈うーんうん〉思います、もちろんアニメ、アニメでしたがー〈うん〉、おとなー[大人]が見るとー〈うん〉、もっと、いいだと思えます〈あー〉、はい

T：最後ハッピーエンドって〈{せき払い}〉言いましたけどもー〈はいはい〉、お父さんお母さんはどうしたんですか

I：あー、これも言ってもいいですか{笑}〈はい〉、この、最後にはー〈うん〉、ここで、ルールがあってー、この人、ブタが多いです〈はい〉、これでおとさん[お父さん]とおかさん[お母さん]をー、一つ、たった一つでー、選べ、るとー、一緒にうちに帰るのができるんです

T：あ、その、ちひろー[千尋]っていう女の子が選ぶんですか〈はいはい〉、はー

I：この選ぶの前〈はい〉、なんかいいことをしましたから〈うん〉これができるんですが

ー〈あ、はいー〉、はい、ここで一千尋が一、これがわたしも、あ、よく分からない〈はい〉、宮崎駿さんを一会ったら一ぜひ聞きたいところなんです {笑} 〈聞きたい、うんうん〉、
「ここでは、なしー」と言います

T：え、ここではなし

I：「ここではなしー」と、それでー〈うん〉、このブタが、みんな、ほかのーとぶちゅう
[途中]で、変わって、世界、になります、それで〈あー〉、一緒に帰るんですがー〈はい〉、
{息を吸う音} 何でここでもなしーる、分かるんですかーと、よく観ましたが一分からな
いんです

T：あー、「ここではなし」っていうのはど、どういうことですかね

I：「あ、あちゅめて [集めて] いる〈うん〉ブタの中では〈うん〉、わたしの両親は、居
ませーん」と言います

T：あ、あーそうなんですか〈はいはい〉、それが分かったんですねー〈はいはい〉、あー

I：{息を吸う音} なぜかーしら分からないんですが〈あーそうですねー〉、はいはい

T：じゃほかの所に居たんですか

I：はい、たぶんほかの所に居まし〈うん〉、た、それでー〈うん〉、あ、「それならわた
しの両親は、どっちに居ますか」〈うん〉と聞いてー〈うん〉、「先に、ここの建築 [建物] の
前に居ますからー〈えー〉、早く走ってー」と〈はい〉言います

T：あーそうなんですかー〈はい、はいはいはいはい〉、あー、その一映画のじゃあ、やっ
ぱり、宮崎駿さんがその映画でー〈うん〉、言いたかったことっていうのは一、その自然と
人間との関係ってことですかね

I：はいはい、たぶんこれだと思います

T：あーそういうことなんですかー〈はい〉、うーん

I：この一子ども、この一女の子が一〈うんうん〉、4歳とき [4歳の時]、この川で一、靴
を、なくし、た〈はいはい〉、忘れてー〈はい〉、この、これを探すためにー〈うん〉、川
に入れます〈入ります〉入りますからー〈はい〉、この川が一〈うん〉、この女の子を安全
な所に、つじゅけて〈うん〉、連れて〈はい〉、いきますから〈あー〉、この女の子が、助け
ーました、これを

T：か、川を助けたんですか

I：川が〈はい〉、女の子をあんじえん [安全] な所に

T：あ、その川が助けた

I：はいはいはいはい〈へー〉、それにー、言います、ここでは〈あ、そうなんですか〉、
「あなたのた、あなたのおかげでわたしが助けたー」と、「わたしも、あなたーが、初めの
愛だ」と〈ほー〉、それを言います

T：あー、あ、その川の人っていうのがその、助けた〈はいはいはいはいはい〉、あー、そうい
うことなんですか、ふーん

I：この〈うん〉、この川の時は〈うん〉ほんとに川ですがー〈えー〉、このところ場所
では、人の、様相です

T：あ、人のかたちになる〈はい〉、はー、なるほど〈してます〉、あ、そういう映画なん
ですか〈はいはい〉、うーん、すごくあれですよ人気があった映画ですよー

I：はいたぶん大きなー、外国で大きなー

T：うん、なんか賞もらった〈賞，賞，はいはいはいはい〉，は一は一，はいはい，そうでしたねー，うーん，あの一，自然とやっぱり一人間の関係ってことでー，自然がどんどんやっぱり失われていることに対してー，なんか警告を発してるってことなんじゃないかなー

I：はいはいはいはい

T：はい，うん，あの一，【姓B】さんはその一，それを見て，ど，どう思いましたか，なん，なんていうんですかね，自然をもっと大切にしないといけないとかそういうことですか

I：あ，やっぱり人間は自然がないと〈うん〉，人間もない，居ないなとー〈うん，うん〉，思い〈うん〉，思いました〈うん〉，それで，この女の子が，そんなに，小さいですが，わたしより，強いなと思たし[強いなと思ったし]，なんかわたしが，迷ったとき，たれ[誰]かわたしを一助け，てくれたかを〈うん〉考えるとー，{息を吸う音}なんかわたしも一人じゃない〈うん〉，と，わたしも元気で，頑張れると〈うん〉，いいことがあるかもと

T：あー，あー，なるほどねー〈はい〉，すごくじゃあ影響が大きい映画でしたねー

I：たぶんたくさん見るーとー，たくさんの影響をもらいます{笑}

T：あーなるほどねー〈はいはい〉，はい，あの一，アニメなんだけどもー，結構そういうふうにごいろいろ，内容が深いってことですねー〈はいはい〉，うーん，あの一韓国のアニメってどうですか

I：かんこくー[韓国]では〈うん〉，アニメーは，あまり見ません〈うーん〉，最近は一，ちょっとー，んー，だに，誰かがかっく[描く]んですがー〈うん〉，{息を吸う音}韓国には，あんまり，アニメは，有名じゃないだと思います〈あーそうなんですか〉，アニメーならーやっぱり日本が一番有名だしー〈うーん〉，内容も〈うん〉，韓国のアニメの内容は〈うん〉，小さい，が見るとー〈はい〉，よく人気があります〈はい〉，*****〈うん，はい〉，はい

T：大人が見てもーあの楽しめるアニメっていうのは一，はい，どうして韓国ではあんまり，ないんですかねー

I：たぶん日本では一，漫，画[漫画]を買って〈うん〉，読むのが，自然だしー〈はい〉，んー，これを怒れる，おとうさん[お父さん]とか両親が見ると怒れないでしょ〈おこ，怒らない，うん〉，おこら，怒れる

T：ま，あー，子どもが漫画を見たときにー〈はいはい〉，お父さんお母さんが怒らない〈そう，はいはい〉，はいはいはいはい

I：ないでしょ〈はい〉，韓国では一，見ると，お父さんとお母さんが，怒れます[怒ります]〈あーそうなんですか〉，はい〈うん〉，それで，わたしーは，{息を吸う音}なんか漫画を読むのが，好きじゃないですがー〈うん〉，た，たいたい[大体]ともだちー[友達]が，んー，ほかの所で，りょうしーん[両親]が見ない所〈{笑} あーそうなんですか〉，うん，たぶん韓国で，あ，学校でー〈うん〉，持ってー，休みの時間に見るのはわたしだいじょぶだと思いますが〈はい〉，韓国ではこれも駄目です〈あーそうですか〉，ルールで〈うん〉，漫画は読まないように〈あー〉ですからー〈うん〉，たぶん，発展ができない〈発展ができない〉，はい〈うーん〉，これを描くーの人はー〈うんうん〉，これを買ってー，このお金でー生活ができるんですがー〈はい〉，これは描かないからあんまり，たぶん

T : あ、描かないっていうと

I : うん、買わない〈あ買わない、うんうん〉、買わない、漫画をよく買わないから〈あー〉、漫画かー〔漫画家〕になりたい人も少なくなるし

T : あーそうなんですか、ほー、ということは、あの一大人の人は漫画っていうのはー、あんまり良くないものだと思っている〈はい、たぶんこれ****と思います〉、ということですかねー〈はい〉、うーん

I : それで〈うん〉、日本で、電車の中でよく子どもーごー、漫画、読んでいるのを〈はい〉よく見るしー、おとなー〔大人〕ひと〔人〕もー漫画の雑誌とかを〈はい〉読んでいるのを見ると、あ、韓国と、全く違うだと〈あーあー〉、たぶん、韓国で漫画をー〈うん〉、この電車の中でー〈うん〉読むとー、大人、もー〔大人も〕、子どももー〈うん〉、あこの人何で漫画を読んでいると〈あーあーあーあーあー〉、なんか悪い、イメージが

T : 悪いイメージがあります〈はい、****〉、じゃ【姓B】さんも日本に来てびっくりしましたか、電車の中で漫画を読んでも大人の人を見て

I : でもたぶん〈うん〉、前、ドラマとかでよく見ましたから〈あーそうですか〉、はい

T : じゃ、あの一、韓国の一大人の人たちー、その、えー、【姓B】さんが観た『千と千尋』みたいにね、アニメっていうのはー、すごく、あの勉強になることもいっぱいあるんだよっていうことを一教える一ためにはー、何て言いますか、大人の人に〈あー〉、何て言ったらいいでしょう

I : わたしは宮崎はやおー〔駿〕〈えー〉さんが、創った映画、は〈うん〉、あ、漫画は、映画館に〈うん〉行って〈うん〉観たいですがー〈うん〉、たぶん、わたしのともだちー〔友達〕は、これを一、映画館、まで行って〈うん〉、観たいと言います、それで、わたしは、観るとーいいだと、思う、なんか、映画、ですがー、これは大人のための映画だと思いますから〈うんうん〉一緒に観ようと、えす、いて〔言って〕、一緒に観るとー、{息を吸う音} たぶんわたしとはちょっと違うんですがー〈うん〉、大体おな、面白いだと思いますから

T : あーそうですか〈はい〉、うんうんなるほどー、はい分かりました〈****〉、はい、ちょっとここで違うことをしたいんですけど〈はいはい〉、いいですか〈はい〉、ロールプレイってご存じですか〈はいはい〉、じゃロールプレイをちょっとしますね〈はい〉、はい、えーと、はい、じゃあちょっとですね、あ、こっちのほうがいいかなー、はい、じゃこれを声を出して読んでみてくださいーい

I : 今会社がとっても忙しいですが、あなたは、どうしても会社を休みたいです、しょうじ〔上司〕に休みたいと話してください、しょうじ〔上司〕

T : 上司〈上司〉、はい、はい、ここにありますが〈んー、はー〉、いいですか〈はい〉、はい、じゃわたし会社の上司になりますね

I : はい〈はい〉、理由はわたしが言うんですか

T : はいちょっと考えてください、はい理由〈あー〉、はい、はい〈うん、分かりました〉、いいですかー〈はい〉、はい、じゃあ上司になりますね、はい、あ、【姓B】さんこんにちは一

I : こんにちはー

T : はい、うん、頑張ってるってねー

I：はい頑張っているんですがー〈うん〉、ちょっとちゆかれた一ぎみー〔疲れ気味〕なんですよ

T：あ、疲れぎみー〔疲れ気味〕〈はい〉、どうしたのー

I：わたし、今、ほんとに頑張ってー、このプロジェクトを〈うん〉成功しましたがー〈うん〉、あ、まだ休みの日がないのでー

T：あー、そうだったー〈はい〉、うん

I：あー、今、忙しいところでーすみませんがー〈うん〉、ちょっと、休みのひー〔日〕をもらいたいですー

T：あ、そう〈はい〉、えーそうーですか、えーとー休みずつとなかったかなー

I：はい〈あーほんとー〉、今たぶん1カ月、あいだ〈うん〉、ずっと仕事だけしますんでー〈あーそう〉、休ん、だらー〔休んだら〕、後で、よくしごとー〔仕事〕を、することができると思います〈あーそう〉、はい

T：じゃちょっと体今疲れちゃってるんだねー〈はいはい〉、あーそうか、〔息を吸う音〕今ねーちょっと、ちょうどもうす、1週間ぐらいでー、うん、ちょっと山越えるかなと思うんだけどー〈あー〉、1週間ぐらいもうちょっと頑張ってーもらえるかしら

I：あ〈うん〉、1週間ぐらいも〈うん〉、仕事するのも〈うん〉できるんです〈あー〉、でもー1日だけーだと〈うん〉わたし休んだらー〈うん〉、あとの、いつしゅうかーん〔1週間〕より〈うん〉、もっと頑張るんだと思います〈あーそう〉、はい

T：そうかー、うーんそうだねー、ずっと休みなしでやってくれたんだったらねー〈はい〉、うーんかわいそうだもんねー、じゃあそうだねー、今度のじゃあ日曜日はもう、当然、うん、あの一お休みとってもらって構わないですよ

I：はい〔笑〕

T：うん、はいじゃあでもー申し訳ないけどー〈はい〉、土曜日は出てきてくれる

I：はい、いいですよ

T：うんうん、じゃ日曜日休んでー、また一月曜日から

I：あ、お、ありがとうございます

T：あーとんでもない〈はい〉、はい、はい、じゃこれ終わりますね〈はい〉、はい

I：でも、このとき〈うん〉ちょっと〈うん〉、自分がちゆかれた〔疲れた〕から〈うん〉言うのがいいですか、なんか理由があってー、〔笑〕言うのがいいですか

T：どーっちがいいですかねー

I：正直言うならー〈うん〉、まえのいーが正直言うならですけどー〈うんうん〉、たぶんわたしが上司なら〈うん〉、この人何だって〔笑〕

T：この人何だって思っちゃう〔笑〕、疲れたから休めなんて〈はい〉、うーん、どうですかね、はい、じゃもう一つやっても〈はい〉いいですかー、はい

I：あなたは今の会社でー3年働きーしました、が、会社を、辞めてー、たいがく〔大学〕へ、戻りたいと考えています〈うん〉、引き留める上司に、そのことを怒ら、怒られせない〔怒らせない〕ように、い、説得した、しな、説得しなさい

T：うん、意味分かりますか〈はい〉、はい、今もう3年働いたんですね〈はい〉、はい、でも、会社辞めてー、大学に戻りたい〈はい〉、はい、えーそれをー、わたし上司なんですけど、んーそれはって引き留めますからー〈うん〉、はい何とか説得してください〈はい〉、

はい、はい、じゃ始めますね〈はい〉、はい、はい、あー【姓B】さん、はい、なんか話があるって

I：はい、今ちょっと一悩んでいることがあるんですがー〈うんうん〉、相談したいだと思いますー

T：あ、はい〈はい〉、何ですかー

I：今わたし、3年間働いていますがー〈うん〉、なかなか、ふ、今の仕事についてー〈うん〉、{息を吸う音} まだ、勉強したいだと思います***

T：うんうんうんうん、まあ働きながらねー、勉強できてるんじゃない

I：あー〈うん〉、初めはそう思いました〈うん〉、けどー、あー、勉強するならー、ちゃんと仕事を辞めてー〈うん〉、ん、勉強を一続けてー〈うーん〉、後でー、会社に戻りたいんですがー

T：あ、え、会社辞めるっていうことー〈はー〉、あー〈辞め〉、辞めてどうすんのー

I：{息を吸う音} あー、いまー[今]は、たぶん、後でーするのはー〈うん〉、年も取るしー、ちょっと大変だと思ってー〈うん〉、今の時、辞めて、勉強、仕事の勉強を〈うん〉すれば、どう、どうだろうかーと考えましたがー

T：うんうん、どこで勉強すんの

I：んー、もう一回大学にー

T：あー戻りたいってこと〈はいはい〉、へー、でもー仕事をしながら勉強したほうがー、じっちー[実地] 訓練になるんじゃないーい

I：でもー〈うん〉、しごとー[仕事]と勉強をー〈うん〉するとー、集中できないだと思います

T：あーそう〈はい〉、うーん

I：しごとー[仕事]〈うん〉、ん、のー、とき〈うん〉、なんか、もし、大学の試験があればー〈うん〉、会社にも迷惑、するかもしれません、しー〈あーあー〉、はい

T：まあ、会社に通いながら大学に通うのは無理だと思うんでー〈はーい〉、仕事しながらー、例えば家に帰ってからー〈はい〉、自分で勉強するっていうのは駄目なの

I：あ、これも〈うん〉できるんですがー〈うん〉、たぶん、時間がーたつーしー〈うん〉、わたしもちょっとちゆかれる[疲れる]かもしれない、からー〈うーん〉、ちゃんと仕事を辞めてー、勉強だけ、したいんです〈あーそう〉、はい

T：{息を吸う音} ただやっぱり大学に戻るとなるとー、4年〈はい〉、はい、でそのあとーまた戻りたいって言われてもねー〈はい〉、こっちもー戻る、ってきてもらえるかどうか分からないよ

I：はい、そう、そうですねー〈うん〉、でもわたし、勉強をーちゃんとしてー、かいしゃー[会社]に、教えなー人間になってー〈うんうんうんうん〉、このためには〈うん〉、会社と〈うん〉、勉強を、一緒にするのは無理だと思います

T：あーあーそうなんだ〈はい〉、3年勤めてもらったからねー〈はい〉、まだこれからなんだけどねー〈はい〉、うーんちょっと頑張っしてほしいんだけどー、どうしてもだめー[駄目]

I：んー、たぶんいまー[今]、辞め、なるとー〈うん〉、辞めらないとー[辞めないと]、大学には二度と、戻るのが、できないだと思いますからー

T : あーそう，うーん分かりましたーじゃ〈お願いします〉，はい，じゃちよつとー，こっちもねー突然だったんで〈はい，はい〉びっくりしたのでー〈はい〉，少しーじゃあ考えてー〈うん〉，うん，みましょう〈うん〉，【姓B】さんももうちよつと考えてみてください，で，はい，またあの一少したってからもう一度話しましょう〈はい〉，はい

I : ありがとうございますーす

T : はい，はい，じゃ終わりますね〈はい〉，はい {笑} 〈{笑}〉，はい，えーとー前あの一お仕事してた時っていうのはー，また大学に戻りたいとか考えたことありますか

I : この時はー〈うん〉ありませんでしたが〈あ，えーえーえー〉，これ，辞めてー，日本に行くって〈うん〉，日本語の勉強するとー，それはするとほんとにおも，面白いですがー〈うん〉，むじゅかしい [難しい] ですー〈うーん〉，わたし漢字も嫌いしー〈{笑} そうですか〉，{笑} はい，ぶんぽ [文法] もー〈うん〉，初めはー，韓国語と大体同じですからー，覚えやすいですが〈うーん〉，なんか，途中で，お，韓国と違うぶんぽ [文法] が出ると，お，お何で違うのーと {笑} 〈{笑}〉，韓国で，も，たいがく [大学] に，日本語の勉強したいだと思いますが〈うーん〉，今，た，たぶん同じ，わたしのー，母はー，{息を吸う音} 仕事をする〈うん〉，のと一緒に勉強するのはーだいじょぶですが，たいがくー [大学] だけ戻るのは，{息を吸う音} ちよつと，駄目だと言ってー〈あーそうですか〉，はい，今ちよつとー考えています〈あーそうなんですかー〉，はい

T : あー分かりました〈はい〉，はい，きょうこれからどうしますか

I : きょうクリスマスですからー {笑} 〈そうですね，うん〉，たぶんー食事，のためにー新宿に行く

T : あ，いいんですねー〈はい {笑}〉，はい，じゃぜひ楽しんできてください

I : はい，ありがとうございます

T : はい，じゃきょうはこれで終わります

(3) OPI インタビュー (30 分)

T : はい, ではこんにちは

I : はい, こんにちは

T : はい, えっとお名前をお願いします

I : わたしの名前は, 【姓名 A】 と申します

T : 【姓 A】 ですね

I : はい

T : はい, わたしは 【姓 B】 です

I : はい

T : よろしくをお願いします

I : よろしくをお願いします

T : えっと, 【姓 A】 さんは, えっと, 国は, どちらですか

I : あの一, 出身は韓国からです

T : 韓国ですか

I : はい

T : 韓国のどこですか

I : 韓国の 〈はい〉, あの一, ソウルから, 東, 南にある 〈うん〉, キョンギドウ 〈はい〉, の, えーとイチョンという 〈はい〉, セラミックが有名な所ですけど 〈あーなるほど〉, あのどうけ[陶器]が, 有名なところで

I : あそうですか, セラミックが有名な所ですか

I : はい

T : ああそうですか

I : と, お米が, 有名な所から来ました

T : あ, お米が有名な所ですね, はい

I : はい

T : ちょっとあの, まあ, え, じゃあ, その, あの, まあソウルのちょっと, あの一, まあ, 南から 〈そうですね〉, 来たってということですけど, まあとりあえず, 簡単に, 自己紹介を, してもらえますか

I : えっとー, わたしはあの一 〈うん〉, えっとー, 1 年, あ, ことしの 4 月から 〈うん〉, ここの, けっ, あの 【大学名 C】 の大, 大学院に 〈うん〉, あの一, 進学した 〈うん〉, 【姓名 A】 と申します 〈はい〉, あの一歳は, 今 20, 日本の歳では 27 〈うん〉, に, なってます, はい, それと, えっとー, 前あの, 1 年間交換留学生したことがあるんで 〈うん〉, まあ, 日本語がちょっとしゃべれる, ということ 〈うん〉 ですね, で今の専攻としては, あの一太陽電池に関する 〈うん〉, いろんな 〈太陽電池〉, 研究を, してます

I : あそうですか, はい

T : はい

I : 以上です {笑}

T : あなるほど, そうですね, はい, ありがとうございます

I : はい

T : えーとー, まあ, 最初, ちょっと言いましたけど 〈はい〉, あの一, えーとー, 韓, え

一とソウルの、ちょっと南，東南

I：そうですね，東南

T：東南の何，キョン，キョンキド

I：キョングドゥという

T：キョウングドゥ，キョングドゥ

I：地域

T：キョングドゥというのは地域

I：はい

T：そのま，あの，で，実際あなたが，生まれた，【姓A】さんが生まれた町の名前は，どこです

I：うーん，町の，町もそこです，はい

T：町も，町も，町も

I：ずっとそこで

T：そこで

I：はい，住んでました

T：キョングドゥっていう所ですか

I：はい

T：分かりました，で，えーと今，あの，ちょっとセラミックが，有名っていうこと

I：あそうですね，そこは，どうけ[陶器]が〈うん〉，結構有名な所で〈あーはあはあはあ〉，で，あの一結構あの一，ペステ，ペスティバル[フェスティバル]とか〈うん〉，祭りとかは結構〈うん〉，1年に，何か場所はちょっと〈うん〉違うんですけど〈うん〉，1年に1回は必ず〈うん〉，開かれてます

T：うん，それは何の祭り，うん

I：あの一，セラミックフェスティバルという

T：セラミックフェスティバル〈はい〉っていうのがあるんですか

I：それって結構あの一世界的な〈うん〉ものみたいで〈ほうほうほう〉，いろんな国から，国々から結構〈ふんふん〉，いらっしゃった人とか，いました

T：あ，なるほど，セラミックフェスティバルって何かあんまり，聞いたことないんですけど

I：そうですね

T：えーと一，それはどんなお祭りなんですか，ちょっと教えてください

I：えーと一，昔，あの，イ，そこのわたしが〈うん〉生まれた所，あの，イチョン〈うん〉，とヨジュ〈ほうほう〉，隣の町のヨジュ〈はい〉と，そのまた，ほかの，方面の〈うん〉，クァンジュという〈うん〉，でその3つの町が，結構，近いところにあるんですけど〈はあはあはあ〉，でそこら辺には昔から，あの一，いい土が取れて〈うん〉，でそれで，あの一どうき[陶器]が有名になったということで〈あーはあはあはあ〉，で，えと一セラミックフェスティバルが〈うん〉，開かれたのは，えと一3，あ，あ今からだったらはん，たぶん5年ぐらい〈5年ぐらい〉，5年前〈あつ〉，から，開かれ始めて

T：あつ，割と最近のことなんですね

I：そうですね〈うん〉，すっ，5年，5年〈うん〉，{笑}たぶん5年ぐらいですね

T : {笑}5年ぐらい

I : はい、で、そこは昔から結構有名だったんで〈うん〉、あの、どうき[陶器]とかセラミックとかをうち、結構売ってる、かい、あの一店とかも結構あったんで〈あーはあはあ〉、で、その活性化のために、うん、そういう、フェス、祭りを〈ふんふん〉、用意したんじゃないかなと〈うん〉、思われます

T : あっ活性化の

I : そうすね

T : ために

I : はい

T : ああそうですか、なるほどね、で実際、ある程度その、活性化は、成功したんですか

I : そうですね〈はあ〉、何か、あの、一回わたしも行ったことあるんですけど〈うん〉、ま、結構あの一わたしが住んでいる所が、近い所なんですよ〈はあはあはあはあ〉、でそれで、何か、その、祭りの風景とかを見ると〈はい〉、結構いろんな国からの人が来て〈うん〉、実際に体験してみたり〈うんうん〉、自分が体験して焼いた陶器を持っていかれたり、とか、あー何か、いろんな、店、のとか、店とかを、回ったりして〈あーはあはあ〉、買っていったり、するところを見たら、ああ結構、地域が、活性化するにはちょっと役に立つんだなあと〈あーはあはあ〉、思いました

T : なるほどね

I : はい

T : うんうん、そうですか、まあじゃあ、その地域活性化に、ちょっとその、セラミックフェスティバルが{笑}〈そうですね〉、まずは役に立ったっていうことですけど〈はい〉、ああそうか、じゃまそういうね、まあ最近の、祭りだけど、それなりに効果が、あったというのはいいいことですね

I : そうですね、うん

T : うん、えーとー、で、まあ例えば、まあそれ、たぶんこれからも続いていく、お祭り

I : そうですね、ずっとー、ずくと[続くと]〈うんうん〉思っているし〈うん〉、あの、それ以外にもまた、何か、いろんな祭りが〈うんうんうん〉、何かイチョン、というわたしが、生まれた所は〈うん〉結構そういう、祭り好きというんですかね{笑}

T : あ祭り好き

I : そういうのが何か〈うん〉、しー、たくさん開かれてます

T : ああそうですか、ああ

I : 例えばあの一、お米の〈うん〉祭りとか、それと何か、農民祭りとか〈うんうん〉、そういういろんな祭りが〈うん〉、ほかの、あの一わたしがあのチュンジュとかでも〈うん〉、あの大学に通う時に、そこ、にも、あの何年間住んだことがあるんですけど〈うん〉、自炊したことがあるんですけど、でそこでは、なかなかそういう祭りがあるということは〈うん〉あんまり、聞いたこともないんで〈あーはあはあ〉、で、あの、イチョンという所は結構〈うん〉、そういうのには力を注いでいるなと〈うん〉、思ってます

T : そうですか、まあそれで、セラミックフェスティバルが成功したっていうこと

I : そうですね

T : で、それで地域活性化にもある程度役に立った〈そうですね〉ということですかね、

であのまあ、あの一、で、いろんな要因があると思うんですけど〈はい〉、それだけその一、お祭りがね〈はい〉、最近できたお祭りが、あのうまくいって、地域も活性させ、化させる〈はい〉、まあ原動力になったっていうことの、一番の理由って何だと思いますか

I：{息を吸う音}、一番の理由って〈うん〉どうですかね〈うん〉、もともと

T：ま、一番が難しかったから別に〈{笑}〉、幾つ、幾つでもいいけど、うん

I：もともと、地域の名物というのが〈うん〉、あったということと〈あーはあはあ〉、つとそれがいす、あの一それを活かせるための〈うん〉、あの、あの一町の〈うん〉、何ていうんですか、あの一、えと一、市長さん〈うーん〉、とか、その役員さんたちが結構〈うん〉、働いたんじゃないのかなあと〈あーはあはあ〉、というのが一番の理由じゃないすかね、あの一、えと一、まあ、それですかね〈うん〉{笑}、まあ、し、地域

T：まあじゃあその市長、市長さんとか

I：そうですね

T：うん、割とトップの人が頑張ったっていうことですか

I：そうですね

T：なるほど、でも、まあ、大概、同じようなことをね〈はい〉、たぶん、まああの、いろんな過疎化が進んでいたりとか〈ああ、そうですね〉、あの産業が廃れていってる町では、まあ日本でも同様に〈ああ〉やろうと言うかもしれないけど、やっぱりなかなかその市長さん、が、頑張っても〈はい〉、まあ[まあ]、あの、努力の仕方にもよるけどね〈ああ〉、市長さんのほうが一生懸命頑張ってもそれだけではなかなか難しいっていうことも〈まあ確かに〉、あるんじゃないでしょうか、うん、うん

I：そうですね、えと一、でも一あの一、わたしもあんまり政治とかはそういう〈うんうん〉、上の人たちの〈うんうん〉、その{笑}、どうやって、どういう仕事をさせているのか[させているのか]、とかはあんまり、詳しいことは分からないんですけど〈うーん〉、でも、あの一、イチョンという所は〈うん〉、昔はほかの町にそれ越されている町だったんですよね〈うん〉、でもう、それが、市というのに〈うん〉、命名されたのが〈あーはあはあ〉、わたしが中学校のころだったんで〈うん〉、結構、急に、成長した町〈うんうん〉みたいな感じだったんですよね、で、あの一、その、急に成長した原因としては〈うん〉近くにあの、あのヒョンデ〈うん〉、の、あの一半導体工場も〈半導体工場も〉あったんで、で、それ一、そこに通っている人が多いから〈うん〉、あの一、結構、人口が、多くなってるから〈うん〉、その一、市に、しょうきや、昇格された〈うん〉なのかもしれ、かもしれないんですけど〈うん〉、でも一応、それも、あるとして〈うん〉、あの一市長さんたちが、何とかそういう、そうやって、あの、ヒョンデとかを〈うん〉、自分たちの、町に、あの一、入れようと、してた〈あーはあはあはあ〉、努力とかは〈うん〉、あるんじゃないかと〈うん〉、考えられますので

T：なるほどね

I：はい

T：まあそういうふうな、あの、まあその周辺の事情もあって〈そうですね〉、努力をしないと〈はい〉いけないということですね〈はい〉、うん、あーなるほどそうかー、でもまあ、うん、その一、幸い、もともとある、産業が〈はい〉、あったっていうことも〈そうですね〉有利な〈はい〉えい、要因だと思うんですけど、まそうやってそのトップからね〈はい〉、

うまく働きかけないといけないっていう〈うん〉、ところが重要だと思うんですが、まあただそれがなかなか、す、うまくいかない所のほうがどっちかといえど〈ああー〉、多いと思うんですよね〈そうですね〉、うん、で、もし、例えばその一、まあ一ほかの、町でね、まあ、その一、トップに立ったときね〈うん〉、ま【姓A】さんがその、どっかの町のトップに立ったときに、えーと一、まあ町を活性化〈うん〉、させないといけない、けどなかなか、意欲はあっても、その、実際の住民とか〈うん〉、あの一その一企業のそのまあ従業員たち、のほうは、なかなかうまく、あの一、それに、賛同してくれない〈そうですね〉ようなときっていうのは、どうしたら、いいと思いますか、もしあなたがその、トップの人だったら、まその、下を、下の人たち〈はい〉、を、活気づけるためには、どうやって〈ああー〉、やっていって、やきって[やって]いきたいと思いますか

I：まずは〈うん〉、あの一、先に〈うん〉、{笑}、言っておきたいのは〈うん〉、えと一、わたしはそういう、その一、上の人立場になって〈{笑}〉、そういう、誰かを、こうやってしきちったり[仕切ったり]する〈うん〉ことはちょっと苦手だと〈なるほど〉思うんですけど〈うん〉、で、わたしなりにかん〈はい〉、考え〈うん〉、たのを述べると〈うん〉、えと一、その一一応、運も〈運も〉、結構〈はあはあはあ〉、左右するとは〈うん〉、思うんですよね〈運ですか〉、で近くの、さけや、最初、さっきあの申し上げたとおりの〈うん〉、その、地域の名物とかが〈うんうんうん〉あったということと〈うんうん〉、結構、それが昔ながらのもので〈うーん〉、結構有名、ということ〈うん〉、とか、そういうのも結構運〈うん〉、とかで、作用するとは思うんですよね〈うんうんうん〉、でそう、まずはそういうのが〈うん〉あるとして、で、あの、しゃち、下の人たちをし、き、つるためには〈うんふんふん〉、えと一{笑}、〈{笑}〉、えと一まあ、まずその人たちにも〈うん〉、あの一、その一、意識を〈うん〉、ちゃんと、芽生えさせてる、芽生えさせる〈うん〉、のは、まず大事だ〈うんうんうん〉と思いますよね、でその人たちが、まずきちかないと[気付かないと]〈うん〉、自分たちの、町に、何が有名、だとか〈うん〉、のを、先に分からないと、あの、何も始まらないんで〈あーあ、なるほどね、うん〉、まずはその人たちの教育とか〈うん〉、そういう、賛同を〈うん〉、得るということと、その後は、えと一その人たち、と、あの、何回も何回もこうやって〈うん〉、あの一、打ち合わせとかしたり〈うん〉、して、あの、あとほかの、地域の〈うん〉、協力とかを、受けて、まあ、着々と{笑}〈{笑}〉、進んで、いくしかないと思いますよね

T：ああなるほど

I：はい

T：そういうことですか、はい

I：というと、あの、ほかの、あの地域にもちゃんと〈うん〉、あの一報告、あ、報告じゃ〈うん〉、ないの、あの一、広告とかを〈うん〉、したり、して〈あーはあはあ〉、チームとかを流したりして〈うんうんうん〉、れば、結構、{笑}、できるんじゃないかなあと

T：できるんじゃないかと、ああ、そうですね、なるほどね

I：すいません

T：まあそれ{笑}、まあそういうふうに、まあ、やっぱりやっていければ〈はい〉、いいかなあっていうのは〈そうですね〉ありますね、まあなかなかその具体的な現場になったらね〈そうですね〉、うん、あのいろいろ難しいでしょうけどね、うん、はい、ちょっとあと

話は変わりますけど

I：はい

T：今あの一、えっと一【姓A】さんが〈はい〉、まあ研究していることとして〈はい〉、たい、太陽電池〈はい〉、太陽エネルギー〈はい〉、うん、っていうのを、まああの取り上げた、あの、さっき教えて〈そうですね〉くれたんですけど〈はい〉、えーと一、まあその太陽電池とか、太陽エネルギーとか、聞いたとき、に、まあ、それ、あの、非常にいいエネルギー〈そうですね〉なんじゃないかなあっと、やっぱり〈はい〉、そう、き、どうですか、やっぱり将来的には希望が、持てると思いますか

I：一応、そうですね、わたしが、ここににゅ、ここのあの【研究室名A】研究室の太陽電池〈うん〉に関する研究を、している、研究室にす、あの一入学したのも〈うんうんうん〉、一応、あの一、再生型エネルギー〈うーん〉、ということで〈うん〉、あの、太陽電池が、あの一、これからも結構、かつこう[脚光]を浴びる〈うーん〉、んじゃないかなあと、思ってた〈うん〉、で、入学を決めて〈うん〉、で実際に入ってみたら、結構あの太陽に関してもいろいろな〈うん〉、いろんな種類、種類があって〈あーはあはあ〉、あの例えば、わたしたちが、主に知っているのは〈うん〉、あれですねあの一シリコン型太陽電池〈うーん〉、でシリコン型太陽電池には、今もあの一結構、実用化もされてるし〈うん〉、いろんな所で、取り入れて〈うん〉、結構あの一、今はもう家の、屋根の所にも〈うん〉、設置するようにな〈あーあー〉、なってますけど、で、あの一種類が、そうやってシリコン電〈うん〉、シリコン型太陽電池とか、もあるんですけど〈うん〉、その一番、弱いところが、えーっとたんいしょう、ですよな〈うん〉、たんいしょうが、値段が高いということですね
T：あーなるほどそうですね

I：値段が高くて、あの一なかなか、まあ効率は結構〈うーん〉、あの一、光、あ、光電変換効率〈ふんふんふん〉、は結構いいんですけど、でも、値段が高くて〈うん〉、なかなか、あの一一般の、人たちが〈あーはあはあ〉、それを、買うにはちょっと、無理が、あるっていうことですね、で、それで

T：なるほど、うん、ちょっとコストがね、うん

I：はい、それで、コストを、ちょっと、削減して〈うんうん〉、ま削減というか、あの一、原価をせちがん[削減]して〈うんうん〉、作ったのが、あの一色素じょうかん[増感]太陽電池という〈うーん〉、ので、あの一、かん、結構、作り方も結構簡単で〈うんうん〉、で、産、あの一実用化にも結構〈うん〉、向いてると思うんですけど、でそれが、今は結構、あの一光電変換効率が〈うんうん〉、そこまで高くないという〈あーあー〉、ことですね、まだ実用化には、達してないという〈うーん〉ことで、で、若干、まあ、そこまで、うん、実用化には、まだ〈うん〉、まだだと〈まだまだ〉思うんですけど〈うん〉

T：ま、結構希望が持てそうなところなのかな

I：そうですね、はい、今

T：うん、なるほど、で、最初に、ちょっとた太、その一電池のね〈はい〉、説明してくれましたけど、最初に再生、んんん、再生エネルギー

I：再生型

T：再生型

I：エネルギー

T：再生型エネルギー

I：はい

T：の、一つとして、太陽電池があるわけですね

I：そうです

T：ほかに、再生型エネルギーって何がありますか

I：再生型エネルギーとしたら、あの自然から生まれてくるエネルギーとかも〈はあはあはあ〉、一応そういうのに入るとは思うんで〈はいはい〉、あの一例えば風力〈あーなるほど〉、水力〈うんうん〉、っとそれと、後は、韓国で〈うん〉、あの一、大学の時にも聞いたんですけど、波力とか〈あーはあはあ〉

T：は、はりよく

I：波の力

T：あ波の力、うんうん

I：とかも、使ったり〈うんふん〉、えーと一、それっとな、何があるんですかね、また{笑}〈{笑}〉

T：まいろいろあるわけですね

I：そうですね

T：そうですか

I：はい

T：じゃ、その中で〈はい〉、あの【姓A】さんが、一番、何ていうのかなその、ま実用化というか普及に〈はい〉、適しているのはどれだと思いますか

I：{息を吸う音}やっぱりあの、太陽電池じゃないのかなあと

T：太陽電池ですか、あーはあはあ

I：思っています、はい

T：なるほどね、まあただ、さっき言った、コスト面の問題がある〈そうですね〉っていうことですけどね〈はい〉、うん

I：コスト面にはあの、シリコンというのはあの一〈うん〉、砂から取れるのは取れるんですけど〈うんふんふん〉、砂は、砂を値段付けるんだとしたら〈うん〉、あんまりそこまで高くないということですね〈うん〉、でもう、砂、を取り出して、あ砂から取り出すその、シリコン〈はいはいはい〉、の、純度が〈うん〉、結構高くなければならないんで〈あ、そういうことですか〉、結構あの一パソコンのCPU〈うん〉、中央処理装置〈うん〉、に入るシリコン、が結構純度が高いんですけど〈ああ〉、あの一同じ大きさであれば〈うん〉、あの、例えばシリコン太陽電池の〈うん〉、1個作る分で、CPUは何個作れるという〈うんふんふん〉、ことで、値段的に結構、無理があるということですよ

T：無理がある、なるほど、そう、材、材料費そのものは、そんなに、かからないんです、ざいひ

I：材料費はあんまりかからないですね〈うん〉、砂から取れるのに〈そそう、うんうん〉、取れるんで、ま〈うん〉、あの一砂漠はいつ{笑}〈{笑}〉、幾らでもあるんで

T：うーん、じゃあ結局、コストがかかるっていうのはその人件費の、人件費というか、技術料のこと

I：そうですね、技術料ですね

T：技術料，なるほど，そこでやっぱり，その値段というのが問題になってくるということ

I：そうですね，それが解決すれば〈うん〉，結構，活用性〈うん〉，活用するところは結構〈うん〉，多いと思いますけど

T：ああそういうことですか

I：はい，例えば，あの一携帯のストラップ〈うん〉のところに〈うんうんうん〉掛けたり，したり，うーん，あの一帽子の上に{笑}〈うん〉，付けたり〈うん〉，まもちろん，まあいろいろなまた〈うん〉，それ，それ以外にも，ほかの技術とかも〈あーはあはあ〉，必要なんですけど

T：なるほどね，そうですか，まあ

I：活用性からだということ

T：その一，コストの問題解決すれば〈そうですね〉，普及かも，普及するかもしれない〈そうですね〉っていう意見は，まあ非常に希望が持てていいんですけど〈うん〉，ちょっと一つ，不安だなと思うのは〈はい〉，あの一まあ，当然電池ですから〈はい〉，あの一，破損したりしたら壊れちゃいますよね

I：そうですね

T：ね，そうすると，その一まあお金をかけて，電池を作って〈うん〉，で，技術も使うでしょうし〈そうですね〉，電池を使うとき[作るとき]に〈はい〉，エネルギーをたくさん使ってしまうから〈はい〉，できた電池で生み出すエネルギー，よりも〈はい〉，作るエネルギーのほうが多くなってしまうんじゃないかなっていう心配があるんですけど〈あーあー〉，そういうことはないんですか

I：一応，シリコン太陽電池のほうは〈はいはい〉，結構そういうのがあって〈うん〉，で，今は結構寿命とかも結構延びてて〈あーはあはあ〉，で，結局，あの一，寿命どおりに使っていれば〈うんうん〉，その一，あの一製，作製コストより〈うん〉，は，結構，使えるんじゃないかと〈あーはあはあ〉，ということと，それを，さっきあ，さっきあの一おっしゃった，内容を，ふ，あの一克服するためにも〈うんうん〉，あの一，その色素じょうかん[増感]太陽電池〈うんうん〉，にも，色素じょうかん[増感]太陽電池の研究にも〈うんうん〉結構力を注いでます〈なるほど〉，色素じょうかん[増感]太陽電池の場合は，あの一シリコン，シリコン型太陽電池に比べて〈うーん〉，コストは，8分の1とか

I：安いんですか

T：ものすごく安いです

I：あーあー，うん

T：簡単に作れるし〈うん〉，何か筆とかで，{机をたたく音}色素を付けて〈ふんふん〉，ガラスの上に塗って〈うん〉，またガラスを挟んで〈うん〉，電解液というのを〈うん〉入ただけでも発電する〈あーはあはあ〉，仕組みになっているので，結構簡単に作れるし〈うん〉

T：じゃあ一応作るエネルギーよりは

I：そうですね，安い

T：うん，だ，それ，それを使って，得られるエネルギーのほうが大きい

I：そうですね

T : そう、ただ、やっぱりその、り、理論的に、は、そうかもしれないけど〈あーあー、はいそうですね〉、実際は、さっき言ったように〈割れ〉、ま例えば割れちゃったとか〈ああ〉鳥がぶつかったとか、〈まあ〉、まあもちろん、そういう、あとまあ曇りの日が多かったとかね〈そうですね〉、そういうことがあるんでしょうけど、ただそれ以外の、アクシデントで〈うん〉、やっぱり壊れてしまうので〈うーん〉、実質的にどうなのかなと思うんですけど

I : ああ実質的にですか

T : そういう問題はないんですか、うん

I : いやー、どうっすかね

T : うん

I : まあ、もちろんあの一最初に、それを取り入れるときに〈うん〉、結構おか、たくさんのお金を〈ああ〉、払ってから、というんですよね〈うん〉、屋根るとかに〈うん〉、屋根とかに設置してたりしたら、あ、設置したり〈うん〉、して、何か鳥がぶつかったり〈うん〉、何か、物が落ちて割れたり〈うんうん〉、したら何か{笑}、まあ確かそういう場合には〈うん〉、もう仕方なくと、また取り替えるしかないということですよ

T : 取り替えるしかないか、うん

I : そしたら、そういう場合が、例えば割れる場合が〈うん〉多い場合は、まあ、仕方ないですよ

T : うーん

I : たぶん、あの一、作るエネルギーのほうがもっと{笑}〈{笑}〉かかるんじゃないかと

T : かかりそう

I : 考えてますね

T : あそうかー、じゃあや

I : でも普通に、割れ、割れずにそのまま〈うん〉ずーっと使ったら、まあ

T : なるほど

I : それと、あの一さっきおっしゃった内容に、もう1個加えて、その一、曇った日とか〈あーはあはあ〉、にも、一応発電は〈うん〉、できますよね、で波長が、あの一光の波長というのは〈うん〉、結構いろんな、波長が、結構長く〈うん〉、短、短波長とか〈うんうん〉、長波長とか〈うん〉、のがあるんで、そういう、あのわたし、あの、えっと一、可視光線じゃなくて〈うんうん〉、見える、見える光じゃなくて、見える色とかそういうのじゃなくて〈うん〉、ほかにも、何か、波長があるんで、そういうところで発電する、太陽電池とかも

T : なるほど、あつ、別の

I : そうですね

T : うつすところでは発電

I : あ、見えない光で発電すると

T : 見えない光でも、でき、あーそれは

I : そういうのもあるんで

T : いいでしょうね、なるほど、うん

I : そういうにもまだ〈うん〉、研究が〈あーはあはあ〉進んでいるような状態ですね

T：そうですか、じゃあまあ例えば、そうです、ま、ちょっと、その、そういう新しい技術が出てくれば、また、別ですけれど〈そうですね〉、ま今の太陽電池でもそういうふうに理論的には、かなりのエネルギーつくれるってことですよね〈そうですね〉、例えばまあわたしがその自宅の、屋根に、太陽電池設置しよう〈はい〉、で、でき、アクシデントしようがないけど、もし、アクシデントを、なくしたい、できるだけアクシデントを少ないかたちで設置したい〈うんうん〉、っていうふうに、あの一考えるとしたら、どんなふうな設置の仕方をすれば、いいんですか、ただ電池をぽんと載せただけだと〈そうですね〉、どうしても仕方が、ないですよ〈うん〉、うん、アクシデントをできるだけ回避する方法ってあるんですか

I：えーと一〈うん〉、まあ、簡単な考えとしては〈うん〉、太陽電池の上にまた〈うん〉、あの一、えーと一、強化ガラスとか〈あーあー〉、そういうのを置く〈うん〉、というのも〈うん〉、挙げられるんですけど〈うん〉、でもガラスを上にとくと、まあ、また、それなりに〈うん〉、発電率が〈うん〉、下がったりする〈あそうなんですか、あー〉ということはおちょっと挙げられますね〈うん〉

T：じゃなかなか、うん

I：だから、あの一、その一太陽電池に使うのも一応ガラスだとかも〈うん〉入るんですけど〈うん〉、ガラス、そのものをちょっと、若干強くする〈うん〉、とか、強化素材を〈うーん〉使ったり、とか、もうちょっと厚くしたり〈うんうん〉、まあそれ、まあ、あの一光が入るところ〈うん〉に何かを置くという、置くとか、厚くするとかすることは、あの一、効率にもちょっと〈うん〉、かわるんですけど〈うん〉

T：まあじゃあ、やっぱり

I：まあ、一応そういうアクシデントを、減らすためには

T：そうですね

I：まあ、仕方なく

T：そうか

I：若干は

T：うん、じゃなかなか今の、電池をそのまま置いて〈うん〉、その上にきょう、ガラスをつ、置いてってすると効率下がるから〈そうですね〉、なかなかやっぱりアクシデントを〈うん〉、なくすっていうのも意外と難しいことなんですよ〈そうですね{笑}〉、はいわか、まあ解決策はなかなかないので難しいでしょうけど、じゃちょっと

I：まあ割れ、割れる〈うっ〉のはまあ〈うん〉、まあどうしてもガラスなんで〈ガラスじゃないすね〉、まあ割れるのはもう〈うん〉、仕方ないと思いますよ〈仕方ないすけどね〉、確かに

T：はい、またあの一話変わりますけど

I：はい

T：あの一、えーと、【姓A】さんは〈はい〉、ま新聞読んだりとかニュース見たりとかしますよね

I：えっと一、いやー

T：あんまりしない

I：新聞はあんまり読んでないですね

T：あんまり読んでないか

I：はい

T：そうですか、でもあんまり読んでない〈はい〉、なくてもちょっと耳に入ってくるような〈そうですね〉、気になるニュースなんかありますか、面白いなと思ったニュース、気になるニュース

I：面白いなと思ったニュースとかじゃなくて、ニュースとしては、あの〈うん〉、一応情報を得ると〈うん〉、得るというもの〈うん〉、と、扱ってるんで〈うん、うん〉、えーとー最近の、ちょうど、あのそういう時期なんでわたしも〈うん〉、就職**{笑}

T：就職

I：就職難に関して結構

T：あーそうですね、就職に関して何かどんなニュースを、聞きました

I：何か、もう、去年、も、結構厳しかったけれど〈ああ〉、ことしから割ともっと厳しくなるという〈うんふんふん〉、こと、を、ちょっと小耳に挟んで〈うん〉、挟んだんですけど〈うん〉、ああやっぱ

T：その辺確かに、就職難、厳しいですよ、うん

I：そうすね、もう、もう、じゃ、まだあの一実感とかはできないんですよ〈うんうん〉、あの一上の人とかの〈うん〉、一応、ちゃんと、就職とかは〈うんうんうん〉、全部知ってるんで〈うん〉、でわたしの場合はそこまで実感とかはないんですけど〈うん〉、でも、もうこれから、もっと厳しくなるということは〈うん〉、もう、明らかなんで〈うん〉、ちょっとそれがちょっと怖いです{笑}

T：怖いですか

I：はい

T：まあたかもっと厳しくなりそうだっていうような意見もありますけど〈はい〉、何かやっぱこういうのってほんとに、あの、いっちゃい[一回]一番下まで行ってしまったら

I：ああー、そうですね、また

T：後はまあ上がるだけなので、まあ

I：あと、立ち上がるということですよ

T：そうそう、それほどもう、あの、これ以上ひどくならないから〈うーん〉、逆に希望が持てるんじゃないかなと思うんですけど

I：{息を吸う音}いやー、あの一、実は、あの一、そういう、えっと、リクナビとか〈あーはあはあ〉、日経ナビとかの〈うん〉、そこで働いている方から〈うん〉、ちょっと伺ったんですけど〈うん〉、で{笑}、その人がおっしゃるには、一回、その就職難が始まってしまおうと〈うん〉、それがまた、あの、幾ら、あの、景気がよくなったとしても〈うーん〉、すぐには〈うん〉、戻れないということで〈なるほど〉、でそれが〈{息を吸う音}〉、何年ぐらいかかるかという一番景気がよくなったとしても〈うんふんふん〉、少なくとも3年ぐらひは〈うーん〉、また、あの、かかってしまうんじゃないかと〈なるほどね〉、おっしゃってたんで〈うん〉、ちょっとそれもまた聞いたら〈うん〉、も一つとあの、心ほそくなって、心細くなって〈うん〉、えーちょっと〈うん〉、不安ですね〈うん〉、今

T：そうか、これから就職活動ですよ、ええ

I：そうですね

T：じゃあまあ、あの一これから就職活動をする、でしょうから〈はい〉、まその、ねえ、こういう景気の悪い時のふうしゅ、就職活動の心構え、どんな心構えが必要だと思いますか

I：{息を吸う音}まずは、あの一、まほかの学生さんたちも〈うん〉、結構考えるとは思いますが〈うん〉、えーと一、その一会社説明会とか〈うんうん〉、を、より早く〈うん〉、始めるということですよね〈うんふん〉、今じゃそういう、会社についての情報がないと〈うんうん〉、なかなか、その会社、研究とか〈うん〉、そうですね会社研究とか、もできないんで〈うん〉、一応、誰よりちょっと、手っ取り早く〈うん〉、会社の、その一情報とかを〈うん〉得るということで、あの一、合同説明会とか〈うん〉、あの一会社説明会とかに〈うん〉参加して、質問したり、して〈うん〉、えっと情報を得ることですよね〈なるほど〉、で

T：情報を得るっていうのはやっぱり重要なことでしょうね

I：そうですね

T：うん

I：それで、最近結構そういう、のが〈うん〉、えっと一若干感じれますのが〈うん〉、結構はっ、みんな、あの早めに準備してんですよ〈うーんうん〉、Mい、あの修士1年に入って〈うんうん〉、しが、5月ぐらいから〈うんうん〉、もう、会社の情報を、収集している〈うーん〉人たちもいる、ということを知ったんで

T：なるほどね、そうですか、分かりました〈はい〉、じゃちょっとね、その情報を収集するとして〈はい〉、まあよく、あの一その会社にいる同じ大学の先輩に、まインタビューするようなことがあると〈はい〉、まあ先、あの一、えーと一OB訪問ですけどね〈はい〉、でわたしがその一、ある会社の、OBに〈はい〉、なります、で、あなたがその会社に入りたい〈はい〉、として、ちょっとその、まあただOBだけちょっとあんまり知らない人です〈ああそうですね〉、ですのでちょっとその〈うん〉、あの一、幾つか、その、あの一、質問をして、情報を引き出してみてください、いいですか

I：ああ、わたしですか

T：わたしです、そう

I：今からですか

T：今からそうそう、うん、あ、えーと一、あ【姓A】君だっけ、うん

I：はい、あ、よろしくおねがいします

T：何か、うちの会社に、入りたいの{笑}

I：はい、えーと一、ちょっと、前からずっと考えてたんですけど〈うんうんうん〉、で、その会社で、その一取り扱っていらっしゃる〈うん〉、何何に関して結構興味があったんで

T：あーはあはあ、まあうちのしゅ、うちの商品ね

I：そうですね

T：うんこれね、うん

I：はい、で、そういう、のをきっかけで〈うん〉、ちょっと、会社に興味を持ち始めました

T：あそうですか、うん

I : はい

T : まあまあ、いいですよ、じゃあまあ折角ですから何か質問があったら

I : はい、あの一、実際のその、職場での〈うん〉雰囲気等は〈うん〉、どうですか

T : えーとーうちはそれほどおつきい会社じゃないですかね〈ああ〉、まああの一、もう、あの一社長も〈はい〉、まああの普通の社員ももう〈はい〉あの一それからあの一、あの一臨時職員の方もみんな一体となって〈ああー〉、働いているので、わず、割と家族的な〈ああー〉、雰囲気がある〈そうなん〉、会社ですね、うん

I : あー、家族的という〈うん〉、あの一おっしゃるのは〈うん〉、あの一、結構、仕事がそこまで、楽ではないということですよ

T : そうですね、まあ

I : 結構任せられる、仕事とか〈はい〉、あの一重さが結構あるということですかね

T : そうですね、もうあの一、もう入ったらすぐ、責任を持って〈ああー〉仕事をしてもらわないといけなところも〈なるほどですね〉多いと思うので〈ああー〉、まあ、もちろん、わたしたちもサポートしますけどね〈ああー〉、まあなかなかその、あの一、入ってすぐ、あの一、あの準備をする期間というよりも、すぐに仕事が{笑}

I : ああ{笑}、ほんとですか

T : うん

I : あー

T : うん

I : えっとー、あの一、ことしの〈うん〉、採用で〈うん〉、外国人の採用に関する〈うん〉予定は〈うん〉、い、どうなってるんでしょうか

T : えーとね、うちは毎年そうなんですけど〈はい〉、外国人、の採用枠っていうのは別にないんですよ〈ああー、なのですね〉、普通に、あの一、まああの一若干名〈はい〉、大体、2、3名ずつ採用〈うーん〉、まあ、あの候補を挙げながら〈はい〉、その中でまあ優秀な学生がいたら、別に国籍は〈ああ〉、関係なく〈なのですね〉、えー、うん、集めていきたいなと思ってます〈うーん〉

I : うん、じゃああの一今までのあの一、外国人の採用実績というのとは〈うん〉どういうふうになってるん

T : えーとですね、えーとおとしに〈はい〉、中国からの留学生を一人〈ああ、なるほどですね〉、採用しました、うん

I : じゃあ、韓

T : 今のところ、うちの会社にいる、外国の、外国国籍の方はその方だけですね

I : ああ、ほんとですか、ああー、なるほどですね

T : うん、まあ研究が、中心、となるので〈ああー〉、まあもっとあの一、マーケティング中心にするんだったら、まああの海外に、し、市場を伸ばすためにも〈うんうん〉、そういう人たちを雇うかもしれないですけど〈うん〉、まあうちはまだ、あの研究、が主体ですので、まあそちらで力がある人を〈あーあー〉、僕が雇っていこうと考えてます、うん、そうですね

I : ああ、研究職ですね{笑}

T : 研、はい、うん、じゃあまあとりあえずまあ、そんな感じでね

I : あーあー

T : はい、えーじゃあ、それをね、今インタビューを聞きましたね

I : はい

T : じゃあちょっとその、あの一〇B に対してインタビュー 〈はい〉、したっていうことを例えばわたしがクラスメート 〈はい〉、だとしますね 〈はい〉、でそこにちょっとどんなこと聞いたのか今報告してください、いいですか

I : あクラスメートにですか

T : クラスメートに、うん、【姓A】君、この間 OB 訪問行ってきたんだって、あの会社

I : うん、行ってきたよ、今

T : うん、どうだった

I : あの一、ちょっと〇〇会社というところだったけど 〈うん〉、でそこは、結構、家族的な雰囲気で 〈うん〉、雰囲気で 〈うん〉、働ける場所だと聞いたけど 〈うん〉、結構そういう家族的な 〈うん〉 雰囲気って 〈うん〉、結構任せられる 〈うん〉、仕事の量が多いと 〈うん〉、ちょっと聞いてみたら 〈うん〉、実際にそうみたくてね

T : あー、ちっちゃい会社なんでしょ {笑}

I : うーん、ちっちゃい会社で 〈うん〉、まあ仕方なくそういうのは 〈うん〉、まあ 〈うん〉、耐えるしかないということと

T : そうだなあ、うん

I : それと、あの一任せられる任務が多い 〈うん〉、おい、大きいから 〈うん〉、結構最初から 〈うん〉、初っぱなから結構 〈うん〉、あー責任持って 〈うんうん〉 働けないと、結構駄目な話で {笑} 〈ああそう、うん〉、そこは、えーとそれと、あの一外国人の採用に関しては 〈うん〉、あの一おとし 〈うん〉、中国人を一人かい 〈うん〉、採用した 〈うん〉 経験があって、まあ、別に、あの、外国人に対する枠が 〈うーん〉 別に決まっているわけではないので 〈うん〉、まあ、まあほかの会社でも結構 〈うん〉、そんな感じだけど 〈うん〉、それで、えーと一、一応、まあ、優秀が学生さんだったら 〈うん〉、まあ、どの国でも関係なく 〈うん〉、採用するらしいよ

T : うんふん、そうか、【姓A】君、に、どう、そこやっぱり、行ってみたい、それともほかの会社にする {笑}

I : えーどうかな

T : どうか

I : やー今の段階ではまだそこまで 〈うん〉、まあ、いろんな会社回ってないと思うから 〈うん〉、またほかの会社へもちょっと回ってみたいな

T : {笑}、回ってみて、分か、分かりました、はい、ありがとう

I : {笑}、はい

T : そうですか、まあ実際これから就職活動ですよ

I : そうですね

T : まあじゃあ {手をたたく音} 頑張ってください

I : はい、ありがとうございます

T : はい、じゃあきょうはどうもありがとうございました

I : ありがとうございます

(4) OPI インタビュー (27 分)

T : こんにちは, 【姓A】です

I : こんにちは

T : っとーお名前は

I : わたしは【姓名B】です

T : じゃあ【姓B】さんとお呼びしていいですか, 【姓B】さんとお呼びしますね

I : どういう

T : *, あっ, わたしが【姓B】さ, 【姓B】さんですね

I : はい

T : はい, じゃあ, えーと, 【姓B】さん自己紹介を, お願いできますか

I : あー, わたしは, 【姓名B】です〈うーん〉, あー, うーん, 二十歳, 二十歳さいです〈うーん〉, うーん, わたしは, えー, 中国, 中国から〈うん〉, から, です, あー, あーわたしは, 家族は〈はい〉, 家族は, 4 人です〈うーん〉, 父, 母, と弟〈はい〉, わたしです〈うーん〉, うーん, でじあつ{息を吸う音}, 山西省

T : あっ, 中国の山西省

I : あー, 山西省です

T : あー, へー

I : えー, 以上です

T : 以上です〈{笑}〉, そうですね, 中国の山西省から, 来ましたね〈はい〉, 来たんですね〈はい〉, 中国の山西省は中国のどこにありますか

I : うん, うんじょう

T : うんじょう

I : あ

T : うんじょうというのは, 北, 南, 東西の中国のどこ, どの辺りですか

I : 南

T : 南のほうですか

I : {息を吸う音}

T : 中国の北, 南っていうと南のほう

I : は, は

T : ですか, あーそうですね, じゃあ暖かいですか

I : はあ

T : うーん, 今ここは結構雪が降ってますけど, そのうんじょうは雪, 降りますか

I : はあ

T : あっ, うんじょうでも雪が降りますか

I : うん

T : その山西省

I : 山西省はい

T : 雪降りますか

I : えー, ゆうみゅう{息を吸う音}

T : 雪

I : はい, えー, めい
 T : めい 〈うん〉, めいは何ですか
 I : めいたのめい
 T : あー, 中国語全然分からないんです 〈えー〉, 日本語で言えますか
 I : えー, 日本 〈うん〉, ジェンタフー
 T : その山西省は, 雪, 雪分かりますか, 雪, 冬に
 I : 冬, 雪
 T : 降りますね 〈うん〉, 白い雪
 I : はい, はい
 T : うん, 雪, 山西省も雪が, ありますか, 降りますか
 I : あります
 T : あります
 I : はい
 T : ほー, どれぐらいありますか 〈ん〉, たくさんですか, 少しですか
 I : たくさん
 T : たくさん, あっ, じゃあ結構寒いですね
 I : はい
 T : あっ, じゃあ, えっ, 中国の北のほうですか, 山西省, 中国の北, 南, 東西でいうと, 北のほうなんですかね
 I : 北
 T : 北ですか
 I : はい
 T : あーそうかそうか 〈*〉, じゃあ寒いですよ
 I : はい, 寒いです
 T : あー, 雪どれぐらい降る, 積りますか, 何メートルぐらいですか, 1 メートル, 2 メートル, あるいは何センチ
 I : 何センチと
 T : どれぐらいですか, たくさん
 I : たくさんです
 T : 【姓B】さんの背ぐらいですか
 I : はい
 T : あっ, じゃあすごい, 2 メートルぐらいですね
 I : はい
 T : うーんかなりたくさん雪が降るんですね
 I : うん
 T : うーん, そうですか, 【姓B】さんはいつ 〈{舌打ち}〉, その山西省から日本に来ましたか
 I : えー, 上海
 T : しゃん, 上海, えっ 〈え〉, いつ来ましたか
 I : えー, す, 山西省 〈うん〉, に, き, 山西省チュン 〈うん〉, うーん

T : 山西省から日本に来ましたよね
 I : はい
 T : 日本にいつ来ましたか
 I : はい
 T : 何月ですか, き, 日本に, 来たのは
 I : 何月, じゅ, あー, 10 月 〈うん〉, 10 月, えー
 T : 10 月
 I : 20, 21 です
 T : あっ, 10 月 21, じゃ去年ですか
 I : はい
 T : あーじゃあ, 今何カ月ですかね日本に来て, 10 月, 11 月, 12 月 〈つ〉, 4 カ月, ぐらいですか
 I : は, はい
 T : ふーん, あそうですか, どうですか, 日本は
 I : ど, どうです
 T : うーん, 日本の生活はどうですか
 I : うーん, 【地名C】
 T : 【地名Cの一部】, あっ今【地名C】にいますよね
 I : はい
 T : うーん, 日本の生活はもう大丈夫ですか
 I : はい
 T : 大丈夫です
 I : はい
 T : もう慣れましたか
 I : はい
 T : うーん, 今どこ住んでいますか
 I : えー, {息を吸う音}, うー, 【地名C】〈うん〉, うん, 【住所D】
 T : うん, それは学校の寮ですか
 I : 学校
 T : うん 〈はい〉, これは学校の, 寮ですか
 I : はい
 T : あっ, そうですね
 I : 寮, 寮です
 T : 寮ですか
 I : はい
 T : 寮の部屋は一人ですか
 I : はい
 T : うーん
 I : すいません
 T : 大丈夫ですよ, 学校の寮, 学校の寮はどうですか, いいですか

I : いいです
T : いいです
I : うん
T : 部屋はどんな感じですか, 色は何色ですか, 部屋の色, 部屋の色はどんな色ですか, 白ですか, それとも茶色
I : しろいです
T : 茶色です
I : 茶色です
T : うーん, 部屋にはどんな物がありますか
I : どんな
T : うん, 部屋には何がありますか
I : 部屋
T : うん, その一【姓B】さんが, 今, り, 学校の寮にいますね
I : うん
T : うん, 学校の寮の部屋, 何がありますか
I : 学校, 部屋
T : うん
I : うーん
T : 今住んでいる部屋, 部屋〈へや〉, 住んでいる所, 何がありますか
I : えー, すん
T : うん, 住んでいるお部屋に何がありますか例えばテレビとか, ベッドとか, 机とかいすとか
I : いすど
T : いす, いすがあります, あとは
I : はい
T : ほかに何がありますか
I : はい
T : いすだけ, ほかにもありますかベッドはどうですかベッドはありますか
I : いいえ, ベッドありません
T : ベッドありません, じゃあ, 布団で寝ますか
I : はい
T : あっ, そうなんですか〈ええ〉, へー, じゃあ毎日布団を片付けますか
I : はい
T : あー大変ですね
I : うん
T : ふーん, 布団といすと, あと何がありますか
I : あ
T : ほかに何がありますか, 布団といすと, 部屋に, 部屋にあるもの
I : えー, 部屋, あー, コンピューター
T : コンピューター, ああいいですね

I : ええ
 T : うーん、コンピューターで何をしていますか
 I : えー、コンピューター何
 T : うん、コンピューターで何をしますか、【姓B】さんは
 I : 何、えー
 T : コンピューターでいろんなことができますよね
 I : はい
 T : 例えばチャット〈はい〉、あるいは映画を観ます〈はい〉、音楽を聴きます、あるいは、まあ、何か書きます【姓B】さんはコンピュータで何をしますか
 I : えー、かいしゅ
 T : うん、何でしょう、それは
 I : {笑} 〈{笑}〉、あー、ケンピューター
 T : うん、コンピューターで何をします
 I : コンピューターで〈うん〉、うん、はや〈うん〉、はや、は〈うん〉、あります
 T : うん、コンピューター部屋にありますね、コンピューターで何をしますか〈*〉、音楽を聴きますか
 I : コン、コンピューターで〈うん〉、えーはやは〈うん〉、うー、あ、あります
 T : うんあります
 I : あります
 T : コンピューターを使いますね〈ありま〉、コンピューターを、で何をしますか
 I : 何を
 T : うん、例えば映画を観ますか、コンピューターで
 I : ありません
 T : 映画観ません
 I : はい
 T : うーん、じゃお友だちとおしゃべりしますか
 I : しゃべ
 T : 例えばQQとか
 I : はい、QQ
 T : あっ、QQでおしゃべりします
 I : はい
 T : あーそうなんですか、どこの友だちとおしゃべりしますか
 I : どこ
 T : うん、日本のお友だち、それとも中国のお友だち
 I : はい、中国
 T : あっ中国のお友だちとおしゃべりします〈はい〉、あーいいですね、毎日、友だちとおしゃべりしますか
 I : はい
 T : うーん、じゃあ家族とはどうやって話しますか
 I : 家族

T : うん、家族は中国にいますね、【姓B】さん今、中国にお父さんお母さん中国にいますか

I : えー中国、はい

T : うん、お父さんお母さんとも QQ で話しますか

I : はい

T : あっ、そうなんですか

I : QQ, はいはい

T : あー、毎日話しますか

I : 毎日

T : うん、お母さんお父さんと、QQ で毎日話しますか

I : はい

T : うーん、あそうなんですか

I : はい

T : へー、じゃあ、そうですね、【姓B】さんの、お母さん、のこと、お母さんお父さんのことをちょっと教えてくださいどんなお母さんお父さんですか、どんなお母さんお父さんですか

I : どんな

T : うん、じゃあ、お母さん、お母さんのこと教えてください、どんなお母さんですか

I : どんなお母さん

T : うん、例えば優しいですか厳しいですか

I : うーん、優しい

T : 優しいですか、あーそうですか、じゃあ料理はどうですか、お母さんの料理は

I : え、お母さん料理は〈うん〉、えー、えー、好きです

T : 好きです、たくさんいろんなのを作ってくれますか

I : はい

T : うーん、お母さんの料理、何が好きですか

I : えー、{息を吸う音}、あー、ぱん

T : パン

I : ぷら

T : パンじゃない

I : あ、ない

T : うん

I : えー、めんはら

T : あっ、めん

I : あ

T : うーん、あっ、めんも作るのも上手ですか

I : はい

T : ふーん、今は自分で料理をしますか

I : 自分

T : うん、中国にいる時、お母さんが料理作りましたね

I : はい
T : うん、今は自分で、【姓B】さんが料理を作りますか
I : はい、ええ
T : あーそうですか
I : はい
T : どうですか、上手ですか【姓B】さんは料理が
I : {笑}, 大丈夫
T : 大丈夫、上手ですか、どんなものを作りますか
I : どんなもの
T : うん、料理、どんな料理を作りますか
I : どんな
T : うん、あんめる、は、話してください、インタビューだからね
I : あー
T : うん
I : {つばの音}
T : ちょっと難しいですかね{笑}
I : ぼくいしは、たん
T : うーん、何を使いますか、材料は、ちょっと難しいかな
I : はい、難しいです
T : 難しいなあ、じゃあそうだね、【姓B】さん、【姓B】さんえっと一趣味は何ですかね
I : 趣味
T : うん、好きなこと
I : 好き
T : うん、好きなこと何ですか、【姓B】さんが好きなこと
I : 好きな、好きなこと、あっ、ひゅ、ま
T : 例えば
I : コンピューター
T : あっ、コンピューター、コンピューターが好きですか
I : はい、コンピューター好きです
T : うーん、コンピューターが好きです、コンピューターで友だちと QQ するって言ってますものね
I : はい、はい
T : QQ のほかに何をしますか
I : QQ 何
T : うん、QQ もします、ほかに何かしますか
I : ち、父、母
T : 父、母と話します
I : 友だち
T : 友だちと話します
I : はい

T : コンピューターで、何か、ほかのことをしますか
I : あ
T : {笑} 〈す〉、ちょっと難しいかな、QQ じゃないこと、何をしますか
I : 何 〈うん〉、QQ じゃない
T : QQ はしますね、ほかのこともしますか、例えば音楽を聴きます 〈はい〉、ゲームをします 〈はい〉、コンピューターでゲームをします 〈はい〉、ゲームしますかコンピューターで
I : ゲーム
T : あっ、ゲームします、どんなゲームしますか
I : ゲームします
T : うん
I : うー、{息を吐く音}、ゲーム
T : ゲームはしませんかコンピューターで
I : ありません
T : あーありませんそうですか、うーん、インターネットは使いますか、インターネット、〈イ〉、コンピューターで、インターネットでいろいろ、調べますか
I : はい
T : うん、どんなことを調べますか
I : どんな、こと
T : うん、何を調べますかインターネットで
I : あ、ありません
T : ありません、調べません
I : はい
T : あっ、へーそうですか 〈{息を吸う音}〉、えーとーじゃあそうですね、きょう月曜日ですけど、月曜日きょう授業ありましたね 〈はい〉、ほかに何曜日に授業ありますか
I : 何曜日
T : うん、月曜日授業があります、ほかにいつ授業がありますか、あした火曜日、授業ありますか
I : はい、火曜日
T : 火曜日、す、ほかに、水曜日は、学校ありますか
I : か、火曜日水曜日 〈うん〉、土曜日
T : 土曜日
I : はい
T : あっ土曜日も授業ありますか、あっ、そうですか、うーん
I : はい
T : 土曜日ありましたっけ、授業
I : はい、すいません
T : 火曜日水曜日木曜日金曜日土曜日、月、きょうは月曜日ですよ
I : はい
T : 授業があるのはいつですか、火曜日と水曜日と
I : 火曜日水曜日は 〈うん〉、う、うーん、木曜日

T : 木曜日もありますか
I : はい
T : 金曜日は
I : 金曜日, 金曜日しんせん, 金曜日
T : うん, も授業があります
I : はい, あります
T : うーん, じゃあ週に 5 日, 授業あるんですね
I : はい
T : うーん, じゃあきょう月曜日ですけど, 月曜日学校朝起きてから, 学校に来るまで, ちよつと教えてください, 朝, 起きてから学校に来るまで何をしましたか
I : あーバス
T : うん, 朝何時に起きました
I : 朝〈うん〉
T : きょうは何時に起きましたか
I : えー, 8 時
T : 8 時に起きました
I : ああ, は, 8 時起きま
T : じゃあ 8 時に起きて, それから何をしましたか
I : それから〈うん〉, あー, りょうしゅは, あー朝ご飯
T : うん, 朝ご飯
I : 食べます
T : 食べます, 何時に食べました
I : 何
T : 何時に食べましたか
I : 何, えー
T : 8 時に起きて, ご飯を食べたのは
I : 8 時, 8 時は〈うん〉, 8 時は, えー, ぬ, 8 時は〈うん〉, 8 時半
T : 8 時半, 8 時半に食べました
I : うんそう, はい
T : じゃあそれから, 何をしましたか
I : えーそれから〈うん〉, うん, あー学校, へ, 学校へ〈うん〉行きます
T : 学校に来ました, 学校には何で来ましたか
I : あー
T : 自転車, 歩いて, バス
I : あバス
T : あバスで来ました
I : はい
T : バスは何時に乗りましたか
I : バス, 何, 何時
T : うん

I : えー, 8 時, あー, 5, あー, 5, じ
 T : 8 時
 I : 5 〈うん〉, 5 ふん[分]
 T : 8 時 5 分
 I : あ
 T : じゃご飯を食べる前ですか, バスにの
 I : バス
 T : 朝起きて, ご飯を食べて, バスに乗りますか
 I : はい
 T : じゃあ, 8 時 30 分にご飯を食べて遅いですねバスは, 8 時
 I : 8 時
 T : うん, バスは何時ですか, 大体でいいですよ
 I : うーん, 8 時や 〈うん〉, うーん, むじゅ 〈うん〉, 5, むしゅる, 5, 6 分です
 T : 50, あ, 56 分, 56 分
 I : 50, 56 分です
 T : あっ, 56 分です, そうですか
 I : はい
 T : じゃ 8 時 56 分にバスに乗りました 〈はい〉, で学校は大体何時に着きますか
 I : あー10
 T : 大体でいいよ 〈うん{息を吸う音}〉, 8 時 56 分に乗って, 学校にはいつ, 来ましたか
 I : *
 T : 何時ですか
 I : あー学校じゅう 〈うん〉, うー9 時
 T : 9 時
 I : あー9 時, 9 時や, 授業すすん 〈うん〉, えー, 1 ふん[分]
 T : 9 時 1 分
 I : 2 分です
 T : うーん, あそうですか, で授業は何時, 1 時間目から, 1 時間目何時からでしたっけ
 I : あ
 T : 授業はその後ありますよね
 I : はい
 T : うん, 授業はきょうは何時までありましたか, 何時から何時までですか
 I : 何時から何時まで
 T : うん, 授業
 I : 授業, おー, {息を吸う音}, じゅ, じゅであらしは, あらしは, 9 時や 〈うん〉, 9 時
 や 2 ふん
 T : あっ, 9 時 20 分
 I : 9 時 20 分
 T : うん, で
 I : から, 9 時 20 分から 〈はい〉, とー, あー

T : きょうは、授業は幾つありましたっけ
 I : 幾つ
 T : きょう授業は幾つですか 〈あ〉、何時間ありますか、きょうは
 I : 何時間
 T : うん
 I : あー、4 分、ぐらい
 T : 4
 I : 8 分
 T : 8, あっ 80 分
 I : 80 分
 T : うーん
 I : 80 分です
 T : あっ、一つの授業が 80 分ですよ
 I : はい
 T : うん、80 分の授業が幾つありますか、一つだけ
 I : はい
 T : 授業は
 I : はい
 T : うん、そうですか
 I : 80 分
 T : 80 分の授業
 I : 80, 8, 8
 T : 朝授業は幾つありますか、午前中
 I : 午前中
 T : うん、朝授業は幾つありますか
 I : 朝 〈うん〉、幾つ
 T : うん、9 時 20 分にあって、それ一つですね 〈はい〉、次の授業は何時からですか
 I : あー、あー、あー、2 〈うん〉、えー10, 12 〈うん〉、12 時 〈うん〉
 T : 12 時
 I : 12 時じ、{笑}
 T : {笑}、きょう授業は幾つありますか
 I : シャーダ 〈うん〉、ショーダシュベン
 T : ごめんね、でも中国語分からないんです、ごめんね
 I : {笑} すいません
 T : うん
 I : うー
 T : じゃあ、きょうは授業は何時までありました
 I : 10, 10, 10, 12, 12 時 〈うん〉、12 時 〈うん〉、12 時あ、いー、1 分です
 T : 12 時、1 分
 I : 1 分です

T : うーん, 12 時 1 分まで授業があります
I : はい
T : うーん, じゃあ, おひ, そのあとお昼ご飯食べますね
I : はい
T : お昼ご飯を食べて, それからまた勉強, ありますか, 授業はありますか
I : あります
T : あります
I : はい
T : 授業は幾つありますか, 一つ, 二つ
I : 一つ, 二つ
T : 三つ
I : 二つ
T : 二つ 〈はい〉, お昼から二つあります
I : はい
T : うーん, あそうですか, じゃあきょう全部で四つあるんですね授業が
I : はい
T : うーん, なるほどね, どうですか, 疲れましたか, 授業
I : 疲れましたか
T : うん, 疲れましたか
I : 疲れましたか
T : まだ元気ですか
I : 元気です
T : うん, 授業終わってもまだ元気です
I : はい
T : うーん, そうかそうか, じゃわたし今, 【姓B】さんにたくさん, 質問をしましたね, たくさん聞きました
I : たく, たくさん聞きました
T : うん, わたしいろいろ聞き, 何々ですか, 何々ですか, たくさん聞きました
I : はい
T : 今度は, 【姓B】がわたしに聞いてください, 三つ, 聞いてください
I : 三つ
T : うん
I : はい
T : わたしに何か聞いてください
I : はい
T : 何でもいいですわたしのことを聞いてください
I : はい
T : うん, 今, 三つ聞いて
I : 三つ聞いて
T : うん

I : はい, うん, 三つ
T : うん, 何でもいいですよ, 例えばわたし趣味は何ですか, あるいは朝何時に起きましたか, いろいろ聞きましたね, 今度【姓B】さんがわたしに, 聞いてください
I : はい
T : うん, 三つ聞いてください
I : しゃんす{息を吸う音}
T : じゃあ一つ目
I : は, 一つ
T : うん, 何か聞いてください
I : 何, き
T : うん, 質問をしてください
I : けいとそ, すいません
T : うん, 何々で, じゃあ趣味, 聞いてください
I : き, 趣味
T : うん, 何でもいいですよ, 【姓B】さんわたしに何か聞いてくれませんか
I : 先生
T : 質問, うん質問をしてください
I : 分かりません
T : わたし今【姓B】さんに〈あ〉, たくさん聞きましたね, 何々ですか, 何々ですか, たくさん, 質問をしました
I : たくさん
T : うん, 質問をしましたね〈し〉, 例えばご飯食べましたか, とか, 授業は何時からですか
I : はい
T : たくさん, 質問, しました
I : はい
T : 【姓B】さん答えました
I : はい
T : 今度わたし, 答えます
I : はい
T : だから【姓B】さんはわたしに, 質問をしてください
I : はい
T : うん
I : えー, わたし, ゆ
T : うん
I : わたしは
T : うん
I : あー, わたしは
T : うん
I : えー, ほうめいけん, 毎朝〈うん〉, 毎朝, 8時に〈うん〉起きます, それから

T：うん、あっ、それは【姓B】さんのことですね、【姓B】さんのことじゃなくてわたしに、質問をしてください

I：わたし

T：うん

I：わたし

T：【姓B】さんは、わたしに

I：わたしに

T：うん、わたしは、今【姓B】さんに、たくさん、質問をしました、質問、何々ですか、たくさん、聞きましたね、聞きました

I：はい、聞きました

T：今度は【姓B】さんがわたしに、聞いてください

I：聞いてください、聞いて

T：じゃあ趣味、趣味を聞いてください〈{息を吸う音}〉、わたしに

I：しー、しゅ、しゅませんしゅ{息を吸う音}、あーバスケットボール

T：あ、【姓B】さんの趣味ですよ、それはねえ

I：はあ

T：うん

I：あ

T：ちょっと難しいかなあ{笑}

I：わたしは、バスケットボールを、あー、です

T：うーん、そっかー、じゃあですねいいです、じゃあ今度はね、ロールプレイをしますね、ちょっと二人で、ロールプレイをします、ここで小さいドラマをします

I：小さい

T：うん、ドラマ、短いドラマ、ちょっとね、これ読んでください、こいで、声に出して読んでください、あなたの

I：あなたのうち、うちへ、来て、えー来て、{せき払い}、パーティを、あけ、けんがく[計画]しています〈うん〉、あん、友だちに〈うん〉、じゅび[準備]をてー

T：手伝って

I：てつ、手伝って、手伝って、うん、も、もらってください

T：うん、もし意味が分からない、後ろに中国語もあるので、読んでください

I：イ、イーチョンゼー、ジ、イーチョンゼーギーファー、ニーチョンゼーギー、ファー、ゼー、イー、チャーペイントインアプルリチョンパウンルパマ、はい

T：これから、あの、【姓B】さんは、パーティをしますね〈はい〉、パーティ、パーティをします、でわたし友だちです、【姓A】さん

I：はい

T：うん、わたしに、準備を手伝ってくださいとお願いしてください

I：はい

T：うん、じゃあ電話にしましょうか

I：はい

T：電話で〈はい〉、じゃあ【姓B】さんから電話ね

I : はい
T : いいですか
I : いいです
T : うん, あっ, じゃあ【姓B】さん, **, トウルトウルトウル, もしもし【姓A】です
I : さん, さん
T : うん, 【姓A】さんでいいですよ
I : はい
T : うん
I : はい, もしもし
T : あっ, もしもし
I : 【姓名B】です
T : あっ, 【姓B】さん, こんにちは
I : こんにちは
T : うん
I : うーん, 誰ですか
T : あー【姓A】です
I : はい, あこんにちは
T : うん, こんにちは, どうしました
I : あー, うち
T : うん
I : うちへ
T : うん
I : 行きません, うえっか, がく, がくてい行きません
T : がくいんの
I : がくいんに, あ
T : うん
I : がくいんにありません
T : ありません, 何に
I : え
T : えっと, いつ
I : ここよ
T : うん
I : いじょう
T : うん, な
I : {息を吸う音}, あー, あなたの
T : うん
I : うーん, うち
T : うん
I : うち, うち, うち, で

T : うん
I : えーパーティ
T : うん
I : パーティを、あの一、パーティを、かー、は一、しゃーかー、け、けかい〈うん〉、しています〈うん〉
T : あなたって、わたしの家でやりますか、【姓B】さんの家でやりますか
I : えー【姓B】さん
T : あっ【姓B】さんの家でやります
I : はい
T : うん、パーティあるんだ
I : うーん
T : うん
I : とも、友だちに、友だちに言う、じゅうび、準備を、準備を、す、てつ、手伝って、もら、もらすてください〈うん〉、でも、うてもらってください、すー
T : うん、パーティをするんだね
I : えっ
T : うん、じゃあわたしどうしましょうか
I : {舌を鳴らす音} どう
T : うん、わたし何をしますか
I : 何を
T : うん
I : わたしはな、わたしは、わたしは何を
T : パーティ、あるんですね
I : パーティです
T : うん、分かりました
I : あー分かりまし
T : うん、何かいい、ないです、いい、大丈夫
I : 大丈夫
T : うん、はい、分かりました、じゃあもらいますね、ロールプレイは終わります、じゃあ、えっとー、きょうもうこれでインタビューもう少ししたら終わりますけど
I : ああ
T : 【姓B】さんこれから何をしますか
I : あー、何を
T : うん、もう学校、授業終わりましたか、授業もう、終わりました
I : 終わりましたか
T : 終わりました
I : はい
T : じゃあこれから帰りますね
I : 帰りますね
T : うん、そうですか

I : はい

T : 分かりました, じゃあ気を付けて帰ってくださいね

I : はい

T : うん, じゃあインタビューはこれで終わります (はい), きょうはどうもありがとうございました

I : ありがとうございました

(5) OPI インタビュー (29 分)

T : じゃあきょうはよろしくお願ひします

I : よろしくお願ひします

T : 【姓A】です

I : 【姓B】です, よろしくお願ひします

T : よろしくお願ひします, じゃあ【姓B】さん簡単に自己紹介を, お願ひします

I : はい, っと, 現在【大学名C】の【専攻科名D】研究科の博士後期課程, 1 年に在学しております〈うんうん〉, えーうん, あ, あと何か要りますか{笑}

T : じゃあ例えば趣味とか, あと, お, あの, どこから来られたかとか

I : あ, はい, えっとー, 高校を卒業してから〈はい〉, えっとー日本に來日して, ことしで8年目になります, えとー, うーん, 後は何があった, うーん

T : っとお国は, どちら

I : あっ, 韓国です{笑}

T : 韓国で

I : はい

T : 韓国のどちらからいらっしゃったんですか

I : っと, 釜山です

T : あっ, そうですか

I : はい

T : じゃ南のほうですよ

I : はい

T : うーん, 8年というとかかなり長い, ですよ

I : はい

T : ふーん

I : そうですね

T : もう日本は, 慣れましたか{笑}

I : {笑}, うん, そうですね〈うーん〉, 慣れましたね, 逆に, 韓国に帰ると〈はい〉, カルチャーショックを受ける

T : あっそうなんですか

I : なんですね, はい

T : へー, 例えば帰って, どんなカルチャーショックを, 感じますか

I : 例えばですね〈うーん〉, あの, うーん, バスの運転が〈はい〉, 激しくて〈うんうん〉, 車酔いしたり〈うーん〉, えーっとー, そうですね〈うーん〉, っと, キムチがすごく辛くて食べられなかったりします{笑}

T : あそうですか{笑}

I : はい

T : へー

I : はい

T : っと, 【姓B】さん向こうの大学にもいらっしゃったことがあるんですか

I : は, ないですね, 高校を卒業してすぐ〈うん〉, こっちの大学に入ったので

T : あっ、日本の大学のまま
I : はい
T : あーそうですか
I : はい
T : 最初何か、苦労したこととかありましたか
I : 最初ですか
T : はい
I : だいぶ昔だな、うーん{笑}
T : {笑}もう、だいぶ昔です*、**しってましたかね
I : 最初ですか、あー
T : うーん、**卒業してすぐ来るとなると〈はい〉、だいぶ若い時なので〈はい〉
I : そうですね、こう、向こうでは〈はい〉、えっと一何かをするときに〈うん〉、いろんな人に助けてもらったり〈うーん〉、するんですけど、こっちでは、っとほかの人に迷惑を掛けないように〈うーん〉、自分で調べて、自分で、やるのが普通なので〈あー〉、最初は、少し、驚きましたね
T : あー、大学でもそんな感じでしたか
I : はい
T : うーん、例えばどんなときに
I : えっとー、例えば、えっとー、じで、自転車を買うときに〈はい、〉自転車をどこで買いますとか〈うーん〉、そ、その自転、自転車を売ってる所はどこですかって〈うーん〉、あの一、先生に聞くと自分調べてくださいとか言われたり{笑}〈{笑}〉、〈は一〉、はい、その、そうですね、えーとー、宿題とかレポートはいつまで、どこに出すんですかって言ったら〈うん〉、うん、掲示があるので、自分で確認してください、と
T : あー、先生がすぐ、****は
I : い、言ってくれなくて
T : あるわけじゃなくってですね
I : はい、はい、ので、自分でしっかり調べていかないといけないなと思って〈うーん〉、最初は大変でしたね
T : あー、ですね
I : はい
T : *最初はちょっと、いろいろ、あったんですね{笑}
I : {笑}、はい
T : じゃ例えば【姓B】さんが自分の国の高校生、に〈はい〉、高校生っていうか大学生が日本に来るときに〈はい〉、何かアドバイスをするとしたら〈はい〉、その日本人とのコミュニケーションを、まできるだけスムーズに〈はい〉、できたほうが、ス、ストレスもないですよ〈はい〉、だっ、うん、もしか、す、アドバイスをするとしたら、どんなアドバイスをしますか
I : うーん
T : 【姓B】さんの経験から
I : アドバイスですか

T : うーん

I : うーん, うーん, うーん, うん, あの一, アドバイスですか, 日本人とのかかわりの中でですね

T : そうですよ, うーんうん

I : あー, えーつとー, うん, 何があるだろう, うん, **ショックだったことが, あっただけ, えー, えーとー, あっ, そう韓国人は, いつも, お友だちとか仲間, とかに電話をして〈うーん〉, いつもご飯を一緒に食べようとするんですけど{笑}〈{笑}〉, はい, はい, 日本人との, コミュニティでは〈うん〉, いきなり, えっと事前に言わずに〈うん〉, 急に電話をして〈うん〉, 今からご飯を食べようとか〈うーん〉, 急に言われると, それぞれの事情があるので〈{笑}〉, そこは注意したほうがいいと思います〈うーん〉, と, うん, そうですね, パーソナルエリアとか{笑}〈うーん〉, そういう時間とか個人っていうものを〈うん〉, 尊重して〈うん〉, 相手のことを, 考えずに〈うん〉, *か, 韓国人同士, の仲〈うん〉, で, って関係にすると〈うん〉, 日本人はだいぶ驚くと思いますので

T : あーなるほどね

I : はい

T : じゃあ逆に, 日本人の友だちが韓国に, まあ半年とか1年とか留学をしたら〈はい〉, どういうふうなこと気を付けたらいいですかね

I : あー

T : つまり, さっき日本人に対してもやっぱりその〈はい〉, パーソナ[パーソナル]エリアが違う〈はい〉っていうことがあったんですけど〈はい〉, **

I : 遠慮をし過ぎないことですかね{笑}

T : {笑}遠慮し過ぎないことですか

I : はい〈あー〉, ちょっと甘えていいと思います, だいぶ, 甘やかしてくれるので〈うーん〉, 遠慮し過ぎず, 頼むところを〈はい〉, 頼む, 頼むときもあんまり, 「ごめんね」とか, 「すみません」とか〈うーん〉, こう, 日本では普通に「ごめんね」とか言うんですけど〈あーそうですね〉, 向こうで, 「ごめんね」って言ったら〈うん〉, だいぶ, で逆に, 仲がいいのにどうして謝るのっていうことになるので

T : あっ, そうですか

I : はい, 「ありがとう」とか〈うん〉「よろしくね」っていうほうが, 伝わると思います〈うーん〉

T : あ, もっと率直な感じなんですね

I : {笑}はい, そうです, 「ごめんね」あんまり好きじゃないですね〈うん〉, あそうなんですか, わたしもよく帰って友だちに何かを〈はい〉頼んで「ごめんね」っとか言うんですけど〈あー〉, その「ごめんね」の意味が分からないってよく言われます

T : 何か, ねえ, 日本人としては手を煩わしてごめんねっていうふうに

I : ごめんね, そういう{笑}

T : 意味でたぶん言ってるんでしょうけどね{笑}

I : そうです, 親にも言って, 「何が」とかよく言われるんですけど

T : あー

I : 「ありがとね」っても言っても〈うん〉, っ, そんなことで「ありがとう」って言う

のかっとか{笑}〈{笑}そうなんですか〉、まあよく言われる

T：もっとさらっとしてるんですね

I：そ、そうですね〈うーん〉、だからほんとにほんとにありがとう、そういう感謝の気持ち、があるとき以外はそんなに〈うーん〉、「ありがとう」とか「ごめんね」ってとも言わなくても〈うーん〉もう分かるよっていう〈うーん〉、感じで、受け止めてくれますね

T：あーそうですか

I：はい

T：あー難しいですね、その遠慮しないでいるのはね{笑}〈{笑}〉

I：つついしちゃうんですけど

T：そうですね

I：はい

T：へー、じゃあそこを気を付けたら**ね

I：はい、いいと思います

T：韓国というと数年前にそのはんりゅう[韓流]ドラマが〈はい〉、人気になってましたよね〈はい〉、うんその韓国に、旅行に行く日本人も多かったんですけども〈はい〉、それは韓国人から見てどういうふうに映る、ったんでしょうか

I：あー、そのブームはわたしが日本に来てからあったので〈あっそうですか{笑}〉、{笑}全く*か、全く分からないんですけど〈うんうんうん〉、何ですかね、その、率直で、こう、遠慮、何ていうんですか、世話好きで〈うん〉、う、うん、何か優しさが〈うん〉、日本にあ、{息を吸う音}、こう、外に表さないで〈うん〉、日本人にとっては、魅力的だったかもしれないんです、けど

T：あー、韓国のドラマはだいぶ人気になりますものね

I：そうですね

T：観られましたか、そのー

I：ううん、観てないです{笑}

T：観てないですか{笑}、**を全部は観てないんですけど、ふーん、そのー日本のドラマと韓国のドラマで何か違うところってありますか

I：えー、まあその

T：日本のおばさまがあんなにひかれるのは何か理由があるのかあと思ったんですが{笑}

I：あー、何かですね〈はい〉、話がですね、長いんですよ〈はい〉、韓国のほうは〈ほー〉、こう週に、日本だと、週に1回じゃないですか

T：そうですね、うん

I：向こうだと、週に2回あるんですよ{笑}〈うーん〉、で、話も、えっ、何、60、60とか70とかまで〈うん〉、すごく長いので〈うーん〉

T：あっ、そうですか

I：うん、日本のドラマってちょっと観ると、あっ、こんなだろうねっていう、すぐ分かるんですけど{笑}〈{笑}〉、あんだけ長いと〈うん〉、うーんってなるし、もっと観たくなるかもしれないし〈うーん〉、あと結構、そのー、みんなの、は、あの反応っていうか反響によって、内容もだいぶ途中から変わられるみたいなので

T：あっ、そうなんですか

I : そうそう、話の展開が
T : あっ脚本が最初にあるわけじゃないんですか
I : 少し、結構変わるらしいんですね、途中で〈へー〉、うん、ふん、なんで〈うん〉、話がどうなるのかが分からないのが〈うーん〉、もう、はまる理由じゃないんですかね〈うーん〉、はい
T : なるほどね、だいぶじゃあその、視聴者の意見が入るんですね
I : そうですね
T : うーん、どう思います、それについては{笑}
I : いいんじゃないですか{笑}
T : ****
I : そちらもいいんですけど〈うーん〉、まあそれはそれで{笑}、でも結構、ドラマのネタも〈うーん〉、うんそんなに、ないんですよ、あの
T : あそうですか
I : はい
T : たくさんドラマ出てますけどね
I : 大体似たような内容だと思います{笑}
T : {笑}そうですか、みんな好きなのが
I : はい、何か恋愛で、恋愛とか、ま実は、好きだった人が実は、何か、妹だったとか{笑}
T : へー〈**〉、ちょっと、現実離れしたような
I : うーん、したような、だからこそ人気あるかもしれないんですけどね
T : うーん、そうですね
I : はい
T : じゃあちょっと話変わるんですけど
I : はい
T : 【姓B】さんの、最近見られたテレビのニュースなどで〈はい〉、何か、こう、あの一興味深かったニュースとかありますか
I : 家にテレビないんですよ{笑}
T : あーそうですか
I : はい
T : インターネットとかでもいいんですけども
I : インターネットですか
T : うん、新聞とかでも
I : 日本ですか
T : あ、韓国でもいいですし、どこでもいいですけども
I : 韓国では、のは見てなくて〈うん〉、日本〈日本でも〉、のは何か見たのかな、テレビですよ
T : うん、テレビでもいいし、ニュース、なんでもいいです
I : あ、ニュー
T : 最近の、話題になった出来事で何か、興味深かったこと
I : あー、最近ですか、興味ぶた、深かったことですか、あーあー、あー、そうですね〈う

うん), あー, ニュースでちらっと見たのは(はい), 朝青龍が引退するってということで{笑}
(あー), で, えーそうです, うんそう

T: 今だいぶ話題になってますよね

I: はい, で, 白鵬が泣いてました{笑} (笑) そうですか, はい, インタビューで(うーん), 泣いていて(うーん), うん, 朝青龍もう辞めるんだっていう{笑} (笑)

T: 朝青龍のことはよくテレビで, テレビとか, す, ニュースでご覧になってたんですか

I: はい, 相撲は(うん), ちょこちょこ見てましたけど(うーん)

T: 朝青龍についてはどう思われます

I: 朝青龍ですか(うん), 朝青龍は, そうですね, すごい強いと思うんですけど{笑}

T: うーん, 何回もすごい優勝してるみたいですよんね

I: はい, すごく強くて(うーん), あの一, それ, それ, そうですね, けがとかの後でも(うーん), すぐ立ち直って(うん), また優勝してるので(うーん), 芯はすごく強い人だと思うんですけど(うーん), うん, だからこそその人の信念とかが(うーん) 日本と合わない, つくて(うーん), もう, うん, そうですね, 何か, 信念が強すぎて(うーん), 周り, から見れば, よく, 理解, できないっていう感じで(うーん), 非難されたり, すると思うんですけど(うーんうんうんうん), 個人的には, でも, 強い人だなあ心も体も{笑}

T: そうですねえ

I: 精神的にもすごく, 強い人だなあと思って感心しています

T: 確かに強くなるとあんなに, あの一, みんなを敵に回してまでできないでしょうしね

I: そうですね, 回してからも優勝してるし{笑}

T: そうですね

I: はい, まあ

T: 確かにそのスポーツマンとしては素晴らしいと思うんですけども

I: そうですね

T: すごくその品格というところが(笑) 問題となっていますよね

I: そうですね

T: うーん(うん), それについてはどう思いますか, すごくその品格について, その一, 審議委員会とかでも(はい), 議論がされてたみたいなんですけども

I: そうですね, 相撲だから, みんながそんなに, 何か, デリケートになってるかもしれない(うん, そうなんですよね), ですし(うーんうん), それがもし, バスケだったり(うーん), サッカーだったら(うーん), みんなは, どう反応するのか, っていうことなので, 何か, 人としての, 品格っていうより, 相撲をする者としての品格(うーん), が足りなかったんじゃないかなと思いますもっと(うーん), あの一, {息を吸う音}たぶん, スポーツだけじゃなくて, 日本っていう国を理解しないと(うーん), あの一, 日本人に理解, してもらうことが, *難しかったんじゃないかなって思いますね(うーん)

T: そうですね

I: はい

T: たぶんただの普通のスポーツとまた違うん, みたいですよ

I: ですよ, はい

T: 相撲はね

I : はい
T : うーん, そうですね, 何回も問題になってますもんね{笑}
I : {笑}はい
T : バスケとかでガッツポーズをしても問題にならないですよ{笑}
I : ないですよ{笑}
T : みんながよくしてますものね
I : ですよ, ええ, ええ
T : うーん, 同じ日本人でも野球とかでは〈はい〉, ガッツポーズは当たり前ですもんね
I : はい
T : うん
I : うん, うん
T : そうですね
I : はい
T : その一, でもすごく今外国人の力士って多いじゃないですか
I : はい
T : その一, 外国人のりしきし[力士]が多い中で, す, だからこそああいう品格の問題出てたと思うんですけども
I : はい
T : これからも日本人も, いますけど外国人のりしき[力士]も多い, 中で〈はい〉, どうすればいいと思いますかね, その一朝青龍に対しては日本人がすごく品格を求めたんですけど〈はい〉, ***外国人が多い中で今までの日本人だけようにはいけませんよね
I : そうですね
T : うーん, どういうふうに相撲が向かっていったらいいと思いますか
I : あー
T : もし, その審議委員会に〈{笑}〉, 【姓B】さんがいたとしたら{笑}〈{笑}〉, どのような意見を出しますかね
I : うん, あんまり外国人力士に, 日本人, 日本の, 品格や〈うーん〉, そういうのを求めて〈うーん〉, でり, 外国人の力士が頑張っている〈うん〉, 絶対, どっかでそれは違う{笑}〈{笑}〉, っていうことを, 言いそうなんですよ〈うーん〉, そうすると**, 何なら, 日本人だけにしろ, よーっていう感じなんですけど〈うーん〉, そういうわけにも, いかないのが現状なので, うん, まあ, 譲り合わない〈うーん〉, ちっと, えっとー, 外国人力士は品格なり〈うーん〉, うんうん, あの一, 日本人はこうだっていうことを言われるし〈うーん〉, うん, でも外国人, うん, 外国, 外国人力士のほうが今は半分以上, じゃないですかね, もっとあるんじゃないですか, 相撲を見てれば
T : たぶんそうですね, 上のほうの番付を見ると
I : と, かなり, いますよね
T : うーん, はい
I : なので, 相撲っていう, のも, 形を変えて, 今までの相撲とは, うーん, 今までどおりっていう〈うーん〉, ふうには考えてはいけななと思うんですけどね
T : うーん, どんなふうになるといいと思いますか

I : どんなふうになるですか
T : うーん
I : う, うーん, どんなふう
T : 今までのようには, やっぱり, いかない
I : はい
T : じゃあどんなふうに変えていくと, いいですかね
I : それ問題が〈うん〉, 朝青龍だけじゃなくて〈うーん〉, 外国人力士の問題が〈うーん〉, えっと一生じたときに, その, そのあと〈うん〉, その力士にどう, いうふうにきやあせるか, だと思っんですけどね
T : きえすのか
I : はい
T : うーんうん
I : 何を〈うん〉, 求めてっていうか, 何を教えてっていうか{笑}
T : あるままの姿ですよ
I : はい, はい
T : うーん, でも聞く耳を持たなかったですよ, 朝青龍に対していえば
I : 朝青龍に, そうです, 最初〈うん〉
T : 最初は違っんですかね
I : から, さい, 最初, どうですかね, 最初っから
T : わたしも最近のニュースしかあまり詳しくないですけど{笑}〈{笑}〉, 最初はどうでした, 違いました
I : すごく何か敵に回してる感じだったので〈うーん〉, 全員が〈うーん〉, 一人だけでも〈うーん〉, その朝青龍のことを理解しようと, する, 味方が, もし, いたなら〈うーん〉もうちょっと変わったかもしれないですね彼自身も〈あー〉
T : そうですね
I : はい
T : うん, ね
I : 全員敵じゃあ{笑}〈{笑}〉, それ以外のことも大変なのに
T : *たくなっちゃいますものね
I : そこまでそうですね, やってられないよっていう, 感じかも, しれないし
T : うーん, うーん, そうですね, これからも外国人の力士もやっぱり, 多いでしょうしね
I : そうですね
T : うんうんうんうん
I : *, 日本人の〈うん〉, 親方〈うん〉, の, 何か事件起こしましたよね, 弟子, に
T : あー暴行事件ありましたね
I : はい暴行事件ありましたよね
T : はい
I : で, そこもどうかなと思っんですけど{笑}
T : うーん, 今まで普通にあったかもしれないですもんね

I : そうですね
T : その、亡くなるまではなくても
I : そうですね
T : うーん
I : うんうん、厳しい世界ですね{笑}
T : そうですね{笑}
I : いろんな意味で
T : 【姓B】さん自分のお子さんが入りたいって言ったらどうしますか
I : あ、お、あーは一
T : もし将来{笑}
I : 将来ですか{笑}、そこまで食べさせられるかな{笑}、ま将来、子どもがやりたいって言うなら〈うん〉、やらせますけど
T : あっ、そうなんですか
I : そこは覚悟して、おいてねっと、ちゃんと言ってから、やらせたいと思います
T : うーん、やっぱりなじまないと駄目なんですかね
I : そうですね
T : なかなか難しいですよ
I : そうですね、うんただあのスポーツ、は〈うーん〉、その、スポーツって考えずに普通に部活だけでも〈うーん〉、先輩との関係とか〈うーん〉、に、まあ厳しいところがあるかもしれないので、まあ、そこからですね{笑}
T : 特に歴史があるところはそうなんでしょうね
I : そうですね〈うーんうん〉、その歴史、や文化を、ず、自ら守るためには、厳しく〈うーん〉、しないとどこかで、うん、違うとどこにいくかもしれないし〈うーん〉守るための、教育であれば、ぜん、いいと思いますけど
T : うーん、そうですね
I : はい
T : まあやり方が大事ということですかね{笑}
I : そうですね{笑}
T : じゃあですね〈はい〉、ちょっと話を変えて〈はい〉、あの一ロールプレイをしたいと思うんですね〈はい〉、ちょっとこれ、声に出して読んでもらえますか
I : はい、ある大学の先生が、若者言葉の本を出版しました、でもその本は一般の本屋では売られていません、その先生に電話をして、送ってもらってください
T : っとー、わたし、じゃあその先生になります〈はい〉【姓A】ですね
I : はい
T : で、まだ会ったことがないんです
I : はい
T : で、突然先生に電話をして〈あ、はい〉、その用件をお願いするという〈はい〉、場面なんすけども〈はい〉、じゃあ、始めても大丈夫ですか
I : {笑}、ぜ**
T : ちょっと考えますか

I : ちょっと考えます
T : はい
I : うーん, はい
T : はい, じゃあ〈はい〉, えっとー, 電話で〈はい〉, っていうことに〈はい〉しましよ
う〈はい〉, はいもしもし【姓A】です
I : あっ, もしもし, 失礼致します
T : はい
I : わたし【大学名E】大学, 大学, 博士後期課程1年の【姓名B】と申します
T : はい
I : えっとー, せん, えっとー, 先日, 先生が出版された本, ですが
T : はい
I : えっとー, 大変興味深く思いまして, ぜひ読ませていただきたいと思いましてですね
T : はい
I : っとー, 購入しようと, おも, ところなんです, 一般の本屋さんでは, どうも売っ
てないよう, です
T : あっ, そうなんです〈はい〉, ちょっと部数が少なくて置いてないんです
I : あっ, そうでございますか, えっとー, もし, ですが, その一, わたしが, えっと
ー, 読める方法としては
T : はい
I : えっとー, {息を吸う音} どういった方法があるのでしょうか, どこかの大学に置いて
あ, あったりとか, 置いてあるところは, ないでしょうか
T : えっとですね〈はい〉, まだちょっと出版したばかりですので〈はい〉, あの一直接
こちらからお送りするというふうになるんですけども
I : あっ, そうですか
T : はい
I : もう, 大変お手数をお掛けと思いますが〈はい〉, よろしければ一冊, 送っていただ
くことは, できるでしょうか
T : あっ, はい〈はい〉, 大丈夫ですよ
I : あっ, ほんとですか〈はい〉, 申し訳ございませんどうもありがとうございます〈はい〉,
えっではどういった方法, 方法になるのでしょうか
T : そうですね〈はい〉, じゃあこちらから〈はい〉, 本を〈はい〉, あの一そちらの着払い
におしてお送りしますので
I : はい, ありがとうございます
T : えっとー, 受け取って頂ければと思います
I : ああ, はい, ありがとうございます, じゃあお手数をおけ, かい, お掛けしますがど
うぞよろしくお願いします
T : はい
I : 住所は, いかがな{笑}
T : あっ, そうですね〈はい〉, じゃあ後でメールで送ってください
I : あっ, ありがとうございます

T : はい
I : どうもすいません、失礼致します
T : はい
I : はい
T : はい{笑} 〈{笑}〉, ありがとうございます, じゃあですね 〈はい〉, 今度は, 今あった出来事を 〈はい〉, 仲のいい友だちに 〈はい〉, 会って話すということに 〈はい〉, しましうか 〈はい〉, わたし, あの仲のいい友だちの【姓A】です 〈はい〉, でその, きょうあったことを 〈はい〉, 友だちに話す, という場面で 〈は〉, やってみましょう
I : はい
T : はい
I : えーとー
T : いいですか
I : A 先生の{笑} 〈うん〉, あ, いいですか
T : うん, あっ, 【姓B】さん久しぶり
I : あっ, 久しぶり 〈うん〉, えっとね 〈うん〉, 最近 A 先生, が 〈うん〉, 本出したんだけど知ってる
T : あっそうなんだ, えっ知らない, どんな本
I : それね, 若者言葉っていう本なんだけど 〈うん〉, 何か, 若, 者, が最近使っている言葉が 〈うん〉, 出てて 〈へー〉, すごい面白いらし, 何か面白いと思う
T : うんうんうん
I : でねー, 買おうと思ったら 〈うん〉, 何か売ってないの
T : えー本屋にないの
I : そうそう何か, 本屋になくて 〈うん〉, 何カ所も回ったんだけど 〈うん〉, 置いてなくて 〈うん〉, でー
T : 大変だね
I : でしょう 〈うん〉, で, その, 先生に 〈うん〉, きょう電話をして{笑} 〈うん〉, 送ってもらふことにしたの{笑}
T : へー, すごいじゃあ
I : うーん, 何か初めて 〈うん〉, うん, 知り合いでもないのに 〈うん〉, 電話までしちゃって 〈うん〉, でもすごい先生優しくて, うん, 送って, もらえ, え, る, ことになったんだけど
T : うーん, すごいね, 勇気があるね
I : そうだよね 〈{笑}〉, 緊張しちゃったんだけど 〈うんうん〉, でも送ってもらえ, る, ことになったから 〈うん〉, 読み終わったら回すよ{笑}
T : うん, それじゃ見せてね
I : はい
T : はい, ありがとうございます
I : はい, ありがとうございます
T : カードもらいますね 〈はい〉, はい 〈あー〉, こんなことありましたか今まで
I : ないですね{笑}, そんな

T : {笑} **直接***

I : 大学に頼みます

T : あっ、そうですよ大学図書館に頼めますかね

I : は、はい、大学に、頼めば、うん、ええ、あとロールプレイ初めてです{笑}

T : あっ、そうですか〈はい〉、授業などでも、しないですか

I : えー、やったことないです

T : あっ、そうなんですか

I : 日本ではそうですね、日本語のクラス受けたことないので

T : へー、あっ、じゃあ*留学生としてじゃなくて普通の、大学生として入ったん〈はい〉ですね

I : はい{笑}

T : じゃあ入試とかも受けたんですか

I : 入試受けました

T : センター試験とか

I : センター試験、う、うんではなくて〈はい〉、その、私立大学だったので、その大学の方針で〈はい〉、エッセイと日本語の試験〈うん〉、とインタビュー〈へー〉、で、ほんとに、一般学生として入ったので

T : あっ、そうですか

I : はい

T : でも留学生は入ったら日本人が英語を取るように日本語を取る、取りますよね

I : はい

T : そういう、科目もなかったんですか

I : ありましたありました、日本語で

T : あっ、それは受けられたんですか

I : はい〈うーん〉、うん、ほとんど〈うん〉、あの、日本語能力試験の対策〈あー〉、で、問題を解いて説明してもらおう〈うん〉かたちがほとんどだったので〈うーん〉、かいごのしごとか{笑}〈{笑}〉、受けてないんですね

T : 国で受けたんですかね

I : はい

T : 国で

I : あっ、はい〈うんうん〉、そうですね、国で、はい

T : あっ、そうなんですか〈はい〉、へー、その、す、前、ちょっと聞いた話では日本語教師になりたいとお聞きしたんですけど

I : はい、はい

T : それは、そのいつぐらいから思われてたんですか

I : 日本語教師ですか

T : うん

I : うーん、うん、日本語教師は、そうですね、あの一、日本語教師は日本に、来てから〈うーん〉、です

T : あっ、そうなんですか

I : はい

T : へー, じゃあその, 大学に入った時は, 特にそう, いう, ふうには〈あー〉, 最初は思われてなかったんですね

I : そうですね〈うん〉, 日本, に, 来る前までには〈うん〉, えっとー, 日本に行くことが夢だったので{笑}〈あー〉, 日本で暮らすっていうことが目標で〈はい〉, えっとー, とにかく〈うん〉日本語を勉強して〈うん〉話せるようになって〈うん〉日本で暮らしたいって思〈へー〉, ったので, いざ日本に来たら〈うん〉, えー次は何すればいいんだろうって{笑}〈{笑}〉

T : どんどん***ますものね

I : そうそうそう, そうですね〈うん〉, 次の目的を探さないといけない〈うん〉, くて, でその時に日本語教師に〈うん〉なりたいたと思いましたね〈へー〉

T : そんなに日本が, 何か好きになった, もらったのってうれしいですけど何かきっかけがあったんですか

I : 日本ですか{笑}

T : うん, いろんな国がある中で, ま, 近いんですけども〈はい〉, 日本って思ったのは

I : あー, 中学1年の時に〈うん〉, 友だちのおばさんが日本で, 10年ぐらい〈うーん〉, 住んで, えーと帰国されたんですけど〈うーん〉, その時に, えっと日本語を教えてもらったんですけど〈うん〉, 好奇心で始め, た日本語が〈うん〉, こう, 自分の母語とは全く異なっていて〈うーん, ***〉, その言語的な〈うん〉, あの, 母音, が少ないとか{笑}〈うんうんうんうん〉, 子音で終わらない日本語とか{笑}〈{笑}〉, 発音がまあ, 中1のわたしにとってはすごい発音がかawaiiと思ったんですけど〈あー〉, そこで日本語を, 日本語が楽しいって〈うん〉思いましたね, 〈うーん〉, で日本に対しては, そんなに, 特別な〈うーん〉, 感情なり気持ちなり行きたい, っとか, は全くなかったんですけど〈うーん〉, 日本語が, 日本語っていう言語が好きになって〈うん〉, その言語をもっと話たいっていうことで〈あー〉, 日本に, 来た, 来たい, 行きたいと思ったんですね

T : あーそうなんですか

I : はい

T : で, 今に至るもんね

I : 今に至る{笑}〈{笑}〉

T : すごい, 長い

I : 長い

T : 結構長い期間ですね{笑}, *****

I : だらだら, ずるずる{笑}, 絶えることなく〈うーん〉, いつまで話すんだっていう感じなんだけど

T : まだもうしばらくいらっしゃる

I : はい, もう

T : ご予定ですか

I : はい〈うーん〉, あの一, そうですね, あの一, 18年間韓国〈うん〉, で, いて〈うーん〉, 日本はまだ, 8年9年なので

T : 長いですよ{笑}, 結構長い

I : 同じぐらいに、いてみて〈あー〉, そうなったとこ, で, 住むのか決めたいと思います
T : へー, ものすごいですね
I : はい{笑}
T : ***その 10 年後にお話を{笑}聞きたいですね
I : あっ, そういう方いますよ〈うん〉先生の, 中で
T : そうですか
I : はい
T : うーん
I : ある先生が
T : 興味がありますもんね
I : はい
T : そんなに長い間日本にいてどういうふうに〈ああ〉, 考え方がもしかしたら変わるかも
知れないですもんね
I : そうですねあと日本人の方で〈うん〉, 高校を卒業した人が〈うん〉アメリカに行かれ
て〈うーん〉, その先生も, もう, 同じ, にほんにんと同じ〈はい〉年数をアメリカに〈あ
そうなんだ〉, で過ご〈うーん〉, されてるみたいですけど, うーん, 面白いなっと思って
T : なかなかみんながみんなできる, 経験じゃないですもんね
I : が, ないんですよ
T : うーん
I : もうじゃあす
T : もうしばらく日本で{笑}
I : はい{笑}
T : 楽しんでください
I : はいありがとうございます
T : はい, ありがとうございます
I : ありがとうございます
T : きょうはこれで終わります
I : あっ, ありがとうございます
T : ありがとうございます

(6) OPI インタビュー (25 分)

T : はい, じゃあ始めましょこんにちは

I : こんにちはー

T : はい, えーとー, お名前を, 教えてください

I : はい, 【姓A】と申します

T : 【姓A】さん, 【姓A】さんは, どちらから

I : 韓国から

T : かん, 韓国のどこですか

I : ソウルです

T : ソウルですか〈はい〉, 韓国のソウルっていうとー, 今どんな感じですか

I : 今, うーん, どんな感じー〈うん〉, いやなんか日本と一似たような

T : 似たような感じ〈はい〉, 東京と似てるっていうことですか

I : はい

T : あーそーう〈うん〉, じゃもうビルも一建ってー〈高い, うん〉, そうですか〈はい〉, よく皆さん, に, 似た感じだって〈似た感じです〉, うん, おっしゃいますけどね〈はい〉, うーん, でも, 観光客なんかもだいぶん, ああ, 日本から行くようになったと思うけどー〈あ, す〉, お薦めのスポットとかってありますか

I : すごいですよ, に, かん, かんこきやく〔観光客〕が〈うん, うん〉, ああわたしーミョンドンという所で〈うん〉働いたんですけど〈うん〉, そこ, んー, の, やはりー〈うん〉, 韓国といえー, 日本人, は, 必ずミョンドンに行く〈うん〉, ミョンドンっていう街がー〈うん〉すごくにぎやかで〈うん〉, やっぱ日本より, 洋服とかも, すごい安いから〈うん〉, ああ, 最近話題になった〈うん〉, フォーエバートゥエンティワン

T : フォーエバートゥエンティワン〈トゥエンティワン〉{笑}, はい, わたしはよく分からないわ〈{笑}〉, わ, ちょっと〈それ〉教えてください, うんうんうん

I : それ, ああ, ファースト〔ファスト〕ファッションっていうじゃないですか〈はいはい〉, で, それがー, 日本よりー〈うん〉, 韓国でー〈うん〉, ああー日本より, 先に, 出たんですよ, できたんですよー〈はい〉, で, それがーすごい, ああ, 日本, 人〔日本人〕のかんきょうか, 観, 光客〔観光客〕の間に〈うん〉すごい人気〈うん〉, あってー〈うんうん〉, うん, すごかったんですよ

T : ファースト〔ファスト〕ファッションって, ということ

I : ファースト〔ファスト〕ファッション, っていうのはー〈うん〉, え, なんー, えと, すごい手軽な〈うん〉, 価格で〈うん〉, ああーヨーロッパとか〈うん〉アメリカの, んー, ああ, はやりのファッションを〈うん〉, ああ, 着る〈うん〉, 着ることできる〈うんうん〉, 着れる

T : それが日本よりも韓国で, 先に, できたっていうのは, なん, なん, 何でなのかしら

I : いや, それ, が〈うん〉, ああファースト〔ファスト〕ファッションが〈うん〉, 先にできた, わけじゃなくてー〈うんうんうん〉, その, え, フォーエバートゥエンティワン〈トゥエンティワンが〉っていう〈うんうん〉, ああ, さ, たぶんさ, さちよう〔社長〕さん, さっちょ〔社長〕さん〈はい〉, の方, か分かんないんですけど〈うんうん〉韓国の方ですね〈うん〉, ああデザイナーとか〈うんうんうん〉, だから先にー〈うん〉, 先に, な

んか、その、たてもの一 [建物] が、できてー〈えーえー〉、あと、2、3 カ月あとかな〈うん〉、あの、こちらに

T：日本にも、できたの

I：はい

T：そのファストファッションっていうのは、その、いろいろな国の、ファッションをー、すぐに、売るっていうような意味なんですか

I：うーん、やっぱりはやりの一〈うん〉、服〈うん〉、を〈うん〉、んー、ん、手軽な一〈うん〉、なんか、すごい、気軽に買え、買えるっていうのが〈うんうんうん〉、んーファースト [ファスト] ファッション

T：あーそうなんですか、あの普通ね、例えばパリとかニューヨークとかで、はやっている、物っていうのが、そのままブランドで、日本の東京に来た場合、めちゃくちゃ高いじゃない、それがーその、安く、その流行を取り入れて、安く買えるっていうのは、どういうシステムになってるか知ってますか、知ったら教えてほしいんですけど

I：それはよく {笑}、知らないんですけどー〈あー〉、いや、たぶん、んー、品質〈うん〉、の〈うん〉、安さ

T：品質の安さ

I：{笑} んー、安さ〈うん〉、かー〈うん〉、それともー〈うん〉、うーん、なんかこう、こう

T：品質が悪いっていうこと

I：いや、わるーく [悪く] はないんですね〈うんうん〉、いや、工場とか〈うん〉、が、なんか、すごい、中国とか〈うんうん〉、そういう所にんーうんうん、うんあるんじゃないですか〈あー〉、よく、よくーは分かんない

T：あ、分かりました〈うん〉、はい、あの一【姓A】さん、は、趣味って、何ですか

I：趣味は一、うーん、今ですよね、今

T：うん、今じゃなくてもいいけど {笑}

I：いまー [今] {笑}、趣味、んー、絵を描くのかな

T：絵を描くこと

I：絵を描くのとー〈えー〉、んー、かんこくー [韓国] に〈うん〉居た時はー〈うんうん〉ミシン〈ミシン〉、とかー〈はい〉、で、うーん、日本に来てからはー〈うん〉、やっぱり、インターネット〈あー〉、パソコン

T：パソコン、パソコン好きですか

I：大好きです

T：ふーん、どんなふうな、ことに使ってるんですか

I：あの一、ミックスー [ミクシー] みたいな感じの〈あ、はい〉、あのホームページ〈えーえーえーえー〉、個人の〈えーえー〉、ホームページ〈はい〉、とかを〈えー〉、管理したり、なんか、写真載せたりー〈はい〉、なんか、うん、そういう、あ、いろんな韓国に〈うん〉、居る友達と〈うん〉コミュニケーションが〈うん〉、や、やっぱり、インターネットでできるので〈うんうん〉、うん、まい、毎日

T：毎日やってます〈はい〉、どれぐらいやるんですか

I：一日、んー、ご、んー、5 時間ぐらい

T : 5 時間

I : 5 時間 〈ほー〉, {笑} 〈{笑}〉 こわせー, よじかーん [4 時間] 〈うん〉, 5 時間ぐらい

T : うん, そんなにやっててー, あの一, ほかのことができなくなってもったいないとか, なんか失敗しちゃったっていうことないですか

I : {笑} ないです

T : ないですか 〈はい〉, それはそんなにも生活に, もう, く, の一部になってる感じですか

I : うんうんはい 〈あー〉, でもしない時もあるんですよ 〈ふーん〉, まい, あ, うん, そんな毎日するわけじゃなくて 〈うんうん〉, しない時もあるしー 〈うん〉, か, いちにちー [一日] 1 時間にじかーん [2 時間], か, うん, すごい, うーん, 短く 〈うーん〉, する時もあるー

T : よくさーその一てがみー [手紙] を書いたりー電話を掛けたりーすると, 生の人間関係が一できるけれど, その一ネットを通してだと, あの一, あまりーこう生の人間関係じゃなくてー, ま, いろんな人から, あの一, まあ答えが返ってきたり, それから, 相手が分からないから, ひどいことを平気で書きちゃったりっていうような問題もあるでしょう

I : あります

T : うん, そういうーのはどう思いますか 〈あー〉, うん, わたしそれを考えるとー, やっぱり手紙とかー電話で 〈{せき払い}〉, しっかりと相手を, あの一, 分かって, 気持ち良く話したりコミュニケーションを取るっていうのがいいと思うんだけど

I : ん 〈うん〉, あ, でもわたし手紙も書いてるし電話も毎日してる, ので 〈ふーん〉, 韓国の, あ, あ, 今, 家にー 〈うん〉, あの家電話があるんですけど 〈うんうん〉, それが韓国のやつでー 〈うん〉, インターネットーにつないで 〈うん〉, あの一韓国のー 〈うん〉, 韓国にー 〈うん〉, こくないー [国内], んー, んー, 料金で 〈うん〉, あ一通話ができるんですよー 〈うんうんうんうん〉, で, あの一, やっぱりイ, インターネットとか 〈うん〉, じゃなく, て 〈うん〉, 電話, とか 〈うん〉, 手紙とかでもコミュニケーションは取ってるんですけど 〈うん〉, あ, 今, 先生 〈うん〉 がおっしゃってる, ことはー 〈うん〉, インターネット 〈うん〉, の場合 〈うん〉, の問題 〈うんうんうんうんうん〉, んー

T : じゃあその, どんない, 人とはー, 電話やてがみー [手紙] で直接, 連絡を取って, どんな場合に, ネットにするんですか

I : いや, それは, あー, もちよっとう, やっぱり, うん, 普段もー 〈うん〉, 電話してー 〈うん〉, いろんなこと話したりー 〈うん〉, する友達 〈うん〉, うん, 親しい 〈うん〉, 関係のー 〈うん〉 友達は一 〈うん〉 電話もしたりー 〈うん〉, 手紙も書いたり 〈うん〉 するんですけどー 〈うんうん〉, うーん, うーん, うん, 知り合いは知り合いけどー 〈うん〉, そんなに, でんわー [電話] までするー 〈ふーん〉 関係じゃなくてー 〈うん〉, ただのなんか, 元気なのかとか 〈うん〉, 気になる友達も 〈うん〉 居るじゃないですか 〈うんうんうんうん〉, もう, みんな親しい, なんか仲良し, じゃ, 仲良しーじゃないですか 〈うんうん〉, だからそういう友達は 〈うん〉, うん, うーん, インターネットとか 〈うん〉, やっぱりホームページとかを 〈うん〉, 通して 〈うん〉, んーなんか, 今何をやってるのか 〈うんうんうん〉, そういうのが分かるので

T : ふーん 〈うん〉, そんな親しくない人でも, 何やってるかは知りたいんですね

I：一応友達は友達だから〈だから {笑}〉ですね、はい

T：で、今ちょっと言ってた、その、ネット、で起こる一、最近でもいろんな問題出てきてるでしょ、うん、で、あの人間関係とかその相手の人格を傷つけるようなことで一、もうじきつー[自殺]まで出てくるような〈あ〉、ことが起こってるけど一、あのそれでもやっぱりネットって、コミュニケーションのために必要だと思いますか

I：ん、ん一、ネット一〈うん〉、日本より韓国は一〈うん〉、最もすごくてそれが一〈うん〉、{舌打ち} やっぱり、なに、の一、なんか一、テレビとかでも一〈うん〉、すごい、誰かが一〈うん〉、なんか一、うん、ほんとに、え一、つまらない〈うん〉、発言とか一〈うんうん〉、をしたときにも一〈うんうん〉、もうすぐ〈うん〉、ネットに〈うん〉 広がってしまっ一〈うん〉、が、ネッティズン〈うん〉、その、ネットを使ってる人たち〈うんうん〉、が〈うん〉、やっぱり、いろんな、文とかを〈うん〉、けいじはん[掲示板]とかで〈うん〉、どっかに〈うん〉、こう載せるわけなんです〈うんうん〉、でそれが〈うん〉、そういうところ、を見たときは一〈うんうん〉、あ一、ちょっと、ひどいな一と思うんですけど一〈うんうん〉、うん、でもネット一ってすごい便利だし〈うん〉、もうわたしもそうですけれどももうみんな友達とか一〈うん〉、もう、たぶん韓国人、ん、ん、は一〈うん〉、ネットなし、では、もう生きて一〈あ一〉、生きられない状態になってしまっ一〈え一え一〉、ちょっと日本人、とはちが一い[違い]ます

T：あ一そうですか、例えば、日本と違って、どんな一ところまで、あの、使われてる、んですか

I：う一ん、なんか、メッシンジャー[メッセンジャー]を〈うん〉、め、あの、パソコンを一使ってる時に一〈うん〉、メッシンジャーを〈うん〉、あの一、つけ、つける〈うん〉、つけて一〈うん〉、あの、いろんな、やっぱり、そこに、せっそく〈うん、接続〉、接続〈うんうん〉、している友達と一〈うん〉、例えば一、あの一、ん一、チャットとかをする一〈うん〉 じゃないですか〈うんうん〉、そのときに一、やっぱり携帯じゃなくても一、ネットで一〈うん〉、あすごい、あの一、やっく、約束を一、ん一、約束をとる〈うん〉、とったりとかし、する〈うん〉、しったり一〈うんうん〉、なんか、きょう、きょうどこかで会うとか〈うんうん〉、そういうのも一〈うん〉、携帯じゃなくてもできる一〈うん〉 んですよ電話じゃなくても〈うんうん〉、でも、やっぱりそういうところが〈うん〉、え、な、たぶん日本人はそこまではしないと思うんですけど〈うんうん〉、うん、そういうところとか一〈うん〉、{息を吸う音} あとは一〈うん〉、あの、これはいいところじゃないんですけど {笑} 〈うんうん〉、あの映画〈うん〉、を〈うん〉、DVD とかで観るんじゃないですか〈うんうんうん〉、DV、でも、もう韓国人、は一〈うん〉、うん、ダウンロードするんですよ〈はい〉、それが一〈うん〉、あの法律的に駄目なんですけど

T：はい、著作権の問題

I：うんうん〈うん〉、でも、それ一はもう〈うん〉、誰でも一〈はい〉 ダウンロードしてるので一〈え一〉、もう止められない一状態

T：言ってることはけっきょく一[結局]、いろいろな個人情報とかセキュリティーの問題で、あの一、もうほんと個人情報が一ぱつと外に漏れちゃったりとか一、そういう問題も起こるわけでしょ

I：あります

T : それに対しては、 どのような対策があるんですか

I : {笑} {せき} たぶん、それはたいさくー [対策] 〈うん〉で、 たぶん、 韓国のほうもー 〈うん〉、 かなり困ってると思うんですけど {笑} 〈あー〉、 それ、 まではー 〈うん〉、 あず、 うーん、 ん、 {舌打ち} あー、 {息を吸う音} ん、 そうですねー、 たぶんそういう 〈うん〉、 そういうのを 〈うん〉 防ぐ 〈うん〉、 なんか方法 〈うん〉、 は、 たぶん、 韓国で 〈あー〉、 向こうで、 一生懸命考えると 〈あーそう {笑}〉、 考えてると思う {笑}

T : うーん、 どう、 どのような対策をとったらいいかはちょっと、 難しい 〈うん、 うん、 はい、 はい〉、 あーそうですか、 うーん、 あのー【姓A】さんいまー [今] 映画をダウンロードするって言ったけど 〈うんうん〉、 映画は好きですか

I : 好きです

T : あーどんな映画が好きなんですか

I : んー、 {舌打ち} えいがー [映画]、 ち、 ん、 恋愛話とか 〈はい〉、 メロー 〈あーはい〉、 うん、 日本、 の映画がー、 好き

T : 好きですか 〈好き〉、 じゃ今までで好きなーのってどんな

I : 好きな 〈うん〉、 うーん、 いっぱいあるんですけどー 〈うん〉、 個人、 的に好きなのはー 〈うんうん〉、 じゅう、 『重力ピエロ』

T : 『重力ピエロ』、 い、 はじ、 初めて聞きました 〈{笑}〉、 え、 面白かった 〈うーん〉、 それは恋愛ドラ、 恋愛物

I : えーじゃないんです

T : あ違うんですか 〈うん〉、 どんなお話なの

I : どーん {笑} 〈{笑}〉、 あー、 なが 〈うん〉、 うーん、 うーん、 きょ、 あのー、 あるー兄弟がー 〈うん〉 居るんですけどー 〈うんうん〉、 もう、 兄弟がー 〈うん〉、 もともとー 〈うん〉、 あのほんとのー 〈うん〉、 血がつながってる兄弟じゃなくー 〈うん〉、 あの父親 〈うん〉、 のほう、 あと、 どう説明したらいい {笑}、 うーん

T : お母さんが違うとかお父さんが違うとか

I : お父さんが違うんですけどー 〈はいはいはい〉、 で、 あのー、 お母さん、 はい 〈うん〉、 さ、 もう亡くな、 ったんですよー 〈えーえー〉、 なんかびょうきとか [病気とか] なんかでー 〈えーえー〉、 で、 そのお母さん、 がー 〈えー〉、 あのむかしー [昔] 〈うん〉、 うーん、 レ、 レイプ 〈はい〉 されててー 〈えーえー〉、 うーん、 子どもができたんですけど 〈うん〉、 そのー、 あのだんながー 〈うん〉、 ちゅうぜつつー [中絶]、 ちゅうぜつつー [中絶] を反対して 〈はい〉、 それ、 あの、 その子どもを生んだんですよ 〈はい〉、 それーで 〈はい〉、 で、 あの、 また二人の 〈うん〉、 子どもが居てー 〈はい〉、 その、 んー、 兄弟が 〈えー〉、 あーほんとの兄弟じゃないんですけどー 〈はい〉、 んー、 その、 レイプされ、 て生んだ、 子どもがー 〈うん〉、 弟なんですよー 〈うんうん〉、 弟がー 〈うん〉、 レ、 お母さんにー 〈うん〉、 レイプをした、 男、 を 〈うん〉、 あのー、 殺す 〈ほー〉、 大作

T : そんな映画が日本にあったのー、 そ

I : あ、 ころ 〈へー〉、 うん、 ころーす [殺す] のちょっと考えててー 〈えー〉、 でも、 またお兄さんもー 〈はい〉、 その人、 を殺そうとし、 したんですけど 〈はい〉、 ん、 二人、 二人の間、 で 〈はい〉、 内緒にして 〈はい〉、 でも結局は 〈はい〉 弟が {笑}、 んー、 その、 男を 〈うん〉、 殺し、 殺したんですよー

T : ふーん

I : 分かりませんよねー {笑} <{笑}>, すみませーん, 結局そういう話

T : はいはいはい <はい>, で, どこが一番面白いと思ったの

I : 面白い, んじゃなくて <うん>, ちょっと主人公がかっこよかった {笑}

T : あーそうなんですか, はー, なんかでもすごくあの一, 人間関係が複雑な, 難しい, 映画ですよ

I : いやそう, そうでもないです <あーそうなんですか>, あの, おー, {舌打ち} あの雰囲気が一 <うん>, 静かなー <うん>, 映画が好きなんで <うん>, ん, そういうのが <あー>, うん <うん>, はい, あ, うーん, やっぱり韓国の映画より日本の映画, を <うん>, んー普段見てる <あー>, っていうかーはい

T : あーそうですか <はい>, ここで, またその映画観ててー, 最近の一, なんかこう問題とこう, 問題を反映してるなーみたいなの, ことって感じたことってある

I : あの一, 日本でー <うん>, あ, 韓国でー <うん>, 観たのがー <うん>, それ, 『それでもわたしはやってない [それでもボクはやってない]』っていう <はいはいはい> 映画を観たんですよー <えー, えーえー>, で, 冤罪っていうのがー <はい>, あ, ちょっと日本, では <はい>, んー, なんか, も, いろいろ問題があるなー <うん> とは思った <うん> んですけど <うん>, もうそん, 韓国に居た時には <うん> 冤罪っていうのはそんなに気にしなかったんですけどー <うん>, 日本, それ映画を観てー <うん>, 日本に来て, 冤罪のことでいろいろ <うん>, 聞い, 聞いた後はー <うんうんうん>, すごい, ん, なんかー, 冤罪, っていうのが <あーそう>, いろいろ問題になってるなーとは, 思ったんですね, うん

T : たぶん日本では裁判員制度っていうのが始まるっていうことで <そう, そうです, えー>, 実際に自分が, あの一審判するときにはー <うん>, 冤罪っていうのはものすごく大変な一ことになってしまうので <はい>, 注目されたと思うんだけど <はい>, 韓国ではまだそういう制度はないの

I : ないです

T : あーやってみたいですか

I : 裁判員制度, いや, うーん, そ, いやー, わたし見るだけで十分

T : 見るだけで十分

I : はい <ふーん, あまり>, か, かかわりたくない

T : かかわりたくないですか

I : ない, ないです

T : じゃそういう制度を導入するとしたら反対ですか

I : {笑} <{笑}>, ん

T : 何でそんな気持ちになるのかしら

I : いや, わ, えー, わたし, やっぱり <うん>, あ, プロでもアマチュアでもない, んじゃないですか <うん>, あの, ただ自分の一 <うん>, その, その自分の気持ちとかー <うん>, で, 自分が考え, えるだけ <うん>, で, そういう裁判, を <うん>, なんか無罪と有罪とかする一んのが <うん>, あんまり気に入らないー

T : あ自分の考えだけで <うん>, あー <はい>, じゃ

I : でも裁判員って <うんうんうん>, 一人じゃなくてー, あの一, 結構 <うん>, あの,

居るー〈うんうん〉じゃないですか〈うんうん〉10人とか〈うんうん〉、{せき} それでもー、そういう、制度、うん、うん、うーん、あんまりーです

T: あそうですか〈はい〉、もしーそのー、同じ韓国で、あの働いている時に、あの一「裁判員制度を導入しましょう」って言う、側の人がここに居て、それで、あの一【姓A】さんが{笑}、それを反対する側の代表だとしたらー、どういうふうにわたしを説得しますか

I: あー、説得〈うん〉、うーん、裁判員制度〈うん〉、たぶん〈うん〉韓国でそんなに進ん、進んでないー〈うん〉と思うんですーよー〈うんうんうん、うん〉、せ、説得〈うん〉、あー、ちょっと難しい

T: 難しいですか〈{笑}〉{笑}、分かりました、はい、えっと【姓A】さんってアルバイトしてる

I: はい

T: あ、アルバイトしていて、実はね〈はい〉、あの一ちょっとロールプレイをしたいんですけど〈はい〉、アルバイトの同僚の時給を偶然知ってしまったんですね、そしたらおんなじ仕事してるのに、あなたとはずいぶん値段が違います〈お〉、うん、えーとー、わたしが〈うん〉、店長です〈はい〉、で、あのちょっとまあ気を遣うかもしれないけど、時給を、上げて、ほしいということをー、頼みに来てください

I: 難しい〈うん〉、あー、はははん、あー〈はい〉、すー、始めます

T: はいどうぞ〈{笑}〉、うん

I: あの一〈うん〉、す、す、すみません〈はい〉、店長

T: あーはいはい、どうしたんですかー

I: 今、お、おじっかん[時間]よろしいですか

T: うん、いいですよー、今ちょうどちょっと手が空いたところだから

I: あの一〈うん〉実はーはなしー〈うん〉[話]が〈うん〉あるんですけどもー

T: はいはいはい、なんか深刻な顔して〈{笑}〉、どうしたの

I: なんか、わたしと一緒に働いてる〈はい〉、Aさん、居るじゃないですか

T: あーはいはいはい

I: で、わたしとおなっじー[同じ]時期に入、ったんです、けどー〈うん〉、んー、ん、なんか、あの一、そのAさんー〈うん〉、が〈うん〉、わたしよりー〈うん〉時給のほうを〈うん〉、が、うーん、も、もっともらえ〈あー〉、もらえてる、もらってるー〈うん〉らしいんですが〈あー〉、どう、いうことなんですかねー〈あー〉、うん、{笑}

T: あーそれー一気にーなってたー、い、いつ分かったのーそんなこと

I: いやー、あの一、ん、ん、せ、先週ぐらい

T: うん、いやーあの一Aさんねー、あの一実はー、ここで働いてもらっている時間以外にー、あの時々ひとでー[人手]が足りない時にー、夜来てもらったりーすることがあつてー、あの一その時にも絶対「嫌だ」って言わないんですよー、それでほんとにーお世話になってるからと思って、その分ちょっと一時給をアップしたんですよ

I: えー、でもー、あの一、そういうことってわたしーにも〈うん〉、あの、うん、できないわけではない、のでー

T: あーじゃあ緊急な時でもーまあ、でも【姓A】さんの場合、留学生なんで{笑}、時間的な制限があるでしょう〈はい〉、それでまあお願いしなかったんですよ、勉強も忙しい

だろうし

I：やーやーやー〈うん〉，そんなことはない {笑} 〈{笑} うんー〉，あの一，でもー〈うん〉，ん，でも，緊急な時でも〈えーえー〉，あ，同じー，同じ時間〈うん〉，なんか，じ，働いてる分〈うん〉もらってるのは同じーではないーですか

T：あーやっぱりちょっと一時給のことね〈はい〉，あー

I：うーん，どう，ですかねー

T：ま，うちもちょっとでもねーあのじかんー [時間] こう嫌だっって言わないですぐ働いてくれるっていうのがー〈うん〉，ちょっとうれしくて〈はい〉，あのAさんには時給アップっていうことでーお願いしてるんだけど〈あー〉，で【姓A】さんもじゃあこれー，次にお願ひした時に，ま，まOKっていうことをー，あの一約束してくれたらー〈はい〉，アップはーできるかなーと思うんですけどねー

I：あ，いいんですか

T：うん，無理じゃなーい

I：無理じゃないです，ぜんぜーん [全然] 〈だいじょぶですかー〉，大丈夫 {笑}

T：あー，そうですかー {笑}，うん，じゃ考えときます，またーあの〈あ〉書類にもはんこ押してもらわないといけないし

I：あーはい〈はい〉，あ，あ，ありがとうございます

T：はいーい，はい終わりましたー〈はい〉，じゃあ今度ね〈はい〉，はい {笑} 〈難しい {せき}〉，うん，じゃね今話を，いーい〈はい〉，すごく仲のいいルームメートの日本人に，こんなことあったって話してみて〈あ〉，うん，【姓A】さんきょう遅かったねー何かあったの

I：ねーねー〈うん〉，あの一，うちのー〈うん〉，あの一，あ，い，あな，え，う，うちのバイト先で〈うんうん〉Aさんっていう人〈うんうん〉，が〈うん〉，わたしと一緒に，い，い，同じ時期にー〈うん〉あの一，こう，バイトを始めたんだけどー〈うん〉，このまえー [前] 〈うん〉，あの一，Aさーんに聞いたらー〈うん〉，わたしより時給がね〈うん〉，高かったの〈へー〉，ですごい，なんかびっくりしてー〈うん〉，で，ちょっ {笑}，あの一，きょう〈うん〉，ちょっと〈うん〉，店長に〈うん〉，お願ひし，ただけどー〈うん〉，ま，てん，店長はも〈うん〉，「考えとく」，って言われてー

T：あ，良かった店長に言ったのすごいね 〈{笑}〉 {笑}，勇気出したねー

I：そうそうそう，でも〈うん〉，い，でも，あ，んー，やっぱり，おな，あの一，んー，お，同じ時期にー〈うん〉入ったしー〈うん〉，で働いてるのも，同じ分働いてるしー〈うん〉，やっぱり，うーん，それ，それなのに〈うん〉時給が高いっていうのはちょっと，あ，んー，どう思う

T：そうだよーねー，やっぱりそうだよーねー〈うーん〉言っで良かったよでもチャンスできて良かったじゃん

I：うーん

T：うん良かった良かった〈うん〉，今度わたしもなん，誰か会ったら頼んでみよう {笑} 〈{笑}〉，はいーい，これで終わりです 〈{せき}〉，そう，きょうなんかねーせきが大変なのに〈あーはい〉，大丈夫でしたか〈はい〉，いっぱい話し続けて〈あーだいじょぶです〉，あゆったり休んでくださいね〈はい〉，うん，ちょっとあったか，きょうはね〈はい〉 ちょっ

とあったかいから〈うん〉、のーんびり〈はい〉過ごしてください〈はい、ありがとうございます
い〉、はい、きょうはこれで終わりですどうもありがとうございました

I：ありがとうございましたー

T：はい

(7) OPI インタビュー (25 分)

T : はい, では始めましょう 〈はい〉, はい, こんにちはー

I : こんにちは

T : 【姓A】です, よろしくお願ひします

I : わたし【姓B】と申します 〈はい〉, よろしくお願ひします

T : はい, 【姓B】さんですね 〈はい〉, はい, えーと【姓B】さんはー, えー, どちらの方ですか

I : わたし韓国人です

T : はい 〈はい〉, 韓国はどこですか

I : 韓国ですねー 〈えー〉, えーとちかー, く [近く] にある所ですけど, あの日本よりちょっと上, です

T : はい 〈はい〉, 韓国の一どこの町ですか

I : わたしソウルです

T : あ, ソウルから 〈はい〉, いつ日本に来ましたか

I : わたしことしの9月末に来ました

T : あ, そうですね 〈はい〉, えーじゃあ, 10, 11, 12, まだ3カ月ぐらいですね

I : はい3カ月ぐらいです, はい

T : あーそうですね, えー日本はどうですか

I : 日本ですね, まだ一來たばかりなのでー 〈うん〉 よく知らないですけど 〈はい〉, でもみんな親切だしー, それで, ちょっと楽です, 今は

T : 楽, あ, そうですね 〈はい〉, あもう慣れましたか

I : はい, ちょっと慣れました

T : あそうですね 〈はい〉, あの9月に来る前は日本に来たことがありますか

I : あ, 一回も, な, い [ない] です

T : あ, じゃ初めてですねー

I : はい初めてです

T : はい, じゃあ日本に来てちょっとびっくりしたこととか, 変わったな, 変わってるなって思ったことありますか

I : いや, そんなことより初めて来た時はー 〈はい〉, 電車がちょっとむじゅかしくって [難しくって] 〈あー〉, それが一番, うん, むじゅかしかった [難しかった] です

T : あー 〈はい〉 電車の乗り方が 〈はい〉, 今どちらに住んでらっしゃいますか

I : 今は吉祥寺に住んでいます

T : あ, そうなんですか 〈はい〉, あー, 吉祥寺ってあの一 〈はい〉, 日本人の若者がねー 〈はい〉, 一番住みたい所って言ってるくらい

I : あーわたしも聞きました

T : はいー, いい所ですか

I : はい, いいという所です 〈うーん〉, 公園も近くにあるしー 〈はい〉, いろんなしょってんかい [商店街] もあるからー 〈はい〉, いいです場所は

T : あ, そうですね, 駅から近いんですか

I : あ, 駅から歩いてじゅごふん [15 分] ぐらいかかります

T : あ、歩いて 15 分 〈はい〉、あ、じゃ結構ありますねー
 I : はい、あります
 T : はいはい、今 1 人で住んでるんですか
 I : あ、ルームメートがあります 〈あ、そうですか〉、あ居ます、はい
 T : 1 人
 I : はい、1 人居ます
 T : あ、じゃあ 2 人で住んでるって 〈はい〉 ことですねー、はい、食事なんかはどうしてるんですか
 I : 食事は、ご飯は家でちゅくってー [作って]、それとおかずは一、韓国から持ってきた物一緒に食べてます {笑}
 T : あ、そうなんですか 〈はい〉、あー、韓国から持ってきた物っていうと
 I : キムチとっかー 〈はい〉、のりとかー 〈はい〉、そんなこと食べてます
 T : あーそうですか 〈はい〉、日本料理はだいじょぶですか
 I : あ、日本料理はちょっと口に合わないから 〈あ、そうなんですか〉、でも焼きそばとか 〈えー〉 お好み焼きは好きです 〈あーそうですか〉、はい
 T : えー日本料理口に合わないっていうとー、おすしとかは駄目ですか
 I : いえ、おすしよりちょっと 〈うん〉、おす、なんかね、甘い物がたくさんあってー 〈あーそうですか〉、そういうのちょっと合わないです
 T : あー、甘い物っていうと、料理が甘いつてことですか
 I : あの、例えばキムチ 〈うん〉 でしたら 〈うん〉、韓国のキムチよりちょっと甘くってー 〈ふーん〉、そんなことがちょっと口に合わないです
 T : あ、そうなんですかー 〈はい〉、何で日本のキムチは甘いんですかね
 I : いや、わたしも知らないですけど 〈えー〉、韓国のキムチはちょっと辛いからー 〈はい〉、日本人は甘くして食べるんじゃないかと思ってます
 T : あ、甘いつていうのはお砂糖の甘さですか
 I : はい
 T : あーそうですか
 I : そう、ちょっと甘い、と思います
 T : あー日本人は気が付いてない人が多いですよねきっとねー
 I : そうですか {笑}
 T : うーん 〈あー〉、たぶんキムチはこういう味なんだろうと思って食べてるかと思うんですけどー 〈あー〉、はい、じゃやっぱり、えー料理の味なんかは、韓国とー 〈はい〉 日本では一だいぶ違うってことですね
 I : はい、違います、かんこくー [韓国] では日本の料理に比べてちょっともっと高い、あに、あの一、辛いです
 T : 辛い 〈はい〉、全般に辛い
 I : はい、辛い物がうち多いです
 T : あーそうですか 〈はい〉、最近日本人も辛い物が好きでー 〈はい〉、結構辛い物食べますけどねー
 I : あ、でも 〈うん〉 日本で今売っている、いる辛ラーメンという韓国のラーメンが 〈は

い〉あるんですけど〈はい〉、これもちょうと、韓国の辛ラーメンに比べてみると、甘いです、辛くないです

T：あ、そうなんですか〈はい〉、日本向けのじゃあ、ラーメンなんですね〈はい〉、韓国の物とは違うんですか

I：はい違います

T：あーそうですかー〈はい〉、面白いですねー〈はい〉、うん、なんかそのほかにもこう、やっぱり、日本はちょっと違う、韓国と違うっていうところないですかね〈うーん〉、うん、例えばその、電車が大変だったっていうことですけどー〈はい〉、はい、電車の中とか様子は、どうですか

I：あー、韓国の電車としたら普通地下鉄が多いですけど〈うんうん〉日本の電車、上に〈はい〉、つくっている電車がなくてー〈はい〉、それでいろんな線があります〈はいはい〉、乗り換えるのもちょっとむじゅかしい〔難しい〕しー〈はい〉、それで高いですから
{笑} ****

T：あ、値段が高い〈はい、高いです〉、あー、なるほどねー、吉祥寺からだー〈はい〉、この学校までどうやって来るんですか、ちょっと説明してもらっていいですか

I：電車ですけど〈えー〉わたし定期券を、買ってー、んー、吉祥寺駅から東中野駅まで電車に乗って〈うん〉、うん、通っています

T：あ、そうですか〈はい〉、はい、えー途中乗り換えはないんですね

I：はい乗り換えはないです

T：あ、じゃ一本ですねー〈はい〉、うん、えーと東中野からーこの学校まではー〈はい〉、はい、えーどのくらいかかりますか

I：歩いてじゅごふん〔15分〕です

T：あーやっぱり15分ぐらい〈はい〉かかります〈はい〉、はい、えーとどういう道を通ってくるんですか、ちょっと教えてもらっていいですか

I：あー、ひが、東中野駅に行ってー、出口はー、いや忘れちゃったんですけど〈はいはい〉出たらー、横断歩道を歩いてー〈うん〉、んー、左側に、変わって〈うん〉、真っすぐ行くと〈うん〉、あの、中野坂上という、えきー〔駅〕があるんですがー、その駅までじゃなくて、ちょっと前に横断歩道で、歩いて、右側に変わって{笑}真っすぐ行くと、すぐ、学校です

T：あ、そうですか〈はい〉、はい、じゃあ、曲がるのは二回ぐらいですかね〈はい〉、あーそうですか、じゃ分かりやすいですか

I：はいじゅっと〔はい、ずっと〕真っすぐです学校まで

T：あ、あ、そうですか〈はい〉、あー分かりました、はい、えーとー、えー【姓B】さんは今あの一、日曜日とか〈はい〉、お休みの日は何をしていますか

I：んーお休みーは何か、わたし今バイトしてるからー〈あ、そうなんですか〉、週末はずっとバイトしてるし〈うん〉、ちょっと時間あったら、いろんな場所に歩いてきたりしています

T：うーん、あーそうですか〈はい〉、アルバイトはどんなアルバイトですか

I：あ、まだ始めたばかりですけどー〈うん〉、焼き肉屋で働いています〈うんうん〉、はい

T : どんな一仕事をしてるかちょっと教えてもらっていいですか
I : あのホールサービ [ホールサービス] のバイトですけどー 〈ん〉, ホールサービ [ホールサービス], ホールでー 〈うん, ホールで〉, はい 〈うんうんうん〉, ****きったらー 〈はい〉, 配達してー 〈うん〉, ん, 注文とってー, んー, 調理室に注文あったこと話して, 料理もらって, お客さんに来る, こんな仕事です
T : あーそうですか 〈はい〉, 何料理ですか
I : 調理ですか
T : うん料理は
I : 料理はたいい焼き肉だから 〈えー〉, 肉料理が主です
T : あ, にくー [肉] なんですね 〈はい〉, あそうかそうか, あーん, それは 〈はい〉, じゃもう注文をとったらー 〈はい〉, はい, お客さんに 〈はい〉, はい, そのお肉を持っていくっていうことですね 〈はい〉, はい, なんか今までまだ始めたばかりだそうですねー, 困ったこととかありますか
I : いやー, いやー, 会話ができなかったことが一番むじゅかしたった [難しかった] んです
T : あ, そうですか 〈はい〉, 会話ができなかったというと, 日本人が言ってることが分らなかった
I : はい 〈うーん〉, なんか, お客さんが言ってもわたしは 〈うん〉 知らないから 〈うん〉 ちょっと困ってー, それと, わたし, 仕事の中で酒をちゅくる [つくる] ことがあるんですが 〈はいはい〉, ちょっと難しい洋酒の名前を言ったらーちょっと困ります
T : あーなるほどねー 〈はい〉 名前とかがねー 〈はい〉, あーなるほど, あの焼き肉って韓国も有名ですよー
I : はい有名です
T : そこは, あの韓国式の焼き肉店なんですか
I : はい韓国式です
T : あ, じゃあもうほんとに韓国の焼き肉と同じですか
I : あー, はい大体同じです
T : 大体同じですか 〈はい〉, あーあーなるほど, はい, えーとー, 焼き肉だけなんですかね, ほか, の物は何も置いてないんですか
I : はい焼き肉と酒だから
T : あ, そうなんですか 〈はい〉, ふーん, お客さんはやっぱり日本人が多い
I : あ日本人が多いです
T : あそうですか 〈はい〉, 場所はどこでやってんですか
I : 場所は方南町です
T : 方南町 〈はい〉, あ, えーとーすぎなみー [杉並], のほうですかね
I : あー, すぎな, は, はい
T : あ, あー, そうなんですか, あ一分かりました, はい, えっとー, その, ルームメートの方はー 〈はい〉, やっぱり日曜日, バイトをしてる
I : はいバイトしてます
T : 一緒にじゃあ別々の所

I : あ別々です

T : あ、そうなんですか〈はい〉、うーん、じゃ、まだ一緒にどこかへ行ったりとかって
いうことはないですか

I : あります、バイトする前はー〈はい〉、一緒によく行ったり来たりしました

T : あーそうですか〈はい〉、どこへ行ったんですか

I : 初めて来た時は〈うん〉、浅草とか〈うーん〉、原宿とか〈うーん〉新宿はよく行ったり
来たりしてー〈うん〉、ま、下北沢とか有名な場所はよく行ったり来たりしました {笑}
〈あーそうですか〉、はい

T : あーいろいろ行ってますねー〈はい〉、はい、浅草はどうでしたか

I : 思ったよりもちょっと狭かったです

T : あー狭い〈はい〉、うんうんうん

I : でも、日本にきて [来て]、あ、ほんとに日本的なと思ったことは、あさか、浅草だ
けだったんです

T : あーそうですか〈はい〉、ほー、日本的なっていうと〈はい〉、例えばどんな所が

I : 古い建物は〈うん〉、あの東京都内はあまり少ないから〈うん〉、浅草だけはあかし
かったから〈うん〉、あー、そういうのがちょっと日本的なと思いました

T : うーん、あーそうですか〈はい〉、あの一、ソウルはとっても都会だって聞いてますけ
どー〈はい〉、あのわたしまだ行ったことないんですけど〈はい〉、ソウルにもそういうな
んか、古い、街〈はいはい〉、とか古い場所とかあるんですか

I : はいあり、ます

T : あります〈はい〉、うん、どんなものがあるんですか

I : んー、浅草みたいなー建物ですけど〈うん〉 ***とっかーキョンボックンとっかー

T : うん、あ、名前が

I : はい〈うんうん〉名前ですけど〈うんうん〉むかーし [昔] の韓国の、古い建物です
はい

T : うんうん、そこはやっぱり観光地ですか

I : はい観光地です

T : うん〈*****〉、うんうん、そういう場所がたくさんあるんですかソウルの中に

I : いえ、たくさんじゃなくってー〈うん〉、はい、たくさんじゃないですけど、あります

T : あーそうですか〈はい〉、はい、あの一東京もねー、さっき言ったようにー〈はい〉、
一番日本的だなと思ったのは浅草だけだったっておっしゃってましたけどー〈はい〉、うん、
やっぱりそういうとこ、古い所をね残しておくのってなかなか大変だと思うんですけど〈は
い〉、うん、えー【姓B】さんはそういう古い〈はい〉、あの一所、日本なら日本的な所、
韓国なら韓国的な所〈はい〉、うん、残しておいたほうがや、いいと思いますか

I : はいいいと思います

T : うん、それはなぜですか

I : んー、ん、今も重要ですけど〈うん〉かこー [過去] を守ることも重要だと思ってー
〈うん〉、未来がためには自分、自分の国が今まで、あの生きたことをちゃんとほじょん [保
存] して〈うん〉、それを、後の人に、あの、くれる、ことも {笑} 重要だと思います

T : うんうんうんうん〈はい〉、でもあの道が狭かったりとかー〈はい〉、あの一、道路を

広げるのに邪魔だったりして、ほんとはそういう所をちょっと、新しく建設し直したほうがいいんじゃないかとかっていう意見もありますけど、どうですか

I：いや、でも〈うん〉、ね、んー、そんなことために、昔の物を壊すことは〈うん〉ちょっと、駄目だと思います {笑}

T：駄目だと思います〈はい〉、うん、なぜですかね

I：んー、自分の国の文化〈うん〉じゃないですか〈うん〉、それを壊すこととしたら、自分の国を壊すことだと思います

T：うーん、あー自分の国を壊すこと〈はい〉、うーん、あの一、さっき言って、たみたいに一、みら、未来の人のために〈はい〉、残しておくことが大切だって言いましたけどー〈はい〉、うん、どうして大切なんでしょうねー

I：んー、過去がない国とか人〈うん〉、は、ないんじゃないですかー〈はいはい〉、それを守るために〈うん〉だと思います

T：うん、過去を守るために〈はい〉、うーん、なんか、もうちょっと詳しく話してもらえますか

I：うーんちょっと説明むじゅかしい [難しい] ですけど〈うんうん〉、んー、今も重要ですけど〈うん〉、んー、いまー [今] を生きるこつと [生きること] は一過去があるからー〈うん〉、昔の、せんじょ [先祖] があるから、それでわたしが今住んでると思います〈うん〉、それっでー [それで]、わたしの未来の人のためにー〈うん〉、今をちゃんとほじょん [保存] して、これと、せんぞー [先祖] が残った [残した] ことをちゃんと、守ってー、それを未来の人にくれることが重要だと思います

T：あーなるほどねー〈はい〉、はい、えーとー、そうですねー、やっぱり、昔からあるものを大切にー保存したいなっていう〈はい〉 気もするんですけども、あの一一方でね、やっぱり、うん、文明がどんどん進んでくるとー、いろいろー自然環境を破壊したりとかー〈はい〉、はい、古い物を壊されたりとかしてますけどもー〈はい〉、うん、それについてはどう思いますか

I：わたし何よりも自然がもっと重要だと思います〈うん〉、今、人間が、い、く、いける [生きる] こともー、自然があるからと思ってー〈うん〉、新しくー物をちゅくる [つくる] ことよりー、ちゃんとしじえん [自然] をほじょん [保存] するほうがもっといいと思います

T：うんうんなるほどねー〈はい〉、あの一、少しおっきな [大きな] 話ですけどー、例えば地球規模で今地球温暖化が〈はい〉 すごく問題になってますけどもー、うん、なかなかねー、いろんな国の人たちがー〈はい〉、それぞれ自分の国のやっぱり主張をするのでー、意見がまとまらないですよ今ねー〈はい〉、うん、あの一、【姓B】さんはどうしたらいいと思いますか

I：どうしたら

T：うーん

I：うーん、自然と人間と一緒に暮らすことが〈うん〉いいと思います

T：うん、えーとー、例えば韓国ではそういう取り組みをしていますか

I：あ、かんこつ [韓国] は〈うん〉 そんな建物最近は〈うん〉、ちゅくって [造って] いるんですけど

T : ん, そんな建物っていうと

I : あのしじぇん [自然] と 〈うん〉 人間と一緒に暮ら—せる 〈ほ—〉 ような建物

T : ほ—, あ—, そうなんですか

I : それと日本も今エコとして 〈はい〉, そんな一物がたくさんあって—, 驚きました

T : はいはいはい—い 〈はい〉, エコにだいたい—関係のある人もね—出てきましたけど 〈はい〉
一方で全然やっぱ—り, う—ん, 地球がそんなに—, すぐ 〈はい〉, うん, 滅亡するとかね,
え—いうことはやっぱ信じられない 〈うん〉, うん, うん, 全然そんなこと問題し, にしな
くてもいいって言う人も居ますよね—, う—ん, そういう人については, 何て, 言ったら
いいですかね

I : ん—, ん—, 未来をちゃんと見て {笑} 〈うん〉, 今は楽ですけど 〈うん〉 未来はどん
な, どんなことが起こるかもしれない [しれない] から 〈うん〉, ん—, やっぱ—りそういう
未来のことをちゃんと考えて— 〈うん〉, ん—, 行動するほうがいいと思うんじゃないかと
〈うん〉, 言いたいです

T : うん, なるほど—, 今だけじゃなくて未来をね 〈はい〉 考えるってことですね, う—
ん, あ—の—, いま— [今] 日本と—, それから—, 一部のヨーロッパの国と— 〈はい〉, え
—, まああの, 世界の中で言ったら—28 パーセントぐらいですかね, その—国の人たちだ
けが—一生懸命, 「地球温暖化に向けて—, あの温暖化ガスの削減を, もっと, 目標しっか
り決めてやっていこう」 って言ってるんですけども 〈はい〉, 例えば, その, いわゆる先進
国に対して—その発展途上国のね, え—中国とか 〈はい〉, インドとかは—, その, 「地球
を汚したのはそういう先進国なんだから—, その人たちが責任を持てばいい」 っていうふ
うに言ってますね— 〈はい〉, はい, それについては—, インドや中国の人どう説得したら
いいでしょう

I : いやむじゅかしい [難しい] 〈うん〉, それ, そうか, しじぇん [自然] なもののこと
は—, 先進国の, 役割じゃなくってみんなの役割だと言いたいです 〈うんうんうん〉, あの,
例えば, 10 人, 10 人の人がいって— [居て] 〈うん〉, その中で1 人, だけ—が頑張っても
〈うん〉 自然は—ほじょん [保存] できない, それで10 人全部が頑張らなきゃ 〈うん〉,
それで, あの, ん—, 先進国じゃなくて—みんなが—協力するほうが—しじぇん [自然]
にもっといい, から 〈うん〉, ちゃんと協力してくださいと言いたいです 〈うん〉, はい

T : そうですね—, え—「協力するためには—そのお金がかかるから, そのお金を先進国
が払え」 って言ってますけど, それについてはどうですか

I : か, 先進国だから—, あの, ほかの国に比べてもっと, お金を, 払うことはいいと思
うんですけど, 先進国だけと, 反対する, のわ [反対するのは], ちょっと無理があるんじ
ゃないかと思います 〈うんうん, なるほど〉, はい

T : はい分かりました 〈はい〉, はい, え—とちょっと違うことでもいいですか 〈はい〉,
ロールプレイって知ってますか 〈はい〉, はい, じゃちょっとロールプレイをしたいんです
けど—, え—っとですね, はい, じゃちょっとこれ声を出して読んでみてくださ—い

I : あなたはアルバイトを探しています, どんな仕事がいいか友人に言って, アルバイト
をしょっかい [紹介] してくれるように頼んでください, はい

T : はい, いいですか— 〈はい〉, はい, じゃあわたしは友人になりますので— 〈はい〉,
はい, じゃ【姓B】さん, え—と相談ということですね 〈ん—〉, はい, じゃ始めま—す,

はい〈はい〉、えー【姓B】さんなんかアルバイト探してるんだって
 I：うん、はい
 T：うん、どんなバイトがいいのー
 I：んー、わたし今学校に通っているからー〈うん〉、5時に終わったらすぐできるバイト探してーる
 T：ふーん、うん、5時に終わってすぐできるバイト、何時ぐらいまでー
 I：んー、でんしゃー【電車】の、最後の電車があるから、11時まで****
 T：あ、終電までーだいじょぶ〈うん〉、うん、すごいね〈はい〉、どんな、仕事がいいの
 I：居酒屋じゃなくってー〈うん〉、本屋とか食堂がいいと思うけど
 T：あーあーあー〈うん〉、そっかー、えーとー例えば皿洗いとかー
 I：いや皿洗いはちょっと〈うん〉、んー嫌です【笑】
 T：嫌、嫌〈はい〉、どうして
 I：大変ですから
 T：あーあーそっかー〈うん〉、じゃあ、ど、どうするのがいい
 I：んー、うてる【売ってる】ことがいいんじゃないかと思うけど
 T：な、何
 I：何か〈うん〉売ること
 T：何か売る、あーあーそっか
 I：はい、販売員ことができるけど
 T：販売ね、あーそっかー、日本語はだいじょぶー
 I：だいじょぶじゃないけどー〈うん〉、バイトしながらー〈うん〉じょうじゅ【上手】になるんじゃないかと思ってー〈うんうん、そうだね〉、****がもっといいんじゃないかと思います
 T：うん、なるほどね〈はい〉、そうかそうか、うんとー、大体時給は幾らぐらい欲しい
 I：時給は構わない
 T：構わない〈はい〉、え、安くてもいいの500円とかでも
 I：え、いや、それはちょっと〈{笑}〉、ちょっと安いけどー〈うん〉、バイトでしてー〈うん〉勉強するためにすることだからー〈ふーん〉、安い、ね、安い時給はちょっとー〈うん〉んーですけどー〈うんうんうん〉、構わないです
 T：あーほんとー、じゃなんかほかに条件はある
 I：んー家から近くってー〈うん〉、えっとー韓国人の、韓国人が〈うんうんうん〉少ないほうがもったいい
 T：うんうん、曜日は
 I：ようびー【曜日】ですか、曜日、曜日って何ですか
 T：あ、月曜日から日曜日までいつでもいいの
 I：あー、はい、いつでもいい
 T：いつでもいい〈うん〉、あーそう、分かった、じゃちょっとわたしも探してみるね〈はい〉、うん、はい、はいじゃ終わります〈はい〉、はい【笑】、はい、今もうでもアルバイトしてるんですもんね〈はい〉、はい、えーと、じゃも一ついいですかー〈はい〉、はい、んー、はい、じゃちょっとこれを声を出して読んでみてください

I : はい、あなたは旅行に行つてー、そっこ [そこ] の有名なお菓子を買いました、でも、古くなつていて食べられません、お菓子を買った店に電話してください

T : はい、じゃあ【姓B】さんが一例えば京都に行きました〈はい〉、はい、で、そこでお土産を買ってきたんだけどー〈はい〉、開けてみたらお菓子古かつたんですね〈あー〉、はい、それをじゃあ〈はい〉あのお店に、はい、電話して〈はい〉言ってください〈はい〉、はいわたしお店の人です〈はい〉、はい、じゃ始めますねー〈はい〉、はい、もしもしこちら【姓A】屋でございます毎度ありがとうございます

I : あ、すいませんわたし、前旅行に行つてー〈はい〉、この店で、あのお菓子を買った者ですけどー

T : あ、はい、毎度ありがとうございますー

I : はい、でもちょっとお菓子に一、問題ができてー {笑}

T : はー、どんなーことでしょうか

I : はいはい、家に帰つてお菓子を見たらちょっと古くなつて食べられ、なくな、りました

T : あーそうですか〈はい〉、それはいつお買い上げになつたんでしょうか

I : *** *ですか

T : うん、えーときょうから〈はい〉、あ、きょうで何日めー [何日目] くらいですかねー

I : いや、わたし旅行行つて〈うん〉すぐに、来たからー〈うん〉、うーん、い、いちっかーめー [5日目] {笑} ですけど

T : え、5日目

I : はい

T : え、5日〈はい〉、つていうことですか〈はい〉、はい、えーとその、古くなつてゐるのに気付かれたのはいつですかー

I : きょうですけど

T : あ、そうですか〈はい〉、えっとー、し、失礼ですが、お買い上げいただいたお菓子はどんなお菓子でしょうか

I : あーお菓子ですか〈はい〉、それはちょっとわたし初めて旅行行つて買ったお菓子です、からー〈うん〉、ちょっとせちゅめい [説明] むじゅかしい [難しい] んですけど

T : あ、そうですか、えっとー生菓子でしょうか、それともクッキーでしょうか

I : あクッキーです

T : あ、クッキーでございますかー〈はい〉、えーとクッキーですとですねーだいぶ日持ちのする物ですのー〈はい〉、あの一お売りーしたえーと5日前の物でしたらー、もうあの古いということはちょっと考えられないんですが

I : いや、でもわたし見たら〈はい〉古くなつて〈はい〉、これはちょっと食べにくいですけど

T : あ、そうですか〈はい〉、どんな状態になつてますでしょうか

I : んー状態見たらー、んーなんか色も変だしー、それと [それと] においがちょっと怖いんですけど

T : あ、色が変〈はい〉、えーと、どんな状態ですかね

I : ふちゅう [普通] のクッキーでしたらー〈えー〉、んー、じゃがいろ、何色か、んー、

チョコクッキーでしたら黒いいろー〔色〕じゃないですか〈あ、あ、黒、はいはい〉、はい、でも、この、その、この、クッキーは、黒、じゃなくってー〈はい〉、ちょっと白い部分もあってー

T：あーそうですか〈はい〉、えーとそれはちょっとお砂糖の固まっている部分じゃないかと思うんですがー〈はい〉、はい

I：でもほんとに多いですけどー〈あーそうですか〉、じえんぶー〔全部〕でおさ

T：あ、えーとクッキーの表面にちょっとお砂糖が浮き出すような物もございますけれども

I：あ、でも〈はい〉、これちょっと〈えー〉食べてみたら〈はい〉味もちょっと変ですけど

T：味が変〈はい〉、あーそうでございますかー、申し訳ございませんでした〈はい〉、じゃ何かちょっと不手際があったのかもしれませんがねー〈はい〉、そうしましたらー申し訳ございませんがー、えーとそのお菓子をー、もう一度こちらに送り返していただけますかー

I：いえ、でもちょっと遠いから、それはちょっと困りますけど

T：あ、えーとこちらであのー、えーと送料はお持ちしますので〈はい〉、宅配便で送っていただけたら〈あーそれなら〉、はい、いいんですが〈はい〉、はい、えーとそうしましたら、あのこちらでー、えー、そのー商品を確認いたしまして〈はい〉新しい物をお送りしたいと思います

I：はいお願いします

T：はい、ではあのじゅうしょー〔住所〕とお名前をお願いいたしまーす〈はい〉、はい、じゃ、はい、ありがとうございますーす、はい、どっか旅行行ってお土産とか買ったことありますか

I：お土産まだないです

T：浅草とかは

I：ないです

T：ないですか〈はい〉、あーそうですか、はい、こんな、ん、ねー、悪くなってるのかっていうことはないですね

I：はい今までないです〔笑〕

T：ないです〔笑〕〈はい〉、はい、分かりました、はい、えーとー、きょうはこれからどうしますか

I：あー、終わったら友達と約束があっってー〈うん〉、食事してその後はバイトです

T：あ、きょうもバイトですか〈はい〉、バイトです、はい、あ大変ですねー、きょうクリスマスですけどね

I：はい、クリスマスですけどね、はい〔笑〕

T：はい、じゃ頑張ってください〈はい、頑張ります〉、はいじゃきょうはこれで終わります〈はい〉、ありがとうございましたー

(8) OPI インタビュー (30 分)

T : はい, じゃあ, あの, おはようございます

I : あっ, おはようございます

T : はい, あの【姓A】と申しますよろしくお願いします

I : あっ, よろしくお願ひ致します, 【姓名B】と申します

T : はい, 【姓B】は, こちらの大学の院生でいらっしゃいますか

I : はい, そうです (あー), 今, 修士2年生です

T : 2年生

I : はい

T : ですね, はい, じゃあちょっとあのよかったら簡単に自己紹介を, お願いしていいですか

I : あっ, はい, えーとー, 【姓名B】, と申しますので (はい), あの一, 中国のチンタオから (あー), まいりました, はい, えー現在【大学名C】大学の, えー【専攻名D】の, えー修士2年生です (あー), はい, 趣味は旅行です

T : あっ, 旅行ですか

I : はい

T : あー, じゃ日本に

I : よろしくお願ひします

T : ええ, 日本にいらしたのは, いつですか

I : えーっと, 日本に来たのは, 2002年 (あー), の4月, に日本にまいりました

T : じゃあもうだいぶ長いこと, ねえ, 来られて

I : あー (ええ), 恐らく, あたい, えー, もうしばらく (ええ), 来年4月までは (ええええ), もう8年になりますので

T : そうですね (はい), もうだいぶ慣れられたと思いますけどね, あの一, そう, 長く, まあ住んでらして, 印象もだいぶ変わられたと思いますけどね, あの一

I : そうですね

T : 日本に最初に来られた時の, 様子とかちょっと, エピソードとかを, 話していただけますか (息を吐く音), 来られてすぐぐらいの時

I : すぐぐらいですね (はい), (ええ), あの一ー番印象, あったってのは (うん), カラスが多い, っていうことですね{笑} (笑), はい, あの一, はい, とう, 最初, 東京に, えー, 留学, しましたので, あの一ほんのに[ほんとに]カラスが多くて, 朝, あの一, 中国でカラスは, かなり, 悪いイメージ (うん), が, ありますので, あの一カラスを見ると, きょう一日の分, が, あの一, ついていない, っていうのが, あって, はい, それをちょっと, あの一毎日見るのが, 嫌でした{笑}

T : うん, あ東京には, えっとー日本語学校, に入られたんですか

I : そうです, はい

T : あーなるほどね

I : 日本語 (うん), 学校です, はい

T : ええ, どんな学校でしたかちょっと詳しく, 教えてください (あっ) わたし東京はあんまり知らないの, うん

I : あっ、えー東京、えー名前は、【学校名E】〈うーんうん〉、という日本語学校です、はい、そこで、入院コースに、入学して、しが、2002 が〈うん〉、2002 年、2002 年の 4 月から、2004 年の 4 月〈うん〉、までの、期間、で在学していました、はい、主に、あーの大学進学するために、あーの日本語の勉強と〈うん〉、えー、そして、数学、と、まあ、えーあと、物理化学〈うん〉、わたし理系ですので〈はいはいはいはい〉、はい、その勉強を、やってきました

T : あっ、授業も〈はい〉、数学の授業も、学校でやってくださったんですか

I : はい〈うんうん〉、あの一、ど、土曜日〈うんうんうん〉、あの一、基本的には、あの平日の〈うん〉、午前中かあるいは、午後〈あーなるほどね〉、はい、え日本語の授業があって〈はい〉、それに、えー土曜日は、えー別の学科の〈うんうん〉、補習〈ふーん〉、ほうしゅう、補習になるんですね

T : でも学校の〈はい〉、様子とか、あの、学生さんの、えー様子とかちょっと、教えていただけますか、うん

I : はい、えー学校はかなり〈うん〉、ま【地名F】っていうところにあって〈あー〉、あ【地名F】っていう、【地名F】の近くですね〈あー〉、【地名G】、【駅名H】の近くですので〈はいはい〉、かなり、あの一、まあ外国人が〈うーん〉、集まってる所、がありますので、あの一、言葉、は困ったことは、特に〈うん〉ありませんでした〈うん〉、はい、周りみんな、中国人ですので{笑}〈あー〉、はい、あの中国、物産展〈うん〉、中国の物を売っている所も〈うん〉、中国人、経営している店も〈うん〉多くて

T : で学生さんは多国籍だったんですか

I : えー、【地名G】の近くは〈うん〉、中国人あるいは韓国人〈うん〉が多かったんです

T : あーだか学校も、中国の方が多かった

I : そうですね、はい

T : あーなるほど、で全くゼロで、【姓B】さん日本にいらしたんですか、日本語

I : 日本語の能力ですか

T : うんうん

I : えーと中国で、うん、あの一、何年間、勉強、しましたこと、あります

T : あーそうですか、

I : はい

T : あーなるほどね、で、まあカラスが多いとかいろいろね、異文化で{笑}〈{笑}〉、というか戸惑われたと思うんですけどね〈はい〉、はい、じゃあ、2 年間勉強された後は、どう、どちらに、行かれたんですか

I : あっ、えーと一、日本語を、えー留学試験〈うん〉、に参加して、そして、あの、数学〈うん〉、物理、化学〈うん〉、の受験、を受けて〈うん〉、あの一、この【大学名C】〈あーこちらに、うん〉に合格、しまして〈うん〉、ここに入りました

T : あーそうですか

I : はい

T : まあじゃあ、あの、東京の【地名F】と、【地名I】のこちらって随分ね、様子が違うと思うんですけども

I : 違う{笑}そうですね

T : うーん、あの一どうい
 I : あの変わりますので
 T : うん、どういう点が一番、違うなあと思いました
 I : えーと、まあ、人と人の〈うん〉、接する〈うん〉、あー、そういうチャンスが増えてきた、のではないかと思いますので
 T : あっ、こちらのほうが
 I : ほう、そうですね、はい
 T : はー、例えばどんなことですか
 I : 例えば、あの一東京、で〈うん〉、あの一、ま、基本的に日本語学校ですので、基本的には学校と、うちと〈うん〉、バイト{笑}〈うん〉、まあ3点ですので、あの一、そういう生活〈うん〉は2年間続いてきましたんで〈うーんうんうんうん〉、あの一、こっちに、あの一大学に入ってから、あの一、まあ、ボランティア活動も〈うん〉、ありまして〈ふうーん〉、えー、まあ国際交流活動も参加〈うん〉して、す、非常に、あの一、ここで充実してる〈うん〉、生活、ま、あの一、留学生に、あの一、ま、ほ、ほんとに留学してるなあ〈うん〉っていう〈あーあー〉、思いますので、はい
 T : まあ、ボランティアとか、国際交流例えばどういう、活動をされ、されたんですか
 I : はい、あの一、一番、あの一、参加してるのは〈うん〉、えー、あの一、まあ、日本人の方と〈はい〉、料理をします{笑}
 T : あーそれは定期的に
 I : 定期的に〈うん〉、そうですね〈うーん〉、あー、年、年、何回もありますので中華料理、大会みたいなものがあって、はい、あの一、それでみんなで、実は餃子を〈うーん〉作りながら〈あーん〉、あの一、日本人、餃子の皮、みんな買いますので〈ええ、ええええええ〉、あの一中国では、あ、みんな、作ります〈ええええ〉、一から〈ええええ〉、それで、あの一、皆さん教えながら〈あー〉、一緒に、餃子を、包んだり{笑}
 T : あー、それはあの一、サークル活動、ですか
 I : サークル活動
 T : そういうこういう、国際交流サ、サークルみたいな
 I : そうですね
 T : ものですか
 I : はい
 T : はー
 I : えーと、**に、に、あの一、日本人〈うん〉交流団体があって〈うん、うん〉、そして、あの一、留学生たちの、留学生会という〈うん〉交流団体があって〈はいはい〉、皆さん、えー一緒に、なって〈ほーん〉、〈なるほど〉、交流を、や、続けました
 T : うん、じゃあその一〈はい〉、日本人の方たちってどういうタイプの、どういう年齢層の、方が多いですか
 I : あっ、えー大体、{せき払い}、うーん、何ていう、あの一、40、歳、50 歳、年齢
 T : あ、そうですか、じゃあ地域の方ですか
 I : 地域の、は、はい
 T : はー

I : ほとんど全員, 地域からですね, はい

T : あっ, そうなんですか, ふーん

I : えー日本人学生が, あの一少なかったんですね{笑}

T : あっそうなんですか{笑}, あー

I : はい, あのー

T : うーん, じゃあ, 例えばその〈うん〉, 若者の日本人学生も, 接したことあると思いますけど, 40 代のね, そういう方とも, 接しられて〈はい〉, あのー何かこう, 違う点とか, あるいはこう面白い点とか, ありましたか, 学生と違った〈あー〉, 人たちにこう〈はい〉, 接した経験が, あります, ね, おありなので, ええ

I : はい, 同じ研究室にも, あのー, まあ日本人の, 若い学生〈はい〉, 2, あのー20 歳, ぐらいの, 学生がいますが, あのー, やっぱり, えー, 年配のほう〈うんうん〉の方は〈うんうん〉, 非常に, 中国に, あの興味を, 持っている人なん, っていうか〈うーん〉, はい, そうですね〈うん〉, 後は, あのー非常に, あのー留学生に, 興味をも, 持たれてる

T : あー, それは〈うん〉 どうしてだと思いますか

I : えーとー, どうしてですね{笑}, 〈うーん〉, うん, 日本人学生が, まだまだ, 中国のことは〈うん〉, そんなに, あの, 知らないみたいですから〈うん〉, 「あ, 中国これは, あーそうですね」, って〈うん〉言われて〈うん〉, あのー, そうですねやっぱり年配方ですね〈うん〉, 経験もあるし〈うん〉, はい, ありますし, そして, あのー, まあ, あのー, いろいろ, 中国のこと〈うん〉, そして日本のこと, あのー, まあ, 見てきましたので

T : 見てきたってのは

I : 見てきたっていうか

T : 例えば, どういうふうに

I : あー〈うん〉そうですね, あのー, まあ, 中国と日本は〈うん, うん〉, 歴史が長いので〈うーん〉, まやっぱり, そういう, 両国に{手をたたく音}〈うん〉, あのー非常に, まあ関係が深いじゃないですか〈うーん〉, あのずっと昔から〈うーん〉, はい, ま, あのー, いろいろがあるんですけれども〈うんうん〉, まあ, 非常に近い国ですので〈うん〉, あのー

T : じゃあ, 〈はい〉, そうですね, じゃあなぜ, 40 代の方たちが, そういうふうに興味を持っていらっしゃるんだと, 思いますか, それか見てきたっていうふうに言われたんですけど〈はい〉, そういう 40 代の方のイメージする中国ってのはどういうもの, でしたか

I : あーそうですね, あのー, イメージする中国は〈うん〉, やはり, もうちょっと 80 年代の, 中国, のではないかと思って〈うんうん〉, いますので, はい

T : どういう{机をたたく音}, 中国ですか 80 年代わたしも知らないんですけど{笑}

I : 80, 80 年代っていうのは〈はい〉, あのー, やはり, あのー, まあ経済, まだ発展してない, 中国, あのー, あるいは, えー, ん, 中国の, ふ, あの古い文化〈うん〉, に, 非常に興味を持っていらっしゃる〈うん〉, ですね, はい

T : うーん例えばどういうものに, 興味を持っていますか

I : あのー, 北京の〈うん〉, 京劇〈えええええ〉, っていうが, あの, げ, えー劇場があります〈うーん〉日本の, あのー, あのー, 何ていう, あの, 歌舞伎〈うん〉, と大体同じ〈うん〉, ものなんですので〈うんうんうん〉, それが, 非常に興味持って〈{机をたたく音}〉

いらっしゃる人、方が多いですね

T：えーそうなんですか

I：はい

T：ほーなるほどね

I：はい

T：じゃああのちょっと話はちょ、ずれますけども、若い人たちがそんなに中国に興味がなくて40代が興味があるっていう〈はい〉ことで、やっぱり最近の若い人たちは、近隣のアジアに対する興味が、薄いのではないかとそれは非常に〈そうですね〉問題があるんじゃないかっていう意見〈はい〉があるんですけれども、それについて【姓B】さんはどう思いますか

I：はい、えー先生、おっしゃるとおりですね〈うーんうん〉、やっぱり、実感してますので、はい、あの一、今、あ、研究室にわたし以外は、えー全員中、日本の、日本人学生ですので〈うん〉、あの一、まあ、えー7人〈うん〉、いますので、あの一、それは、あの一、実感をしてるっていうのは、あ、皆さんが来たら、あの一非常に、ゲームに〈うん〉、テレビゲームに〈うん〉、あの一{笑}、はまっていますので〈ほうほうほう〉、はい、それは、あ一、やっぱり、あの一日本のアニメ〈ええ〉、と、日本のテレビゲームが、あ、えー、ま日本では非常に有名です〈はいはあはあ〉、世界でも、日本のそれは、え、あ、あにまい[アニメ]と、ゲームは非常に有名〈うんうんうん〉ですので、やっぱりそれに、あの一、熱中してるなあっと、そういう実感があります

T：うん、ただその〈はい〉、アジアのね、人たちや歴史に対する〈うん〉興味がないっていうこととゲームってのは何か関係がありますか

I：えー、まあゲーム熱中しているので〈うん〉、あの一、まだ、あ、外国のことは〈うん〉、あの一、それに関心が持って、いないみたいなんです

T：うん、じゃあ、ゲームを好きなのは、いいと思うんですけどね〈はい〉、あの一歴史とかをちゃんと教えないっていう意見もあるんですよ日本でちゃんと教えないから〈ああ〉、学校で教えないから〈はい〉知らないんじゃないかっていう意見もありますよね〈はい〉、えーっと【姓B】さんどう思いますか

I：そういう〈うん〉交流が少なかった〈うん〉んですけども〈うんうん〉、まあ、あの一「中国はこれもありますよこれもありますよ」〈うん〉、「あっ、そうですか初めて知った」っていうのが〈うーん、うん〉、あの一、はい〈うん〉、あの一、そういう実感がありましたね〈うん〉

T：じゃあそういう交流を通して知っていくっていうこと、は非常に重要だと、思いますか

I：そうですね〈うんうん〉、はい、あの一、やっぱり交流しないと〈うん〉、お互いのことが〈うん〉、分からないん〈うん〉、のではないかなと〈うん〉、思いますので、やっぱり、あの一、中国最近のこと〈うん〉、そして、わたしに見てきた日本最近のことですね〈うーん〉、あの一、そういうことを、あの一、これからどんどん交流しないと〈うん〉、あの一、中国の、方にも、中国の人にも〈うん〉、日本のこと知らないし、ので

T：あーそうなんですか

I：はい〈うん〉、そういう、交流〈うん〉、の場をつくらないと、〈うん〉、あの一、お互

いに理解〈うん〉できなくなる〈うん〉、のではないかと思いますね

T: あの一〈はい〉、まあちょっと、失礼かもしれないんですけども、いわゆるちょっと前の餃子事件とかおも、覚えてらっしゃると思うんですけどもね〈あつ、はい〉、何かその政治的な面とかがニュースに、情報として日本に流れてきて、あのそういった怖い、中国、農薬が入っていた、とか〈はい〉、あの餃子の事件とか、まあ、あの野菜の、への不安とかですね、えーそういったことだとかあるいは、あの、政治的な面で、日本にこう、結構厳しい、えー、こ、言をね〈うん〉、なさるっていうような、で中国に対するイメージがそういうことで非常にこう、あの一、悪いほうのイメージが強くなっていてそれが原因で若い人たちがあんまり、興味がないっていう〈あーあー〉、まそういう考え方もありますけれども〈はい〉いかがですか

I: そうですね、あの一、まあ確かに、えー、その一、最近ですね、あんまり、あの、いいニュースが、{笑}入ってこないんですね、はい、まあ、あの一、まあ、それは事実、事実ですね、あの一、わたしも、み、認めますので、あの認めない人もいますけどいろんな理由を〈うん〉、つくって〈うん〉、こういう、理由にな、なるので、こう、いう結果になる、っていうのがあるんですけども{机をたたく音}、あまり、あの一、えー、日本で、やっぱり日本のことを見てきて、あー事実は、もちろん事実だと思いますので、はい、それはあの一、わたし個人的には、あの、認めますが〈うん〉、あの、実際には中国のげ、えー、まあ日本、中国人ですので、中国に帰っても、そういう事情もありますので、あの一、野菜に、えー、まあ、のう、農薬を〈うん〉使ったりとか〈うん〉、中国非常に、あの一、そういう、事件が多いですね〈うんうん〉、ええ、ただメディアとしては、あの一、報じているかどうか〈うん〉、うん、の、のの問題ではないか

T: うん、報じているかっていうのは

I: そうですね、まあ〈うん〉、中国では〈うん〉、メディアとしては、ほとんど国〈うん〉の管理の〈うん〉もとで〈うん〉、はい、あの一、ニュースと〈うーん〉、あの新聞を〈なるほどね〉発行してるんですので〈はいはい〉、はい

T: じゃあその交流が深まらない原因はまあ、認めるとおっしゃったんですけども〈はい〉、まそのことに関して何か、えーじゃもしですね、あの【姓B】さんが中国の国際交流の担当者になられた、とした場合ですね{笑}〈はい〉、やっぱりこう、ふと、本当の意味での交流を、深めたいと思った場合にどんなことをされますか

I: そうですね〈うーん〉、あの一やっぱり若い世代、に、もっと交流を、深めて、いただきたいなと思いますね

T: 何かどう、例えば、どういうをされますか

I: えーっと、お互いの、留学生の交流は〈うん〉、ひとつの手段のではないかなと思います、かなり、現在では、あの一、日本に留学する、えー中国人が、留学したいという中国、人の学生が〈うん〉非常に多いですね、あのやっぱり日本で、日本は先進国〈うーん〉ですので、あの、みんな、日本のことを、えー、日本の知識と〈うん〉、技術を勉強したいと思って日本に、来られた、のは、えー事実ですね〈うーんうん〉、あの一、やっぱり、日本人学生が、あまり、中国より、ヨーロッパとアメリカのほうは、あの一非常に興味を持てるんじゃないですかっと思われませんか、あの一、あの、現在の中国はあの一、結構、中国古いの歴史が、非常に興味を持っているんですけども、あの一やはり、現、現段階の

中国では〈うん〉、あの一、まあ、危ないっていう{笑}イメージもうあって〈うーん〉、あの一、あの留学、したいんですけども、あの一それは、えーっと非常に、怖くて〈うーん〉、はい、そういう面が〈{息を吐く音}〉ありますね

T：あ、それをどうしますか、じゃあ{笑}

I：はい、そうですね〈うん〉、ま、まあ、一つでは、よく、に、中国を〈うん〉、知って〈うん〉、いただきたいですね〈うん〉、あの一

T：じゃあ交換留学制度を頻繁にやるということですか

I：そうですね

T：あ一分かりました

I：大学間で〈はい〉、はい、積極的にやっていただきたいなあと〈なるほどね、はい〉思います、はい〈はい〉

T：あるほどね、はい、じゃああの一ちょっと話が変わりますけど〈はい〉、さっき旅行がね、好きっておっしゃったので〈はい〉、うん、あの日本でどこか、いらっしゃいましたか

I：えーと、えーたくさんの所に〈あー〉まいりましたので〈あー〉、あの一、一番行ってるのは【地名J】〈ははー〉、ですね、あの一

T：何か印象に残っている場所は、ありますか

I：印象に一番残っているのは〈うん〉、あの一、まあ【地名J】ではなくて、四国〈あー〉、に、うん、四国、の〈うん〉、えーと、い、日本一番古い温泉がありますね、どごう[道後]温泉があります〈はいはいはい〉、そこに、あの一行ったことがあります

T：あーそう

I：はい

T：じゃ、その時の経験をちょっと教えていただけますか、ええ

I：はい、最初は、あの一、まあ〈うーん〉、はん、まあ、旅行の、紹介の、本から〈うーん〉、あーそういう、日本歴史の、文化があって〈ええええ〉、それ日本の一番古い、温泉ですよっていう{笑}書かれて〈うーんうん〉、はい、あの一、う、み、み見に行きました〈ええええ〉、はい、ほんのゆ、あの非常に古い建物ですので〈ええええ〉、その中でも、あの温泉はあって〈うーん〉、普通に人と、人が、あの一、ま、入れるっていうな、通常に営業してるんでまあ〈うん〉びっくりしましたので、そんな古い、300年前に造られた〈うーん、なるほどね〉、その建物ですので〈{笑}〉、あの一、あ、危なくないじゃないですか{笑}〈{笑}なるほど〉、最初は思いますけど、{笑}はい、はい

T：なるほどね

I：そうですね

T：うーん

I：あの

T：じゃあどうしてそんなに、こ、温泉は【地名J】にもいっぱいありますでしょ

I：そうですね

T：で、その道後温泉、どうして印象に、残られたんでしょうか

I：やっぱりその、古い建物の中にの〈うんうん〉温泉が〈うん〉、わたし一番

T：あーそうですか、{笑}

I：いいなあと{笑}思いました〈はあ〉、はい、これ、あの一、【地名J】の温泉は大体〈う

ん〉、ま、露天風呂〈うん〉だと〈うんうん〉、まあ、人口的に造った〈うん〉、ものが多い〈うん〉、ですので〈うん〉、はい、あの、水質は〈うん〉、よく{笑}分からないんですが〈うん〉、やはり、あの一雰囲気で見ると〈ええええ〉、あの、道後温泉が、日本的、に

T：あー日本的だっていうことですね

I：そうですね、はい

T：はい、まあそういうふうにくう、温泉は今観光の目玉になってきていて人間、うん日本人もですね〈あっ、そうですね〉、えーその癒しを求めたりして、もう温泉ブームなんですけれども、あの一、まそういうふうに、日本の文化、というものをですね〈はい〉、あの、まあ外国に紹介するっていう、ね〈ああ〉、あの一立場もありますし、までもやっぱりあの一、そういうふうに、みんなと一緒に風呂に入るのは抵抗があるっていうようなね、あのそういう文化の問題もありますけれども〈はい〉、あの一、まあ【姓B】さんの場合は、全然温泉文化がない所からいらっしゃって〈はい〉、あの一、その辺はどういうふうに感じられましたか

I：温泉は〈うん〉、あの一、まあ、えー何回も入って、非常に、あの、疲れも取れる〈うん〉ますし〈うん〉、はい、はい、ストレスも発散できる〈あー〉、所ですので

T：あまり抵抗はなかったですか

I：あまり抵抗ないですね

T：あーなるほど

I：はい〈うーん〉、中国に似たものもありますけれども〈うん〉、まあ、天然温泉〈うーん〉、っていうことはないですよ〈うんうん〉、あの一やっぱり日本では火山が、お、多い〈うんうん〉ということもあります

T：じゃあ例えば〈はい〉そういうふうにくう、異文化で、あのみんなと一緒に風呂に入るとか、まそういったことでまあすっとはいって、【姓B】さんみたいに入っていける方と、なかなか「えっそういうのはちょっと」って言って嫌う方いろいろありますよね

I：はい

T：でー留学生が交流する場合も、いろんなこう文化の違いとか、例えばこう食事をするときにね、音を出してはいけないっていうのに〈あー〉日本人は音を出すとか、まそこら辺の〈はい〉抵抗をね、どういうふうに、あの一乗り越えていったらいい、っていうふう

I：えーつとー、中国の昔の言葉ですが〈うん〉、日本もあると思いますが〈うん〉、あの、郷に入るのは、郷にしたえ、〈あー〉っていう、あっ、はい、そういうことは〈うん〉、ことわざですね〈うんうん〉、はい、あの一、ありますので中国も同じ〈うん、うん〉ように、そういう、えー、よ、四字熟語もあります〈あー{笑}〉、はい、はい、それが、つまり、あの一、同じ文化ですので〈うんうん〉、あの一、まあ、その、そういう所に入ったら〈うん〉、そういう所のルールに〈うん〉従うっていうのは〈うん〉、基本じゃないですか〈あーうん〉、ちゅ、この、これも、に、中国昔からの、まあ、あの一、〈うん〉、あー昔人からの、きょう、教訓{笑}〈あーあー〉、ことですね、はい

T：うん、ただやっぱりあの欧米の方で、その、音をたてることに非常に抵抗がある方が、無理にね、あの日本に来たから音を出して食べなさいっていうのは、あもう、そこまですなくていいんじゃないか日本人化〈あー〉する必要はないっていう意見も、ありますよね

I : あっ、はい、あー

T : ねえ、その辺はどうですか

I : そうですね、あの一、む、あの一無理やり〈うん〉して、そういう、ルール従うっていうのは、あの、必要がないと〈うーんうん〉思いますので、はい、まああの一、その一、えーそれ、向こうの、あの、例えば日本にいるほうからいうと、日本人を尊敬するために〈うん〉、はい、あの一、そういう、ルール、従うのは、基本ですね、でも〈うん〉、無理やりする必要がないですね〈うん〉、自分の、できる限りですから〈うん〉、はい

T : あの【姓B】さん自身はやはり、中国の、うー、中国人であるっていうアイデンティティ、は、あの、揺るぎないと思うんですね

I : あ、中国人〈うん〉、っていうのは{笑}

T : ですよ

I : はい

T : だからやっぱりそこは日本の習慣に合わせても、あの、いん、中国人としてのアイデンティティは持ち続けていらっしゃると思うんですね、うん

I : そうですね〈うん〉、はい、あの一、ま、少し、変わってる、っていうか、はい、あの一

T : あ、何が変わりました

I : 変わりました〈うん〉、えーと、{せき払い}、ま最初は、あの一、まあ中国では、そんな、日本にいいイメージがなかったんですよ〈うーん〉、中学からの〈うん〉、教育では〈うん〉、あの一、でも日本に来て〈うん〉、やっぱり、イメージが、あの、小さい〈うん〉、ころよりだいぶ変わったんですよ〈あー〉、はい、本当ですうん{ペンの音}〈うーん〉、本当の話っていうか、はい〈ふーん〉

T : じゃあ小さいころにその悪いイメージを持っていたってのやはり教育の中で{机をたたく音}そういうイメージをね

I : そうですね、はい

T : 植え付けたんだと思いますけど、うん、その点はどうですか、あの小さいころからその{机をたたく音}あるイメージをずーとこう植え付けていくっていう、教育、に、対して、何かご意見ありますか

I : あー、やっぱり、あの一、あんまり{笑}〈あー〉よくなかったんじゃないんですか〈あーあー〉、最初は、あの一、そんな、き、そんなき、あい、悪い、教育を、まあずっと続けてきたので、まあ意識変わってくるんですよ〈うーん〉、はい、あの、意識変わってきて、あの一、まずってそういう、小さいからのイメ、イメージを〈うーん〉持ったままで〈うん〉、何か行動する〈うーん〉、っていうのは〈うん〉、あの一、一番危ないかなあと〈うーん〉思いますので、はい

T : ただまあ中国の方に言わせて〈はい〉みれば日本は非常にひどいことをやってきたしそれは事実として教えているだけなんだっていう意見もありますよね

I : ありますね、はい、はい

T : うん、だからその点はどうですかそう意見もありますよね、これはほんとのことなんだから教えなくてどうして、悪いかって〈あー〉、ねえ、ええ、その辺はどうですか{笑}

I : {笑}そうですね、あの、事実を教えているのは歴史上〈うん〉では事実ですね〈うん〉、

やはり、あの一、まだ、わたしは事實は、あの、に、歴史は、歴史もちろん〈うん〉教えますけど〈うん〉、そうすると現代の日本はどう、なってるかっていうのは〈ふんふんふんふん〉、教えないといけないなっと〈うーん〉思います〈なるほどね〉、まあ、まあ、教科書的是〈うん〉、ただ歴史だけ〈うんうん〉、ま、わま、悪いほうですね〈うんうん〉、教えてるんですけども、現代の日本はどうなってるかっていうのは〈うんうん〉、あの一、ま、日本の教科書は〈うんうん〉、恐らく、う、ま、見てないけど、あの一、はい、載ってるかなと思います〈うーん〉、はい

T：じゃあ

I：お互いに〈うん〉、あの現在は、どういう交流を進んでるか〈うんうん〉それとも、あの一、りょうくに[両国]に、あの一、どういふ〈うん〉、うん、発展がなってるか現在の状態を〈うん、うん〉、はい、それで

T：うん、じゃあ、もし、あの一〈はい〉【姓B】が、中国の教育担当の人{笑}、に〈はい〉、なられた場合〈はい〉ですね学校の先生とか、あのそういった場合は、あの一どういふような教え方を、されますか、指導の方法としてですね〈指導ですね〉外国のことを学ぶ場合にですね、うん

I：はい、そうですね、うーん、歴史は、もちろん、あの一、してもらいますのけれども〈うん〉、あのさっきが、あの、提案に、あの、やっぱり、まあ、現代のこと〈うん〉、はい、いろいろ、例えば日本のいいところ〈うーん〉、日本の、あの、まあ世界〈うん〉、に誇れるところ〈うん〉、は、いろいろ紹介したいですね〈うーん〉、中国こういうところ、まだ日本に{机をたたく音}負かてるよ、{笑}っていうのは〈うん〉、そういう、あの、ことを、あの一〈うーん〉、いろいろ、紹介して〈なるほどね〉、はい、まあ悪いところは、あったんですけども、とても今非常に、あの一、えー、えー、いいところがたくさんありますので〈うーんうん〉、皆さん、どう判断するか個人的な〈うーん〉、あの一、ことなんですけれども〈うん〉、あの一して、あの一教師〈うん〉、としては〈うん〉、やはり、あの一、公平的に〈うーん〉、教えないといけないなあっと思います〈なるほどね〉、はい

T：はい、ありがとうございます〈はい〉まあ日本のいいところっていうのはまあ、もうすぐひきたい[もう少し聞きたい]気もしますけども〈はい〉、はい{机をたたく音}、じゃああの一将来は、日本の会社で働かれるんですか

I：はいそうです

T：あーそうですね、内定もう決まられたんですかね

I：はい、内定できました

T：はい、あの、じゃああの一、今からちょっとロールプレイをしたいと思うんですけども、えー3の01、ちょっと読んで、いただけますか

I：あつ、はい、あなたは、今の仕事に、あつ、仕事が、気にはいって[気に入って]いて、自分にも、合っていると思っています、えーしかし、えー人事異動で、好きではない仕事に、回されそうです、えー今の仕事を{机をたたく音}続けられるよう、部長を、説得しなさい

T：うーん〈{机をたたく音}〉、はい、そういうことでわたしが部長に{笑}なりますので〈あー〉、えーっと理系でらっしゃるからまあ技術職、ですね、でもそれやっぱ営業のほうに、移りなさいっていうふうに〈はい〉言われた、っていうふうにしましょうか、ね

I : はい
T : はい, じゃあ, どうぞ, はい
I : あの一,
T : あっ, よろしいですか
I : はい, あっ
T : じゃここ部長の部屋ですね, はい
I : はい, 失礼致します
T : あっ, はい【姓B】さん〈あっ〉, はい
I : はい, 部長今
T : 今度, よろしく願いますね〈あっ〉営業で, はい
I : あっそうですか{笑}
T : ええ
I : はい, あの一, す, すいません, ちょっと, あの一, お相談したことがありまして
T : あっ, はい
I : あの一, お邪魔いたします, はいっと, 今よろしいでしょうか
T : はい
I : うん, あ, えーと, 部長ですね, 今度, あの一, えー, 営業の仕事に担当する, という
ことになりますが, あの一, それは, えー, どんな仕事, でしょうか
T : えっ, やはり今はですね〈はい〉, あの営業といってもその内容の機械の内容などを詳
しく, 技術的な面を知っていないと, あの販売できないような非常に厳しい時代になっ
てるんですね〈はい〉, それであの一【姓B】さんやはり技術系出身ですからね〈はい〉ここ
は, 細かい質問にも答えられて, まこれから営業の柱になっていくんじゃないかというこ
とでね, あのぜひ今度営業課で頑張っていたきたいと思ったんですね
I : はい
T : ええ
I : 分かりました, えーと, えー, ちょっと, あの一, お聞きしたいですけれども
T : はい
I : あの一現在の技術職ですね, あの一, わたしは, えー, わたし的には, 非常に, あの一,
まあ, 気に入って, えー, いますので, あの一, そのために, あの一, 非常に頑張って,
きた, あ一, と, 思っておりますが, あの一, 技術しよ, あの一, 営業職は, 今まで, 経験
してないこと, ですので, あの一, えーっと, ちょっと, 恐怖が, 恐怖っていうか, はい,
ありますが, あの一, やれるかどうか非常に, 不安ですので, その面で, 少し, あの一,
あの一, す{笑}, 考えていただけないんでしょうか, はい
T : あ一, そうですかー, いやいや不安があってもね, 大丈夫ですよ今か, あの一, ほんと
に人柄もいいしねえ, 皆さんからも信頼されているし, もうあなたみたいな人は営業でも
ちゃんとやっているといますから, 大丈夫ですねあと先輩もいますから, ええええ{笑}
I : {笑}, はい, 分かりました, あの一, あの一, もし, あの一, すいませんですが, あ
の一, もし, うん, あの営業を, えー, い, 営業に行って, そして, 後は, わたし技術職
に, 戻られることが, 戻ることが, あの一, ありますか
T : あ一, それはまあ希望を出されればですねいつか, ある時期になったら, 可能だと思

いますよ

I : あっ

T : はい

I : はい分かりました, あの一, じゃぜひ, あの一, すいません, え, 技術職に戻りたいと, 思いますので

T : あーそうですか

I : そのほうは, 非常に, あの一, {笑}, あ, もちろん, 営業職も, いっぱい頑張りますので, あの一, わたしは技術職を一番大好きなので, ぜひよろしく願い致します

T : あっ, 分かりました, はい, どうも

I : はい

T : はい, どうもありがとうございました{笑}

I : 失礼致します

T : すいません <{笑}>, まだ仕事してらっしゃらないけどね <はい>, はい, えーとじゃあ今度ですね, あの一, 同じ同僚でとても仲がいい日本人の【姓A】さんに, あの一, 今の話をですね, ちょっと, や, して

I : ど, 同僚ですか

T : 同僚ですね, あの一, 部長の所に行って <ああ> 話したっていう内容をちょっと, あの一, 話してください

I : 同じ技術職ですか

T : 技術職で, うん, 【姓A】さんですね, いいですか

I : はい

T : 友だちです, はい, 同僚で <あっ>, とても親しいんですね <はい>, うん

I : あっ, 【姓A】さん

T : ああ, 【姓B】さんどうだった, 部長から何か呼ばれてたけど

I : あーと, こん, あ, 今度 <うん>, 技術職に回された{笑}

T : えー <えー>, 技術職, じゃあ, え, うん

I : あ技術職, あっ, えっか, あの一, ごめん, あの一, 営業職に回されたんですよ

T : 営業はじめてやったことないしねー

I : そうですね

T : 困ったねー

I : やったこともないし <うーん>, あの一, まあ, 部長は, まあ, これから, あの一, あの一, え, え, 技術, 営業職に <うん>, うん, 頑張っしてほしい, っていうふに <そうなんだ> 言われ, 言われましたので <ふーん>, あの一, まあ <そうですか>, 経験ないですけども

T : 分かった分かった, はい

I : はい, 頑張ってみような

T : でも頑張ってね

I : はい

T : はい, じゃどうもありがとうございました <{笑}>, きょうは

I : ありがとうございました

T：すいません，もうばたばたで，はい〈はい〉，ありがとうございました

I：はい，終わりました

T：はい，じゃあ

(9) OPI インタビュー (30 分)

T : はい, えーとーでは, こん, こんにちは
I : うん, こんにちは
T : きょうはどうぞよろしくお願いします
I : いやこちらこそよろしくお願いします
T : あの一, 私【姓A】と申します
I : あっ, 【姓名B】と申します
T : あっ, 【姓名B】さんですね
I : はい
T : えーと【姓名B】さん, 【姓名B】さん, 【姓B】, お, あのお名前は【姓B】
I : あ, 【姓B】, 【名B】
T : 【姓B】, 【名B】す
I : うん, ちょっと読みにくいですけども{笑}
T : {笑}あーはは, 【姓B】, 【名B】ですね
I : 【姓B】はそのまま, うん, ちょっと【名Bの説明単語】の前の, うん〈あっ〉, 【名B】
ですけども, はい, うん
T : なるほどなるほど, 【姓B】, 【名B】さんですね, はい
I : はい, そうです, はい, うん
T : じゃあまあ, 【姓B】さんと, お呼びさせていただきま
I : ああ, はい, ええ
T : えーとそれで, えーと【姓B】さんはどちらの, 方ですか
I : ああわたし, 中国のハルビンです
T : 中国のハルビン
I : はい
T : ああそうですか, 中国
I : ええ
T : えーとハルビンというと, あの一まあ, うん, 名前は, よく{笑}〈{笑}ああ〉, 聞く町
ですが, ああそう, あの一どのような, 町でしょうか
I : えー, ハルビンは〈はいはい〉, やはり中国では一番割合その北のほうの大都会〈あー
そうですか〉があるといえると思いますが〈はいはい〉, えーまずですね面積はとても広く
て〈うんうん〉人口も多いし〈はあはあはあ〉, えーまあ大体その, えー約一千万ぐらいで
〈うんうん〉, かなと思うんですけども〈はいはい〉, はい, えー大きい町ですね〈うーん〉,
後はその一歴史的には〈うん〉まあ, あ, 日本の北海道, みたいという感じで〈あーはあ
はあはあはあ〉, その開拓されたとき〈うんうん〉, えーまあ一所ですですので〈うん〉, え
ー歴史はそんなに長くないですね〈あーはあはあ〉, 約百数十年ぐらいの歴史だけですので
〈あっそうですか〉, ええ, ですからその一1900, 9, 20 年代のほうはですね, 多くのその
一, まあ外国のその領事館をそこに, その一一応設けてありますので〈あーはあはあ〉, で
すから町全体としての雰囲気はちょっとそのヨーロッパ風な雰囲気も
T : ヨーロッパ風
I : ええはい, あふれています

T : あっそうですか

I : はい

T : はい, あの一まあじゃ, 一千万という, 何かかなりな大都会の, ようなイメージがあるんですが

I : あっそうみたいんですけれどもでも中国では, 中国は人で, 一応, まあ人口 13 億ですから人は一番〈はいはい〉多いですから〈あーはあはあ〉, だから一千万ぐらいの都市は幾つもありますので{笑}, はい

T : {笑} そうですね, 規模が違いますね

I : そうですね

T : あーそうか一千万といっても, まあ中国の中では, まあ普通, 普通の都市ですかね

I : いややはりちょっと大きいほうですね

T : ちょっと大きいほうになりますか

I : はい, うん

T : なるほどそうですね, まあでもその北国で〈ええ〉, 後はまあ一千万の都市〈うん〉, ということですが, あの一何かその一例えば, 観光に行ったときに〈うんうん〉, その一, ここは, 見たほうがいいのか〈うん〉, というような場所ってありますか

I : あーまずですねその一, 観光といたら, えーとその大きい川があります〈はいはい〉のでその松花江〈ああ〉, 松の花の, うん, 入江の江という漢字で〈はいはい〉松花江というその, そのホワジャンという川がありますので〈はいはい〉, 幅も結構その広いし大体その一, 800 メートルから, まあ 1500 メートルぐらいですか〈あーはあはあ〉, えー, で, え, それで両側のほうはですね〈うん〉, 結構その一まあ, 木もたくさん植えたし〈はい〉その公園みたいというような〈うん〉その, は, えーえーふうに作られてるんですので〈うんふん〉, それで夏はですね〈うん〉, 特にハルビンは北のほうですから〈はいはい〉, えー, 夏はですね結構涼しいです〈涼しい〉, えですから〈うん〉, 避暑地としても有名ですから〈あーはあはあはあ〉, えーその川下り〈うん〉はとても有名ですね〈川下り〉, 川下りで船に乗って〈うん〉, それを両側のその一応風景を観ながらですね〈あーあー〉, えとても人気があります〈あーそうですか〉, 後はですね, 川面の向こう側にはですね〈うん〉, 都市部の, 中心街の向こう側にはですね〈うん〉, ちょっとひとつの, えーまあ島があります〈うんうん〉, うん, そこは, あーその一応中では公園, 大きい公園も〈うんうんうん〉造ったし, 中には, えー結構その人口のその池も〈うーん〉ありますし〈うんふん〉, えーまあ, 特にですね恋人同士では{笑}〈{笑}〉, ええ, 一応ボートをこいだり〈はいはい〉とかですね, 結構その一〈うん〉まあ面白い所でも〈うんふん〉ありますので〈うん〉, 後は観光といたらやはりその一もとの先ほどまあ, 言ったように〈うん〉, 1920 年代は多くのその一まあ〈うん〉, 外国のその領事館はそこに〈うんうん〉その設置されてるんです, ですから領, まあ, ハルビンでは一つのその, えー大通りはですね〈あーはあはあはあ〉, 中央大街, まもともとは〈うん〉そのロシア語ではキタイスカヤというつまり, 中, 中国の〈うん〉, えーまあ, えー一応大通りという〈うんうん〉意味ですけれどもそこはですね, 全部その石畳で造ったどおり[通り]です〈石畳, はい〉, え両側は大体その 3 階{金属をたく音}建までの〈はいはいはい〉, そのまま残ってるんですから〈あーはあはあ〉, その多くの, えーまあロシア風とか〈うん〉, あるいはその東ヨーロッパ風〈うん〉の建物ですね,

えー残っています〈はいはいはい〉、えっそれはすごくその、えー中国でももちろん世界でもそうすけれどもハルビン以外の人では〈{笑}〉、すごく魅力的だと思います

T：あーあ、そうですか、じゃあま、かん、結構、なお、避暑地にもなってる〈そうですね〉、まあその一きれいな、ま人口的に造った、あの一池などもあって〈はい〉、あの、何か、まあ、観光地としても、まあしっかり整備されてる感じ〈そうですね〉がすると思うんですけど、となると、あの一、まあ、【地名C】から〈うん〉、旅行に行こうと思うと、どういう方法で、行くのが、一番、いいですか

I：うん、えーまあ旅行の方法、ちょっとその先ほどはちっと中途半端ですけども〈あーはいはい〉、実はハルピンでですね、もうひと、これは夏の〈夏〉、一応スポットですけども〈あーはあはあ〉、もう一つあるんですけども〈はは〉、冬ですから、やはり北ですの〈北で、うん〉、寒いですからですね、冬は今の季節では12月ですから〈はいはい〉大体マイ、え昼間も{金属をたたく音}マイナス20度ぐらいあるんですよ〈あーはあはあ〉、うん、で、1月が一番寒いですから〈はいはいはい〉、マイナス30度ぐらいですの〈うーん〉それで、えーまあハルビンの人は、えーこういうす、寒い所の〈うん〉一応物を活かしてですね〈うん〉、つまり日本ではその札幌の雪祭りありますけれども〈あーあー〉そちらは氷祭りがあるんです〈はいはいはい〉、それは、まあ、お、多くの毎としもですね〈うん〉、1月は約1カ月ぐらいですから、その一、多くのその、外国のそのまた中国国内の〈あーはあはあ〉その観光客が来るわけですね〈うん〉、それでその一国際氷評価コンテストとか〈うん〉、また〈あー〉、そのハルビン市、中国全国の、え氷評価コンテストとか〈うんうんうん〉、またそのその雪像もあります〈うーん〉、これは、あ、ありますから、それで冬は、さっき、ま紹介したその川のほうですけども〈うんうん〉、全部凍るんですから〈あーはあはあ〉、氷は大体1メートル以上もあるんですからその上ではもちろん走〈{笑}はいはい〉、車も走れます〈車も走れる〉、え、その上は今最近はよく利用されて〈あーはあはあ〉、それは大きいその一何かその氷と〈うん〉雪の氷の彫刻と〈うん〉、そういう雪の雪像の〈うん〉、一応全部その、集まっている〈うん〉その一まあ大きなイベントがありますので〈あーはあはあ〉、それは、まあ一応、えー観光きゃ[客]はですね〈うん〉、まあハルビンに今旅行に冬の1月は旅行に来る〈うーん〉、観光客は必ずそこに〈うん〉、ま一応観るんですね、後はですね、二つの、一つはその一、割合その何かその芸術的なそのこぢんまりしたあーその〈はいはいはい〉、公園の中ではですね、全部その氷彫刻なんですね〈あーはあはあはあ〉、もちろん毎としは国際氷彫刻は、そこで行われるんですね、えーまたさっきのその紹介した島〈うん〉のほうですけども、冬は池は全部凍っちゃうんですから〈はいはいはい〉、その上では、雪像〈雪像〉のコンクールをやっています

T：ああなるほどね

I：はい、えー

T：ま、氷も、あれば雪もある、あるっていうこと

I：そうですね、それは一番その一まあ有名ですから〈はいはいはい〉、中国でも〈うん〉あるいはその世界でも有名ですからですね〈あー〉

T：なるほどね

I：ええ

T：どうやって行けば、あ、ず、そしてわたしはあの

I : 行くのは

T : そう, どういうル, 何ていうんですか

I : そうですね

T : 乗り物とか

I : ええ

T : はい

I : 乗り物はまあ日本から〈はいはい〉行く場合にはですね, その一まずわたしたちのその今【地名C】ですけれども〈はい〉, まず【地名D】から〈うん〉ちょっとその北京經由〈うん〉とかチンタオ經由とかですね〈はいはい〉, その一まあ大連經由とか全部その〈はい〉, 直行便もありますので, それは, うん, 大連はやはり, 東方, ちょっと北のほうですから〈はあはあはあ〉, 一番まあ近いと思いますので〈はいはい〉, 大連あるいは北京經由で〈あー〉それまたその飛行機に乗り替えて, ハルビンに〈うん〉, 行けると思いますね〈あーなるほど〉, ええ, ほかの例えばですね, その一今東京とか大阪とか直行便もありますので, ええ〈あ直行便が〉, はい〈はいはい〉ええ簡単に行けるんですね

T : あーそうですか

I : ええ, とても便利です, うん

T : あーなるほど, まあ, そういう直行便があるのであれば, 旅行会社などに聞けば〈うん〉, 大体, チケット〈すー〉は取れるとは思うんですけど〈そうですね〉, そうすると〈ええ〉やっぱりちょっと高いと思うんですが〈うん〉, なるべく安く買うためにはどんな, 方法を取ればいいですかね

I : あっ, 安く, 取る場合はやはりその旅行社でないか

T : あっ旅行社のほうが一番いい

I : それで, わたしたちはですね普通はその一〈うん〉まあ, 留学生とか〈あーはあはあ〉あるいはそのこちらに住んでいる中国人〈うんうん〉の場合は, 今東京とか〈うん〉また【地名D】もそうですけれども〈はいはいはい〉, 中国人のその経営している〈うん〉そのまあ旅行社もありますね〈はいはい〉, そこは結構安いみたいですね

T : あーそうですか

I : 直接に, そのまあ, 旅行会社{金属をたたく音}〈うん〉とかその何かそのまあ一応〈うん〉, 委託されて〈うん〉, その一販売されているみたいですから〈あーはあはあ〉, あ, それ航空券だけ買えば, そこで一応買えば大丈夫だと思いますね, うん

T : あっなるほど, うん

I : 後はですねその一, まあビザの問題も〈うん〉, 特にその一日本のお客さんにとっては問題はないんですから〈うん〉, 15日以内のその旅行は〈はいはいはい〉全部その〈ああ〉, ノービザですから

T : ノービザですからね, はいはい

I : はい, とても便利です

T : ああそれは, 便利そう, 大体その, 安いほうで, あの, 何か, あの, あん, え, 失礼な話でお幾らぐらいに, なるんですかね

I : あっ, えーまあ, えー一応そのこちらから, 直接に大連までに行くのは往復で, えー約, まあ季節によってちょっと違うんですけども〈はい〉, 一番観光のシーズンの場合は,

ちょっと高いんですから〈はあはあはあ〉、例えば夏の場合ですね〈うん〉、大体往復でまあ7、8万〈うんうん〉ぐらいとかですね、えーもし大連経由で〈うん〉、ちょっと、若干その一まあ一応、えーこれは、ただ国際〈うん〉、え運賃だけですけどもその大連からまたハルビンに行くんですから〈はいはい〉、それは、まあ一応、おーまあ国内、中国国内便〈うん〉、え、一応注文しないと〈うん〉、え予約しないと駄目ですから〈はい〉その分はわたしはちょっと今分らないんですけれど、うん、えーやはり季節によって、あ、まあ、便によってちょっと変わりますので〈うん〉、便は多いですからですね〈うーん〉、えー、で、後はですねその時間的には日本から中国に〈うん〉、の、行くのはまあ北京もそうですし、それで大連{金属をたたく音}もそうですけども、大体その一夜の6時ごろに〈うん〉向こうに着ですけれども〈はい〉、到着ですから、ですからその当日は、まあハルビンに行くよりは〈うん〉、やはり北京とか大連、ちょっとその1泊2泊ぐらい〈あーはあはあ〉、その、お、えー泊って、それでその一またハルビンに行く{金属をたたく音}、のはその一まあ楽ですから〈あーはあ〉、あるいはですね、その一1泊だけでは{金属をたたく音}ですね、普通は、えーこちらの航空、国際、その航空とプラス中国国内〈うん〉の航空その、全部です、え、一応{金属をたたく音}予約する場合は〈うん〉、あ、それはその一、途中ではちょっとその、1泊はですね〈うーん〉、旅行、あ、航空会社からですね〈うん〉、一応無料で提供してくれる〈ああ〉というそのサービスもあります、え

T：あつ、なるほど

I：はい、とても利用しやすいですね

T：うん、じゃあそういういろんなサービスは

I：そうですね

T：あるということですね

I：うん

T：ああそうですか、はい

I：はい

T：まあ、ちょっとじゃあ、あの、具体的な金額は後で調べて〈はい〉、みたいと思いますが{笑}

I：えーえー、もちろん〈ええ〉、す、例えばですねその一〈あつ〉観光シーズンでない場合はものすごく安くなりますよ

T：へーそうですね

I：例えば、五万〈うーん〉数千円ぐらいとかですね〈あーはいはい〉、ほかにも〈うん〉またその、韓国の、うん〈うん〉、インチョン〈はい〉、うん、経由で〈あーはあはあ〉、え、行けるんですね{金属をたたく音}、ええ、それは

T：なるほど、そうすればもっと安くなる感じが

I：うん、そうですね

T：はいはい

I：ええ、それは韓国の便ですから、うん、たぶん安くなる

T：うんうんうん、まあそうしたら、まあそうするともう、日本にいたら、国内と{ペンの音}あんまり変わらない

I：そうですね

T：感じですね

I：はい、うん

T：はい、えーとそれで、ちょっとあの、さっきの、あの、ふるさとのお話に戻るんですが、あのやっぱりかなり寒い所だということ（はい）、まあ、その、もちろん、あの、日本に比べても、相当寒いと思うんですけど（うん）、んん、大体、えーと、平均気温といえますか（うん）、どれくらい寒くなるんですか

I：平均気温は

T：あの冬ですね

I：冬ですね

T：うん

I：冬は大体今マイナスの（うん）20度ぐらいですね

T：あーそうですか

I：はい

T：そうになるとやっぱりその一暖房の設備なんかもね

I：ええ

T：かなり違うと思うんですけど

I：あ、そうですね

T：どのような、暖房が、向こうでは、えーと

I：うん、暖房ばかりではなくまずですね、建物自身としても（建、あつ、なるほど）結構違いがあるんですから（はいはい）、えーまあレンガ造りとか（はいはいはい）、あんまあ昔はレンガ造りが多かったんですけども（うん）最近では鉄筋コンクリートですけども（あーはあはあ）、まず壁の厚さが違いますね（はあはあ）、レンガ造りの場合は全部二重（うーん）ですから、窓も二重（うーん）ですね、えーそれは全部その防寒ですから{笑}（うんうん）、のためです（はいはいはい）、えー後はですね、全部その集中で一応その全部暖房を入れる（うんうん）ということは特徴ですから（あーあー）、えーハルビンは基本的には全部そういう（あーなるほど）かたちですけども、しちゅうたく団地、ある団地（うん）は、それで同じボイラーを（うん）、をその一つのボイラーを（うん）使って、それで全部そのスチームを入れるんですね（あーあーあー）、壁にちょっとその、金属でその大体その、あまあ、えー鉄とかアルミニウム（うーん）ちょっとその入っているかも（はいはいはい）しれません合金のその（はい）スチームですよ、まあ家の中でも（うん）全部その入ってるんですから、ですから大体毎月の10月の、おーまあ、下旬から（はあはあはあ）ですね、翌としの、おー、そのー3月の（うん）、えー中旬、あたりまでですね（あーはあはあ）、ええ、結構長いんですけども全部スチーム（スチームで）、ええ、入れるんですね、はい

T：あーなるほど、それ

I：ですから部屋の中、逆にその一日本よりも、しのぎ易い（あーはあはあ）、え、えー大体まあ18度とか（うん）、9、19度20度前後は多いですから（うーん）、逆にこちらのほうはですね暖かいといっても（{笑}）今は、外は、10度前後で（うん）部屋の中も10度前後ですから{笑}（{笑}）、ええ

T：そうですか

I : はい

T : あの一、まあわたしは、こういう、あの、日本式の、暖房でしかまあ生活はしたことないので〈うん〉、ちょそのスチームの〈うん〉、その暖房のシステムの〈うん〉、何ていうんですかねまあ特徴というか〈うん〉、まああの一、あのいいところ、メリット、のようなものがちょっと分からないんですけど〈うんうん〉、どういう点で、あの、すぐれて〈うん〉、いるんでしょうか

I : まず一つ目としては、わたしはその最近はその環境問題よくはそういわれてるですけども{笑}〈あーはあはあ〉、それ集中で、それで一応〈うーん〉、暖房を入れてるんですから〈うーん〉、ですから一つの団地としてはひ、一カ所で〈あーあー〉、だからその一まあ、エネルギー節約という意味ではまあ、うー、もう、いいところだと思いますね〈うーん〉、後はもう一つとしてはその一、スチームを入れてその部屋〈うん〉の中はですね〈うん〉大体その{金属をたたく音}1日全部でその大体〈うんうん〉20度前後ですから〈あーはあはあ〉、{金属をたたく音}そんなにその一、ま、部屋の中では温度の差が〈うん〉、あ、激しくないんですので〈うーん〉、ですからその一まあ、えーやはり体にもいいかなと思うんですね

T : あーなるほど、うん

I : ええ、ただまあ逆にちょっと問題点もあるんですけども

T : 問題点、はいはいはい

I : ずっとそういう暖房を入れて〈うん〉、もともとは、あ、一応、そういう気候では外は寒いんですから〈あーはいはい〉全部その一密封されてるんですから〈はい〉窓はですね、部屋の中はちっと、乾燥しすぎます

T : 乾燥ですか、ああなるほど

I : ええ、のどによくないんですね、ええ、っす

T : のどによくない、はい、そうかー乾燥を、するとなると〈うん〉ちょっと困りますね

I : そうですね、ええ

T : はいはいはい、あーそうか、でその、乾燥を、する、のほかに何か、な、悪影響みたいなことは、ないですかね

I : あ、悪影響は

T : 悪影響ってかまあ{指を鳴らす音}デメリット、の、ようなもの、まあ

I : えー、デメリットは今のところでは〈うんうん〉、あんまりちょっとその一分からないんですけども〈あーはあはあ〉、でー、まあやはりその一、部屋の中に〈うん〉まあ一応その一〈うん〉全部ちゃんとその一、お、結構その一、ま、スチームの量が多いですから〈あ、スチームの量、はいはい〉つけて〈うん〉、ちょっとその一まあ醜いことを{笑}〈{笑}〉

T : そういうことですか

I : はい

T : なるほど〈ええ〉、じゃあその、す、あの、スチームの、エネルギーっていうのは、もともと何なんですか

I : やっ、それは中にはですね、ちょっとその一まあ、え、もともとは水ですね〈水〉、ボイラーで〈うん〉、その水を、沸かして、えそれで、あ沸かしてじゃ、温めてですね〈はいはい〉、温めて、それで全部〈ああ〉その圧力をかけて入れるんですね、ええ

T : なるほど, あた, 温めるのは

I : 燃料, うん

T : はい燃料, はい

I : 燃料としては, その一まあ昔は石炭は〈あーあー〉圧倒的に多かったんですけども〈はいはい〉最近ちょっとその, 一部まあ〈うん〉石油になったそうです, うん

T : あーなるほど

I : はい

T : そうですか〈ええ〉, ませき

I : 後は天然ガスも〈うーん〉ありますね

T : まあそれだけのエネルギーをつくるには石炭, 石油を使わないと〈そうですね〉, もういけないと思うんですけども〈そうですね〉, ただまあ, 石炭, 石油をそれだけ, 一気に使ってしまうと, やはり何かあの一, 大気汚染〈ええ〉, 等の, 問題っていうのも, かなり出てくるんじゃないかと〈そうですね〉思うんですけど〈そうですね〉, どうですかねその, う, くう, 空気の〈うんうん〉, へ, への影響等

I : 特にまずですね〈うん〉, 石炭ですね〈はいはい〉, えーわたしは日本にまあ, あ, 来てもう〈うん〉, 8年ぐらいですけど〈うん〉, 8年前まではそのずっと中国〈はいはい〉で生活を〈うん〉したわけですので, うーんやはりその石炭〈うん〉のその大気汚染は〈うん〉ものすごいですね〈はいはい〉, で, すごかったですね〈うん〉, えーまあ特に冬ですから〈うーん〉, 冬はもともと, き, 気圧のほうも低いですから〈はいはい〉, それでその一まあ, えー大気汚染はとてもひどいことですけども〈あーはあはあ〉, その中にずっといる場合はそんなにそのはっきり分からないかもしれませんが〈あーはあはあ〉, でも一まあ, 体のほうはですね〈うん〉, 何とかその反応がありますし〈うん〉, 例えばですねそのハルビンの人はよくそのせきが〈うんうん〉, 出るとか, またたんもその一多いからですね〈あーあー〉, 日本〈うん〉, と比べるとわたしもそうですけども実感〈はいはい〉, できたんですから日本に来てからですね, せきもあまりないし〈うーん〉, それから, たんもそのほとんどないんですから〈うん〉*中国ではまったく違ったんですよ〈あーはあはあ〉, うん, で逆にあるいはその, ちょっと郊外, ちょっとだけ郊外に行つて〈うん〉, 高い所に, まあ一応立つ場合は, えーまあ都市部を見ると〈はい〉, それで全部をそのまあ幾らその集中暖房入れるんですけども〈うーん〉でもその量が多いですから〈あー〉大都会ですからやはり, まあ, す, うー市街地だけでも数百万です, ま今四百万ぐらい住んでるんですから〈はいはいはいはい〉, だからですねその一まあちょっとその, 真っ黒で〈うーん〉, すごいそのまあ汚染だと〈{笑}〉, そのすぐ分かってしまうんですね{笑}〈あーはい〉

T : そうですか

I : はい

T : じゃやっぱり, その問題は何とか解決しないと

I : そうですね

T : いけないですよ

I : ええ

T : はいはい, で一まあじゃあその点でいえば, えーと一, その一多少, エネルギーの〈うんうん〉, 制限等も必要かなあとは思うんですけど〈ええ〉, 何か, そういう, 動き, 対策

は実際町でしてる、ことはあるんですかね

I：あつ、えーまあ、わたしは日本に来てからのちょ、ちょっとすなわち〈はい〉この8年ぐらいのことはちょっと分からないんですけども

T：ああ、その前でも結構ですよ、はい

I：でーわたしが来る前にはちょっとその一、90年代に入ってから〈ああ〉やはりその大気汚染は、そのひどいことですから〈あーはあ〉、まあやはりその一役所からで＊中国では何でも〈うん〉その役所強制的に〈あーはあ〉それやるんですから、それでその一応まあ、節約っというですね〈あーはあ〉、マスチームですね〈うん〉、つまりその一いつもその一部屋の中は〈うん〉20度ととっと〈うん〉いうのはですねちょっとそのもったいない〈うん〉、え、えーエネルギーを節約する〈うん〉ためには一応その一スウェーデンか〈うん、はい〉、うーたぶんスウェーデン、北ヨーロッパからですけども〈はいはい〉、新しい技術を導入して〈うん〉それで、まあ、えそれぞれの家の中ではですねスチームのその一コントロール〈はあはあはあ〉すなわちその一何かその線を一応付けて〈うん〉、それでまあ、部屋にまあ、一応いる場合にはちょっとそれを開けてそれスチームもらう〈はあはあはあ〉、それで、えー、いない場合は、あ、ちょっとそれを、閉じるんですね、えー逆にその節約できるんですから

T：あーなるほど

I：ええ

T：それをじゃあ、推奨するような

I：そうですね

T：動きがあったわけですね

I：ええ、あとはもうひ、一つもありますけれども、お、最近もどんどん、たぶんどんどん増えてきたと思いますが〈はいはい〉、やはり自分の家の中でそれでボイラーを点けて〈うん〉、それでそのお湯を沸かして〈うーん〉、えーこれは韓国の技術だそうです〈あーはあ〉、ええ、それでその一まあ一応地面の下ではですね{机をたたく音}、ちょっとその一何かパイプを〈あーはいはい〉、一応敷いて、えそれ細いパイプですけども〈はい〉、その中にその一まあ、えーボイラーで沸かしたその一まあお湯を一応〈お湯を、わーお〉、まあそうですねそのパイプの中に入れて〈うん〉それで、えー地面からその熱というのは上に行くんですから〈はいはいはい〉、ですから、それはまあ、暖める〈うん〉、うん、というような後は下ほう、のほう結構あたたい[暖かい]んですから〈あーはあはあ〉、それは結構その一エネルギーは節約できるそうです〈{笑}〉、うん、どれほどその節約できるかどうかちょっとわたしは分かりませんけど

T：韓国の、韓国の技術ですから、なるほど

I：はいそうですね

T：まじゃそういうものを、導入したり、してるわけですね、で

I：えもう導入したんですね

T：のうにゅう[導入]したんですかね

I：それは各、ま自分の家で一応購入するんですから

T：あつ、各家で

I：はい

T：あーなるほど，でその

I：ええ，集中暖房の場合は〈うん〉，もし，それは〈うん〉，自分の家では〈うん〉そういうボイラー〈うん〉，あ，つか，使わないと〈うん〉，それ集中の暖房の場合は〈うん〉，毎としはですね〈うーん〉一応その費用を払わなければ〈うん〉なりませんから，自分家ではもしそれは付けると〈うん〉その費用は払わないんですから〈はいはい〉，その分で，やはり自分のまあ一応，家でその付けたものですから〈あーはあはあ〉，だからできるだけその節約して使いたいっていう〈なるほど〉その気持ちがあるんですね

T：そうか〈うん〉，じゃまあ，個別に導入しているところはそういう工夫が〈そうですね〉，できると思うんですけど〈はい〉，その，前のほうのその節約の〈ええ〉，ま運動というか宣伝ですね〈ええ〉，それについては，まあ，あの一，せんす，あの一，【姓B】さんはどうですか，あの一，割と，効果は，あると思いますか

I：あつ，効果はやはりちょっとあったと思いますね

T：ああそうですか

I：ええ，はい，ええ，えーまあ最近はこちらとその冬は〈うん〉帰っていないんですけども〈はあはあ〉でもやはりその一親戚はいますので〈うんうん〉，親戚の話ではですね〈うん〉，ちょっとその一前よりは，まあ十数年前{たたく音}〈はいはい〉，ま10年前とかですね{たたく音}，比べてその一，少し改善されたような{たたく音}気がするんですね

T：改善された，あーなるほどね

I：うん

T：ただまあ，そういう効果はある，とは思いますが〈うん〉，あの，やっぱり，一括，その，ぜん，建物全体を暖めるもとの〈うん〉，システムじゃないですか

I：うん，そうですね

T：ですので，そういうふうに，節約の，動きを，しても，みんなが，それを，守らないと〈うん〉，要するに，個別に，温度設定してそれによって〈うん〉，エネルギーの消費が決まるシステムだったらいんですけど〈うん〉，一括で〈うん〉，全部やってるシステムだと実はそれほど効果がないんじゃないかなあっていう，印象を受けるんですが

I：あーあー，そうですね

T：はいはい

I：えーまあそれはやはり，えーどれほどの効果があるかどうか〈うーん〉ちっとわたしはその一まあ〈{笑}〉，えー分らないんですけども〈あーはあはあ〉，うん，はい，えー実際は，たぶんですね節約，できる，と思いますね〈うん〉，す，やはりその，まあ，全部その中国の場合は〈はいはい〉行政的に全体で〈うん〉，一様にそれやってるんですね{金属をたたく音}，ま確かに，その一，ま，あ，えー，別にそのまま，えー人によって〈うん〉ちょっと，考え方も違うんですから，それでもしですねその節約のその意識はないと〈あーはあはあ〉，やはりさっきのその最初の一歩目のその方法ですけれども〈うんうんうん〉，家を出ても，それは〈そうですね〉，えー一応そ，そのままですね〈そうですね〉，放っておいて〈うん〉，ええ，やはり逆に節約できないですね，え最終的にはたぶんその〈うん〉，個人びつ[別]で〈ああ〉，それで自分の家で，ボイラーを点けて〈あーあー〉，え，そういう方法でたぶんもっとさらに節約できるかなあと思いますけども，うん

T：あーなるほどそうですか

I : はい
T : 分かりました
I : うん
T : えーと、じゃちょっと、あの、お話は変わるんですが
I : うんうん
T : あの一、【姓B】さんは、あの、テレビ〈うん〉、等は、ご覧になりますか{笑}
I : あっ、たまに、あまり{笑}
T : たまに
I : はい
T : どんな番組よく見る、ご覧になりますか
I : えーわたしは一番よく見る〈うん〉番組はまずですねニュースですね
T : ニュース、はあはあ
I : えーニュース以外は大体まあそうですね〈うん〉、最近はそんなに見ていないんですけども
T : ニュースよくご覧になるということですけども
I : そうですね
T : まあ、何か、最近、その、ちょっと、気になったニュース、など、何かありますか
I : あっ、ニュースは〈うん〉まあわたしはもともと自分のその研究は一応国際関係論ですので〈はあはあはあ〉、ですからまあ国のまたその日本の〈うん〉その外交とかですね〈うん〉、日本のその国の政策とかは〈はい〉とても興味があるんですね、ええ
T : なるほど、うん
I : うん、後はですねその一応日本に来てわたしのその日本語はすべて中国で学んだもので{金属をたたく音}〈あーはあはあ〉、中国で覚えたもんですから〈うん〉、ですからですねやはりその聞く、練習にもなりますので〈うーん、はいはい〉、えー後はその知識にもなりますので〈はい〉やはりその一、クイズの番組は大好きですから〈{笑}〉それもよく見ますね
T : クイズの番組、なるほど
I : ええ、結構難しい漢字はそのどういうふうに読むかですね〈あーはあはあ〉、はい、出てくるんですから{笑}
T : クイズの〈はい〉番組ですか〈ええ〉、その一、えーと一、今、そのクイズの番組、番組の名前、何か、覚えてらっしゃる
I : あっ、番組の名前は〈はい〉えーと一その一幾つかあるんですけども、うん、一つとしてはですね、名前はちょっと忘れて、ええ
T : あーそうですか{笑}
I : はい、ええ
T : あの、どのような、クイズが、出題されるんですか、その、クイズの、内容というか、あの一、システムと
I : ええ、総合的なその一まあ、国語とか〈うんふん〉とか社会とか〈うんふんうん〉、それでそのまあ歴史とかぜん〈はあはあはあ〉、何でもかか〈うん〉、かかっているんですけどもそれでその一まあ、えー一応、ま番組としてはですね〈うん〉問題を出して数人を〈う

ん〉、うん〈うーん〉、ま一応呼んで結構その一まあ、レベルの高いとかですかね〈あーはあはあ〉、あるいはその二つとのチームですね〈うーん〉、分けて、え、それでまあ一応やってもらおうとか〈なるほど〉、というような番組ですね

T：そうですか

I：ええ

T：それ、一応ご覧になって、それなりに、面白いと、思われ、ますか

I：いや面白いと思いますね

T：面白いですか

I：はい、ええ

T：そうですか

I：面白いしあとは自分にとってはどうですかね〈うん〉知識になりますので〈あーはあはあ〉、ええ、はい

T：なるほどその点では、いい番組だと〈そうですね〉ということですね〈はい〉、まあ確かにあの一、それぞれの番組、面白いと思うんですが〈うん〉、最近クイズ番組がやっぱり多すぎるんじゃないかなとわたしは個人的には思うんですね

I：あつ、そうですね

T：どこを見てもクイズ番組で〈そうですそうです、はいはい〉、そのために何か〈ええ〉、つまらなくなってしまうている〈はい〉ような気がするんですけど〈そうです〉、何か、そういう感じしません、少し、飽きた感じがわたしはするんですが〈ええええ〉、いかがでしょうか

I：えーえーま、幾つかあるんですけど〈うん〉わたしは見るのは最初にはですねちょっとその三つぐらいがあったんですかね〈あーはあはあ〉、月曜日と〈うん〉それでそのあともう一つ火曜日で〈うん〉あと何曜日でしたっけ、えーまあ一応その一まあ、面白い〈うん〉というよりは〈うん〉やはり知識、知識性ですね〈あーはあはあ〉わたしはその注目しているんですから

T：なるほど知識性、うん

I：やはりさい、最近はどうですかね{たたく音}〈うん〉見てもやはりけ、できるだけ月曜日のはですね〈うん〉、もう一つ、うん、後の二つはで〈うん〉、大体その一、{息を吸う音}まあ、一応何かその、お笑い芸人とかですかね〈うーん〉呼んでそのちょっとその一まあ、面白い答えは〈{笑}〉もちろんたくさん出てくるんですけども、でもそれはあまり知識にならないんですから

T：そうですか、まあ

I：いろんなかたちでやってるんですけども、でもものすごく確かに多いですね

T：まあその、うん〈ええ〉、いろんな番組多いですね

I：そうですね、ええ、

T：で、そうになるとやっぱりその一何でこんなに増えたんだろうなってちょっとわたしよく分からないんですけど〈うんうんうん〉、なぜ{笑}、ん、クイズ番組なぜ多いんだとおもわ、思いますか

I：いや

T：わたしもよく分からないんですが

I：それはクイズ番組ばかりでなく〈うん〉、ま日本ではやはりテレビ局は幾つかあるんですけど〈はい〉NHK 以外はですね〈あーはあはあ〉たぶんですねまあ、競争という意識もあるか、その

T：あー競争、うん

I：うん、まあ視聴率ですね〈うんうん〉、え、そちらは一応「あつ、最初にはこういうクイズ番組が視聴率が高かった」〈{笑}、うん〉「じゃこっちも」〈うん〉、「もっと面白い」〈ああ〉「まあクイズ番組をつくろうかな」〈うーん〉、あるいはそのニュースもそうすけども同じまあ〈うん〉、ばん、内容をほぼ似ている内容をですね〈そうですね〉、うんまあテレビ局によって全部そのまあ、ほぼ同じ時間帯で{笑}〈{笑}〉、やってるんですけども〈うん〉、それは{たたく音}確かに効率なのかどうか〈うーん〉別としてですね、えー一応お互いたぶん〈うん〉相談していないんですから〈そう〉同じ内容はその繰り返しで〈あー〉やっているっていうのは、確かですね

I：そうですねまあ〈ええ〉、その努力の結果だと思うんですけど〈そうです〉、こ、このままだと、逆につまらなくなってしまいますよね

I：そうですそうですね、うん

T：ということでどういう、対策を取るのがいいと思いますかね、このまま、やっぱり同じように、クイズ番組〈うん〉、同じようなニュース番組だけだと〈うんうん〉、ちょっとつまらないので、うん、まあでも、わたしは、自分の、日本の国のテレビで一緒ですから{笑}〈うん〉、よくその問題点、は分かるけどどういうふうな、ほ、方法で、よくしていったらいいのかなっていうところが少し分からないんですけど〈うん〉何か気が付くところがあれば教えていただきたい

I：えーまたその一応テレビ、その一まあ放送局は違うんですけども〈うん〉、やはりですね何かそのまあ一応、これからの同じそのテレビ、同じことつつ、確かに競争は〈はいはい〉あるんですけども〈あーはいはい〉、やはりその一、まあ協会とかわたしはそのちょっとそのあまり詳しいことは分からないんですけども〈はいはいはいはいはい〉、基本的には同じその一まあ、えー仕事の内容〈はあはあ〉あるいは近い仕事の内容、業界とか〈はいはい〉それみたいというようなその、協会とかそういうのつくって〈はあ〉、それで協会の中で〈うん〉ちょっとそのもつとですねその、それぞれの例えばですね、まあ一応、まあ、えー今の最近の仕事その仕分けでしょう〈はあはあはあ〉、{笑}そういう意味での〈{笑}〉その仕分けですけども

T：仕分けですか

I：ちょっとですね〈はいはい〉、その、まあ、どちら、ちょっとその一〈うん〉まあ、こち、こちらのその〈うん〉放送局は例えばNHKのほうはですね一応半官半民ですから〈うーん〉、やはりちょっとですね、まあニュースとか〈うーん〉そういうようなものを政治とかとかですねそのまあ経済とか〈はいはいはいはい〉そういうような内容は堅い内容ですね〈はあはあはあ〉、えーまあたくさんやっていいかなと〈うんうん〉思うんですけども〈うん〉、でそれ以外の放送局はですね〈うん〉テレビ局とかですね〈うん〉やはり違う、と〈うーん〉、で、まあ内容をやったほうがちょっとその一、えー少し、ちょっとその一使い分けて〈はいはい〉、そのやったほうがいいじゃないかと思いますね

T：あーほんとに

I : それはほんとに国民にとってはですね〈うん〉いいことだと思うんですけど
T : あそうですか
I : ええ
T : うん、まあそういうふうな、ど、工夫が
I : そうですね、必要だと思いますね
T : できるといいんじゃないかなあ〈うん〉と思いますね、はい、えーとー、ちょっと、あの、また、ここで、話題、は、変わるんですが
I : うん、はい
T : あのですね、えーとー、まあ、先ほど、あの、大連の
I : ええ
T : あの一大連じゃなかった、えーとーハルピンでした、ハルピンですね
I : うん、はい、ハルピン
T : ハルピンの特徴をいろいろ説明してい、もらいましたけど、ま例えば、そういう、町の、まあこういういい町ですよということを〈うん〉、あの一まあ、あの一、日本の各地で宣伝されることも〈うん〉あると思うのですが〈うん〉、まああの例えば、そのわたしが、そうですねまああの【地名D】の、そのまあ、観光の〈うん〉、まあある責任者〈うんうん〉、であるとして〈{ペンの音}〉、そのまああの一大連の、大連じゃないえーとハルピン〈うん〉の町を〈うん〉、あの一せ、【姓B】さんが宣伝する〈うん〉、というふうな、あの、かたちになったときに〈うん〉、まあどのようなかたちで、あの、いいところを、売り込むか、ちょっとその、シミュレーションをしてみたいと思うんですけど
I : うんうん
T : よろしいですか
I : うん
T : じゃわたしが、その一、一応、あの一、観光の〈うん〉、責任者〈はい〉、ということですので〈ええ〉、はい〈はい〉、よろしいですか、はい〈はい〉、はい、うん、すいません、えっ、あっ、きょうは何かお話があるということですが
I : あっ、そうですね、今回は一応わたしはハルピンの{手をたたく音}代表をしております〈はあ〉、は、ハルピンの観光ですね〈はい〉誘致としてですね〈はい〉、えーまこの日本をお邪魔しており、おりますので、ええ
T : はい、あーそうですか
I : はい、ええ、ぜひよろしくお願いします、うん
T : はい
I : えー
T : えーとー、あ、ハルピンということですがあの一、まあ、お名前は聞いたことがあるんですけどね
I : はい
T : はい、まーえーと、どう、どういう点を、宣伝するのが、いいのかなあ、うん{笑}、うん
I : うん、えーハルピンはまあもちろん大都会はどこにもあるんですけども〈はいはい〉高層ビルとかですね〈あー〉ハルピンの特徴としてはですねまずはですね、えー一つ目と

してはですね夏はですねとてもその涼しくて〈なるほど〉、えー避暑地として〈はい〉有名ですから〈うん〉、それ夏のほうはですね〈うん〉結構いい観光シーズン〈うーん〉ですね、えー後はその一まあ観光のその避暑地と〈うん〉、ばかりでなく〈うん〉それでもととのその〈うん〉まあ、え8、え、10年とか90年〈はあはあ〉前の、そのまあ、えーヨーロッパ風の〈うーん〉その建物ですね〈うん〉、まビザンチン式とかですねそのまあいろんなその〈うーん〉、えーまあ建物も〈うんふん〉まだ、保存建築としてですね〈はいはい〉、たくさん残っているんですから〈うんうん〉、すごくその一まあ見る価値があると思いますね
T：あーあーそれで

I：あとはですねハルビンはですね、冬はですね、これはどこでもそのかわ、代わることのできないことですね〈はいはい〉、それをそういうそのまあ寒い所で、そういうその一まあ条件を、一応活かしてですね、ま冬はマイナス30度の中で〈うん〉、それでその一ハルビンの氷祭りは〈はい〉1月あるんですから〈はあはあ〉、い、時間も長いし1カ月ぐらいもあるんですから、うん〈あーあーそうです〉、ですからそれをぜひですね、まあ一こちらの【地名C】暖かい所でしょ

I：{笑}はい、はい

T：雪もあまり見えてないし〈はいはい〉、雪は降ってもですね、例えばけんも、うん、けさもその降ったんですけども〈はい〉、すぐをその溶けてしまうんでしょ〈あーはあはあはあ〉、だからハルビンにいらっしゃれば、冬もいつでもですね〈はい〉、い、1が、1月ばかりなんですね〈うん〉、大体その、10月の下旬から〈うーん〉ずっとその1月2月まで〈あーはあはあ〉全、全部雪も〈うん〉、見れるし、それで雪でもその遊べるんですね〈うん〉、えーとても面白いですね〈うん〉、ですからその一、逆にですね、【地名D】の人にとっては〈うん〉、ハルビンは逆に魅力的だと思いますよ

T：あーそうですか

I：はい、ぜひ、こう、そういう面ではですね、宣伝してください{笑}

T：分かりました、じゃあ宣伝、の、うん、企画をちょっと立てておきましょう、はい、ありがとう

I：はい、え、お願いします、うん

T：うん{笑}、ということで、まああの一、あの、先生すごく、流ちょうに説明されたんで、どこかで{笑}、説明されたことがあるのかもしれないなと思ったんですけど、ま、そして、あの、今のはま一応、あの一、わたし、偉い責任者っていうことになりましたけど、まあ、同じようなことをですね、例えばその〈{息を吐く音}〉、まあ、あの、ちょっとよく詳しいことが分からない、あの、小さい子どもに〈うーん〉、ちょっとして、紹介するような、パターンのときはどのように話されるかちょっと、それも、ロールプレイでやってみたいんですがよろしいですか

I：うんうん、はい

T：じゃわたしが、ちょっと、子どもになりますから、いいですか

I：うん、はい

T：いいですか

I：うん、はい

T：子どもに、はいはい

I : はい
T : おじさんおじさん, おじさんの町ってハルピンっていうの
I : うん, はい, そうよ, うん
T : ハルピン, ハルピンってどこ
I : うん, ハルピンは〈うん〉, あーそれで中国の一番北のほう, うん
T : 一番北
I : うん
T : 寒そうだね
I : ええ, 北海道知ってる
T : 北海道は知ってる, うん
I : うん, 北海道と大体同じ{金属をたたく音}ぐらいの所ですね, ええ
T : えっ, すごえ寒いじゃん{笑}
I : ええ, もちろん〈{笑}ええ〉北海道より寒いよ{笑}〈{笑}〉, ええ, 海はないから〈うんうん〉, うん, だからもっと寒い, うん
T : そんな寒い所, 行って大丈夫なのかな
I : いや大丈夫よ〈うん〉, みんな防寒服を着てる〈うーふん{笑}〉, うん
T : あーそう
I : うん, はい
T : うん, そっか, まあ寒そうだなーまあ, でもまあ大丈夫なら行ってみようかな{笑}
I : まあ, でも, こちらでは全然その一見えないものいっぱいあるから, うん
T : あ, ほんと
I : 逆に面白いよ, うん
T : あ, ほんと
I : はい, ぜひ, うん
T : うん, じゃ今度, 写真見せて
I : はい, うん, じゃあ, また, あ, えーうちにはですね, 結構, うーいい写真は〈うん〉たくさんあるから〈{笑}〉, うん, またいつかちょっと見せて{机をたたく音}, うん
I : あ, ほんと
T : うん, ぜひ
T : やったー
I : はい, うん
I : やったー
I : ええ
T : ありがとう{笑}
I : ええ
T : ということですか
I : はい, ええ
T : はい, すいません, 何か, えーとー, ま急に, 何か, 下に座ってまして〈ええ, はい〉, 申し訳ないです, えーとー, あの一, きょうは, まあちょっと, 非常に, 寒いんですけど〈はい〉, まあ, この後は, 何か, お仕事, まだ, されるんですか

I : いやあ, 特に
T : そうですか
I : ありません, はい, うん
T : はいはい, まあ分かりました, じゃああの, 何か寒い中, お忙し中{笑} 〈{笑} ええ〉,
どうもありがとうございます
I : いえいえ, ええ
T : はい
I : はい
T : じゃあこれで終わります
I : はい
T : はい, どうもありがとうございます
I : ありがとうございます
T : すいません

(10) OPI インタビュー (28 分)

T : はじめまして, こんにちは

I : あ, こんにちはー

T : は, え, 【姓A】 と申します, 【姓A】 です

I : ん, あー, 【姓A】 〈はい〉, あー, あ

T : えっとー, お名前は

I : あ, わたしはー, あの一, 【姓B】 です

T : あ, 【姓B】 さん 〈んー, はい〉, えーとー, なんと呼べばいいですか, 【姓B】 さんですか

I : んん, はい, いいです{笑}

T : ん, え, はい, えーじゃ, 【姓B】 さんで 〈はい〉, えーっと 【姓B】 さん, お国はどこですか

I : あの一, アメリカから来ました

T : ああ, そうですか 〈んー〉, アメリカのどちらですか

I : あ, アメリカのボストン

T : ああ, ボストンですか 〈んー, はい〉, えっとー, ボストンから 〈あー〉, えー日本まで, どのぐらいかかりましたか

I : えー, {笑} {息を吸う音} あの一, {息を吸う音} えー, ちゅー{ため息}, じゅうはちじ, かん[18 時間] ぐらい

T : ああ, 18 時間 〈はい〉 ですか 〈はい〉, え, ボストンから, この名古屋までは, えーっとー, 飛行機は 1 本で, 来ることができますか

I : えーっとー, {息を吸う音} んー, たぶんあの一私は, あの一, ボストンからー, あの一シカゴまで 〈はい〉, あの一, あー, しゅ, シカゴからー, 〈はい〉 あー成田まで

T : あは, そうですか 〈んー, はい〉, で, えーっと成田から 〈は, はい{笑}〉, んー{笑} 名古屋に, あーそうなんですか, えっと, いつ日本へ来ましたか

I : {息を吸う音} えーっとー, あの一, これはー, あー, はじめて

T : あー, はじめて 〈はい〉, え, えーいつですか 〈ん〉, えっと 〈おー, すいません〉 今年来ましたか

I : えっとー{ため息}, 9 月 〈はあー〉, あー, あー, 来ました

T : あ, 9 月に来ましたか 〈んー, はい〉, えーそうですか, えっと今名古屋に住んでいますか

I : んん, あの一名古屋の一, もりやまくー, に住んでいます

T : あー守山区ですか 〈はい〉, えーっとー守山区は, ここは昭和区ですね, 大学は, しょう 〈えーっとー〉, え, ここはしょう

I : ここはしょう

T : ん, ここは 〈あ〉, 昭和区です, ええ{笑} 〈あーはい{笑}〉, あ, そうですか 〈あー〉, えーっとー守山区 〈ん〉, は, んー, どんな, ところですか

I : えー, {息を吸う音} 守山区はー, んー, ちしづかー[静か] まち, と思います 〈あーそうですか〉, あの一, {息を吸う音} えー, 散歩ー, あー, あまり, 散歩ー, あー, しない

T : あー, そうなんですか{笑} 〈{笑}〉, え, 〈ん〉 あの一, 静かだけれども, あまりま,

散歩はしないんですか〈はい、あは〉、あーそうなんですか〈んん〉、えっと名古屋に初めて来たとき、どう思いましたか

I：あー、名古屋はー、とてもおもしろい、あー、えー、{息を吸う音}えーっとうー、{舌打ち}んー、え、すいません、え{笑}、もう一度お願いします

T：あつ、名古屋は〈んー〉、ええどんな街ですか

I：えー、はい、名古屋はー、あの一、{息を吸う音}おもしろいく、おもしろくてー、{息を吸う音}あー、大きい街と思います

T：あーそうですか〈んー〉、で、どういうところがおもしろいんですか

I：えの一、あ、すいません

T：ん、えー名古屋は、おもしろい街だと〈はい〉、言いましたね〈はい〉、ええ、どんなところがおもしろいんですか

I：おお、あの一、{息を吸う音}あー、たとえばー、さかえー〈はい〉、やー、あの一、{息を吸う音}えーっとうー{ため息}{笑}、{息を吸う音}あの一、栄やー、あー、おすかのん[大須観音]〈はい〉、はーおもしろい

T：あーそうですか〈んー〉、私は大須観音に{笑}〈えっ〉、行ったことがないんですが〈えっ〉、大須観音はどんなところですか

I：えーあの一、おおすかのん[大須観音]は、えーとー、買い物する、ところ〈はい〉、あの一、{息を吸う音}えー、大きいー、んー大きいお寺が、ある〈はい〉、あります〈はい〉、あの一、{息を吸う音}おもしろいところ

T：あー、んの、おもしろい{笑}〈{笑}〉、お寺だけれどもおもしろいんですか

I：んん、お寺は大きいと{息を吸う音}、えーとー、赤いと思います〈赤い〉、んー、赤い

T：え、赤いっていうのは、お寺の建物が、赤いんですか〈ん、すいません〉、えー何が赤いんですか

I：えーとー、お寺はー、あの一、{息を吸う音}あー、どの、そとは〈はい〉赤い

T：あーそうなんですか〈んー〉、赤い、お寺は初めて見ましたか〈はい〉、あーそうなんですか、はい、えーっとうー、いま守山区で、守山区で一人で住んでいますか

I：あ、あの一、あー、ホストファミリーがいます

T：あーそうですか〈はい〉、え、ホストファミリーは何人家族ですか

I：えーっとうー、{息を吸う音}あの一、ふ、ふりー、あー、あの一、ふ、ふたり、ひとり、ふたり、と、あの一、{息を吸う音}あー3人〈3人〉、はい、さ、3人、はい

T：あーあーそうなんですか〈はい〉、えっとうー、ホストファミリーの、お、お母さんと

I：ん、お母さんと〈と〉、あの一お父さんと〈はい〉、あの一妹さんがいます

T：あーそうなんですか〈はい〉、えーっとうー妹さんというのは、んー何歳ぐらい、の人ですか

I：えー、あ、すいません、お、弟さん{笑}〈弟さん{笑}〉、あーそう、あーはい、あの一、おそそのさんはー、{息を吸う音}10歳と思います

T：あー10歳なんですか〈はい〉、ええ、10歳の男の子とも話をしますか

I：えーっとうー{笑}、あまり話ししません〈***しません〉、あの一、私の日本語は、ちょっとー上手、じゃなーい〈はい〉、あの一、えーっとうー、とうとうさん[弟さん]はー、あの一、あまりむかえませんね{笑}

T : ああそうですか 〈はい〉, え, じゃお父さんやお母さんと話をしますか, ホストの
 I : ん, はい 〈あーそうですか〉, はい, あー, あの一, 私の母さんは一, えー, {息を吸う音}少しー英語ー, あーん, を, 話せます
 T : ああ, そうなんですか 〈ん, はい〉, 日本語は話しませんか
 I : え, え, わん, 私は
 T : あ, 日本語で, え, 日本語で, 話をするんじゃないくて, 英語で話をしますか
 I : あーあの一, あー, よくー, あー, 日本語を話してます 〈はい〉, けどー, {息を吸う音}あー, ときどきー英語をー, を話せます
 T : あーそうなんですか 〈はい〉, えー, 日本語でお母さんとどんな話をしますか
 I : えんの一, あの一, {息を吸う音}あー, えー, えーじょうずです{笑}
 T : ああ, あ, じょ, じょう, ええ, 日本語で, えーどんなトピックを話しますか
 I : んー, {息を吸う音}えーいろいろトピック 〈ああ〉, あーたとえばー 〈はい〉, あの一, えー, あ, 「【姓B】さんあの一, 今日はどうでしたかー」
 T : ああそうですか{笑} 〈{笑}はい〉, 「【姓B】さん今日はどうでしたか」 〈んー, はいはい〉 っていうようなことで, え, でー【姓B】さんは, え, どうですか, え日本の生活は
 I : え, 生活 〈んん〉, あー, 生活はーわからない
 T : あー生活はわかりま 〈すいません〉, えー, いま日本に住んでいますね 〈んー〉, んん, 日本の, す, や, 日本の食べ物はどうですか
 I : あー, そうそう, あの一, えー, たいいてい, あー, 日本の一, あの一, 和食ですか 〈はい〉, あ, あ, あーたいいてい和食, あー, が, 好きです 〈あーそうですか〉, けど, あの一, さかなー, をー, 食べませんね{笑}
 T : あーそうなんですか 〈はい〉, えー好きな食べ物はなんですか
 I : んー, {息を吸う音}日本で好きな食べ物はー 〈はい〉, えー, んー, んめんかー, どんぶり
 T : めんかどんぶり
 I : え, あめん, あーたとえば, あーラーメン, うどん
 T : あー, そうなんですか 〈ああ, そうそうそう, はあ〉, ラーメンとか 〈あはいはい〉, どんぶり 〈んん, あ〉, えーどんぶりの中で何が好きですか
 I : えーっとー, 焼肉どんぶりが好きです{笑}
 T : ああ, 焼肉どんぶりが好きですか 〈はい〉, ええ 〈んん〉, {息を吸う音}でもいま日本, でも, あ, たぶんアメリカでもですが 〈んん〉, あの一, {息を吸う音}野菜を食べる人が増えているんじゃないませんか
 I : あ, 野菜食べる{笑}, はい
 T : 野菜も食べますか{笑} 〈はい〉, あの一, 肉は
 I : んー, えの一 〈はあ〉, えー, あ, う, むりよ
 T : ん, に, 肉ばかり食べるのは, 体に, 良くないですよ
 I : あ, あの一, あー, 日本でー, あの一, {息を吸う音}あー, たくさん, やすい, あ, やさい, あーん, を, 食べます 〈あーそうですか〉, と, と, 肉を, お肉を食べます
 T : ああ, いえ肉も食べますか 〈はい〉, えーっと, 日本, {息を吸う音}アメリカの, 中で, なくて, 日本にある野菜は何かありますか

I : んん, {息を吸う音}あの一{ため息}, あー, コーンが, あー, あるとー, {息を吸う音}あの一

T : コーン, ですか

I : コーン, はい, コーン 〈ああ, はい, んー〉, あー, あ, あしてる[知ってる]

T : はい, コーン, はい

I : コーン, はい{笑}, そう, コーンとー, {息を吸う音}あの一, レタス, レタス 〈はい〉, あー, があります

T : あーそうですか 〈あーはい〉, アメリカではコーンやレタスはあまり食べませんか

I : え, あの一, あー, よく食べます

T : あ, よく食べます 〈はい〉, うん

I : あーの一, 夏のコーンは, とてもおいしい

T : おいしいで 〈はい〉, ああそうですか 〈んー〉, えっとー, アメリカにない, 日本の野菜はありますか

I : んー, {息を吸う音}あの一{ため息}, {息を吸う音}やーわかりませーん

T : わかりませんか{笑} 〈はい{笑}〉, えーっと, さっき魚が好きじゃないと 〈んー, はい〉, うん, ええ, 聞きましたが, ええどうして魚が好きじゃないんですか

I : えやー, あの一, わからないあの一, {息を吸う音}あー子供のときー 〈はい〉, あの一さかなーおー, 全然たえません[食べません], から食べます{笑}

T : ああ, そうなんですか 〈はい{笑}〉, ええ{笑}, で, 食べてみたいとは思いませんか

I : んー, ときどき, あの一, えー, あ日本でー 〈はい〉, えー, 食べ, 食べて, みますけど 〈はい〉, えー, あまり好きじゃない 〈ああ{笑}〉, あまり好きじゃない{笑}

T : あーそうなんですか, {息を吸う音}はい, {息を吸う音}えっと話は変わりますが 〈ん〉, え, 趣味は何ですか

I : あの一, {息を吸う音}あー, んーしゅむはー, ときどきー, あの一, 本を読むこと 〈おお〉, が好きです 〈そうです, ああはい〉, あーんとー, あーフリスビーを, し, します

T : あ, あーそうなんですか 〈はい〉, えっとー日本でもフリスビーをしますか

I : あーしませんね{笑}

T : ああそうですか 〈はい〉, え, フリスビー, は, え, どういうところが, おもしろいんですか

I : んん, あー, おもしろい, あの一, あー, ときどき, あの一, あー, 公園に 〈はい〉, します

T : あーそうですか 〈はい〉, えー, 私も一回だけしたことがありますがとても下手です 〈ええ{笑}〉, ええ{笑}, 上手になりたいです, どうすればいいですか

I : えーっとー, んー, れんしゅ{笑}, 練習します 〈あはり〉, あの一, えっとー, 友達と 〈はい〉, あー, あー遊びます

T : ああ, そうですか 〈はい〉, は, えっと, こうやって投げるときに 〈んん〉, ええ, どういうふうにすると, たくさん, 遠くに飛ぶことができるんですか

I : あ, すいません

T : え, えーっとー, フリスビーを 〈んーんーん〉, 遠くまで, 投げたいです 〈ああ〉, ええ, どうやったら, 上手にできますか

I : あー, う, 私

T : あはい{笑}, わた, 教えてください

I : おー, あの一, あー, {息を吸う音}あー, んの一, んー, 難しいー{笑} 〈{笑}〉, えー, あの一, 練習一, あー練習してーあー, がいいー

T : あ, 練習ですか 〈はいはい{笑}〉, やっぱり練習が大切ですか{笑} 〈はい〉, はい, えーありがとうございます 〈はい〉, えっと本も, 好きなんですね, 本を読むのが 〈んん〉 好きなんですね 〈はい〉, えーっとー, 最近どんな本を読みましたか

I : ええ, 最近, {息を吸う音}あの一, エスエフとー 〈はい〉, あの一, {ため息}あー, アートバイオグラフィー, あの一 〈あーはい〉, 日本, あ日本語一, わからませんが 〈はい〉, あの一たとえばー, えーっとー, {息を吸う音}私はー 〈はい〉 あの一, 本の一, あー, かっています, 書いています 〈はい, 書いていま, はい〉, あの一, 私の本は一, あー, {息を吸う音}うー, えーとー{ため息}, すいません日本語ではー, えーわかりません 〈あー, そうですか〉, けど, アートバイオグラフィー, あーしていますか[知っていますか]

T : あ, オートバイオグラ 〈オートバイオグラフィー〉, グラフィ, 日本語では, 説明

I : ええ, あの一, オト, グラ, 知っていますか, う, あの一 〈うん〉, アトバイオグラフィー 〈はい{笑}〉, はい{笑} 〈{笑}〉, すいません, はい

T : **はい, はい, わかりました 〈あはい〉, {息を吸う音}えっとー, じゃあ, あの一, さっきの, エスエフのほうですが 〈んん〉, エスエフは, 好きですか

I : はい, 好きです

T : あい, あ, えっとー最近読んだ, す, エスエフは, どんな, エスエフ

I : んー, {息を吸う音}最近は一あの一, エンダーズゲームは一, えっとー, えー

T : エンダーズゲーム

I : エンダーズゲームは一, {息を吸う音}えー, ちよっとーいめー[有名]な本 〈はいはい〉, あの一アメリカで 〈はい〉, はい, あの一, ちよっとー古い本 〈はい〉, です, はい

T : えーどんな話ですか

I : えー, どんな話

T : え, はい, ストーリーを 〈ええ〉, 少し教えてください

I : {息を吸う音}えー, あの一, エンダーズゲームは一, あの一, {息を吸う音}あの一メインキャラクターは一 〈はい〉, えっとー, エンダー 〈はい〉, あの一, エンダーは一, えーっとー, あー, 男の子 〈はい〉, あの一, {息を吸う音}けどー, とっても頭がいい 〈はい〉, あの一, {息を吸う音}えー, エンダーは一, あの一, {息を吸う音}ミリタリー, あー 〈はあ〉, 学校に 〈はい〉, あー, 行きます 〈はい〉, あの一, {息を吸う音}えー, {ため息}んー, ちよっとー難しい{笑}

T : {笑} 日本語で話すのは難しいですか 〈はい{笑}〉, え, えっと, {息を吸う音}エスエフは 〈はい〉, えの一, ずっと, 好きなんですか, 小さい頃から好きですか

I : えー, あい好きです

T : ああそうなんですか 〈んん, はい〉, ん, で, えっとー日本のエスエフは, 読んだことはまだありませんか

I : んー, {息を吸う音}ありませんね{笑}

T : ああ, そうですか{笑}, {息を吸う音}日本にも, {息を吸う音}あるので 〈はい〉, {息

を吸う音}よかったら読んでください〈はい〉、えっとー、じゃまた話が変わりますが、日本へ来てからどこか旅行へ行きましたか

I：んー、あの一、よくー、{息を吸う音}えー、さかえー行きました

T：ああ、栄ですか〈あーはい、はい〉、えー栄、で、〈ん〉ん、旅行、はありませんか、さ、ま、栄は旅行では

I：ええ、よこう、よきょう[旅行]はありません、はい{笑}

T：ああ旅行は、ないんですか

I：んー、そうそう、よつく、んーあ一の一、栄でよくー〈はい〉、あー遊びます

T：あーそうですか〈はい〉、栄でどんなことをしますか

I：んー、あの一、栄で一、あの一オーエーシーストゥウェンティワン、あの一〈あーはい、ええ〉、と一、{息を吸う音}えーと一、いろいろ一、あの一、バーに行きました

T：あーあーそうなんですか〈はい〉、えーと、オアシス 21 は、どんな、私はあんまり知らないんですが、どういうところかちょっと教えてください

I：あー、ん、あー、ん、んーと、ど〈オアシス 21〉、おーあそうそうそう〈アシス、うん〉、あの一オアシ 21 は、{息を吸う音}オアシ 21 は一、あの一{ため息}、買い物、あー、買い物、する、ところです〈あーあーあー、す、そうですか〉、あの一、{息を吸う音}えーと一、あー、オアシス、21、あの一、のーうえは一〈はい〉、あー水があります

T：え、上に水があると〈んー、はい〉、え、シャワーですか

I：えー{笑}違う〈{息を吸う音}〉、{息を吸う音}あの一、{息を吸う音}えーと一、プール〈はい〉、みたい

T：ああ、そうなんですか〈あー、はい〉、え、プールが、上にあるんですか

I：えーと一、はい、あの一、{舌打ち}えー、プルーの上、があります、けど〈はい〉、あの一、あー、泳ぐ一、んー、泳ぎは一、あー、はだめです

T：ああ、泳ぐことは〈はい{笑}〉できないプールですか〈そうそう〉、あーそうなんですか〈あはい〉、え、で、オアシ、その、プール、が、上にあって〈ん〉、みんなは、どうするんですか

I：あい、あの一、{息を吸う音}えーと一、みんなは一、えーと一、えー、買い物しますけど

T：はい、あ、そのプールのそばに〈うん〉、店がありますか

I：ああ、はい、あの一、えー、プルー、は、あの一、{息を吸う音}えーと一、{息を吸う音}えー、みりゅ、ん、見るところがあります

T：あーあー〈あー〉、はい〈はい〉、プール、は、見る、えっと、泳ぐプールではないん〈ない、はい〉、ん、ないん、ないんですが〈うん〉、たとえば、足だけ、入ることができるプールですか

I：あの一、{息を吸う音}んー、{舌打ち}あー、知りませんね{笑}

T：ああ{笑}知りませんか〈はい、そ{笑}〉、ええ、あ、で

I：けど、あの一、えー、それは、だめだと思います

T：あーそうなんですか〈あはい〉、ええええ、じゃあ、見る、ためのプール〈ん、はい〉、あーそうなんですか〈はい〉、で、えっと一、お店も、たくさんあって〈ん、はい〉、ん、ああーそう、で、えーとじゃあ、【姓B】さんはそこが好きなんですよ〈うん〉、オア

シス 21 が〈はい〉、うん、えん、あの一、どういうところが楽しいんですか

I : んー、どんなところはー〈んー〉、えー、{息を吸う音} んー、{笑} えーわからなーい〈{笑}〉、
んー、そういう、ころ[事]は、難しい{笑} 〈ああそうですか〉、けどーあの一、たいてー〈はい〉、
えー、静かーところが好きです 〈あーあー、そうなんだけ、あ〉、けど 〈はい〉、あの一
{笑}、し、オイシス 21 はー、あー、しずかーじゃない 〈ああ、静かじゃ〉、ありありません
〈あーす〉、ところ{笑} 〈あーそうなんですか〉、はい、けど 〈え〉、あの一おもしろいと
ころです

T : あーおもしろいところなんですか 〈はい〉、えっとし、静かなところ、で、名古屋で、
どこか、静かな〈ん〉ところ 〈はい〉、い、なんか静かでいいところがありますか

I : ん、はい、あの一、南山の一 〈はい〉、あの一、グリーンエリアーは 〈はい〉、静かな
ところ 〈あーはい〉、えーつとー、んー、えあの一、あー、いろいろ、公園があります

T : あーあ、そう、あつ、グリーンエリア、とは別に、いろいろ公園がありますか

I : ああ、あの一、あの一、静かなところは 〈はい〉、たとえばー、あの一、い南山の一 〈はい〉
グリーンエリアとー、あの一、名古屋は、いろいろ公園があります

T : ああそうですか 〈はい〉、はい、えーどこか、いい公園を、教えて、ください

I : {息を吸う音} えの一 〈ど、どこ〉、{息を吸う音} あー、あの一、ちょっとー、やー、行
きませんでした 〈ああ{笑}〉、けど{笑} 〈ええ、ああそうですか〉、えーとー、あの一知らない{笑}

T : {笑} 知らない、知らないですか 〈すみません、はい〉、はい、いえいえ、えっと、普段
は、あの一、学校は何時から何時まであるんですか

I : あの一、{息を吸う音} 毎日、えーつとー、えー、くじー[9時]にじゅー、にじゅっぷ
んー[20分]からー 〈はい〉、あの一、あー3時ぐらい

T : あーあーあ、そうですか 〈はい〉、はあ、で、学校が終わったあと、あの一、【姓B】
さんは 〈うん〉、だいたいどんなことをするんですか

I : えっとー、{息を吸う音} あの一、あー、ん、学校にー、あの一

T : あーあー、学校が、終わったあとは

I : ああ、終わった、あの一、{息を吸う音} んー、ときどきー 〈はい〉、あの一、うりよう
に、行きます

T : 寮

I : 寮、あの一、たとえばー、こうゆうかいかん 〈あーそうなんですか〉、あの一私のとも
だちー 〈はい〉、あの一、あー、あそこで、あー住んでいます

T : あーそうなんですか 〈はい〉、えーつとー、交流会館っていうのは、近いんですか

I : んー、ちょっと近い 〈おおそうですか〉、ん、はい、あ、あの一{ため息}、あーこうゆ
うかいかん、{息を吸う音} あー名前は忘れましたけど 〈はい〉、あの一、えっとー、一番、
近く、あー、りよう[寮]、に行きます 〈あー〉、はい、あの一、{息を吸う音} けど名前は忘
れました{笑}、あはい

T : あー、うん、あ、じゃあ友達の寮に行くんですね 〈んー、はい〉、で、で友達の寮で何
をするんですか

I : えっとー、ときどき、テレビゲームをするー 〈はーはーはーはー〉、あー、とー、あの一
、あー話をするー

T: ああそうなんですか〈はい〉, えーっとテレビゲームは, あのー, ゲームの名前を〈{笑}〉, 教えてもらってもいいですか{笑}

I: {息を吸う音}はい, あのーゲームに, あー名前はー, {息を吸う音}えー, スーパースナシューブラザーズ{笑}

T: おおおー, でー, それはー{笑}, ええ, どういう, ゲームなんですか

I: えーっとー, えー, スーパースナシューブラザーズはー, 任天堂のゲーム〈はあ, そうですか〉, はい, はい

T: え, で, えっとー, どういう

I: どういう〈うん〉, ん, つーあー, わかりません, すいません

T: ああ, あの, 人が出てきて〈あ〉, 何かするんですか

I: あのー, えーっとー, {息を吸う音}んー, あのー, えー, ファイティングゲーム〈ファイティングゲーム〉, はーい, はい〈ああ, そうなん, あ〉, けど〈はい〉, あのー, {息を吸う音}えー, くども[子供]〈はい〉, あー, あ, 子供, を, あのー, あー, できますあのー, {息を吸う音}えっとー, まんがとー〈はい〉, あのー, にんてんどん[任天堂]のキャラクターがあります〈はい〉, あのー, {息を吸う音}こわいらない

T: こ, こわく, こわい

I: こわくない〈ああ, こわくない〉, うん, くないゲーム, はい

T: ああ, そうなんですか〈はい〉, あ, ファイ, ファイティングゲームだけど〈はい〉, こわくないんですか〈はいはいはい, そうそう〉, たとえば, どう, どういう, 戦いをするんですか, どういうファイトをするんですか

I: えーとー, {息を吸う音}えーのー, えー, あのー, ときどき[時々], あのー, ポーケーマンキャラクター〈はい〉, と, あのーマリーオー〈はい〉, あのーファイトする〈あはい〉, はい, あのー, えー, んー難しい{笑}

T: あはは{笑}, そうですか〈すいません, はい〉, うん, えーっとー, 子供, が, あの, まあ〈ん〉, 楽しい, キャラクターで, やるんですよ〈はい, はい〉, うん, でも, 子供が, あのー, {息を吸う音}ゲー, テレビゲームをするのは〈うん〉, うん, あまり良くないと思いませんか

I: あー, {息を吸う音}んー, はーい, あまり良くない{笑}

T: {笑}あまりよ〈そうそう〉, えっとー, アメリカの子供もよく, テレビゲームをしますか

I: んー, {息を吸う音}えー, あのー, はい, よくします, と思います〈あーそうですか〉, よくするとおます[思います], はい

T: んん, えーっとー, テレビゲームは, 10歳よりも, あー, あとでやったほうがいいんじゃないかと思うんですが

I: んー, はい, そうと思います{笑}

T: {笑}そうで, ええ〈はい〉, ん, でも楽しいと子供はどんどん, やりますよね, うん〈んーはい{笑}〉, ああそうですか, はい, えーありがとうございます〈ああ〉, じゃあ, あのー最後に〈はい〉, えーっとー, えーロールプレイをしようと思います〈はい〉, えーとー, んー何かいいのがあるか, はーはい, いんしょー, ていーえー, んー, アルバイトはしていませんよねー{笑}〈ん, そう{笑}〉, えーですねー{笑}, そうですね, はい, えーと, ん

一、あ、じゃあ、これにしましょう〈はい〉、えっと、はい、すいません〈はい〉、じゃあちょっと読んでください

I：はい、あの一、友達がー、あーあなたの一、家に、行きます、あの一、どうやって、どうやって行く、かー、あー教えて、あげて、ください

T：はい、意味は、わかりますか〈あの一、はい{笑}〉、{笑}え、え、え、英語も、書いてあります{笑}

I：あ、そう、んー、あーい、あーそうそうそう

T：はい、じゃあ私が友達です〈はい、そう〉、いいですか、えっとー、私はのりこです〈のりこ〉、うん、のりこ〈はい〉、ん〈あー〉、えー、じゃあ、私は、えっとー、【姓B】さんのうちに遊びに行きます〈はい〉、はい、えーじゃあ、スタートで〈はい〉、えー【姓B】さん、明日、あの一遊びに一、行くんだけど、いいー

I：いいーはい、いいです

T：いいです、えっとー、{息を吸う音}守山区でしたよねー〈うん〉、んー、ちょっと行き方がわからないので説明してもらえますか

I：あ、そうですか、はい、{息を吸う音}あの一、えー、大曽根〈はい〉、あの一、知っていますか

T：ああ、大曽根はわかります

I：はい、あの一、{息を吸う音}大曽根の、名鉄、あの一、瀬戸線〈はいー〉、えーとー、あー、のりて〈はい〉、あの一、あー、あの一、大曽根からー〈はい〉、えーとー、ああー、おおもりいきんじょうがくいんまえーえきー[大森・金城学院前駅]〈はい〉、あー、まで

T：あ、駅、駅の名前が

I：大森〈もり〉・金城〈じょう〉学院前〈がくいんまえ、はい〉、はい〈わかりま、はい〉、あの一、はい{笑}〈はい〉、えーと、あの一、駅、から〈はい〉、あの一、あー、北出口〈あ、北出口、はい〉、あー、けじれいきります、あの一、{息を吸う音}えー、えの一、まっすぐにー、あー、行って〈はい〉、あの一、{ため息}んー、10分ぐらい〈はい〉、あー、歩いて〈はい〉、あーください、あの一、{息を吸う音}あー、{ため息}2番、あー、2番のまちー〈はい〉、ああ、2番の一、あの一、あー、あー、あー2番の一どおり、えーと

T：に、2番の通りですか

I：ぬんのとおり、えの一、んの一2番の一、あの一スチュリートは一、あーと、あー、日本語で一忘れまして〈ああ、そう〉、あと

T：北出口を出て、まっすぐ、行って

I：はい、えーつとー、あー、まっすぐにー、あの一10分ぐらい〈あ、はい〉、にします〈10分ぐらいですね、はい〉、10分に行きます、けど、あの一、{息を吸う音}あー、あの一{ため息}、あとフォックがあります、あの一、えーつとー、あー日本ではー、日本語ではー、あー、知りませんけど〈はい〉、えーとー、ん、あー、金城学院〈はい〉、えっとー、あー、きんこ、金城学院に、あーあります〈はい、あ一金城学院〉、あの一はい〈はい〉、あ一金城学院に、えーつとー、左に向かってください〈あーあー〉、あの一、{息を吸う音}あー、それからー、おーじそう[お地蔵]さま、が、あります、あの一〈あーはい〉、あの一、おじそうさまに、あー左に〈はい〉、あー曲がって〈ああ、はい〉、あーください、あの一私の、うちは〈はい〉、あの一、あー、右にいます、右あります

T : あーあーあ、そうですか〈はい〉、えっとー金城学院が右で、お地藏さまが左ですか
 I : あの一、{息を吸う音}あー、もう一度お願いします
 T : ええ〈はい〉、きん、ん、えっとー、まっすぐじゅっ、北口から 10 分ぐらい〈うん〉歩いて〈そう〉、えー行くと、金城学院大学が〈あの一、金城〉、右側にありますか
 I : はい、右、にあります、はい
 T : ある、ああそうですか、で、そのとき、左に曲がるんですか〈はい〉、ああ、で、左に曲がって、お地藏さま
 I : お地藏さま、にいます、あの一〈はい〉、えっとー、おりそう[お地藏]さまに〈ん〉、あの一、あー、左に一〈あああ、はい〉曲がって、ください
 T : あっ、お地藏さまのところをまた左に曲がるんですね〈ん、はい〉、あーそうですか、そうするとすぐわかる〈ん〉、はい、わかりました、えっともし、迷ってわからなかったらどうすればいいですか
 I : あっ、すいません
 T : え、もし私が迷って〈ああ〉、道がわからなくなったら〈あはい〉、どうすればいいですか
 I : あの一、えーっとー、ん一、{舌打ち}すいません、わかりません{笑}
 T : ああ{笑}、そうですか〈そうそう{笑}〉、えーっと、道がわからなかったら、えっとー、道を間違えたら、どうしたらいいですか
 I : えっとー、どうしたら、あー、どうしたら、ん一、わかりません
 T : あー、そうですか〈ん、そうそう〉、えー、{息を吸う音}どうしたらわか〈そう〉、えっとじゃあ、もし、わからないときは〈ん〉、電話してもいいですか
 I : ああ、そう、はい、あの一、電話、してください
 T : あーはい、じゃあ、ん一電話す、したほうが、は〈はい{笑}〉、いいと思うので{笑}、じゃあわからないときは電話しますね
 I : あ、はい、そう、そう{笑}
 T : はい、じゃあよろしくお願いします{笑}
 I : はい{笑}
 T : はい、はいありがとうございます〈あー、すいません{笑}〉、ええええ、そうですね、地図がないのに〈ん一〉説明するのは〈そうそう〉難しいですね
 I : む一、難しい{笑}
 T : ええ、そう、ん、えっと名古屋で何か、道に迷ったことはありますか〈ん一〉、道がわからないって〈えー〉いうのはありますか
 I : あの一、{息を吸う音}道の、名前〈はい〉、あー、ぜんぜんわかりません〈あーそうですか〉、けど、あの一、あー、たとえば、あの一、みせー〈はい〉、あー、店をしています〈はい〉、あの一、店から〈はい〉、おっ、おー左に向かってください〈{笑}〉、あ、そうそう
 T : あー、そうですか、ん、んじゃあ店がある〈うん〉、{息を吸う音}ところは大丈夫ですね{笑}〈はい{笑}〉、店がないところは難しいかもしれませんね〈はい〉、はい、えっとー、もうこれで冬休みなんですよ、もうすぐ〈うん〉、ん、お国へ帰るんですか
 I : はい、帰ります

T : あ, そうですか, お土産は買いましたか

I : はい, たくさん買いました{笑}

T : {笑}買いました, ああそうですか, じゃあ, うん, あの一, お国でクリスマスですね
〈うん, そう〉, あー楽しみですね 〈はい〉, はい, えーつとじゃあ, 今日は, ここで終わ
ろうと思います, えー 〈あ, そう〉, はい, どうもありがとうございました

I : はーい, {息を吸う音}すいません{息を吸う音}

(11) OPI インタビュー (30 分)

T : あのこんにちは

I : こんにちはー

T : えーと、私【姓A】と申します、今日は〈はい〉、どうもありがとうございましたー、忙しいときに

I : 【姓B】と申します〈はい〉、よろしくお願いします

T : えーと、【姓B】さんは**大学でー、教えてらっしゃるんですね

I : はい、そうです〈はい〉

T : あの一、もしよろしかったらちょっと、自己紹介を〈あー〉、いつごろ日本にいらして一、あのどうゆうふう、今〈えー〉、至られたとか

I : えーと一、私は 1999 年、だいが、あの韓国で、えー大学を卒業して、えー日本に来て〈はい〉、まず1年間研究生をやって、その後、ちょっと事情があつ、つ、てま熊本に行ったんですけど、ま熊本で、く、熊本の、熊本で熊本の大学で、えー、修士課程をして、でー、またふっきゅう、福岡に来て、きゅうし、九州大学で修士からから博士まで、えー、もう1度やりました、あ、ええ、今は、えーと一、満期退学一、をして、博士論文を、書いてる、ま、途中です〈はいん〉、でー、まその間に、けっ、あの一、日本人と結婚をして、えー、子供が2人います

T : はい、そうですかー〈はい〉、あの一、じゃ、熊本に最初いらして、それからまた、こう新たにまたマスタを、いどーう、されたということ

I : そうですね

T : で、なにか専門が違うものをなさったとか、そういうことでしょうか

I : ええと一、専門一、ま熊本で、歴史一、ま一、日韓関係史をやったんですけど、でー、九州大学で、まあ、教授法、というか、ま韓国語の教授法をやろうと思いましたが〈うーん〉、えー、なぜかこう、同じ歴史を、こう、続けてやることに〈うん〉になりました〈はい〉、修士からやったのは一、ま、えー、歴史になるとやっぱ、古文書を読まないといけないので〈えーえーえーえー〉、その基礎一、をも1回、やり直すっていうことで、ま修士からやったのかな

T : あー、なるほど、じゃ、あの九州大学のご専門というのは、やっぱり歴史でー

I : はい〈はい〉、で、時代がちょっと一、変わります〈あー〉、熊本大学

T : じゃ、ちょっとその辺詳しく〈ええ〉、ええ、教えていただけますかー

I : 熊本大学ではま、中世一、の日韓関係史一、をやったんですけど、まあ、九州大学では、ま近世、江戸時代ですね、江戸時代の、ま日韓関係史〈うん〉、をやっています〈うーん、ふんふんふん〉

T : じゃー、あのみ、日本と韓国とほんとに歴史が長いと思うんですけども、あの中世からあの近世に〈うん〉、あの焦点をしば、あのやっぱ絞られたっていうのは何か理由が、ありますかー

I : うーん、それ一はい、{咳払い}ま特に、まあ{息を吐く}、特別な意味はないんですけど〈うん〉、こっく、九大一、の一、先生に付くときに、ま専門が、近世と〈ふんふん〉いうことで、ま自分の関心も、あ、自分が、生まれた、あの一、韓国のプサン、に興味があつたので〈ええ〉、そういうプサン関係の、まあ、えーと日韓関係史というか、そこに倭館と

いうのがあったんですね〈はいはい〉、えー、対馬ー、の手先機関というか、そういうのがあったのでそのー、倭館についてー、ま研究してみようと思って〈うーん〉

T：***いちど、私も歴史詳しくないのでちょっと〈はい〉教えていただけますか、倭館ってというのはどういう

I：倭館っていうのはま中世からー、かん、あのー、韓国に、あのー、あったんですけど〈ええ〉、えー{咳払い}、ま中世の場合はー、えーとー、いつ、えーとー、韓国にいくつか、ありましたけど、まそこでー、日本から、使者が行って、そこでー、ま儀礼をして、接待を受けて

T：接待をする迎賓館のようなものですか

I：迎賓館ー、ま中世の場合はそこで、まー、住んでたんですけど〈えーえーえー〉、滞在して〈えー〉、でー、そこで生活もしたん〈えー〉ですけど〈えー〉、でその、倭館ー、の、隣ーていうか、とこに、ま接待をする場所もあったりですね

T：じゃ政治的なー、ポイントでもあったわけですか

I：そうです、そこでいろいろ貿易をやったり〈うーん〉、まそういうったあのー、関係ー、がそこで、あのー、結ばれたていうかー〈うーん〉、そこで行われたというか〈はい〉、でそこを基点にしてー、ま中世の場合はー、ソウルまで上京してー、王様に、えー、謁見して〈へー〉、まそういうことになります、でーそれが

T：あのー、そ、えー〈はい〉、はい、力関係としてはー、どうなんでしょうね、こう日本と韓国というをやっぱり、日本側から韓国に謁見を申し出るっていうかー、***ですね

I：そうですね、えー主にー、こう、えー、まあ、朝鮮というか韓国に行くのは、貿易をするため、なんですね、それをするためには、朝鮮側が、えーとー、あのー、えー、そういうのを要求するわけですよ、儀礼、を、でそれを、あえー、守るっていうか、そゆのを行うことによって、まあ、貿易ができるような〈うん〉、環境が、整うと

T：あのー、ま江戸だ、とーまあ鎖国ーしてるわけですけども〈うん〉、韓国とは通常ー、ま、普通〈わい〉に貿易〈そうです〉していたことでしょうか

I：そうですね、「4つの口」っていうのがあって〈ええ〉、もともとはー、鎖国といわれたんですけどー〈はい〉、ほんとはそうでなかったというのが今の歴史ー、えー、まあ、歴史上の、まー、通説になっているん〈えーえーえー〉ですよ、でー、それが中世から近世にー、なると、その間に大きなこう{咳払い}、えー、変化があったんですねー、その変化っていうのはまー、豊臣秀吉によるー、ぶのけんしゅえきがあったりー〈え〉、文禄・慶長役〈えーえーあーはいはい〉、文禄・慶長の役があったりー、かんこー〔韓国〕で壬申倭乱っていうんですけど、えー、それがあったり、えーまた、みん、明と清の交代、中国の変動と、日本国内の変動と、ま朝鮮側の変動と、まそゆうのがあってですね、えーと、その力関係ていうかー、そのさんこく〔3国〕の関係もー、あのー変わっていくわけなんです、でそのー、まー、その中で日本と韓国ー、だけを見、見てみると、えーとー、先ほど言ったように、ぶのーけいちょうの役〔文禄・慶長の役〕があって、その役によって1回断絶される〈ふんふんふん〉ですね、それがーま、対馬の努力によって、えー、新しく、再開されるようになって、その間で、通信使が派遣される、朝鮮通信使が、江戸時代12回、行くんですよ、で、えー日本からは、えーとー、対馬から、また使者が派遣されるように、ようになって、えー、またこっきょう〔国交〕を再開される〈うん〉、なるんで

すね〈うーん〉、そのときに、えーとー、その日本から来る使者をー、どこでー、あの、えー、ど、どこに泊めるかっていうかー、そのた、滞在するー、場所、っていうのが、プサンにあった倭館ですよ（うーん）、ま中世には何箇所あったんだけど、それを一本化するんです、で、中世には、えー王様に上京して、謁見もするんですけど、それがーできなくなるんですね、それはやっぱり戦争があったからー〈うーん〉、そのとき謁見した道とかで、謁見するために行った道とか、そゆのをちょとぜ、全部ー、あの一、戦争のときに道、として〈うんうん〉、あの一、侵略の道として使われたので、そういうのを朝鮮側はー、恐れて、立つんですね、それでーまー、プサンにあった、倭館で、えーとー、一本化して、そこで、ま外交儀礼とかー、それと貿易をそこでやるような

T：あの一、歴史をなさっているということでー、あの一日本人がよくね、あの一、韓国ー、と日韓の歴史を知らなさすぎる、ていうー、言われるんですけども〈あー〉、えーあの一、【姓B】先生はー、その辺はどう〈あー〉思われますか

I：ま、それは人にもよると思うんですけどー、そのー、ま韓国人はどちらかというと、そゆ歴史好きというか、そゆ人が多いんですね、ま歴史好きというか政治ー、が好き、ま、えー、大統領制なので、直接自分の力でー〈うーん〉、ま大統領選ぶ〈うーん〉、ていうのま、あるかもしれないですけど、ま政治が好きなんですよ（うん）、だからー、何人かー、会ったら政治の話をしたり

T：あーなるほどね、はいはいはい

I：そういうのが、こう、ごく普通〈あーなるほどねー〉、行われるんですけど、えー、日本ではそゆ話をこう、なかなか{笑}、やったこともないし〈あーふんふん〉、聞いたこともない〈あーうん〉ので、そうゆう面ではー、歴史に興味がないのかー〈うん〉、あの一、知識がなさすぎるのか、ま、そゆことを考えるのは〈えー〉、考えたことはありますけど〈ねー〉{息を吸う}

T：ま一方にはあの一、まあ韓国では非常にその、政府に対して日本は嫌いだけでも日本人は好きだとか〈うん〉、あの、そうゆうふうには、日本政府に対して非常に批判的な空気が、あると思うんですね、でまたにっ、日本はどうしてそこー、まで、その過去のことにこだわるのかっていうような見方が、まあある〈ありますねー〉んですけどもねー、その辺はどうゆうふうには〈うーん〉、お感じられますかー

I：も確かにそういうデータも、あるですよ、韓国でアンケートとってみると、1番好きな国、て言ったら、日本、1番嫌いな国で言っても、日本、て出てくるんですね、でー、【姓A】先生が言ったように、ま日本人は好きだけど、まー、日本の政府は嫌いだとか、それはやっぱり、韓国ー、韓国、韓国人っていうか、韓国政府もー、そういういった政治的なー、えー、問題として、竹島問題とかー、そういうのをこう、使っていると、ま日本も、まー変わらないのかなと思うんですよ、うん、そういった意味では、えーとー、そうですね、ほんとにこう、韓国ー、の中でも、日本が嫌いっていう人は、日本を良く知らない人、は、嫌いとか良く言います、例えばあの、教育、あの一、親から聞いた話とか〈うんうん〉、なんとなく、こう、知ってるー、自分の知識で、まあ、まあ、に、に、におー〔日本〕をですね、こう、評価したり〈うーん〉、また判断したり、する人が、結構いるかなと思いますね、しかしこう、にほーんに旅行ー、に来たりですね、日本人の友達がいたりする、するいと〔人〕はー、接してる分、そういう批判は少なくなりますね

T：あの一，国家主義っていうか，国粹主義っていうのがあると思う〈うん〉んだけど，その，日本，自分の国を，んー，愛するというの愛国心〈愛国心〉とかね，そういうものが，まあ非常に重要だという考え方と，それは非常に危険な面があると〈うん〉，国粹主義的になる面があるていう意見がありますでしょ，でー【姓B】先生はどういうふうに思いますか

I：うーん，その線引きは一〈うん〉，結構難しいと思います，えー，まあ最近，日本も愛国心っていうのが，すごくこう，強くなってると思うんですよ，ま韓国一，昔から愛国心とか結構強かった，んですけど，んー，それは必要だと一，は思います，特に一，えー，外に出てみると一，自分の国をよく観察することになりますよね，また，関心も，高まります，1つの例として，えーと，今の大統領の前大統領ノムヨン大統領，がいたんですけど，まあ自殺したんですけど，そのいと[人]が大統領一，に選ばれるときに，私日本にいたんですけど一，ま選挙権はもちろん向こうに行かないとないですよ，しかしあの一，その選挙一，が行われる前日とかですね，ネットを通して，あの若者に一，あの一，投票に行きなさい，投票です{笑}，もうそうゆう呼びかけをしたり一，したこと一，もあります，だから，じふんは[自分は]選挙権がない〈うーん〉，まここにいるからない一，にも関わらず〈えーえーえー〉，ま韓国の，政治とか，そういうこう，成り行きについてですね，すごくこう，悩んだり，友達と話したり〈うん〉する，記憶ありますねー

T：じゃーやっぱり愛国心というのは必要だと

I：必要一ですけど，ま，よく言われるこくしゅい主義[国粹主義]でいいんですかー〈ええ〉，ま一，そこに一，走らなければいいなとは思いますがね〈うーん〉

T：そうですねー，ただほん，自分の国を愛するあまりに一，その他の国を一，あの，はっ，心理的に排斥してしまう，っていうような傾向がま〈うん〉，あのある国ではあると思うんですよ〈うん〉，で，あの一，うん，もし一，じゃ【姓B】先生が，あのそういった立場の{笑}〈うん〉，あの一，ま，こう若者に一，こう，政治的な一，も〈うん〉意味で一，こう愛国心を植えつけなきゃいけない，しかし一，ま，国粹主義というもの〈うん〉の，ちょっと危惧されてるとすると一〈うん〉，あの，どういった，あの一，指導っていいですかね，若者達に，どういったことを，されますか

I：あー，んー，やっぱこう広い世界を見せる，ことが，大事だと思うんですよ〈うーん〉，もそうすることによって一，自分の国を，先ほどゆった〈うん〉ように，自分の国も良くわかるし〈うーん〉，また，あの一，その世界に行ってみて，えー，まだ学ぶこと〈うん〉，気付くことが，あると思うので〈うん〉，より客観的に〈うん〉，見れるんじゃないかなと思います〈ねー〉，ええ

T：はい，ありがとうございました{笑}，ちょっといろいろな確認の話になっちゃいましたが〈うん〉，あの一，そうですね，【姓B】先生は一，あの趣味は，なんですか

I：スポーツー，が好きです

T：あ，何をされますか

I：えーと一，私一は一，自分一，でやることはありませんけど，ま，スポーツ全般好きですね，見るのとか

T：あ，見るのがですか

I：はい，特に野球が好きです

T : あーんー、そうですか〈うん〉、韓国でもや、強い方いっぱいいらっしゃいますよね
 I : そうですね、韓国一、特に、あの一、プサン、ですよね〈うん〉、えー、自分のふるさとー〈うんうん〉、は熱いんです、〈あー〉阪神みたいに〈は一〉、はい
 T : で、かん、あのプサンにも野球チームがあるんですね
 I : あります〈は一〉
 T : じゃ、応援によくいらしてたんですか
 I : えーと、韓国に行ったときには、えー、年に、もう 10 回ぐらい{笑}、よく行きました
 T : じゃー、どうなんでしょうね、日本のチームとか応援の仕方とか、あのそういったことと韓国での〈うん〉、まあ野球の選手のタイプとか、精神性とか、何か違うー、ところがありますか
 I : 韓国一、と日本は一、ま、まず歴史が違うのでー、まあ日本はレベルが上ですよ、ただ、まあ、その、応援の仕方というかー、そゆのはつよっやっぱ違いますね、えー、共通点は一、楽器を使うとかー、そういった面、うるさいですよ{笑}、アメリカは静かに応援するんですけれど、まあ、どっちかというところ、そっちが好きなんです、韓国もチアリーダーとか、前踊ってですね、それそじーッと見、てるおじさんもいたりですね{笑}、日本も、そう応援団がいて、すごく、こう、活発じゃないですかー、うるさい、てーか、うーん、まそれは一、同じなんですけど、例えば、えーと、ドームとかがないので韓国ライター [ライター] になると、いろんな応援グッズという〈うーん〉、新聞紙とかライターとか、まそうゆうのを使ってですね、ビニル袋〈は一ん〉とか、そうゆうのを使ってー、応援するんですね、んまー、独特な一、応援一、の一、こーう、文化、ていうのはあります、日本とちょっと違いますね
 T : あーなるほどねー、よくサッカーなんかでもすごくこう、ん、こ、攻撃的な、ま、思いもする、国もありますしね〈うん〉、あのその辺はやっぱ、国それぞれでいろいろあっていいと思うんですけれども〈うーん〉、どうでしょうかねー、あのもし、じゃ韓国の方たちがワースと日本に応援に来られたときは、何か、トラブルが起こると思いますか
 I : あ、それはないと思います〈あ、は一は一は一〉、はい
 T : それはどして
 I : あー、そー、そ、そ、そうなんていうんですかね、サッカー、でいうフーリガン、あの一、サポーター〈はいはいはい〉なんですけど、激しさと〈えーえーえー〉、そういったこうー、あの一、ものを投げたり、暴動ーを起こしたりする、応援文化じゃないので、ほんとにふこお、ええと、かんこ [韓国] からー、例えばー、今年あの、2 人、パリーグに入った〈は一はいはいはい〉んですね、ソフトバンクに 1 人〈えーえーえーえー〉とロッテに 1 人、その人達を見に来る、人だったら、野球好きでー、また自分のお金を出してくる人だからー、そんなもートラブルなんかない〈うんうんうん〉と思いますね、楽しむためにくる、と思いますね
 T : やー、なかなかやっぱりそのそれぞれ、えー、世界的にこう、いいマナーで見るとていうのもですね〈うん〉、大事なことになってきますね
 I : そうですね
 T : ええ、は一、そうですか、じゃあお休みの日とかよくテレビを見て、応援されるんですか

I : えーつとー, そう, そうですね, 時間があればー, ずっと見るんですけど
T : ご家族で球場に行ったりとかは〈はい〉, され, されますかー
I : はい, します〈うーん〉, 最近はー, あの一, 2人とも, あの男の子なので〈あーはんはん〉, 上の子が5歳, でー, まー, 幸い, 野球ーが, 好きー, なので, まあ, 公園でキャッチボールしたり, うえ, あの一券が取れたら, 切符が取れたら, 一緒に見に行ったりします
T : ***ですねー〈ええ〉
I : 今年はキャンプ行こうかなーとみたいな
T : ああ, キャンプ〈{笑}〉, どういうキャンプですか
I : 宮崎にー, あの一
T : ああ, 宮崎キャンプに{笑}
I : はい, ちょっと行ってみようかなーみたいな, 話で盛り上がったりもしてますけど
T : ホークスが, あ, 応援チームですか
I : そうです, 地元, 地元中心ということで
T : なるほどね, あの一, ホークスちょっとあんまり調子良くなーいんですけども, えー, どうでしょうか
I : 今年ー, うー, ま, 1ファンとして大丈夫でしょう{笑}〈{笑}〉
T : あの一, えーつと男のお子さんがいらっしゃるということなんで〈はい〉, あの一, 子供たちをずいぶん早くからサッカーをさせたりー〈うーん〉, あの一, 野球チームに入ったりさせる, まー親御さんが多いんです〈うん〉けどね, そういうのはどういうふうに思われますか
I : それはいいと思います
T : あー, どうしてですか
I : えーつとー, まあ, これはーイチロ [イチロー] とかー, えーつと, イチノ [イチロー] の伝記とかですね, 松井さんとか城島さんの, 伝記とかー, を, やっぱ, わ, あの一, こっちもー, 読みましたけど, 大体みんなー, 幼いときから, 子供のときから野球とか, やってるんですよね, だからやっぱ, そうゆうのが, もしあの一, 選手なるかならないか別として, 子供には, いいと思いますね, も, もちろん好きだったらです〈あーはいはい〉
T : ただー, やっぱあの一, 野球ーで使う筋肉っていうのが, あの一, 非常にこう限られてたりして〈はい〉, あの一, たとえば投手の方なんか肩を痛め, 子供のとき〈うーん〉痛めちやったりとか〈うん〉いうこともありますよね, そういうのはどうですか
I : それはま, 気をつけないといけないんですけど, そのためにはやっぱ出会いが大事じゃないでしょうか〈あー〉, 監督の, との出会いとか〈あー〉ですねー, この前あの一, 小学校のクラブチームー, をちょっと見学したんですけど, そのー, チーム, つ, 結構強いチームなんですね, で, あの一, 将来あの一, 子供入れたいなーと思って行ったら, あの一, 監督が, も「バカヤロー」を連発したんですよ
T : あ, 練習のときに
I : 「それもできないのかバカヤロー」〈はー〉, 「なにしてるんだバカヤロー」, なんか, 癖のようにバカヤロバカヤロバカ, すんですよね{息を吸う}, あーれおかしいなーと思ってですねー, もその場ではー, まあ何も言えなかったんです〈うんうんうん〉けど, あの一

一知り合いに、そのチームに入れてる、あの親子がいた、あの親がいてですね、ちょっと聞いてみたらー、{息を吸う}、ちょっ「口癖のようにゆってる」と、でもーあの、ボランティアでやってくれるから仕方ないとかー、そういうのを知っててないですね、私はー、いくらー、あのー、教え方が上手でも、あれは良くないと、思いますね〈はー〉、うん

T：じゃー、子供を指導されるときにどういうことに注意してらっしゃいますかー

I：子供だからですねー、遊びが中心にならないといけないですよ、だからー、まー指導っていうより、一緒に遊ぶ〈はー〉、ことが大事だと思います、で好きになれば、例えば、日本語も韓国もそうなんです、たとも語学そうだと思うんですけどー、えーっとその国一の言葉が好きになっ、なるー、もその、国の何かが好きになったら続けられるんですよ、だから、えー、子供が野球が好きになる、ために、こう一緒に遊ぶ〈うん〉、ちょっとこう、あの、練習する〈うん〉、もうそれだけです

T：なるほどね、だたやっぱり野球にもルールがあるしー、それからあの、人間が成長していく上で〈うん〉いろんなマナーとかな決まりごととか、ありますよね、でそういうこともちゃんとと言わなくちゃいけないという考え方もありますよねー

I：それは大事だと思います、ええ、むしろー、あのー、例えば、あ、あ、えーと、例えばうちの息子が〈うん〉、自分野球をやると、決めたらー、それをサポートするのは当然ですけど、そのときにー、えーとー、何を、あの、そ、その子が何を間違ったときに怒るかという〈うんうん〉、まずはそうゆうマナー〈うん〉、間違ったときに〈うーん〉、怒らないといけないですよ〈あー〉ね、そうゆうことをきちんと教えないといけないと思います、技術とつく、技術とかー、そうゆうのはもう〈うーん〉繰り返して練習することで、なおると思うんですけど、日々の生活の、そのマナーとかー〈うーん〉、そうゆうことですね、人に優しく接する〈うーん〉こととかはー、ちゃんと親が、〈うーん〉なおしてあげないとー、なかなか〈うーん〉、なおらないと思うので〈うーん〉、そうゆうの大事だと思います

T：あー、今日本の、まあ、高校生・中学生とか、若者でも、そうですけども、その他人への気配りとか〈うん〉、ばっとその、電車のとき席を譲らないとかー〈うーん〉、あのー後、挨拶しないとか、マナーがああ〈うん〉、ちゃんと身付いてないってよくいわれるんですよ〈うん〉、あ、なんかもしー、あのー、【姓B】先生がー{笑}〈うん〉、そういったこう、青少年指導の立場にあったりしたら〈うん〉{笑}、日本人の若者に対してどういうことしたらいいと思われませんか

I：うーん、ま、難しー、と思うんですけどー〈うーん〉、私高校で、韓国語教えたとき〈はー〉があるんですけど〈はい〉、やっぱりマナー悪いんですよ〈うん〉、携帯を持ってきたりー、学校が、あのー、持ちちゃいけない、学校に持ってきたりいけない、言っても持ってきたりー、もう、授業態度とか、良くないですけど、私ー、の場合は、あのー、まずはー、ええと、その、人と人とのこう、つながりっていうんですか、えー、きついこと言える、ような、環境が大事だと思うんですよ、そういうとど、あのー〈うんうんうん〉、人間関係という信頼関係が〈うん〉、ま、まず、それを重視するでしょう〈うんうんうん〉、その後はもう、まちがた時にはー〈うんうん〉、まあ、ずばりと言う

T：あーなるほどね

I：ええ、今もつ、ついていきますけど

T：きつく言うためには信頼関係がないとー〈はい〉、いけない、ということですね〈たいですね〉

I：だからー、そうです、それがなくてー〈うーん〉、その人も、ほんとに、受け止めてくれるかどうか〈うーん〉、ですね

T：そうですね、はいありがとうございました、えーっとそしたらですね、あのちょっとロールプレイをしたいんですけど〈はい〉よろしいですか〈はい〉、えっとー、今はー、あの一、ま、先生をしてらっしゃる、ていうことですが、ええっと、じゃちょっとこれを読んでいただけ〈はい〉ますか、これ会社になってますけどじゃちょっと大学の上司、ということ〈うん〉に、はい、お願いします〈はい〉、*****どくですね

I：大学の上司に京都に行くと、言ったらー、ぜひ両親の家に泊まって欲しいと言われました、すりー〔失礼〕ならないように、断りなさい

T：ということで私がその、大学の上司〈うん〉、ということに、はんぐしますね〈うん〉、はい、じゃよろしいですかね〈うん〉、はい、あ、今度【姓B】さんあの一、えー京都に行くっていうことなんでー〈あ、はい〉、ぜひ家の両親京都なんでー

I：あ、そうですか

T：ええと泊まってくださいよー、ほんとにあのいろいろ両親もね、寂しがってるんで若い方来ると、喜ぶんですよー

I：あー、そうですかー

T：はいはいえーえーえーえー

I：ええとー、実はあの一、その日、友達とですねー〈ええ〉、ちょっとー、夜一、あの久しぶりに、こう、会う約束して〈ええ〉、その友達の家、泊まることに、もう約束をー、えー、してしまったので、ちょっと今回はー、えーと{笑}、先生申し訳ないんですけど、えー、とすいません

T：あーそうですか、いやでもあの夜はね、せいやって行かれてもあの、ぜひ次の日も京都案内ー、したがると思うんですよ、えどうですかあの一、あの両親に、電話させましょうか

I：いえいえいえあの一、{息を吸う}、まそこまでーこー、していただい、いただけることはほんとにあのありがたいんですけど、{息を吸う}今回はあの一、まあ友達がですね、えーとー、案内してくれるっていう、前からずっとゆってたのでー、えーどうしてもこう、と、友達ー{笑}、との約束を守らないといけないので、先生、どうかあの{笑}、先生から断りいれてくれませんか{笑}

T：あーそうですか、それは残念ですねー

I：すみませーん

T：はい、あ、でもわかりました、じゃあ京都楽しんでくださいね

I：はい、すみませんでした

T：はい、どうも、はい

I：ありがとうございました

T：ということでじゃ、あのこの内容を、あの一、まご自宅の一、あの奥様、日本人ということなので、えっとじゃ私奥さんじゃないんですけども{笑}〈うん〉、あの日本人の、あの、奥様に、この内容で〈うん〉、先生から言われたということで、ちょっと話していた

だけませんか〈はい〉、なんか京都に行くー、準備できたー

I：うーん、まーあの一、{咳払い}そうそうあの一、実はねー〈うん〉、あの一、先生からね〈うん〉、あの一、先生の両親が京都にいらっしゃってー〈あー〉、その両親が、あの一、こんと[今度]あの一、弟子が来るからー〈うん〉、ぜひ家に泊まりなさいという〈あらー〉ことで、あの一、泊まって欲しいって、言われたんだけど〈うん〉、えーとー、断った{笑}

T：あー断っちゃったの一

I：うん

T：いー大丈夫だった一

I：いやちょっとあの一、まあ、先生がぜひー、って言われたんだけど〈うん〉、まこっち、あ、前からあの一、ちょっと約束があって〈うん〉、ちょっと両親に泊まる、っていうのもちょっとあの一、申し訳ないというか、えと緊張するていうかー、えーとー、まそういうことでまあ、まあ、上手く断ったかどうかわかんないんだけど〈うん〉、まあ、友達が、友達とま、あの事前に約束があるっていうことでことわっ〈うんうん〉、断ったけど大丈夫かなー

T：あーそっか、でもいいんじゃないだってご両親って知らないしねー〈うーん〉、緊張するしねー

I：緊張するしー〈うーん〉

T：なんかゆっくり休めないよねー

I：休めないと思う、先生がまたどうだったてー、聞かれても{笑}〈うんうんうん〉、酒、勧められても〈ねー〉、ちょっと酒飲まないのに〈うーん〉、うん、

T：そうですねー

I：まいろんなことがこうー{笑}〈{笑}〉

T：いやでもいいんじゃない、先生もそこまでする意味はないと思うの〈いいのかなー〉、しあらないと思いますよねー、はい

I：大丈夫かなー

T：うん多分、ということでじゃ〈はい〉、京都に行ってきた帰ってきて、じゃーまたこう、上司に会いました〈あー〉ね、ということで、あ【姓B】さん京都行ってきたー

I：あー京都ー、先生あのおかげさまで、行ってきましたありがとうございます、お土産で一す

T：あー{笑}〈{笑}〉、どこを見たんですかー

I：あー京都ー、あの友達一、いつ、いつにちめ[1日目]は夜あの友達と、酒飲んで、酒ていうかまあ、しゃべりして、ま次の日は、京都案内してもらったんだけど〈うん〉、はい

T：じゃあ、あの一、私もね今度あのゼミ一、の仲間で京都に行こうと思ってるんで

I：あーそうですか

T：あのもしよかったら今度写真、いいところあったら写真かなんかちょっと、借りていいかな

I：あーあーあー、いいと思いますよ、まあ私の写真が役に立つかどうかわかりませんが〈えーえーえー〉、もしなんだったらインターネットで調べましょうか

T : あ、そうねー〈ええ〉、うん、もし良かったらいいところを教えてくださいー
I : はいわかりました、先生の方がお詳しいと思いますけど{笑}
T : いえいえいえ、とんでもないですねー
I : それでいいですか、わかりましたー、じゃ
T : じゃよろしく〈はい〉お願いします
I : はい、できる限りことやります
T : はい、***
I : うまいですねー{笑}
T : いえいえいえもう{笑}、あのいろいろやっていただいてありがとうございました 〈いえ〉、で、いや京都はどうですかー、あの一、よくあのいらっしゃいましたか
I : 京都は一、1 回行ったことがあります 〈うーんうん〉、そのときはー、日本一、あんまり知らなかったときだったので、えーと、なんとかなんとか、あの有名なところ、結構回ったんですけど、きんか、つくじ [金閣寺] 〈えーえーえー〉、しか覚えてません 〈あ〉{笑}
T : そうですか、なんか、あ、えー日本でいろいろいらしたと思うんですけど、いっちゃん [1 番] 好きなところって*****
I : 実は一、いろんなところ行ってないんですよー
T : あそうですかー 〈ええ〉、ええ、そうなんですねー
I : 東京一、に行ったぐらいですかね 〈ふーん〉、と、九州
T : え熊本とね、福岡といらっしゃった 〈はい〉のどっちが、好きですか
I : ええとー、両方好きですねー
T : 両方うーん
I : 好き一、なーところっていったら九重が 〈あー〉、好きです
T : 山登りも好きですか
I : 山登り一、は嫌いじゃないです{笑}
T : いいですよー、九重はねー、ほんときれいですよね
I : 今はも家族で、まあ、毎年1 回は行くん 〈はあ〉ですけど、夏にですね
T : いいですねー 〈ええ〉
I : いいですねー、ほんとに 〈あはい〉、ゆっくりできますね 〈はい〉
T : じゃあまたこれからもあの日本の生活を楽しまれて 〈はい〉、それから論文の方でもすね 〈はい、がんばります〉 どんどん出していただきたいと思います
I : ありがとうございます
T : 今日はどうもありがとうございました
I : いえいえ、ありがとうございました

(12) OPI インタビュー (23 分)

T : こんにちは

I : うん, こんにちは

T : えー【姓A】です, よろしくお願ひします

I : 【姓名B】です, よろしくお願ひします

T : はいよろしくお願ひします, 【姓B】さんですね

I : はい

T : 【姓B】さんお国はどちらですか

I : 中国です

T : 中国ですか

I : はい

T : はー中国ってすごく広いですけど〈{笑}〉, 中国のどこですか

I : 中国の, 洛陽です

T : 洛陽

I : はい

T : へー, わたし洛陽行ったことがないんですけど〈うんうん〉, ちょっとどんな所が教えていただけますか

I : うーん, あー, きれいの道ですね〈はい〉, うーん, 花の道

T : 花の道

I : はい

T : へー, それ教えてください

I : あー, 中国の, あー, 一番の, うん, ボタン[ボタン]{机をたたく音}, 花

T : ボタンの花

I : はい

T : ふーん

I : の道

T : の町

I : はい, あっはい

T : へーそうですか, 洛陽, うーん{机をたたく音}, じゃあ, 今度, そうですね, 冬休み, わたしその洛陽に旅行に行きたいんですけど, どんなところを見たらいいですか

I : あー, 洛陽のボタンの公園です

T : ボタンの公園

I : はい〈へー〉, とても, お, 大きい, あ, いろいろな観光客は来てる, えー来ます

T : へーそうですか

I : はい

T : 大きい公園

I : はい

T : なんていう公園ですか

I : あー, ボタン公園

T : ボタン公園

I : はい
T : へー、大きくて、もうちょっと詳しく教えてください
I : あ、あー、大きい公園、うん、うー、いろいろなボタン、を、作るの所ですね、〈へー〉、うん、ボタンの、おー、色は、あ、たくさんあるので〈はい〉、えーちよくで、中国で一番の花です
T : へー、ほー
I : はい
T : ボタンの花がいっぱいある公園なんですね
I : はい
T : へー、じゃきれいでしょうね{机をたたく音}
I : はい
T : ふーん、洛陽に行ったら、じゃあ、何かどんな料理を食べたらいいでしょうか
I : {机をたたく音}洛陽の料理は、名前は、洛陽料理、{笑}です、う、それは
T : ラーメン、へー、どんなラーメンですか
I : ラ、ラーメンじゃない
T : はい
I : 洛陽の料理は、水料理
T : 水
I : うん、名前は水料理、でも〈はい〉、これは、洛陽の、あー、あー、と、特別の食べ物
T : へー、どんな食べ物ですか
I : うーん、洛陽の、料理は、うん{机をたたく音}水{机をたたく音}料理は、あー、のー、いろいろな、うん、ひゃくばす、百、うーん、ぐらい
T : はい
I : {ペンの音}{ペンの音}う、{息を吸う音}{笑}、です{笑}
T : 百ぐらい、料理があるんですか
I : はい
T : へー、じゃその中で一番、有名な料理は何ですか
I : 一番有名な料理は〈うーん〉、あー、{笑}、{ペンの音}あー一番の＊
T : 名前は何ていう料理
I : いち、一番の料理は、あ、んん、水料理
T : 水料理
I : うん、はい
T : へーそれどんな料理ですか
I : それは〈うーん〉、うーん、いろいろな野菜と〈はい〉、肉の食べ物〈はい〉、はい、一緒には、作るの
T : へー、どんな味ですか
I : はあ
T : どんな味
I : 味
T : うん

I : 味をどんなすって
T : 食べたらどんな 〈あー〉, 味がしますか
I : おいしい, お, 水があるので 〈うーん〉, うん, とてもおいしいです
T : とてもおいしいですか 〈はい〉, へーそうですか, それは【姓B】さん作ることができますか
I : うん, は, はいできます
T : できます
I : はい{机をたたく音}
T : へー, じゃちょっとその作り方を教えてください
I : 作り方は 〈はい〉, うーん, つく, あ, {ペンの音} うん, 豚肉, うんと 〈はい〉, 豚肉, と, あいいろいろな, や, 野菜 〈はいはいはいはい〉, あー, 一緒に, あー, あん, あー, {机をたたく音} つく, 作ろう, あ, うーん, ううん
T : 豚肉と野菜を一緒に作る
I : はい
T : どうやって作りますか
I : うーん, うんつとね, うーん, み, 水は, あー鳥と一緒に 〈はい〉, あー, あー, あ, つ, つ, 作ります
T : へー鳥と一緒に
I : あー 〈へー〉 一緒に, 一緒に作りますけど 〈はいはいはいはい〉, うーん, の, み, 水 〈水ね〉, と 〈うん〉, 豚肉の, 野菜の, 一緒に, あー作ります
T : へー, へー鳥肉と, 水と, 豚肉と野菜ね
I : はい
T : へーそうですか, ほー, それから
I : それから 〈うん〉, あー, あー, い, いろいろな, あー特別の料理を, 作ります
T : 特別な料理
I : はい
T : あ, ちょっとそれ教えてください{机をたたく音}
I : うーん, う, 例えば 〈うん〉, あー, あ, うーん, 豚肉料理, と, 野菜料理で, と, おー, あー, お, 牛料理
T : へー, いろいろあるんですね
I : はい
T : へーじゃその中で【姓B】さんが{机をたたく音}作れる料理はどれですか
I : 作れる料理ない, うん, ない
T : ないです
I : はい
T : あそうですか, 分かりました 〈ああ〉, じゃあですね 〈{ペンの音}〉, えーと【姓B】さんは今, えーと日本に 〈{ペンの音}〉いますけど 〈{ペンの音}はい〉, えーと毎日どんなことをしていますか
I : 一番, う, すんません 〈うん〉, も, もう一度
T : 毎日 〈あ〉, どんなことをしていますか

I : どんなこと

T : うん、日本で何をしていますか 〈{ペンの音}〉

I : 今、毎日、学校で、勉強をしています{笑}

T : あっそうですか 〈あー〉、学生ですか 〈*〉、へー、じゃあ、えーとー、1日、【姓B】さんの1日 〈はい〉、朝起きてから、夜寝るまでちょっと教えてください{机をたたく音}

I : 朝、起きたら 〈はい〉、うん、はや、はやで、はやで[部屋で]、うー掃除をしたり 〈はい〉、うーん、日本語を勉強したり 〈うーん〉、うーん、日本の、{手をこする音}テレビを、見たり 〈へー〉、うー、うーんです

T : はいはい、それから

I : それから{手をこする音} 〈うーん〉、あ、うー、自分で 〈はい〉、ご飯を作りますで 〈へー〉、うん、ご飯を、食べ、た後で 〈うん〉、学校へ来たら、うん、友だちと一緒に日本語を勉強します 〈へー〉、うん、え、うーん、6、6時から 〈はい〉、うん、うちで、テレビを、見ます 〈へー〉、うん、そのあ、あー日本の 〈うん〉、新聞を、読みま、でも、分かりません 〈へー〉、{笑}、あの、ええ、あー、毎晩、12 時のときは、うーん、シャワーを浴びます 〈はい〉です、それに、あー、うん、うー、ベッド、ベッドに寝ます 〈はい〉、気持ちがちょうどよろしい

T : へーそうですか

I : はい

T : へー、分かりました、きょうは、【姓B】さんは、ここまで 〈はい〉、どうやって来ましたか

I : どうやって

T : うん、何で来ましたか

I : 自転車で

T : 自転車 〈うん〉、そうですか、じゃあ、【姓B】さんのおうちから 〈うん、自転車〉、自転車で、ここまで来るの、えーと

I : うちから

T : うん、ちょっと説明してください

I : うん、わたし、僕のうちから 〈うん〉、うー、ここまで、は、うん、5分ぐらいです

T : 5分ぐらい

I : うん

T : はいはい

I : うーん、{ペンの音}とても、便利です

T : とても便利です

I : うん、はやで[部屋で]、うーん、ああ、あ、お、な、わたしの部屋は 〈うん〉、あー、うん、うん、はい

T : うん、うちを出て 〈うん〉、ここまで、来ます 〈うん〉、どういう道で来ますか、ちょっと説明してください

I : どういう

T : うん

I : うん、うちから 〈はい〉、うーん、{笑}、ああ、あ、あー

T : 5分ぐらいですよ
 I : 5分ぐらい、はい
 T : うん、ちょっと、わたし【姓B】さんのうちが知りたいから〈はい〉、教えてください
 I : うーん、{机をたたく音}学校から
 T : うん、あの一、うちから
 I : うちから
 T : うん
 I : うちから〈はい〉、あー、{息を吐く音}、う、ずっとー、おー、え、前を、あ、歩いて
 〈はいはいはいはい〉、歩いて、うー、うん、{舌の音}あ、信号を、うー、う、あー、あるの
 で〈はい〉、えー、ちょうど、待ちください〈はい〉、お待ちください〈はい〉、うーん、そ
 れに、え学校は、【地名Cの一部】、【地名C】、あ一駅の後ろで、ですね〈はい〉、はい、と
 ても、つ、あの一、ん、便利です
 T : とても便利です
 I : はい、うん、あー、う、そ、そのまま{笑}
 T : そのまま
 I : はい
 T : 【姓B】さんのうちから、信号、だけですか
 I : はい、あー信号と〈うん〉、でも、電車の{手をたたく音}、{手をたたく音}
 T : 電車の
 I : あー電車の{手をたたく音}〈うん〉、何ですか
 T : 何ですかね、電車の
 I : あー、{笑}、電車の〈うん〉、道です{笑}
 T : 道
 I : はい
 T : あーそれがありますか
 I : はい{ペンの音}{ペンの音}
 T : はいはい、信号と電車の道
 I : うん
 T : うーん
 I : うん、それに〈うん〉、えー、あー、ひ、左、う、うー、はい、左、行き、の、がこえ
 ん、{笑}、がこえん、ん、ん
 T : うーん、左にね
 I : う
 T : うーん
 I : 学校にあります
 T : あーそうですか〈うん*〉、分かりました〈**え〉、ありがとうございます、じゃあ、
 えーとー、さっき【姓B】さんうちに帰ってテレビを見ますと言ってましたけど〈はい〉、
 えーとー、きのうはどんなテレビを見ましたか
 I : あー、日本の、あいか[映画]

T : 映画
I : はい
T : あー, どんな映画でしかたか, ちょっと教えてください
I : {机をたたく音} あいが[映画]の名前は〈はい〉, あー, あ, 『れーこ』
T : れんこん
I : はい, れんこんです
T : れんこんですか, へー, どんな話でしたか
I : うーん, あーん, 恋人の〈うーん〉, お, 生活で
T : 恋人の生活〈はい〉, へーどんな生活でしたか
I : うーん, デート, 恋人はデートを, うん, の, の時〈うーん〉, うーん, うーん, う,
う, たくさんの, ことめ, きたら, い, 行きます〈うん〉, うー, うん, あー, わたしは,
あ, あー, こ, 二人の言葉をきっと, 聞いています〈うーん〉, あー, ちょど[ちょっと]
分かります
T : ちと, うん
I : ちょど[ちょっと]分かります
T : ちょっと分かります
I : はい
T : へー, どんな言葉でしたか
I : うーん, 生活の, す, す, つかうの心は〈ふーん〉, です
T : 生活の誓いの{机をたたく音}言葉〈ああ〉, 何と言っていました
I : {舌の音} う, うーん, あ, あー, おん, 男, 男の人は〈うん〉, 病院で, えー, 病院で,
かぜが, てえへん[大変]ですね〈うん〉, その恋人は毎日, がっ, 病院で, あー, えー, し
ゅいえを, お, お, はあ, 病院で, うん, ん, うん, すいません, と
T : ふーん
I : {舌の音}, 病院で, うん, おもし
T : へー, 【姓B】さんそれを見てどう思いましたか, その映画を見て
I : うん, 日本の生活は, ていへん[大変]ですね
T : あー
I : うん, でも〈うん〉, いいことが, あります〈うん〉 悪いこともあります〈うーん〉は
い, うん, その
T : うーん, そうですか, 分かりました, えーとじゃあちょっと話が{ペンの音}変わります
けど〈{机をたたく音}〉, 【姓B】さん趣味は何ですか
I : 趣味は〈うん〉, 旅行です
T : 旅行
I : はい
T : へー, 日本で旅行をしましたか
I : うーん, 【地名D】, 【地名D】だけ
T : 【地名D】
I : はい
T : へー, 【地名D】 どんな所に行きましたか

I : 【地名D】の温泉へ行きます
T : あーそうですか
I : はい
T : 【地名D】の温泉，えーどんな温泉かちょっと教えてください
I : {舌の音}，うーん，どんな温泉
T : うんどんな温泉でしたか
I : 温泉，に，はい，入った後で〈うーん〉，気持ちは，よくなります〈へー〉，うん，{ペンの音}あ，サクラを見ま，見
T : サクラを見ました
I : 見ました，はい
T : へー，【地名D】の温泉，あのいろいろあるんですけど，〈はい〉，【姓B】さんが行った温泉はどんな温泉でしたか
I : あーそれは忘れた
T : 忘れました
I : うん，はい
T : あーそうですか，ふーん，うんじゃあ旅行が趣味だったら中国でも旅行に行きましたか
I : はい
T : へー，一番，よかったなあと思う所はどこでしたか
I : 一番は，北京
T : 北京
I : あー，はい，まん，まんぎ[万里]の長城
T : あっ，万里の長城
I : はい
T : へーわたしね，万里の長城行ったことないんですけど〈はい〉，どんな所でしたか
I : うーん，まあ，たく，うん，とても長い，え〈うーん〉，うーん，うん，大きいの，うん，建物〈へー〉，です，うん，いろいろな観光客へ行きます〈ふーん〉，うーん，あ，あー，ぜんへ
T : そうですか
I : はいそうです
T : へー分かりました，ありがとうございます〈はい〉，じゃあ，いままでわたしがね，たくさん【姓B】さんに質問しましたから〈あ，はい〉，【姓B】がわたしに何か質問を〈うん〉，してください
I : あー，えー，うーん，先生の趣味は何ですか
T : あっ，わたしの趣味ですか
I : ああ
T : 趣味は，書道です
I : 書道
T : はい
I : 書道は何ですか

T : 書道はあの、中国から来た、えーと筆で字を書きます
 I : 字を書く
 T : うん
 I : あーはい分かりました
 T : はい、書道です
 I : あー、上手では
 T : あー上手かどうか分かりませんが、子どもの時から〈はい〉、20 年ぐらい、しています
 I : はい、あー、うん、日本は、どこの名所は、一番有名ですか
 T : あー日本もね、〈うん〉、いろいろあるんですけど〈はい〉、そうですねー、一番の名所〈うん〉、今だったら冬ですから北海道は
 I : 北海道
 T : 北海道とかいいんじゃないですかね〈はいはい、ええ〉、スキーができますね〈ええ〉、
 I : 北海道の、有名の物がありますか
 T : あー北海道は、そのスキーと、あのおいしい海鮮
 I : おいしい海鮮
 T : うん〈はい〉、魚とか、えー貝とか、海のもの
 I : 海のもの、あーはい
 T : カニとか〈はい〉、がとてもおいしいです
 I : はい
 T : うーん
 I : うーん、それは、それは、あ、こ、この料理の作り方分かりますか
 T : 料理の作り方
 I : はい
 T : 北海道の
 I : はい
 T : あーそうですね、ちょっと難しいですね〈はい〉、うんわたしはあんまり料理が上手じゃありません〈はい〉、はーい〈あー〉
 I : あ、はい、うーん、{舌の音}あー、うん、あー、あ、先生、え、うん、毎日〈はい〉、何をし、しますか
 T : 毎日ですか
 I : はい
 T : 今は仕事が忙しいので〈はい〉、えー朝起きて〈うん〉、学校に来て〈はい〉、仕事をして〈はい〉、えー夜までします〈あー〉、でうちに帰って〈はい〉、シャワーを浴びてご飯を食べて寝ます{笑}〈はい〉
 I : はい、で、先生は、子どもが、いますか
 T : いません
 I : いません
 T : はい
 I : あー

T : はい{笑}, はい, ありがとうございます〈{笑}あ, はい〉, じゃあね, この辺で〈はい〉, ロールプレイをしたいんですけど, じゃあこれを〈あー, あーはい〉, 声を出して読んでください〈はい〉

I : レストランで, 食事をしました, レストランを, 出てからすぐ, 忘れ物をしたことに気が付きました, レストランへ電話をしてください

T : はい, 意味は分かりましたか

I : はい意味は分かります

T : はい, じゃ【姓B】さん〈はい〉忘れ物をしました

I : はい

T : そうですねー, これ, この手袋を〈はい〉, 忘れました

I : はい

T : はい, じゃあわたしレストランの人になりますので, 〈はい〉, 電話をしてください, いいですか

I : あー

T : はい, はい, もしもし, レストラン【店名E】でございます

I : はいもしもし

T : はい

I : はいすいません

T : はい

I : あの一わたしは, きょうは, あー, レストランで〈はい〉, た, えー料理を食べます

T : はい, ありがとうございます, はい

I : でも, おー, 出てから〈はい〉すぐ, 忘れ物を, うー, あー

T : はい忘れ物を

I : 忘れ物があります

T : あーそうですか

I : はい

T : えーとー, ど, 何を忘れましたか

I : あー, あー手の{笑}

T : 手の, はいはい

I : 手, 手の, {息を吸う音}う, * * * * {机をたたく音}, 〈あー〉, あー, あわたしの〈はい〉, あー携帯, 携帯電話忘れ* {笑}

T : あ, 携帯電話ですか

I : はい

T : あー, えーと最近携帯電話忘れる人が多いんですけど〈はい〉どんな携帯電話ですか

I : {ペンの音}, {ペンの音}あー, うーん, iPhone の, だ, 携帯電話忘れま

T : あっ, iPhone ですか

I : ああはい, 赤

T : 色は, 赤

I : 赤いの

T : あっ, 赤い iPhone

I : はい

T : あーそうですか、あと何かこう付いてますかね、iPhone、ちょっとたくさんあるんですけど

I : はい、うーん、iPhone の電話番号が〈はい〉、あー【電話番号の一部】〈はい〉、あーとんとんとんとんです

T : あーそうですか

I : はい

T : えーと、赤い、こくて iPhone、電話番号、あと何か、iPhone に付いていますかね、分かりやすい物

I : あー、あー、iPhone、は、この iPhone は、あ、赤い iPhone 〈はい〉、あ一つむの iPhone は、あー黒ので

T : あーそうですか

I : これだけ、が赤い

T : あっそうですか 〈はい〉、赤いんですね 〈はい〉、あっ、あーありましたありました

I : はい

T : はい

I : はいありがとう

T : どうしましょうか

I : うん、うーん、夜ときわたしは〈はい〉、レストランに来たら 〈はい〉、うーん、あー、あー、携帯電話もらいます、よろ

T : あっ、そうですか

I : うん、よろしくお願いします

T : あっ、分かりました、えーと何時ごろでしょうか

I : あーん、6 時ぐらい

T : 6 時ぐらいですね

I : はい

T : お名前は

I : うん【姓B】、【姓名B】ですね

T : あっ、【姓名B】さんですね

I : はい

T : はい 6 時ごろ、じゃあお待ちしております

I : はい、ありがとうございます

T : はい

I : よろしくお願いします

T : はい 〈はい〉、失礼致します、はい 〈はい〉、ということで、ロールプレイ終わります 〈はあ{笑}〉、こんなことは今までにありましたか

I : {笑} あー

T : {笑}、はい 〈{笑} **、**〉、じゃあ【姓B】さんは今から

I : はい

T : これから何をしますか

I : これから今仕事はない

T : はい

I : この前は掃除の仕事です〈はいはい〉でも今はしていません

T : あっ, そうですか

I : はい

T : へー, 分かりました, じゃあきょうは, どうもありがとうございました

I : はい, ありがとうございます

T : はい

(13) OPI インタビュー (25 分)

T : こんにちは

I : こんにちは

T : えー【姓A】です, よろしくお願ひします

I : 【姓名B】と申します, おもし, よろしくお願ひします

T : 【姓B】さん

I : はい

T : はい, 【姓B】さんお国はどちらですか

I : あっ, 中国です

T : 中国ですか

I : はい

T : 中国広いですね

I : {笑}そうですね

T : 中国のどの辺りですか

I : えとー, 江蘇省という町です

T : コウソウショウ

I : はい

T : へー, コウソウショウの{机をたたく音}何町ですか

I : 町の名前は〈うん〉日本語で, じゃ通訳できんないんですよ

T : ああそうですか

I : はい

T : へー江蘇省, へーわたしそこ行つたことないんですけど, どんな所か教えてください

I : あ, 江蘇省, というのは, 海の隣, にあつて, きれいな町です

T : へー, {机をたたく音}それから

I : それから, 海鮮は, いっぱい食べられます{笑}

T : へー, 海鮮がおいしいんですか

I : そうですね

T : へー, じゃあ, 今度そこに〈{のどを鳴らす音}〉, そうですね休みになったら旅行に行きたいと思うんですけど, 〈はい〉, どんなところを見たらいいでしょうか

I : あっ, 海の近くの町, だから〈うん〉, あ, 海にいたほうがいい, です

T : へー海

I : はい

T : へーそれから

I : {息を吸う音}, それから, うん, あちぐで[近くで]あの, お寺, がいっぱいありますね

T : はいはい

I : わたしの町で, 有名な, 歴史, がある, お寺があるから〈へー〉, ぜひ, 行つてみたほうがいいです

T : あー何というお寺ですか, 名前は

I : 名前は, あ, 和食の和の漢字と〈はい〉, せいごのせい{机をたたく音}の漢字{机をた

たく音}〈へー〉、の、お寺、です
T：へー、どんなお寺なんですか
I：あの、わたしの町で、存在して以来は、もう、300年、以上、です
T：へー、そして、どんな寺
I：そして、みんな、新、新年のときは、あーここ、向こうで、あの、祈り、いのしたり[祈ったり]、何かお願いが、あったとき、あるとき〈うん〉、うん{机をたたく音}、向こうに、行けます
T：へーそうなんですか
I：はい
T：へー、あの一日本のお寺と、何か違いがありますか
I：えっ日本は、神社じゃないですか
T：あー、神社もお寺もあるんですけどね
I：あっそうか、お寺は{机をたたく音}、行ったことないんです{笑}
T：あーそうですか
I：うん
T：へー
I：日本は、神社で有名、と思い〈うーん〉、思います、うん
T：へーじゃあお寺に行ったら海に行ったら、へー、食べ物は、料理はどんなもの食べたいいでしょうか
I：{笑}中国ではあまり、えーと、辛い物、の自然ほうは、かまゆい、かまい、あっ、あ、かまい物は、ばかり、でもわたしの町で、甘い物、ほうが多いです
T：へー〈{息を吸う音}〉、例えば
I：例えば、えどー、うーん、豚肉で、あの、豚肉は酢で作る、料理が、一番有名です
T：へー、それどんな料理ですか
I：このに、作った料理は〈うん〉、あの、酸っぱいし、酸っぱいして、甘い、甘い
T：酸っぱいして
I：え、酸っぱくて〈うーん〉{笑}、甘いです{笑}
T：へー
I：うん、結構おいしいですよ
T：それは【姓名B】さん作れますか
I：あっ、作れます{笑}
T：えーちょっと作り方教えてください
I：{舌の音}うーん、えとー、最初は、あの、に、肉を切って〈うん〉、お湯、お湯、お湯に、お湯、お湯の中に、少し、ゆでて〈はい〉、あとは、あの一、油に入れて〈はい〉、少しあ、えー、いためて〈はい〉、うーん、あとは、あのし、しよじゅ、しよ、うっ、うーお酒〈はい〉、少し入れて〈はい〉、うー、あとは醤油と酢、と、砂糖入れて〈はい〉、少しいためて〈はい〉、うー、肉はあの、白くなったら〈はい〉、あとは、み、えー水を入れて、この、長さはと肉の長さ、同じだいで
T：何の長さ
I：うーん、同じ、あ何か、水と肉の、この、同じ、何という、{笑}、うーん、うーん、{笑}

まあ

T：ほー，そ，それで

I：そのまま，だか，うん，水，ほしたら，もう，食べられます

T：へー〈うん〉，その肉は何の肉ですか

I：豚肉

T：豚肉

I：うん豚肉の，ほうが多い

T：へー

I：うん鳥肉も牛肉も使われ，るけど〈はい〉，豚肉のほうがおいしい

T：へーそうですか

I：うん

T：へー甘くて酸っぱいんですね

I：そうですね

T：へーおいしそうですね〈{息を吸う音}〉，ふーん分かりました，じゃあ今，【姓B】さんは日本に来てるんですけど

I：はい

T：えーと日本で今，何をしていますか

I：あ日本で勉強をしています

T：あーそうですか

I：うん

T：学生ですか

I：はい

T：あーそうですか，えーとー，毎日どんな生活をしていますか

I：あー，日本で〈はい〉，日本語を勉強してますから〈はい〉，毎日，日本語，日本語学校，行きます〈はいはい〉，その間は，何か，バイトしながら〈はい〉，勉強します

T：あーアルバイトもしてるんですか

I：あーはい

T：へーアルバイトどんなアルバイトをしていますか

I：{舌を鳴らす音}すし屋さんのバイトをしています

T：すし屋さん

I：はい

T：へーすし屋さんで，どんな仕事をしてるんですか

I：あっ，{笑}，そのすし屋さんで何でもできます

T：何でもできます

I：はい

T：へー，じゃあ，{机をたたく音}えーとそのアルバイトの，内容の，内容を，そうですね，アルバイトに行ってから終わるまでちょっと説明してください，アルバイトが始まって，終わるまで

I：えっ，仕事を主の，ことですか

T：うーん

I : あっ

T : まずアルバイトに行って、最後帰るまで、ちょっと流れを説明してください

I : あー、バイトしいは、えーとー、{舌を鳴らす音}最初行ったらは、あの、店内の準備し、します〈はいはい〉、何か醤油入れ、たり〈はい〉、はし入れたり〈はい〉、あ、そういう仕事を、したら、お客、お客さんは来たら〈はい〉、うーん何か、もし注文あったら〈はい〉、さかな作る、すしを作って〈はい〉、そういう仕事です

T : へー、さかなもすしも

I : はい

T : 作るんですね

I : はい

T : へーそれから

I : うん、だい、毎日は、あん、しっバイトは、5時から9時まで〈はい〉、大体、8時半、ごろ、片づけですね〈はい〉、うー、それだけです{笑}

T : へー、そうですか、おすし屋さん、へー、そのアルバイト先で〈はい〉、そうですね、あの日本人の、お友だちはできましたか

I : そうですね、仕事の、仕事のお陰で〈うん〉、日本人の、友だち、よくできました

T : あーそうですか

I : はい

T : 一番仲がいい友だち、何ていう人ですか

I : 一番いい友だちは、【姓C】さんといいます

T : 【姓C】さん

I : はい

T : へー、【姓C】さんどんな人ですか

I : {笑} 【姓C】さんはあの

T : 教えてください、うん

I : もう、50 歳ぐらいになった人ですね〈はいはい〉、でもまた、心はそんなに、年取らないです〈へー〉、また、うん、かわいいし〈はい〉、うーん、仲間は、よくできます〈へー〉、いい人です

T : いい人ですか

I : はい

T : 女性ですか

I : いろいろ教えて、もらって〈はい〉、{息を吸う音}、うーん、仕事に、た、役に立つ、ですね

T : へー、例えばどんなことを{机をたたく音}教えてもらったんですか

I : もちろん仕事のことも、教え、てくれて〈うん〉、にんせいの、人生の〈うん〉、ことは、自分は社会の経験〈はい〉、も、いろいろ教えてもらった

T : へー、一番じゃあ【姓名B】さんが心に残っていること、ちょっと教えてください{机をたたく音}

I : 人に対して〈うん〉、どんなほっち、どんな、あ、ことを、すればいい、どんなこと、しなければいい、そういうこと

T : へー, 【姓C】さん何て{机をたたく音}おっしゃったんですか
 I : うーん, まずは〈うん〉, 人に対して, うーん, 悪いことを絶対しない〈うーん〉, え一人に, えー, うーん, {つばを飲み込む音}, うーん, できるだけ〈うん〉, んー自分の, 力で, 助けてあげる
 T : ふーん
 I : そう言いました
 T : そうですか
 I : {息を吸う音}はい
 T : へーその人は女性ですか, 男性ですか
 I : あー男性です{笑}
 T : あっ, そうなんですね〈はい〉, 50歳のね〈うーん〉, へー, アルバイトじゃあしていて, 今まででその一番大変だったことはどんなことですか
 I : まあ{笑}, もちろん日本語です{笑}
 T : 日本語
 I : うん, そうですね
 T : うーん
 I : め, たい, うん, 外国人として〈はい〉, まだ日本語の発音はちょっと, そんなに完ぺき, うん, じゃないですね〈はい〉, だから, 後悔したことがあります〈はいはい〉, うーん, な, 発音ちょっとおかしい, から, うーん, 日本人はす, うん, すぐ分かった〈うん〉, おまえ, あなたは, 外国人です〈うん〉, だから, あとは日本人は, 自分のこと守るから〈うん〉, 何か外国人が, な, 冷たいかな, だからちょっと, 何か, うん, 気持ち悪いですね{笑}
 T : あー, えっどんなことが{机をたたく音}あったんですか, ちょっと, その時のことを{机をたたく音}教えてください
 I : うーんある{ペンの音}日あの〈うん〉, お客様は何か, まぐろを注文した〈はい〉, でもあの, でも, その時はあ, ま, まぐろも, うー, 売り切った〈はい〉, {せき払い}, わたしは何か, 「あーすいません, あの一, まぐろもう, 終わりました」〈はい〉, そんな時は, たぶん, 「分かりました」の, 発音ちょっと, おかしい, から〈はい〉, お客様はもう一度, おれの, わたしの, 「終わりました」, もう一回, 言いました〈ふーん〉, ちょっと, そんな時はちょっとな, うーん, 気持ちが悪いな
 T : あーそうですか
 I : うーん
 T : はーそうですか
 I : その一日もう, がっかりした
 T : うん
 I : 一日もがっかりしました{笑}
 T : あーそうですか{笑}, へー, アルバイトもね, 大変ですよ, うんじゃあちょっと話がわるんですけど, えー【姓名B】さん, 趣味は何でしょうか
 I : あー趣味ですか
 T : うん
 I : 趣味はあの, わたしは, えーと, 中学校から, 高校まで〈はい〉, 6年間〈はい〉, ず

っと、スポーツの練習しています〈へー〉、だから、スポーツは、わたしの趣味です

T：た、何が一番好きですか

I：うーん、中学では〈うん〉、あの、100メートル、と400メートル〈へー〉、のわたしのすんには、せんいこうですね、あと、高校に、になったら、バスケットボールも〈うーん〉、うん、まあ練習し、てました

T：へー、じゃ走るのとバスケットボール

I：そうですね

T：そうですか、あーわたしバスケットボール、最近やってないのでちょっとルール忘れちゃったんですけど〈{笑}はあ〉、ルール、教えていただけませんか

I：あっそうですか{笑}

T：はい

I：バスケットボールは〈はい〉あの、5人、5人対5人と3人対3人の、試合が、あります〈はい〉、5人と5人は、あの、ちょっと、大きな場所で、場所で、あ、する、え、します〈はい〉、うーん、でもす、今しかい、世界では、うー、人気があるのは、あのー5人対5人ですね、うーん、{笑}

T：うん、5人対5人

I：{息を吐く音}、うーん、う

T：っと、＊試合の、方法をちょっと詳しく教えてください

I：{笑}〈うん〉、ちょっとのー、うーん、{ペンの音}、うーん、えどー、いっえー、この、ボールを持つ、この、{机をたたく音}チームは〈はい〉、もしあの相手に、相手、は、あの、ぶつ、かったら〈はい〉、この相手は絶対、何か、うーん、ちょっと説明できない{笑}〈{笑}〉、ちょっと難しいですね

T：難しいですか

I：うーん、専門の、言葉、いっぱいあります{笑}

T：あー、時間とかは

I：あー、え、時間は、あのー、うーん、試合は、あの、四つが分かれます〈はい〉、一つは、12分ぐらい〈はい〉、{つばを飲み込む音}、{机をたたく音}、そうですね、それで{笑}

T：うーん、じゃあ12分を、四つ、4回

I：あー4回です、{息を吸う音}

T：へー、割ときついですね

I：そうですね

T：ふーん、そうですか、じゃあ、【姓名B】さん、えーと高校の時にバスケットボールしてたんですよね

I：はい

T：へー、バスケットボール、ルの、魅力は何ですか

I：あ、みりおく何ですか

T：魅力〈ええ〉、魅力、うーんと、好きなど、何、どういうところが好きなんですか

I：あーそうですか、{息を吸う音}、うーん、バスケットの技術は、もし、もしたら、うん、ちょっと、格好いいと思っ、思いました{笑}

T：はいはいはい〈うーん〉、格好いい、うーん

I：うーん、後は、そのチームの〈はい〉、そういう、力で、うん、勝つのは、それは、いいと思います

T：チームの力で勝つ

I：うん、バスケットボールは、一人じゃなくて〈うん〉、チームです〈うーん〉、5人で全力にして〈うん〉、うん、勝てます〈うーん〉

T：じゃそういうところがいいですね

I：そうですね

T：なるほど、分かりました、じゃ、【姓名B】さんは今あの一日本語学校で勉強している、学生さん、って聞いたんですけど

I：はい

T：これから、えーの予定、将来はどうしますか

I：{息を吸う音}あ、日本、来る前は〈うん〉、あー日本で、日本語を勉強して〈うん〉、大学に、行って、後は、日本でし、就職したい、と思ったけど〈うん〉、その、日本来た以来〈はい〉、今まで〈はい〉、自分で〈はい〉、いろいろ見て〈はい〉いろいろ聞いて〈うん〉、ちょっとそういう考えも、変わりました

T：あつ、どうして

I：んん、今、わたしはもう、そんなに、若くないですね〈あー〉、もうすぐ30歳に近くになりました〈あー〉、なんで、{息を吸う音}うーん、大学は4年間ですね〈うーん〉、しつもんとかは、2年間〈はい〉、だから2年間の、短い、選ぶ時間、選んだ、{息を吸う音}、日本で、就職、したいんですけど〈うん〉、今の経済の〈うん〉、悪い、悪い、ですから〈うん〉、ちょっと、なかなか就職できないと思いますね〈うーん〉日本、人も、日本人が、い、人もいっぱい〈うん〉、就職できないですね〈うん〉、だから、日本で、すーもんがく[専門学校]卒業したら〈うん〉、{つばを飲み込む音}、できるだけ日本、日本で就職したい〈うん〉、{息を吸う音}もし、ほんとに就職、できなければ〈うん〉、国で帰るしかないですね

T：あーそうですか、国へ帰るね〈うーん〉、そうなんですよ今、日本人もね、仕事がないんですよ

I：そうですね

T：そうなんです、だから、ちゃんと大学で勉強しても、卒業しても仕事がない人も、多いんですよ

I：そうですね

T：うーん、えーとー、そうですね、そういうニュースを見たりしますか

I：ああ、そうですね

T：ほー、あれって、その、国民の、努力、だけじゃあ、ねえ、どうしようもない部分もあって

I：{笑}そうですね

T：何か政府も何かしなければ、ならないんじゃないかと思うんですけど〈うん〉、【姓名B】さんどう思います

I：じゃー、経済は〈うん〉、ひとず[一つ]国、で、でそんなに簡単にできないと思います〈はい〉、{息を吸う音}だから、いろいろな国、が相談して〈うーん〉、どうやって、そういう経済、回復する〈うん〉、なのか〈うん〉、どうやって、うん、どうやってあの一、う

一ん、どうすればほうがいい、か〈うん〉、{息を吸う音}それ考えたら、あのす、専門家、
にとって、たぶん、解決できるかな、{息を吸う音}

T：専門家がね

I：はい

T：ふーん

I：われわれ一般市民はちょっとな{笑}、無理と思います{笑}

T：そうなんですよね、だから、そう、そういう専門家とか政府が何かこう、対策をして
くれないと、なかなか〈うん〉、ねえ、解決しないと思うんですけど〈そうですね〉、どん
な解決が、欲しいですか解決方法、方法がいいと思いますか

I：うーん

T：若い人たちが仕事がない

I：{舌を鳴らす音}

T：会社も、そうですね経営がうまくいなくて、社員を首切り、したりしますよね

I：{笑}それはしょうがないですけど〈ねえ〉、うーん

T：{息を吸う音}、その【姓名B】さんみたいにしっかり勉強した、若者たちが仕事が、
せつかく勉強したのに仕事がない

I：うーん、そうですね〈うーん〉、だ、会社の中は、あの、むしろ60、50、50、50歳、
60、歳以上の〈うん〉、人は、辞めさせて〈はいはい〉、あの、わけい[若い]者、を募集し
たほうがいいんじゃないかな〈ほー〉、若い者、やる気もあるし〈はいはいはい〉、うーん、
経験は、ないけど〈うん〉、あ、仕事を、したら、経験、絶対、あると思います〈うーん〉、
{息を吸う音}、うーん、そしたらどう、しようかな{笑}、{息を吸う音}

T：うーん、そうですね、じゃあ、もう割と、{息を吸う音}、もう年齢がきたら、退職を
してもらって

I：そうですね、退職、うん

T：若い人たちをその分入れると〈はい〉、なるほどね、うーん、分かりました、じゃあこ
の辺でちょっとロールプレイをしたいと思うんですけどもね〈はい〉、はい、っとー、
はい、これを、大きな声で読んでもらえますか

I：あなたは携帯電話を持っています、今月はその携帯電話の、電話代の、せんき[請求]
が多くて、おかしいと感じています、それを、電話会社の人、に話してください

T：はい

I：はい

T：意味分かりましたか

I：はい分かりました

T：えーと【姓名B】さん携帯電話の〈{ペンの音}〉会社はどこですか

I：あつ、ドコモです

T：ドコモ

I：はい

T：じゃあわたしドコモの人になりますので〈はい〉、電話をしてもらえますか

I：うん

T：はい、うーんはいもしもしドコモでございます

I : あっ、もしもし【姓名B】と申します

T : あっ、はい

I : あの一、きょう電話代の、せんし、せんきょうし[請求書]をもうとどい、届いたんですよ

T : はい

I : ちと、分からないことが、こと、ことがあるんですが

T : はい

I : ちょっと聞きたいんござ、いいんですが

T : はいどうぞ

I : えっと、ちょっと今度の、電話ん代、今回の電話代のせんじゅ[請求]は、多いですね

T : そうですか

I : えー、ちょっと、分らないん、分らないんですよ

T : あーそうですか〈{息を吸う音}〉、あーじゃあちょっとお調べしますので、お電話番号教えてください

I : うんはい、【電話番号Eの一部】〈はい〉、【電話番号Eの一部の間違い】、【電話番号Eの一部】〈はい〉、【電話番号Eの一部】{笑}【電話番号Eの一部】

T : はい、えー少々お待ちください

I : はい

T : あっ、はい、えーと【姓名B】ですかね

I : はい

T : はい、えーっとそうですね、今回ご請求分先月分なんですけれども、請求額が 62,300 円となっております

I : そんな、高いですね

T : ええーそうですね

I : 信じられないですよ

T : ちょっと明細今見ているんですけれども、えーと音楽のダウンロードと、デコメール、をかなり、何百通もされているようですけれども

I : {息を吸う音}えー〈あの一〉、そんなこと、ないと思いますよ

T : 音楽ですね、1 曲につき 1,000 円かかる、の、を、そうですね、どのくらいかな、500 ぐらい、と、あとメ、デコメールっての 1 通、1 通につき 300 円かかるんですけど、ご存じでしたか

I : あっそうですか〈はい〉、メールをそんなに高いですか

T : そうなんですあの、絵が動くメールがありますよね

I : ああ

T : あれは 1 通 300 円かかるんです

I : あっそうですか{笑}

T : はい

I : ああ一分かりませんでしたそれは、そのほうは

T : はい、なので、デコメール送られるときはお気を付けください

I : あっすいません

T : はい
I : ありがとうございます
T : はい, ありがとうございます
I : はい, すいません, 失礼します
T : はい, 失礼します, はい, ロールプレイ終わります 〈{笑}〉 {笑}, こんなこと今までありましたか
I : うー, ないです
T : ないです
I : はい
T : デコメールしますか
I : デコメ, しないです
T : しないです
I : 普通のメールですね
T : 普通のメールですか
I : うん
T : あっ, よかったですね {笑}
I : {笑}, あれ, そんな高いですよ
T : デコメールは, えっ, 300 円もしませんが
I : うん
T : ちょっと高いですよ
I : あーん
T : うーん, 楽しいんですけどね, さあ, えーとじゃあこれから【姓名 B】今から何をしますか, このあと
I : うーん後は, まだ昼ご飯食べないですね
T : はい
I : 一回, {笑}, 昼ご飯食べて 〈はい〉, バイト, 行きます
T : おすしのバ, アルバイト
I : まっ, すし屋のや, すし屋さんのバイト, もう辞めた
T : あーそうなんですか
I : うん
T : へー, 今は
I : 今はあの, あの, こんにゃくの, 工場で, バイトしています
T : あっそうなんですね, 分かりました, じゃあきょうは終わります, ありがとうございます
I : はい, ありがとうございます

(14) OPI インタビュー (25 分)

T : こんにちは

I : こんにちは

T : えー【姓A】です, よろしくお願ひします

I : あーん【姓名B】と申します, よろしくお願ひします

T : よろしくお願ひします, 【名B】さん

I : はい

T : 【名B】さんお国はどちらですか

I : あー中国です

T : 中国ですか

I : はい

T : 中国のどの辺りですか

I : うーん, 内モンゴル, という所です

T : あっ内モンゴル

I : はい

T : あーそうですか, へー内モンゴルわたし{机をたたく音}行ったことがないんですけど
<はい>, ちょっと{息を吸う音}, えー今度, そうですね, 休みができたなら旅行に行きたい
と思うんですけど

I : はい, ぜひ{机をたたく音}

T : ちょっとどんな所か紹介していただけますか

I : うーん, お薦めの所, とか

T : そうですねちょっとどんな所か, わたし行ったことがないから, 紹介

I : あー

T : うん

I : {息を吸う音}, うーん内モンゴルといえば, うん, やっぱり, 草原が広い<あー>, つ
ていう, うん, 旅行に行ったら, もう, うーん, 馬に乗るとか, あの一, あの一, すもん[相
撲]とかを見るそれ, うん, 内モンゴルのナダムという, うーん, それ, パーティ, お祭り
のときって<はい, ナダム>, うん, 遊んだら, うん, いいと思う

T : ふーん, ナダムっていうのはいつあるんですか

I : ナダムって8月20日に<へー>, 毎としの8月20日にします<はいはい>

T : へーちょっとどんなお祭りか{机をたたく音}教えてください

I : うん, 昔から, モンゴルの, うん, すもん[相撲]とか, 馬に乗る試合とかをして, み
んな, あの一, お, お酒を飲んであの一, 歌を歌ったり<ふーん>, とか, して, うーん, 昔か
らいつも遊んでいた

T : へー<はい>, 何の意味がある{机をたたく音}, お祭りですか

I : うーん, おう, む, おう, 昔の{机をたたく音}<うん>, うー, う, それ, 馬に乗ると
か, 歴史とかで, うーん, それ, {机をたたく音}モンゴルの, 文化とかを忘れないために
<へー>, うん, みんなに, あの一, モンゴルの{机をたたく音}文化とかを, {机をたたく音}
かいん, うん, あ, 見て<うん>, もらったり, とか, あの一, 将来の, モンゴルの人たちに
<うん>, これモンゴルな, うん, {机をたたく音}, とても, えー{机をたたく音}いい文

化とかを{机をたたく音}〈うん〉、うーん、{机をたたく音}つつぎて、{机をたたく音}ほしいうていう〈ふーん〉、意味があるん、ある、と思うけど〈ふーん〉

T: へーじゃあそこで、〈{机をたたく音}〉、馬に乗ったりとか〈はい〉、へー、そうですか、ふーん、分かりました、えーとー、そうですね、そんなときは、何かどんな特別な料理がありますか、お祭りのときは

I: うーん、うん、あります

T: はいはい、どんな物食べますか

I: うん、モンゴルの特別な料理ってなん、{机をたたく音}羊とかを〈はい〉、{机をたたく音}うん、{机をたたく音}コジ、名前は、あん、コジヤンと言いますが〈コジヤン、はい〉、あの一、{机をたたく音}羊を、うん、す、うー全部の体を焼いてから〈はい〉、作った、料理って〈へー〉、それ、先にはうーん、皮とかを{机をたたく音}全部取って{机をたたく音}〈はい〉、あの、うん、中のも取って〈はい〉、洗ってからあの{机をたたく音}〈はい〉、いるいる[いろいろ]、うー、{机をたたく音}味見をしてから〈はいはい〉、あん、火に焼いた料理って{机をたたく音}

T: 中を取って味見

I: はい

T: はい、味見っての肉のですか

I: はい、それーしおがらいとかは入れて、あん肉に〈はいはい〉、じゃ、それ、かけてから〈かける〉、はい〈へー〉、うーん、焼いた料理です〈へー〉、とてもおいしいです

T: そうですか

I: はい

T: へー、それは、おうち、うちで作れるんですか

I: うん、作れる〈あつ〉、作ります〈うーん〉、はい

T: なるほどね

I: はい

T: ふーん分かりました、じゃあ、8月に行くといいですね内モンゴルに

I: はい

T: へー、それは、観光客も参加できますか

I: うん、できます

T: あーそうですか

I: はい

T: 分かりました、じゃあ、{机をたたく音}【名B】さんは今日本にいらっしゃってるんですけど〈はい〉、いつ日本に来ましたか

I: うーん、く、こっ、あー去年の〈うん〉、4月に来ました

T: あっ去年の4月、あーじゃあもうどのくらいになるんですかね日本に来て

I: まあ、8カ月ぐらい

T: 8カ月、なるほどねー

I: はい

T: ふーん、えー、えーと今学生ですか

I: あーはい

T : あっ, そうですか{机をたたく音}

I : はい

T : へー, えーとー, じゃあ, えー【名B】がじゃあ日本に, 来るきっかけって何だったんですか

I : うーん, えー, 日本の, 経済を勉強したいっていう, {息を吸う音} うー, うん目的があるので〈ふーん〉, あの, 何とかあの, 日本語を勉強して〈うん〉日本の大学に入って〈うん〉, それ, 経済のと, 日本は経済が, うん, とても〈うん〉, 有名ですから〈うん〉, でもそれを勉強したいと思っていた〈ふーん〉

T : 日本の経済勉強したい

I : はい

T : どうしてそう思ったんですか, 経済が有名っておっしゃいましたけど

I : うーん, やっぱあの〈うん〉, 自分の国, あ国からの, あん, いなかのふるさとの所とかの, あの, うー, 生活とかを〈うーん〉, うん良くなるように, するために〈はい〉, あの経済と雇用を勉強して〈はい〉, あの一ふるさとに何かいいことしたいと思って

T : あーなるほどね, あー, そうですか

I : はい

T : じゃあ日本語を勉強始めたのも

I : うん, こう, こ, 去年の〈はいはい〉, 去年, あ去年, あっ, 1000, あ 2009 年の, あっ 2009 年の〈はい〉, うーん, 9 月から〈うん〉, 勉強した

T : あーそうですか

I : はい

T : へー, じゃあ今, えーとそういう夢を持って日本に来られてるんですけど, 今そうですね毎日の生活どんな生活かちょっと教えていただけますか

I : うん, はい

T : はい

I : うーん, 授業は〈うん〉, 学校の授業は〈はい〉, 午後 1 時から〈はい〉, あっ 1 時 10 分から〈はいはい〉, 5 時まで〈うん〉します〈はい〉, ほかの時間には〈うん〉, あの一, うん, アルバイトとかとかも〈うん〉, します〈ほー〉, 時々, 〈はいはい〉, はい, それであの一, 夜だったら, うん, とく, う, 勉強するとか〈うーん〉, うん, もし, バイトとかなかったら〈うん〉勉強するとか〈うん〉, あの一, ほかの, 外国の友だちと〈はいはい〉, あの一, いるいれ[いろいろ], 遊んだりあの〈うん〉, うん, 話したりとか〈はいはいはい〉, します

T : へーそうですか, ふーん, えーとー, 今は, そうですね日本の生活, えーと教えていただいたんですけど〈はい〉, 将来は中国の生活に何か役に立つことをしたいんですよ

I : はい

T : じゃあ, 今, 【名B】さんが日本に来ての生活と, 中国での, えー今までの生活, えーとーちょっと比べてみて, 〈ああ〉, もらえますか

I : はい

T : どう違いますか, うーん

I : うーん, 中国にいた時〈うん〉, うん, それ, 料, 例えば{机をたたく音}料理も〈はい

はいはいはい〉できないし〈うん〉、全部あの一、うーん、家でも、う、何も作れません〈うん〉でも、あ一、それであの一、いつも、学校とかも、うん行ったら全部、料理とかは全部しませんので、食堂とかで食べます、それで、うーん、う一、それ、何か、心配なことは〈うん〉ないっていうことか、何が、うん、それ、例えば日本に来て〈うん〉あの一、できれば〈はい〉自分であの、う、できると、を、自分でやって〈うん〉、あの、とか、アルバイトをとかして〈うん〉あの、うん、両親の責任を、あの、できれば、軽くする〈うーん〉、ってふう、か{手をたたく音}、うん、そうしたいってう気持ちがあるんですね〈うーん〉、あのそれで日本に来て〈うん〉、一人であの生活して〈うん〉あの、将来だ、あーそれに、前はそんな経験なかったのだから〈うーん〉、う、今はそんな経験してあの、将来も、いるいる[いろいろ]に役に立つと思う

T：うーん

I：はい

T：じゃあ今日本では、全部自分で〈はい〉、いろんなことを、〈はい〉、ふーん

I：国にいる時にあの〈うん〉、全部両親とか〈うん〉、友だちとかで〈うん〉、うん、してもらったり〈うん〉とかしてました〈うん〉けど、日本に来てから〈うん〉、自分でしたって

T：うーんなるほどね〈はい〉、すごいですね〈うん〉、大変でしょうでも

I：{舌の音}{息を吸う音}、大変けど〈うん〉、あん、う一、{息を吸う音}{息を吸う音}*、こんな経験〈うん〉絶対あの、とおるので〈うん〉、うーんやっぱり、うーん、いいと思います、はい

T：あっそうですか、なるほどね、じゃあさっき、あの一{机をたたく音}、〈う〉、学校が終わってから、ほかの国の友だちと話したりしますってさっき、〈はい〉、おっしゃいましたけど、ほかの国の友だちって、どこの国のお友だちですか

I：うーん、{机をたたく音}ネパールとか{机をたたく音}〈うーん〉、あの韓国とか〈うーん〉、日本人ともいるいる〈ああ〉あの、遊んだりとか〈はいはいはい〉します

T：そうですか

I：はい

T：{机をたたく音}へーじゃ、一番仲がいい、お友だち{机をたたく音}、のことをちょっと、どんな人が教えてもらえますか

I：うーん{ペンで机をたたく音}、{ペンの音}外国人の中で

T：はいはいはいはい

I：うーんネパールの友だちと

T：はい、ネパールの、お名前は

I：うーん、【名C】

T：【名C】さん

I：【姓C】とか

T：あ一、じゃあ【名C】さんどんな人かちょっと教えてもらえますか

I：うーん、とても優しい人{机をたたく音}です〈うーん〉、あ一、優しくてあの、うーん、{机をたたく音}いろいろ[いろいろ]、{机をたたく音}みんな、え、いつもいる、う、一緒に遊んで、これ、ほかの人、気持ちとかはよく考えてくれる、〈ふーん〉、とか〈うん〉、あ

の、何か困ったことがあったら〈うん〉、うん、助けて、あげたりとかし{ペンで机をたたく音}〈へー〉、うん

T：そうですか、一番、その一、【名C】さんとのことで一番{机をたたく音}思い出に{机をたたく音}残っている、こととかありますか

I：あー、それはうーん、【名C】さんは〈うん〉、うん、それ、何か、{息を吸う音}、お化けの夢とかして〈はい〉、それがあった時〈はい〉、うーん、みんな、続いて、【名Cの一部】さんの部屋に行って〈はい〉寝たりとかしました〈へー〉、それは、一番、と思います

T：へー

I：はい

T：そうですか

I：はい

T：一緒にね、夜

I：はい夜一緒に〈ほー〉、あの、怖いと言って〈はいはい{ペンで机をたたく音}〉あの、一緒に寝たりとか〈ふーん〉したって

T：へー〈はい〉、いい関係ですね

I：うん

T：へー、じゃあ、今は〈はい〉、えーと一学校の寮に住んでるんですかアパートに住んでるんですか

I：あー学校の〈うん〉、寮に住んでいます

T：あっそうですか、一人で住んでいますか

I：いいえ二人です

T：あっ二人ですか

I：はい

T：へー、それは中国の人ですかネパールの人ですか

I：あー中国の人です

T：あっ、そうですか〈はい〉、へー、二人で、えーと寮の生活って、えーどうですか、人間関係とか{ペンで机をたたく音}どうですか

I：うーん、{ペンで机をたたく音}{息を吸う音}、{ペンで机をたたく音}えーとても、あーいいですと、仲がいいです、はい

T：あっ、そうですか

I：はい

T：は一、何か問題とか、今まで、ありましたか、困ったこととか

I：小さい問題〈うん〉とかも、あったけど〈はいはいはい〉、やっぱりあの、{息を吸う音}、大丈夫ですって

T：ああ、そうですか

I：はい

T：どんな問題があったんですか、ちょっと教えてください

I：うーん、〈うん〉、{ペンで机をたたく音}うーん、時々あの〈うん〉、二人、{ペンの音}{息を吸う音}、時間とか〈うん〉違う、{ペンの音}とか〈はい〉、それで、あの一、{机をたたく音}**アルバイトして〈うん〉、時間が、違うので、あの一、最初は二人一緒に、し、

料理とかを、いつも食べていたけど〈はい〉、あの一、たぶん、う、二人アルバイトできて、から、二人の食事の時間は、**違うようになって〈はい〉、うん、いつも食べていたけど、それ、突然あの、時間が違って〈うん〉あの、別々に食べる〈うーん〉ことになって〈うん〉ちょっと{ペンで机をたたく音}{息を吸う音}、何か、うーん、{息を吸う音}、何か、お一悪いかなーと思ったけど〈うーん〉、なあ何が、二人何が、あーん、仲が、いつも〈うん〉、いいでしたけど〈うん〉、これで、ちょっと何か問題があったなあと思った、〈あー〉、それでも〈うん〉、うん、時々〈はい〉、二人は、時間が、{机をたたく音}同じ時も、{机をたたく音}いつもはあの、一緒に作って食べています〈ふーん〉、できれば

T：そうですか

I：はい

T：じゃあその時に、あ時間が合わなくなった時に、何か二人で話し合いとかしましたか

I：あー

T：どうやってこう、問題解決しましたか

I：はい〈うん〉、あん、{ペンで机をたたく音}あー二人はやっぱり〈うん〉、あの、時間が違うので〈うん〉、あの一、別々に、うー、食べ、食べたとか、あーもし、あ、あなたが早く来たら〈うん〉、帰ったら〈うん〉、あの、先に料理作って食べて、ってふうで、〈ふーん〉、{ペンの音}ただ、話したり{ペンの音}

T：あーそうですか

I：はい

T：へー、じゃあ、今も、いい関係なんですね

I：はい

T：あーそうですか、そうですね、じゃあ、えーつとーさっきね、ネパールの【名C】さんの話とか、韓国の人とも、仲がいいんですか

I：あーはい

T：うーん、えーとー{ペンで机をたたく音}、そういう違う国の人と〈はい〉、えーとー、まあ話ししたり交流したりする中で〈はい〉、えーと何かこう、あー国によって違うなあと思ったこととかありますか

I：うん{ペンで机をたたく音}、はい、あります

T：はい

I：うーん、{ペンで机をたたく音}うん、ネパールの友だちとかは〈はい〉、あの一、食事習慣とか〈はい〉は違う、あのいろいろ[いろいろ]お祭りとか多い〈はいはいはいはい〉、ですね〈はい〉、あの一、い{机をたたく音}、それ、{机をたたく音}【名C】さんの{机をたたく音}、{机をたたく音}ネパールの、パーティとかお祭りとかしている時〈はい〉、{机をたたく音}、あの、参加してみて〈うーん〉あの{机をたたく音}、うん、ネパールの生活、とかあの、習慣とかは、あのやっぱり、{机をたたく音}わたしの国と違うなあと思った

T：うーん、どんなふうに違いました

I：うーん、うーん、{机をたたく音}【名C】さんの〈うん〉、うん祭りとかで〈はい〉、ネパールの人たち、それ、はし使わないで〈はいはいはいはい〉、料理食べるし、それ、うー、料理作るのも、あの、う、わたしの国とかで違うので〈あー〉、あの一、う、それ、うー、宗教とかを〈はいはいはい〉、あの、{机をたたく音}ネパールの人たちは〈はい〉、よ

く、あの一、信じているっていう***〈はいはいはいはい〉

T：宗教とかは、えー【名B】さんの国では、どうですか

I：国では〈うん〉、あん、信じている人は、いるけど〈うん〉、{机をたたく音}うん、わたしは、あの{手をたたく音}、あまり信じませんね

T：あーなるほどね

I：はい

T：ふーん、日本人も、あの無宗教、宗教がないっていうことでよく言われるんですけど〈はい〉、宗教をそうですね、信じることにについて、うーん、【名B】さんはどのように考えていますか

I：うーん、す、しゅ、信じるって、あん、何がそれ、うーわたしも、う、あ、それ何か〈うん〉、宗教の行事とか〈うん〉を、を、しているのを、賛成します〈うーん〉、ん、それどうしてかっというのがある、もし{机をたたく音}、{机をたたく音}わたしがあの、{机をたたく音}困ったとか、ことがあって、あの、ずっと、うー、この間ずっと、悪かった、でもそれは良くなってから、あの一、それ、宗教とかの、〈うん〉、行事にはいつから{机をたたく音}あの、今から、あの一、その、困った事柄出て、その恐れから、出てきてあの今から絶対そんなことに遭わないように、とか、を、自分の心で、そんな恐れから出てきま、出て、きま、くるので、出て、出るので〈うん〉、あの一、{息を吸う音}、いい、とてもいいと思います〈うーん〉、何か、心に何があの、力が入ります〈あー〉、入ると思うの、です

T：あーなるほどね、ふーん、そうですね〈はい〉、あー、へー、じゃあ【名B】さんはいか、宗教を信じて、らっしゃるものがありますか

I：うーん、今、わたし、信じていむな、何かもう、信じていません、って

T：うーん、なるほどね、えー、韓国のお友だちと、何かこう違う面はありましたか

I：うーん

T：そういうそうですね、行事関係以外に、〈うん〉、あの一人間関係で違うなあとか、えー、交流する中で、あー韓国人と中国人違うなあと思ったこととかありますか

I：うん、ありますよね〈はいはい〉、あー、{ペンで机をたたく音}韓国の友だちとかで{ペンで机をたたく音}〈うん〉、いつもあの、あっ、話す時〈はいはい〉、あの、韓国の友だちとかであの、よく、それ、くち、あっ、みんなの前で{机をたたく音}話すときは〈うん〉、{机をたたく音}あのとてもいい、何か遠慮して話す、とか、{机をたたく音}、何が、それ、友だちになっても〈はい〉、あの、とても遠慮して話したり〈あー〉、とか、っていうんで〈うん〉、何かあの一、何て言うか、うーん、とても、あの、礼儀が、とて、とても強い、あ、というか〈ふーん〉、と思うんですね〈あー〉

T：じゃあ、それに比べて中国の人はどうなんですか

I：うーん、中国の人〈うん〉、は〈うん〉、あー、友だちとかあの、仲良くなったら〈うん〉、うん、話とかで、あまりそれ、敬語とかって〈うーん〉、話しません〈うん〉、とかいいうことで

T：あー、敬語でね

I：はい

T：は一韓国はそういうす、あの一、上下関係も{机をたたく音}厳しいですからね

I : はい

T : そうですか、それを見て【名B】さんどう思いました

I : うーん、うーん、それは{ペンで机をたたく音}、あの、時々は〈うん〉、そんなにあの、敬語とかを〈うん〉使う、必要がない〈あー〉と思うんですよ〈ふんふんふんふんふん〉、あの一、でも〈うん〉、やっぱり〈うん〉、その、ほうがいいと思います、はい

T : あーそうですか

I : はい

T : どうして

I : うーん相手をあの、いるは、いつも尊敬している〈うーん〉気持ちを〈ふんふんふんふん〉感じるので

T : あーなるほどね

I : とても、いいと思います{ペンで机をたたく音}

T : ふーん、そうですか

I : はい

T : 分かりました、じゃあいろいろお聞きしたんですけどね

I : はい

T : えーとこの辺で、ちょっとロールプレイをしたいと思うんですけど

I : はい

T : はい、これを、声に出して読んでもらえますか

I : はい、うん、読み始めます

T : はい

I : 友だちと約束をしましたが、行けなくなりました、友だちに電話をしてください、どうして行けないか、言ってください、そして、時間と場所を、考えてもらってください

T : はい〈はい〉、意味は分かりました

I : あん、はい、分かりました

T : じゃあ、この友だち、そうですね〈はい〉、さっき出てきた【名C】さん〈はい〉、にしましょう、わたし【名C】さんになるので〈はい〉、えーと、電話をしてもらえますかね

I : はい

T : えー時間を場所を変えて、ほら電話を

I : ああ、はい

T : うん、いいですか

I : うわっ{机をたたく音}、先生

T : うん

I : これで、あー、{机をたたく音}友だちが〈うん〉、あ、わたしが、友だちで約束してから

T : そう、【名C】さんと約束したんですけど

I : {机をたたく音}はい

T : 行けなくなったんですよ

I : ああはい{机をたたく音}

T : うん、行けなくなった理由をちょっと考えてもらって

I : ああ、はい
T : はい、いいですか
I : はい、わかりました
T : はい、はいもしもし
I : あー、うん、【名B】ですが
T : あー【名B】さん
I : はい、こんにちは
T : うん、こんにちは
I : あの一、き、きのうの約束で、あの一
T : うんうんうんうん
I : 行かなきゃ、いえ〈うん〉、行かなかった、でも、{息を吸う音}、あの一、急に〈うん〉、あの一、アルバイトの店長から〈うん〉、電話し〈うん〉、来たん、ので〈うん〉、あの一、うー、約束に〈うん〉、行かなかったの
T : あっ、えっ
I : すいませんですね
T : あーそうそう、きのうの約束、きょうは、授業が終わってから一緒にご飯食べに行こうっていうだったよね
I : はい
T : うんうんうん、えー楽しみにしてたけど〈あー〉、どうしたの
I : あの一、急にアルバイトが入ったので〈うーん〉、あの一、今度〈うん〉、したいんだけど
T : あーほんとじゃきょうは、駄目なんだ
I : はい
T : そっかー
I : すいません
T : アルバイトだからしょうがないよね
I : はい
T : うんうん、じゃどうしようか
I : あんー、う、来週の土曜日はどう
T : 来週の土曜日
I : はい
T : あっ、来週の土曜日はいいよ、わ、わたしもアルバイトない
I : あーはい〈うん〉、そうだったら〈うん〉、一緒に〈うん〉、あの、日本の回転ずしに行つて〈おっ〉、食べようか
T : はい、回転ずし行ったことないから行ってみたいね
I : はい、一度経験とかしてみたいっていう
T : そうだね、うんうんうんうん
I : 【名C】さんは〈うん〉、あの、それ生きかなは、大丈夫ですか
T : あっ生ざかな
I : はい

T : 最初駄目だったんだけど、あの一、だんだん食べられるようになったよ
 I : あーそうしたら 〈うん〉、いいね 〈うんうん〉、あの一、一緒に食べよう
 T : うんうんうん
 I : はい
 T : 分かった 〈はい〉、じゃ何時にしようか
 I : うーん土曜日の、夜、5 時ぐらいどお
 T : 5 時 〈はい〉、うん、いいよ
 I : はい 〈うん〉、5 時ぐらいあの、【名 C】さんと 〈うん〉、うーん、【公園名 E】公園で、会いましょう
 T : 【公園名 E】公園で
 I : はい
 T : うん、5 時に 【公園名 E】公園 〈はい〉、分かりました
 I : はい
 T : はい
 I : はい
 T : じゃあね
 I : じゃあね
 T : はい
 I : はい
 T : はい、つということ {笑}、ロールプレイ終わります
 I : はい
 T : こんなことが今までありましたか
 I : はいありました
 T : {笑} ありました
 I : はい
 T : 回転ずしに行きました
 I : あっついし、行きました
 T : 行きました
 I : はい
 T : そうですか、へー、じゃあロールプレイもあるんですけど
 I : はい
 T : えーと 【名 B】さんは、さっきねえ、最初経済を 〈はい〉、日本で勉強したいということなんですけど 〈はい〉、えーっとー、今の学校はいつまでですか
 I : うーん、う、1900、あ、あー、あ、11 年 〈11 年〉、の 4 月までで
 T : あーそうですか
 I : はい
 T : じゃあそのあとは、どうする、つもりですか
 I : できれば 〈うん〉、あ {机をたたく音}、日本の大学に進学したいです
 T : あーなるほどね
 I : はい

T : 経済ね
I : はい
T : うんうん, それから
I : うー
T : その後は
I : その後は〈はい〉, うーん, 国へ帰るつもりです〈うーん〉, はい
T : 国へ帰ってね〈はい〉, うんふん, 国のために〈あはい〉, したいですよ
I : はい, 何か, あの一, したいんですね〈うーん〉, 経済のぎょう, 経済と関係がある〈うーん〉, あの一, 会社とかで〈うん〉, 働いてから〈うーん〉あの一, 何か, やっぱり{机をたたく音}自分の〈うん〉, {机をたたく音}できれば〈うん〉, 頑張って自分の会社とかをつくりたいと思ってるけど{ペンの音}{ペンの音}
T : おーすごいなあ, うーん, しっかり夢を持っていて, すごいですよね
I : う, うん
T : はい, じゃぜひ頑張ってください〈{ペンの音}〉
I : はい
T : きょうはありがとうございました
I : はい, ありがとうございました

(15) OPI インタビュー (27 分)

T : こんにちはー

I : こんにちはー

T : きょうはありがとうございます

I : いいえー

T : わたしは【姓A】です, お名前を

I : あ, あ, 【姓B】と申しますー, よろしくお願ひします

T : お願ひしまーす, 【姓B】さんじゃあ, えっと自己紹介をお願ひできますか

I : はい, 簡単な〈はい〉自己紹介ですね

T : はい, お願ひしまーす

I : はい, でー, あの一, 【学校名C】のもので【姓B】と申します

T : 【学校名Cの一部】

I : 【学校名Cの一部】

T : あ【学校名Cの言い間違い】

I : あ【学校名C】ですね

T : 【学校名C】, はい

I : 【学校名Cの一部】ですね〈うーん〉, はい, でー, ことしー, 【学校名C】で, に, 院
生2ねーん[2年]で, M2 なんですが〈はい〉, はい, 日本に来てー, まだー4 カ月ぐらい
〈ふーん〉{笑}, はい

T : はい, あ, そう, 4 カ月前日本にいらっしゃったんですかー〈はい {笑}〉, 初めての
日本ですか

I : えー二回目ですね〈あ, 前も〉, 初めての, はい, ひろしまー[広島]の近く〈あーそ
うなんですか〉, 広島県, 広島, まあ福山とか〈あー〉, おのみちー[尾道]とか

T : その時も留学だったんですか

I : いやや, とおかか, かん[10日間]の〈うん〉ほうもんー[訪問]ですね

T : あ, そうですかー〈はい〉, えー, でも, なんか東京とかじゃなくて広島のほうに行か
れたんですねー

I : なんかー, えーと, せとないかーい[瀬戸内海]のなんかの〈はい〉, えープログラム
ーに参加して〈へー〉, はい来ました

T : あそうなんですかー〈はい〉, えーその時はどんなことをされましたか

I : えー, まずーは, えーと【学校名D】で〈はい〉, なんか, なんか歓迎式を〈はい〉,
受けて〈うん〉, それから, えーとー, 宮島へー〈はい〉行きました〈あー〉, はい

T : 有名な場所ですよー

I : そうですね, で〈宮島で, うん〉, はい, 宮島で, その, 有名な, と, 鳥居〈はい〉,
をさ, あの一, 見てー〈はい〉, そのなんか, なんか, きくーの, なん, ん, とかのさいー
〈ん, きくー〉, な, の〈はい〉, ま, 祭りですね

T : まつげ

I : はい, ま, 祭り〈祭り, あ, 祭りー, はい〉, はい, 祭りにーはい, 祭りを見てー〈は
い〉, なん, んー, はいいろいろー, ま, 見物しました{笑}〈ふーん〉, はい

T : どこか思い出深かった所はありますか

I : ひ、宮島ですか

T : 宮島ですか

I : えー

T : あ、宮島でもいいですし〈で、あー〉、その広島に行った時に

I : そうですねー、広島、まあこの前にー、平山〈はい〉、美術館〈平山美術館〉、はい〈へー〉、尾道の近くーにありますね〈あーそうですかー、はい〉、はい、そこへ行って、はい、なかなかいい美術館でしたって思いまして〈ふーん、あーそうですか〉、はい、で、このまえー〔前〕、前、く、先月かなー〈はい〉、ひ、平山さんが亡くなって〈あ、そうなんですか〉、なんか、はい〈ふーん〉、そのー美術館のことを見て〈うーん〉、あー、え、広島のことを思いー出しました〔笑〕

T : あーそうなんですか〈はい〉、美術館に行くと平山さんの絵がいろいろ飾ってあるんですか

I : そうですねー

T : はー、その中で特に、【姓B】さんが好きな絵はありました

I : なんかシルクーロードー〈シルクロード〉、に関する絵ですが

T : どんな絵かちょっと教えてください

I : なんかー、ゆう、ゆうひー〔夕日〕があってー〈はい〉、ラクダ〈はい〉、もありました〈うん〉、し、はい、そのような、感じ、まさに、西安とほとんど同じーような感じで〈うん〉、いまー〔今〕ラクダがないですけど〈ふーん〉、はい、うん

T : ラクダがあって夕日があって、ど、どんな感じの、ほかに、説明をしてもらおうとすると

I : そうですねー、なんか、こうさー〔黄砂〕〈はい〉、〔笑〕黄砂そのような感じですね〈あー〉、西安はーやはり、こうどこうげん〔黄土高原〕、こ、こう

T : こうどこうげんって何ですか

I : えー、あま、砂〈はい〉、黄色い砂の、高原ですね〈あー〉、はい〈へー〉、まあ、風がー、大きい時なら、結構、街が砂が多いですの〈ふーん〉、はい、そのような、風景を、思い出しました〈あーそう〉、で、日本は今名古屋に居ますから〈はい〉、名古屋はやはり、うちのふるさと〈うん〉、ま大連とほとんど同じで〈ふーん〉、風、あ、どんなに風がお、つきくても〔大きくても〕〈はい〉、ま大丈夫ですね〈あ〉、砂がないですね〈あそうですね〉、はいはいはい〈うーん〉、はい、西安は、ちょっと、ま砂が多いの、でー〈うーん〉、乾燥だし〈ふーん〉、うーん、ま雰囲気がちょっと違いますね〈あなるほどねー〉、はい〔笑〕、〈あそうなんですか〉、はい、で、もう一つ、印象深いのは〈はい〉、広島の、なんか、【学校名D】のー学生ですね〈はい〉、なぜな〔笑〕、うちの、大学はー、やはり男女の比率、男性のほうが圧倒的に多いです〈あそうなんですか〉、はい〈ふーん〉、【学校名D】は〈はい〉もともと女子だいがくー〔大学〕なので〈へー〉、女性がいっぱいー〔笑〕居ましたし〈はい〉、え、結構楽しかったです〈あー〉、はいみんな

T : また違う雰囲気なんでしょうねー

I : そうですねー、うーん〈へー〉、はい、広島で、名古屋に来てー〈はい〉、〔息を吸う音〕なんか、しゃべる、チャンスがー、少なくなーるー感じがします〈あー〉、なぜなら、今の所はですね〈はい〉、院生として〈うーん〉、来ましたので〈はい〉、授業はほとんど院生の

授業で〈そうですねー〉、はい、結構忙しいですね〈うーん〉、{笑} 特に、まあ【姓E】先生の授業〈{笑}〉、で、1,000語研究を読まなければ〈はい〉いけないしー〈はい〉、本をたくさん読んで〈うん〉、逆に、日本人と交流する〈うーん〉、チャンスが一、少なくなりました〈あー〉、もし大学生として交換して、来ますならー〈うん〉、なんか、本を読まなくてもー〈うん〉済みましたし〈うん〉、日本人の友達がたくさん、でて、できるかもしれないーい〈うーん〉と思いますが

T: あー、そんな感じだったんですか

I: そう、はい、今の、所、今朝もー〈うん〉、あの一、考えましたがー〈はい〉、でー日本に来て4カ月ぐらいたって〈うん〉、話しことは一の〈うん〉、あの上達は、ほとんどーない感じがしますね〈あーそうなんですか〉、はい〈ふーん〉、留学生センターは、まあ普通、チューター〈はい〉、を、日本人のチューターをひとつ [一つ]、あ一人、あの一配置してくれましたが〈あ、へー〉、でなんか、僕〈はい〉、ま、{息を吸う音} 日本ぶんかー [文化]、まだ〈うん〉、分かーりませんでしたし〈うん〉、中国人のように〈うん〉、まあ必要なときー [時] 電話で連絡してもいいって〈うーん〉言いましたが〈うん〉、たぶん相手に、傷をつけましたし〈うーん〉、ちゅう、まあ中途半端〈うん〉、なんで〈ふーん〉、はい、結局、まあ、な、あの、ち、一応〈はい〉、ま、やめました〈あ、そうなんですか〉、その、はい、日本人のチューター

T: あー、大変でしたねー

I: そうなんですねー、まあこれから〈うーん〉来学期もチューター〈はい〉、して、まあ廃止してくれましたし〈うん〉、留学生センターは〈あーそれは良かった〉、でー、その時はまちゃんとー〈うん〉、週に、まあ〈うん〉、何曜日、とかー〈うん〉、何時間、何時から何時まで〈うーん〉、ちゃんと、まあ、はい、えー、まあ、スケジュールに〈うーん〉書くーように〈うーん〉、したいと思います〈あーなるほどね〉、はい〈ふーん〉、やはりー来るのはまだー時間がー短いかなって {笑}

T: 来るのは〈はい〉、来るの、どういうことですか

I: ま、あま、来た、ま、4カ月ぐらいいー

T: あーそうですよね〈はい〉、うーん

I: そうですねー〈ふーん〉、なんか、んー、ま、トラブルとかー、しっばいー [失敗] なところですね {笑}

T: あー〈はい〉、いまー [今]、か、時々ありますか

I: そうですね、い、最初は、今の所ですね〈はい〉、こん、今回は一前回と違う〈はい〉、ところーは、僕、ちょっと、静かー〈うん〉、になりましたっていう〈あ〉感じーですねー〈へー〉、なぜなら、前回は一〈はい〉、なんか、とってーもー、気軽くー、ふぁん、日本人とー〈うん〉話をかけるーとか〈うーん〉、まあそういうことをいろいろしましたが、今、1年間ですから〈はい〉、できるだけ、あーのーおとなしくで

T: あ、1年間だけなんですか

I: はい、1年、いーまー [今] 1年間ですが、えーとー中国のなんか奨学金を〈はい〉申請してまた〈うん〉、来るー予定ですが

T: へー〈はい〉、あ、今ってじゃあ修士課程に入ってるんですかね

I: 入ってまま、中国に〈うん〉入ってまま〈あ、そう〉、こっちに来ました

T : あ、今ここではじゃ研究生なんですか

I : けん、まあちょくべつ [特別] 聴講生で

T : あ、聴講生で

I : 聴講生〈へー〉、はい

T : あーなるほどねー

I : はい、でー〈うん〉、結構、前回よりー〈はい〉時間が長いのでー〈うん〉、できるだけー、まあおとなしくでー〈{笑}〉、なんかーそういうふんいきー [雰囲気] を皆さんに、与えたいですーが〈あーそうなんですか〉、で〈うん〉、えー最初は一、皆さんとー親しくないの〈はい〉、できるだけ、黙って〈うん〉、皆さんと親しくなってから〈うん〉、またいろいろーしゃべりたいですが〈あー〉、これは、実際とはちょっと違うーような感じがします

T : あー、どんなところが違いますか

I : で、日本人は〈はい〉 こういう感じが、僕に〈うん〉、こういう印象を、あ、与えてくれました〈うーん〉、で、向こうは話してくれなかったら〈うん〉、進んで話すー、人が少ないですね〈あー〉、にほんじーん [日本人] っていうのは〈うーん〉、はい、で今の感じは、まあできるだけ、進んで〈うん〉、話をかけて〈うん〉、向こうも、はい、笑ってー〈うん〉話してくれるーっていう感じー〈うーん〉ですね、なぜ、このような感じー〈うん〉、に、この、ような考えをしましたか、この前一応、一応バイトをしましたが〈へー〉、飲食店で〈はい〉、結構大変でした〈うーん〉、で、そのときー [時] の考えですね、自分はただ、まあ黙って〈うん〉、ちゃんと自分の仕事をして〈うーん〉、あの店長とか皆さん、ほかの人、に認めてくれるーならば〈うん〉 いいってーいう感じーでしたが〈ふーん〉、で、自分がー、まあ、こ、まあつくづく、まこつこつ〈うん〉、やる、仕事をやる〈うん〉、こと、っていうふう、まあまあ、せ、飲食店の〈うん〉、ようなー感じ〈うん〉、ですっていう考えがありましたし、で、向こうも、ち、まあそのいんしょくてーん [飲食店] にも〈うん〉、中国人も居ますーけど〈うーん〉 中国人同士話をするっていうことを見ると〈うん〉、なんか、ちょとしつとー [嫉妬] ってーいうか、そ

T : 嫉妬〈はい〉、誰が誰に嫉妬するんですか

I : じゃ僕はまあ〈はい〉 僕はまあ、こつこつ〈はい〉、やっているのにー〈あーはい〉、はい、あつちはー〈うん〉、しゃべりとか〈あー〉、おしゃべりて、とか〈うーん〉、そういうことをしているー〈うん〉、ことは、ちょっと不公平、と感じましたね〈あー〉、でー、結局皆さんとー〈うん〉、仲が良く〈うん〉、なかったの〈うん〉、そしてーまあ授業にも〈うん〉影響がありましたし〈うーん〉、し、夜の5時から〈うん〉、深夜のにじー [2時] ぐらいまで〈あー大変ですねー〉、はい、大変です、した〈ふーん、あ、そうだったんだ〉、そして、に、年末のころ〈はい〉、1週、週に〈はい〉、5日間はもう、無理やりーやらせてー〈うん〉、はい、はい〈へー〉、でー、けっきょくー [結局] 辞めました

T : あー、大変でしたねーそれはねー

I : そうですねー、はい〈ふーん〉、でまあ、{笑} こんどー [今度] まあバイト〈うん〉、まあしなくてもいいという感じがしますねー〈うーん〉、別にいまー [今] 本を読まーなければいけないしー〈そうですねー〉、はい、中国の奨学金をー〈うん〉、も、もし合格できれば〈はい〉、結構いい金額を〈うん〉、い、いいまあ、ま給料とは言えないですが〈うん〉、

奨学金〈うん〉、をもらえます〈ふーん〉、うん

T：あそしたら勉強にも集中できますよねー

I：そうですねー、まあ、バイトしなくてもー〈うん〉、済みましたし〈なるほどねー〉、はい、結構今〈うん〉申請中なんですが{笑}

T：うーん、通るといいですよー

I：はい〈うーん〉、とれば[通れば] まあ、いいですねー{笑}〈うーん〉、はい

T：いろいろ【姓B】さんも苦労されたみたいなんですけど〈はい〉、もし【姓B】さんの後輩が〈はい〉、日本に留学するとしたらどんなアドバイスをしようと思いますか

I：そうですねー〈うん〉、まずは、もし、大学院生、同じ院生だったらー

T：そうですね院生として来るとしたら

I：そうですねー〈うん〉、やはりー来るのは、自分の目的はー〈うん〉、稼ぐーではなくて〈うん〉、まあ勉強ですね

T：うーん、稼ぐというのはお金をですか

I：そうですね〈あー、そうですか〉、まあ今の一僕の状態ですね〈うん〉、まあ、ジャッソの一奨学金をもらいますのでー〈うん、うん〉、はいできるだけ、勉強に〈うん〉集中したほうがいいと言います〈うーん〉、てー、て、まあアドバイスをしますね〈うん〉、なぜなら、中国の日本語の本は少ないです〈あーそうなんですか、うんうんうんうん〉、すく、はい、で、うちの大学は、本は結構、多いって〈うん〉言えますけど〈うん〉、やっぱりー少ないです〈うーん〉、例えば、このまえー[前]、僕、【姓E】せんせーい[先生]に〈はい〉、まあ研究課題を〈うん〉、み、ま、早く一見つかたほうがいいと言われました〈うんうん〉、でー、えー、研究課題をー〈うん〉、探す、ためにまあ本、雑誌とか本を読まなければいけない〈あそうですねーうん〉、ないので、中国で、ほとんどないですね〈うんうーん〉、で中国の、院生が〈うん〉自分の研究課題は〈うん〉、やはり、先生から〈うん〉もらうって〈うん〉いうかたちです

T：うんなるほど、じゃ後輩にアドバイスは勉強

I：に集中してくださいって

T：うーん、ほかにありますか

I：ほかはー〈うん〉、うーん、ですねー〈うーん〉、うーん、今のところ〈うん〉、ただ、まあ勉強の面で〈うーん〉、生活の面だったらー〈うーん〉、そうですねー生活だったら〈うん〉、来る、前に、料理を〈うん〉、覚えなければいけないって{笑}〈あーそうですか{笑}〉、はい、そうですね

T：うん、アドバイスしたいですか

I：そうですねー〈うーん〉、僕、まあ来るのは9月の末ごろーですから〈はい〉、中国の、夏休み〈うん〉、7月8月ごろですから〈はい〉、このふつ、二日間の間〈うーん〉、結構、家でー、りょうりー[料理]を覚えました〈うーん〉、でー、来て、じ、ほとんど自炊ですね〈うーん〉、ここで〈あー〉、はい、で、も、8万でしたから〈はい〉、し、し、ジャッソの奨学金〈あーそうなんですか〉、8万だったら〈うん〉、もしー食堂で食べるのは〈うーん〉、結構きついですね〈あーそうですねー〉、きついというのは〈うん〉、足りないですね〈あーなるほど〉、家賃もありましたし〈うん〉、が、大学は家賃〈うん〉、まあ少しー分担してくれますけど〈あーそれはいいですねー〉、いえー[家]は、はい、月3万円〈うん〉

ぐらい〈うん〉、かかりまっす〈あーそうですね〉、はい、8万のうち3万円〈うん〉、は家賃でー〈うん〉、ほかは5万円で〈うん〉、ま、結構

T：そうですね〈はい〉、ちょっと大変かもしれないですねー

I：そうですね〈うん〉、まあ自炊なら、ちょっと余裕がー〈うーん〉出ますね

T：じゃ自炊を覚えてくださいっていうこと〈そうですねー〉、ほかに何かありますかもし日本人とコミュニケーションを、こう円滑に進めるために何かアドバイスありますか

I：そうですねー、うーん

T：【姓B】さんの、体験から考えて

I：そうですね、やはり、僕のように〈うん〉、進んで〈うん〉、話をかけったほうがいい〈あーなるほど〉、そうですねー〈うーん〉、はい、まあ、【姓A】さんのー〈うん〉、知ってるかどうか一分かりませんが〈はい〉、今いん、研究生の中に〈はい〉、ま【姓F】、【姓F】君っていう男の人が、居ます〈あーそうなんですか、うん〉、はい、で結構おしゃべりで、おしゃべりなんで〈{笑} はい〉、ぼくー【僕】の考えで〈はい〉、まあ、おとなしくーしてー〈うん〉、まあ、そのようなー〈うん〉ふんいきー【雰囲気】〈うん〉をしたほうがいいて〈うん〉、いう考えがありましたが〈はい〉、逆に、日本人から見れば〈うん〉、あのよう、あのタイプの人が〈うん〉結構面白いって〈あー〉、はい、い、言いました、で僕から見れば〈うん〉、まばかばかしいっていうか〈{笑}〉、なんか、ちょっと〈うーん〉、{机をたたく音}うるさいーのー〈うーん〉、うるさいって感じがあります〈うーん〉、がしかし日本人から見れば面白いってーならば〈うん〉、結構ある程度、進んで〈うん〉、話をけ、かけったほうがいいて〈あー〉、思います

T：あーそうなんですか〈はい〉、ふーん、じゃおとなしくしてるよりも、その話しかけたりしたほうが

I：そうですねー、はい〈ふーん〉、うーん、やはりー、その、どのぐらいすれば〈うん〉いいっていう話ですね〈そうですねー〉、はい、まあおとなしくーする必要もありましたし〈うーん〉、進んで、他人と〈うん〉、コミュニケーションする必要もありましたし〈うーん〉、はい

T：じゃあバランスですねー〈そうですね〉、バランスが難しいですね

I：はい、難しいですねー{笑}

T：うーん、今は留学生の後輩へのアドバイスを聞いたんですけど〈はい〉、もし【姓B】さんが、その、大学のほうに〈はい〉、留学生のために、何かプログラムを用意したほうがいいと思って考えるとしたら、どんな、ことが大学としてや、やるといいと思いますか

I：そうですねー〈うーん〉、やはり、今の、りゅ、だ、あのー【学校名G】の留学せ【留学生】センターの〈はい〉、しっている【している】ことは結構〈うん〉、いいと思います

T：あー、どんなことですかね

I：なぜなら、まずは〈はい〉、あのオリエンテーション〈オリエンテーション、うん〉、オリエンテーションで、いろいろ、な、注意するところを〈うん〉教えてくれました〈ふーん〉、でそれで、中国人のチューターと〈うん〉、日本人のチューター、両方とも、あのしてくれました

T：あ素晴らしい

I：はい〈へー〉、で結構まあ費用が〈うん〉、かかり、かかると〈あー〉、聞きました〈あ

一), で, チューターの時給は1,000円って〈うーん〉聞きました〈うーん〉, で30時間ぐらい〈うん〉, 一人, うち, ま, 今【留学プログラム名H】にそ, そ〈うん〉, 所属している一, ですので, 【留学プログラム名H】の学生は, 100人以上〈うーん〉, で一, 一人のチューター3万円ぐらい〈うんうん〉, で結構, かかりますね〈うーん, なるほどね一〉, はい, 学校側として〈うん〉, はい, で, ほかのは一, {息を吸う音} そうですね, 今のところで〈うん〉, 思い出しました〈うん〉, で一, い, ことしの【留学プログラム名H】は〈うん〉, えーちょっととくべつー[特別]です〈はい〉, なぜなら, 僕のような一日本語ができる人は〈うん〉, 民間アパートに住んでいます〈あー〉, 大学の寮ではないですね〈あーそう〉, できればやはり〈うん〉, みんな, 大学, の寮に住んで〈うーん〉, ほしいですね〈あー〉, はい, そ, そっちに住んで〈うん〉, あの各国の〈うん〉, 留学生, と交流する, チャンスも〈うんそうですね一, できますよね一〉, はい多いし〈うんうん〉, はい, みんな, ひまんな[暇な]時〈うん〉, あの学生寮のロビーで〈うん〉, 集まって〈うん〉, 話をしたり〈あー〉, そっちのほう結構, 楽しいと思います〈そうですね一〉, で今ぼくー[僕]たちは〈うん〉, 民間アパートに〈うん〉住んで〈うん〉, もちろん, 大学せ, あまあ, 【学生宿舎名I】〈うん〉, の人たちの交流, まコミュニケーションは少ないし〈はい〉, で, 民間アパートに住んでいる一〈うん〉人, がくせ, 留学生たちも〈うん〉, まあ, の間の〈はい〉, コミュニケーションも少ないです〈あー〉, はい, ま, うーんロビーのような〈うん〉所がないし〈うーん〉, みんな一, へやー[部屋]も小さいし〈うーん〉, もちろん, まあ, 都合が悪いところもありましたし〈うん〉, コミュニケーションが少ないという, 感じ

T: あー, じゃあそういう, みんなおんなじような寮に住んでたらいいということですねー

I: そう, はい〈うーん〉, でみんな一, 一緒にまあ, 台所は一〈うん〉, やはり一別々のほうがいいですけど〈うーん〉, やはりロビーのような〈うん〉, 所があれば, と, うーん

T: なるほどね一〈はい〉, そうですね〈そうですね一〉, うーん, そういうのがあるともっとだ, 留学生同士が〈そう, 親しく〉関係になりますねー

I: はい〈うーん〉, みんなーもし, あの, この留学生〈うん〉, 日本で1年間留学が終わって〈うん〉, これから, ずっと, あの, こ, あの一, 連絡とか一〈はい〉, メールとか一〈うん〉, それ一を, まあ, それができますし〈うん, そうですね一〉, はい, いまー[今]の所ですが, みんなフェイスブック[フェイスブック]で〈うん〉, はい, ともだち一[友達]になって, 〈あーそうなんだ, フェイスブック{笑}〉はい〈うーん, あなるほどね一〉, みんな一, 結構, はい, なんか, 半年の学生も居ましすし〈ふーん〉, 半年の学生が, きこく一[帰国]する際〈うん〉, みんなパーティーを, やってる一〈うん〉, やって一, まあ, 送別会みたいですね一〈あーそうなんですか〉, はい〈へー〉, で, やはり一, みんなで一〈うん〉一緒に一〈うん〉過ごしたほうが良いと思います〈あー〉, うん

T: 交流が深まるでしょうねー

I: そうですね一〈うーん〉, こと, 来年からはーやはりできるだけ〈うん〉, みんな, 【学生宿舎名I】に住ん〈{笑}〉, 住んだほうが良いと

T: そうですね人数の関係で難しかったんですかね

I: そうですね一〈たぶんそうでしょうね一〉, まそして, 自費留学の学生も〈うん〉居ま

したしー〈あーそうなんですか〉、はい〈ふーん〉、じき、自費留学の一学生はもし〈はい〉、民間アパートに住ん、でいるなら、結構大変ですね

T：あーそうですよねー〈はい〉、うーん、やっぱりー〈そうですね〉費用がかかりますもんね

I：はい、学校もー〈うん〉難しいですね{笑}〈うーん〉、はい

T：はい分かりましたありがとうございます〈はい〉、じゃあですね〈はい〉、ちょっとこれからロールプレイをしようと思うんですね〈はい〉、じゃあちょっとこれを読んでいただけますか〈はい〉、声に出して読んでください

I：はい分かりました、で、ある大学の先生が、若者の、若者言葉の本を出版しました、でもその本は、一般の本屋で、売られていません、その先生に電話をして、送ってもらってください

T：うん、わたしその大学の先生の役をします〈はい〉、まだ会ったことがありません〈はい〉、わたし【姓A】ですね〈はい〉、で【姓B】さんはわたしに電話してその本を、お願いするんですねー〈はい〉、じゃあ電話で【姓B】さんがかけるところから始めましょうか〈はい〉、いいですかー〈はい〉、はい、じゃあ、はい【姓A】です

I：はい、えーもしもし、【学校名G】の者で【姓B】と申します〈はい〉、えーと、先生が一、えーと、書いていらっしゃるー〈はい〉、本が一、ま、若者、わかものー[若者]言葉についての本が、ありますよねー

T：あ、はい、最近出したんです

I：あ、あ、そうです、で、えーと、それを、あ、買いたいたですが、一応〈はい〉本、本屋さんにもい、行きましたがー見つかりませんでした〈うん、ちょっ、はい〉、はい、できれば先生からーなんかー{笑}、はい、えー、買っても、先生に〈はい〉、からー、まあなんか、っていう方式でー、買って、買ってもよろしいでしょうか

T：あ、はい、ちょっと部数が少なかったので本屋には置いてないので〈はい〉、はい、わたしのほうから

I：はい〈はい〉、よろしいですか

T：はい

I：はいありがとうございますー、でー、まあ、おかねー[お金]はどうすればよろしいでしょうか

T：そうですねー、じゃあ本と一緒にー〈あ〉振込用紙を入れておきますので〈はい〉、それーに沿って、お願いできますか

I：はい、はい、よろしくお願いします

T：はい、はい、お願いします

I：はい、失礼いたします

T：はい、はい、失礼しまーす

I：ありがとうございました

T：はい、はい、ありがとうございます〈いえ{笑}〉、じゃあ今のその話を〈はい〉、友達に、あの一、話すっという状況でやってもらえますか〈はい〉、わたしと【姓B】さん仲のいい友達です〈はい〉、で、きょうのその出来事を友達に会って話をする〈はいはい〉、ということにしましょう〈はい〉、うん〈で〉、いいです〈はい〉、じゃあはい、あ【姓B】さん

久しぶりー

I：あ、久しぶりー，で，あの一【姓A】さん知ってますか

T：なにになー

I：さいきーん [最近]，えっと，若者，言葉に，ついでの本が出版しました〈あ，そうなんだ〉，はい〈へー〉，でー，ま結構〈うん〉面白い言葉が一〈うん〉たくさんあるんで〈うん〉，はい，買おうと思って

T：うーん，面白そう

I：そうですねー〈うん〉，はい，で，残念ながら〈うん〉，本屋さんはないんで

T：あ，そうなんだ

I：はい〈うん〉，で，どうすれば〈うん〉，当ててみてー，僕〈えー，どうするんだろう〉，今いっさつー [1冊] 持ってーいますけどー

T：えー，じゃインターネットで買ったの

I：インターネット，まだー，部屋

T：まだないのー〈はい〉，えー，どうしたんだろう

I：でー，ちょくせ〈うん〉，直接あの先生に〈うん〉電話を掛けたんだよ

T：へーすごいねー〈うん，やー，結構〉，勇気あるねー

I：いやー結構緊張しましたよー {笑}

T：そうだよねー，へー

I：でー，その先生〈うん〉1冊送ってー〈うん〉，また，僕，なんか〈うん〉，振り，お金を振り込みましたー

T：あ，へー〈はい〉，うんうん，じゃもう〈うん〉その本，【姓B】さん持ってるの

I：持ってるよー〈あすごい〉，結構面白い

T：あそうなんだー

I：はい，ん，今の〈うん〉，まあなんか，そうしょ，草食系男子って〈{笑}〉もう載ってますしー

T：あ，すごいね新しい言葉が載ってるんだね

I：そう，そうよー〈うん〉，まあなんか，面白いー〈うん〉本で〈うん〉，まあ中国に帰って後輩にも紹介することができーるし〈うん，そうだね〉，まあ結構面白い

T：うんうん，古くならないうちに紹介したいね {笑}

I：そうですねー {笑} 〈へー〉，はい，結構，まあ，大学の先生に〈うん〉，まあなんかプレゼントにも〈うん〉，できるしー

T：あー面白いかもねー

I：そうねー〈うーん〉，で，せん，今，そうだよね〈うん〉，この本〈うん〉，なかなか，まあ〈うん〉，まあ手に入れてー〈うん〉，うれしいですよー

T：うーん，良かったね

I：良かったですね

T：おめでとう

I：ありがとう

T：はい〈はい〉，はい，ありがとうございます〈はい〉，ロールプレイはこれで終わりますね

I : はい

T : きょうはこれから何か、予定があるんですか

I : あ、別にー〈うん〉ないですが

T : あ、別にないですか〈はい〉、大学の授業ってもう終わりました

I : まあ今週で〈うん〉終わりますね

T : あ、そうなんですか〈はい〉、へー〈はい、らいしゅ〉、じゃあもう長い春休みですねー

I : そうですね〈うーん〉、まあな、は、休みていうか〈はい〉、で、結構忙しいですね〈あ、そうなんですか〉、レポートもありましたし〈うん〉、レポート特に【姓E】先生〈はい〉、学習者コーバス論の、レポート、データをぶんせきー〔分析〕しなければいけないんで〈あー〉、先週、でー、その、講演をきてー〔聞いて〕、結構、〈はい〉、はい、助かりました

T : あ、使えそうですね〈そうですね、まあ〉、その講演のざい、内容は

I : そうですねー〈うーん〉、ま、まだ一時間がかかりますけど〈うーん〉、で、一応エクセル〔エクセル〕で〈うん〉、分析を、行います

T : あー、うまくいくといいですねー〈そうです〉、やっぱり手で数えるとミスが多いですよね {笑}

I : そうですねー {笑}、あっちのほうが一、まあ、使いやすいですね

T : うん、な、慣れれば良さそうですねー

I : はい、でー、最近もし〈うん〉、エクセル〔エクセル〕の命令、コマンドー〔コマンド〕が〈うん〉、分からなければ〈はい〉、インターネットで、検索することができるし〈あー〉、で例えばー、まあ2行〈うん〉、2列の〈うん〉違いを〈うん、うーん〉比較すればー、そのようなコマンドも、ありましたし

T : あ、すごい、高度じゃ、技ですねー

I : そうですねー〈ふーん〉、はい、もしー〈うん〉、手で数えるとまあ、目で〈うん〉、比較すれば、結構間違いやすいですね

T : そうですねー、うん〈はい〉、へー〈{笑}〉、じゃあ楽しみですねーレポートがねー

I : はい、そ、そ、そう、まあなんか、結構やることがたくさんありますので〈うーん〉、学習者、まあ、いまー〔今〕、ただ母語話者コーバスをぶんせきー〔分析〕〈はい〉したところで〈ふーん〉、4000行ぐらい

T : あー、結構な量を書いたんですねー〈そうですねー〉、すごいですねー

I : はい、学習者の一量〈うん〉、コーバスも〈はい〉、まだーですが、結構、1週間ぐらいかかりますね

T : あー、じゃあ、大作ですねー

I : {笑} はい

T : へー、頑張ってくださいーい

I : はい頑張りまーす

T : はいー、じゃインタビューはこれで終わります〈はい〉、ありがとうございます

I : ありがとうございますー

資料

本事業の活動の柱を検討する上で参考にした先行研究の中で、本文中に詳細を記したもの以外で、特にコミュニケーションでの理解と誤解、コミュニケーションの構成要素、コミュニケーションの目標達成と評価に関するものを以下に挙げる。

(1)『中国からの帰国者のための生活日本語（通称：『生活日本語』』（1983年、文化庁）
国語研究所の協力で「初心者用日本語教材の開発に関する実際研究」を行い、日常生活の場面抽出、録音調査、スクリプト、語彙・文型抽出を行い、中国からの帰国者が帰国後、比較的短期間に遭遇する日常の生活場面を選定し、場面毎に必要な日本語、及び生活情報（中国語）を盛り込んだものである。ここでは、日本語の実態を重視し、「すみません／スイマセン」も取り上げている。

(2)「中国帰国者日本語指導の手引」（1983年、文化庁）

「中国帰国者用日本語教育指導の手引(仮称)作成のための調査研究」では、『生活日本語』を使用する際の指導者用手引書を作成した。ここでは、中国帰国者の年齢（50代）、限られた学習時間、学習適性、学習経験などを考慮し、日本語（語彙、文型、表記など）を積み上げ式に学習していくのではなく、限られた日本語の知識を最大限運用することを目標に、以下の表現機能を重視し、実際の会話場面で対応できることを目指して指導する方法を説明している。コミュニケーションを意識し、感情の表出についても記述した戦後最初の日本語参考指導書である。

＜相手に求める表現機能＞

行為求め、情報求め、共通理解の確認求め、許可・了解求め、求めの前置き、受信内容の確かめ

＜相手に対する一方的告げの機能＞

用件告げ、行為の勧め、行為の提案、アドバイス、一方的情報の告げ、一方的周辺情報の告げ

＜相手の発話に対する受け等の機能＞

用件を受け入れられないことの示し、要請の受容拒否の示し、相手の働きかけの受信示し、相手の発話内容の理解不能の示し、行為の確認求めへの肯否の示し、内的条件の確認求めへの回答、決断示し、判定示し、情報示し、共通理解の確認求め成立示し、示しの前置き

＜コミュニケーションの運びに関する機能＞

コミュニケーション求め、コミュニケーションの意志示し、コミュニケーション内容展開のマーカ、対人関係保持を含む／含まないコミュニケーションの切り上げ、対応を考えるための言いさし、相手への遠慮による語調の和らげ、自己の行為・状況の知らせ、共通認識の確定、相手への気遣い示し、対人関係を円滑にするコミュニケーション

＜感情の表出に関する機能＞

(3)「職場・労働観及び職場のコミュニケーション場面に関する調査研究報告書」（1990年、文化庁）

「中国帰国者用日本語教育指導の手引(仮称)作成のための調査研究」で、職場場面と対人接触場面の二つでのコミュニケーションの実態を探り、「生活日本語」をとらえようとした。詳細は、<<http://www.kikokusha-center.or.jp/resource/ronbun/bunkacho/tebiki2.pdf>>を参照されたい。

(4)「多文化共生社会における言語と身体組織化と相互行為的評価の研究」(2007～2008 年度科学研究費補助金研究：萌芽研究，山崎敬一(埼玉大学))

多層的なコンテクストにおいて人々がインタラクションにおいて行う評価という側面から、文化や技術の伝承という問題を考えていこうというものである。留学生の子どもが3分の2以上を占める保育室で、こども同士や保育者とこどものやりとりを調べ、特に、「ジェンダー」や「丁寧さ」が、言葉と身体的行動のやりとりの中でどのように社会化されるかを分析した。また、全米日系博物館の観客のインタラクション・データを収集し、身体的行動が、言葉とどのように結びついているかを見たものである。

(5)「異文化構成員による組織の行動規範の理解課程」(2007～2008 年度科学研究費補助金研究：若手研究(B)，宮谷 敦美(岐阜大学))

製造業に従事するブラジル人労働者と日本人労働者に対する聞き取り調査のデータから、日々のコミュニケーションを通して、外国人労働者が組織の行動規範に気づき受け入れていく過程、外国人労働者が組織に入ることにより、日本人労働者の組織の行動規範の見方へどのような影響があるか、外国人労働者が存在する組織のコミュニケーションの特徴と問題点に注目したものである。日本語コミュニケーション力が低いブラジル人労働者は、高いブラジル人労働者や通訳者を媒介者としてメッセージを受け取れるため、理解を阻害されるとは言い切れないとしている。反面、日本語コミュニケーション力が低いブラジル人労働者は、自分の日本語が自身をマイナス評価される要因の一つと知ると、日本人とのコミュニケーションを心理的に避けるようになることを示した。日本人社員もコミュニケーションの相手として、外国人労働者の日本語コミュニケーション力の程度で選択している状況があった。

(6)「日本語感情音声の韻律的特徴分析 韓国人日本語学習者と日本語母語話者の比較を通して」(2007～2008 年度特別研究員奨励費，田渕咲子(神戸大学))

日本語話者と韓国語話者(日本語上級者)，日本語話者と韓国語話者(日本語初級者)それぞれを対象に日本語発話態度の知覚実験を行い、日本語話者と韓国語話者は異なる知覚傾向を示し、韓国語話者の上級者と初級者も異なる傾向を示すとし、日本語能力が発達するとともに発話態度の知覚も変化すると述べている。

(7)「多文化共生社会における幼児から大学生までのコミュニケーション能力育成モデルの開発」(2006～2008 年度科学研究費補助金：基盤研究(B)，佐々木泰子(お茶の水女子大学))
日本語学習者と日本人学生による接触場面の会話データを素材に、ナラティブ、終助詞の質的、量的分析の結果、学習者にとっては評価や感想の発話をするのが難しい、接触場面のナラティブには母語場面のような共感構築的な側面が少ないことを示した。日本人学

生も会話を成立，維持していくために調整していることを示した。

(8)「茨城県大洗町定住インドネシア人の異文化受容と日本語学習の関係に関する多角的研究」(2006～2007 年度科学研究費補助金：萌芽研究(助川泰彦(東北大学)))

ミナハサ地方出身インドネシア人の日本語習得の実態とそれに関与する諸要因を質的調査方法によって解明しようとしたもの。OPI によりコミュニティ全体の日本語口頭能力の調査を行い，労働者の日本語習得についての定量的な調査データを得た。中級レベルのインドネシア人は，日本人との社会的ネットワークがあり，第二言語習得が道具的動機，統合的動機によって支えられている可能性を示した。

(9)「社会的スキルとしての対人コミュニケーション認知メカニズムの解明」(2006～2007 年度特別研究員奨励費，木村昌紀(大阪大学))

対人コミュニケーション認知を学習可能な社会的スキルの一つとし，訓練によって対人コミュニケーション認知の判断精度は向上可能であること，社会的スキルの下位概念である「対面交渉能力」(目の前の他者と円滑に相互作用を営む能力)と対人コミュニケーション認知は関連性があることを示した。

(10)「多言語多文化共生社会に立脚したウェブ言語教材における言語能力記述モデルの研究」2005～2008 年度科学研究費補助金：基盤研究(B)，吉富朝子(東京外国語大学)

これは，英語の言語能力判定テストに向けて，日本人英語学習者のプロソディーに見られる母語干渉，日本人英語学習者と英語母語話者による英文産出，学習者コーパスを活用した言語能力評価法を試みる基礎理論研究である。

(11)「PISA 及び国内国語学力調査の比較を通じた新しい読み書き能力の範囲と内容の研究」(2005～2007 年度科学研究費補助金：基盤研究(B)，府川源一郎(横浜国立大学))

「読み書き能力」として各国が PISA 及びその背景にあるキー・コンピテンシーの考え方を意識していることを示している。

(12)「日本語教育における地域語の指導法の開発および教材の作成」

(2005～2007 年度科学研究費補助金：基盤研究(C)，本田明子(立命館アジア太平洋大学))
留学生に必要な地域語教育を日本語教育の中でどのように扱うべきかを考えるために，地域語の使用状況と留学生への影響の調査をもとに，方言の実用性と機能性の二つの動機を示すとともに，方言が日本語学習の妨げになるという意識，日本の文化や地域社会への関心の低さの傾向，方言がコミュニケーションの障害になる例の少なさを示した。

(13)「外国語オーラルコミュニケーション能力自動評価システムに関する研究開発」

(2005～2006 年度科学研究費補助金：基盤研究(C)，B・D Teaman(大阪女学院大学))
教員が所望する評価方法に従って任意トークンに適用可能な 5 段階尺度を用いて各項目を評価できる機械評価システムである。これは，発音された単語に，教員作成モデルとの一致度に従って 0 から 100 までの点数を与える。

(14)「発信型コミュニケーションのための英語能力自動測定技術の研究」

(2004～2007 年度科学研究費補助金：基盤研究(B)，山本誠一（同志社大学）)

旅行会話，ビジネス英会話等の会話文，中学，高校の教科書に記載されている英訳課題文 1,500 文を選択し，約 100 名の翻訳文による学習者コーパスを開発し，英語ネイティブによる主観評価結果と，機械翻訳の品質評価分野で使用される被験者の翻訳結果と参照訳文との統計的な尺度を用いて，被験者の訳質を評価する尺度である BLEU に基づき測定された訳質評価尺度との相関を測定し，英語表現能力を参照英文との評価尺度に基づく客観的指標として測定可能であることを示した。

(15)「話者適応と文法誤りモデリングを用いた外国語教育システムの開発」

(2004～2007 年度科学研究費補助金：基盤研究(B)，伊藤彰則（東北大学）)

音声認識技術を応用し，日本語の学習においては，正解文に誤りルールを適応した有限オートマトンを用いて音声認識する手法を示した。

(16)「移住者と受入住民の多文化的統合を視座とした共通言語教育」

(2004～2007 年度科学研究費補助金：基盤研究(B)，松岡洋子（岩手大学）)

ドイツ，フランス，韓国において，移住者と受け入れ住民とのコミュニケーションのツールとしての共通言語がどのように設定され，教育されているのかを調査研究し，現場は混乱していること，具体的な言語施策や事業の必要性の認識が低いこと，言語能力が十分ではない移住者に対する同化的傾向があることを示した。そして，移住者が習得すべき語学水準とその内容を受け入れ住民にも理解させ，相互に意思疎通を図るための共通言語の枠組みを構築することの必要性を述べた。

(17A)「外国人の日本語の発音に対する日本人評価の研究-方法論の検討と日本語教育への応用-」

(2003～2004 年度科学研究費補助金：若手研究(B)，小河原義朗（独立行政法人国立国語研究所）)

(17B)「日本語非母語話者の話す日本語の発音に対する日本人評価に関する基礎的研究」

(2001～2002 年度科学研究費補助金：若手研究(B)，小河原義朗（独立行政法人国立国語研究所）)

外国人日本語発話データとその評価データの収集を行い，やりとりの際に外国人が自分の日本語について考えていることに相手の日本人はあまり意識していないこと，そのやりとりの当事者である日本人による相手の外国人の日本語に対する評価と第三者の日本人による評価は異なること，第三者の日本人による評価も音声媒体と映像媒体では異なること，外国人が日本人との日本語によるコミュニケーションでの発音上の問題の受け止め方などを示した。また，外国人の日本語発話において日本人評価に影響を与える要因として，「学習者要因」，「発話形式」，「発話内容」，「媒体」を取り上げ，音声的要素を原因とした接触場面におけるコミュニケーション上の問題についての情報収集の必要性を示した。

(18)「日本語教育における評価法に関する基礎的資料整備とその分析」

(2001～2002 年度科学研究費補助金：基盤研究(C)，菅井英明（独立行政法人国立国語研究所）

言語教育で用いられている日本留学試験，韓国 JPT，J-Test，TOEFL，SAT II，CPE，IELTS，DELE などの評価・テストに関する情報の収集及び体系的な分析を行い，この分野の研究開発理論を日本語教育に紹介した。

(19) 「日本人は何に注目して外国人の日本語運用を評価するか」

(2000～2003 年度科学研究費補助金：基盤研究(B)，小林ミナ（北海道大学）)

「外国人の日本語を日本人はどう評価するのか」，「日本語母語話者はどのような評価基準を重視するか-日本語学習者の発話を評価する場合-」，「理系大学院留学生と指導教員の実験場面におけるインタラクション」，「研究と教育の融和への模索-外国人日本語話者の母語話者評価を英語授業内に行なってみて-」，「日本語口頭運用能力の評価基準に対する日本語母語話者の意識」，「日本人高校生は何に注目して日本語学習者の日本語運用を評価するのか」などの成果を示した。

(20) 「情報伝達における言語リズムの機能の研究および「発信型」外国語教育への応用」

(2000～2002 年度科学研究費補助金：基盤研究(C)，溝越彰（東北大学）)

日本語・英語・中国語・スペイン語，ピジン英語等の異形言語を比較対照し，リズムの異同を調査した結果，リズムとは，「情報単位」をまとめる働きをするものであり，聞き手は，これをペースメーカーにしながら効率的に言語情報を処理している実態を示した。

(21) 「日本語準母語話者のコミュニケーション規範に関する調査研究」

(2000～2002 年度科学研究費補助金：基盤研究(C)，村岡英裕（千葉大学）)

13名の在日外国人へのインタビュー・インタビューのデータをもとに，経験に対する評価と選択された調整行動を調べ，家族や交友などの情緒的かつ包括的なネットワークは，母語文化ネットワークにより，日常的かつ個別的なネットワークは相手文化ネットワークにより占められていること，日本語非母語話者は母語文化規範をベースに評価する場合と相手言語文化規範(日本)をベースに評価する場合があることを示した。また，日本人との共生を目的とした戦略がみられること，否定的評価の多くは社会的役割関係を経験する仕事や教育領域と，人間関係を結ばない日常生活に集中していることも示した。

(22A) 「多文化教育における関係調整能力の育成に関するエスノグラフィー」

(2000 年度～2001 年度科学研究費補助金：奨励研究(A) ロラン マリージョゼ（高千穂大学）) (22B) 「日本企業における外国人就労者の関係調整能力に関する総合研究」

(2000～2002 年度科学研究費補助金：基盤研究(C)，ロバート ファウザー（京都大学）)

外国人就労者からの常に強いニーズがある社会・関係調整能力の問題に関して，エスノグラフィー及び社会言語学の視点を導入し，日本語教育で行われてきた社会・文化・コミュニケーションとその近接テーマの多様な研究では概念的フレームワークを立てるためのエスノグラフィー及び社会言語学的アプローチが必要であること，社会言語学やコミュニケーション論の援用並びに術語の背後にある概念の分析などが重要であるとしている。

(23)「言語的表現の使い分けの状況の規定因に関する社会心理学的研究」

(1996～1998 年度科学研究費補助金費：基盤研究(C)，岡本真一郎(愛知学院大学))

感謝表現に関する実験を行い、感謝型と謝罪型の表現の使い分けに関与する諸要因の影響、対人配慮に関わる他の諸表現についても状況要因との関わり、及び様々な言語表現形式の使い分けに対する聞き手の反応を検討した。

(24)「来日直後の日本語初級学習に必要なストラテジーのための自律的学習教材の開発」

(1996 年～1996 年度科学研究費補助金：基盤研究(C)，梅田泉(熊本大学))

ニーズ調査から、来日直後の留学生は、郵便局、電話、商店街、研究室、指導教官宅という場面で、挨拶、買い物、電話、自己紹介、尋ねなどの行動をするためのコミュニケーション・ストラテジーの必要性を示した。

(25)「自己と対人関係の相互規定性に関する日米比較研究」

(1995～1997 年度科学研究費補助金：国際学術研究，北山忍(京都大学))

友人間の会話パターン分析から、米国では相手に対する肯定的コメントが交わされる頻度が否定的コメントよりも比べて非常に高い、聞き手は肯定的なコメントは本心であると推測されがちであることを示した。また、会話の情報処理について、米国では言語情報が優先的に処理されるが、日本では声の調子の情報がより中心的になっていることを示した。

「言ったことは言おうとしたこと」であるという暗黙の仮定の下に会話がなされる欧米文化、「言おうとしたことはしばしば言わなかったこと」とする暗黙の仮定のもとに会話が進行する日本文化という対比を反映していると述べている。

(26)「感情を喚起する身体運動が身体表情の認知とコミュニケーション行動に与える影響」

(1995～1995 年度科学研究費補助金費：奨励研究(A)，八木ありさ(長崎県立女子短期大学))

動的な身体表情「直哉な表現-悲」「直哉な表現-喜」「曖昧な表現-悲」「曖昧な表現-喜」について、女子大学生に感情状態を評価させたところ、「直哉な表現-悲」、「曖昧な表現-悲」の前後において感情状態の評価が的確に行われた。

(27)「謝罪及び謝罪に対する応答に関する日英対照研究-脚本を資料として-」

(1993～1993 年度科学研究費補助金費：奨励研究(A)，池田理恵子(国立国語研究所))

日英のテレビや映画の脚本を資料として謝罪の用例を収集し、質問紙調査によって得られた謝罪誘発場面での言語行動、その場面が相手に対してマイナスとなる程度の評価についてのデータを用いて、Face という視点から謝罪の意味・機能について考察した。

(28)「コミュニケーション機構の解明に関する研究」

(1989～1989 年度科学研究費補助金費：重点領域研究，池田克夫(京都大学))

対話の相手を階層的なレベルに分けて、表現レベルの機能(指示、類推、省略、文脈)について検討した。

また、以下の文献も参考にした。

- 海保博之(1988)「こうすればわかりやすい表現になる」福村出版
- 国立国語研究所(2006)『言語行動における「配慮」の諸相』くろしお出版
- 熊谷智子(1994)「発話機能一覧表」『日本語教育映像教材中級編関連教材伝えあうことば4機能一覧表』大蔵省印刷局
- 沢木幹栄, 杉戸清樹 (1999)「世界のあいさつ言葉の対照研究に向けて」『國文学第 44 巻 6 号, pp. 126-138
- 重光由加 (2003)「交感言語使用」『応用言語学事典』研究社, p. 235
- 菅井勝雄(1971)「双方向通信理論」『教育工学講座 3 教授・学習システム』大日本図書
- 鈴木佑二・吉田研作・霜崎実・田中茂範(1997)「コミュニケーションとしての英語教育論」アルク
- 田中望ほか(1986)「外国人の日本語行動・聴き取りのコミュニケーション・ストラテジー」『言語生活』9月号, 418, 筑摩書房
- 中原淳ほか(2009)『企業内人材育成入門』『ダイアログ対話する組織』ダイヤモンド社
- 西林克彦(1997)『「わかる」のしくみ』新曜社
- 深谷昌弘・田中茂範(1996)『コトバの＜意味づけ論＞日常言語の生の営み』紀伊国屋書店
- 松尾太加志(1999)「コミュニケーションの心理学—認知心理学・社会心理学・認知工学からのアプローチ」ナカニシヤ出版
- 吉田研作(1995)「外国人と分かりあう英語—異文化の壁を越えて」筑摩書房
- シャノン, C. E./ヴィーヴァー, W.(1969)『コミュニケーションの数学的理論』長谷川淳・井上光洋訳, 明治図書
- E. バンヴェニスト(1983)『一般言語学の諸問題』岸本通夫監訳, みすず書房
- Meyer, M. (1991) "Developing Transcultural Competence: Case Studies of Advanced Foreign Language Learners" in Buttjes & Byram (eds.) *Mediating Languages and Cultures*, Clevedon : Multilingual Matters
- Vygotsky, L. (1978) *Mind in Society: the Development of Higher Psychological Processes*, Cambridge : Harvard
- Widdowson, H. (1984) *Explorations in Applied Linguistics 2*, Oxford: Oxford

平成 21 年度文化庁日本語教育研究委託
「生活者としての外国人」の日本語能力の測定・評価に関する調査研究報告書

発行年月日 平成 22 年 3 月 31 日発行
発 行 者 国立大学法人東京外国語大学
印 刷 所 有限会社 ノースアイランド
